

平成 27 年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査  
(平成 28 年度調査)

(4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての  
調査研究事業  
報 告 書



# 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業 報告書

## ■ 目 次 ■

調査検討組織設置要綱

調査概要

第1章 調査実施概要	1
1. 調査の目的	1
2. 事業実施方法	1
(1) 調査検討組織の設置と開催状況	1
① 構成委員	1
② 開催状況	2
(2) アンケート調査実施概要	2
① 調査票の構成	2
② 調査対象	3
③ 調査期間	3
④ 主な調査項目	3
第2章 調査結果	4
第1節 回収結果	4
1. 回収状況	4
第2節 介護老人福祉施設票の結果	5
1. 施設の基本情報	5
① 所在地	5
② 入所定員	6
③ 開設年	7
④ 開設主体	8
⑤ 介護報酬上の届出	9
⑥ 短期入所生活介護の有無・定員	10
⑦ 医務室の保険医療機関としての指定の有無	11
⑧ 加算等の算定状況（平成28年10月分）	12
2. 医療・介護の提供体制等	15
(1) 医師や協力病院の体制	15
① 常勤の医師	15
② 非常勤の配置医	17
③ 在宅療養支援診療所・病院との連携体制	21
④ 協力病院	23
⑤ 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法	26
(2) その他の職員体制	35

① 職員数：常勤換算数 .....	35
② 職員数：実人数 .....	38
③ 退職した職員（平成 27 年 10 月～平成 28 年 9 月） .....	40
(3) 看護職員の体制 .....	48
① 施設の看護職員の体制等 .....	48
② 訪問看護ステーションとの連携 .....	55
③ 併設病院・診療所等他の施設等から看護職員の応援を受けることの有無 ....	74
(4) 認定特定行為 .....	76
① 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員数・特定行為を実施した職員数 .....	76
② 喀痰吸引、経管栄養等を実施した職員数 .....	78
③ 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員 .....	79
④ 認定特定行為業務従事者認定のための実地研修の実施状況 .....	82
⑤ 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制 .....	85
⑥ 介護職員による認定特定行為実施をより適切に進めるために必要なこと（自由回答） .....	86
(5) 口腔衛生管理体制 .....	87
3. 入所者数等 .....	89
(1) 入所者数 .....	89
① 入所者数（全体） .....	89
② 要介護度別入所者数 .....	89
③ 年齢階級別入所者数 .....	89
④ 障害高齢者の日常生活自立度別入所者数 .....	90
⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度別入所者数 .....	90
(2) 新規入所者（平成 28 年 4 月～9 月の新規入所全員） .....	91
① 入所時の年齢 .....	91
② 入所時の要介護度 .....	91
③ 入所時の障害高齢者の日常生活自立度 .....	95
④ 入所時の認知症高齢者日常生活自立度 .....	95
⑤ 入所時に利用していた医療機器・必要な処置等 .....	96
⑥ 入所前の居場所 .....	97
⑦ ターミナル期かどうか .....	97
⑧ 入所申し込みから入所までの期間 .....	98
(3) 施設における医療等の実施状況 .....	100
① 配置医師が実施している業務 .....	100
② 施設内で対応可能な処置 .....	104
③ 調査時点、処置を行っている人数 .....	113
④ 夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制か .....	123
⑤ 施設の医療的ケアにおける課題（自由回答） .....	126

(4) 通院・訪問診療・往診の状況 .....	128
① 通院.....	128
② 訪問診療.....	128
③ 往診.....	129
(5) 病院や診療所への入院の状況 .....	130
① 調査時点での入院中の入所者数 .....	130
② 平成 28 年 7 月 1 か月間の入院患者数.....	130
③ 入院できなかった入所者.....	130
(6) 退所先別退所人数（平成 28 年 4 月～9 月） .....	134
① 退所先別退所人数.....	134
② 退所者全体に占める退所先別退所者の比率 .....	134
③ 退所先が病院・診療所 .....	135
④ 入院後の死亡退所.....	136
⑤ 施設内死亡 .....	137
(7) 看取りについて.....	147
① 平成 28 年 4 月～9 月の看取り介護加算の算定状況 .....	147
② 施設の看取りの方針 .....	157
③ 施設内看取りに対する意向.....	163
④ 協力病院による施設内看取りに対する支援 .....	185
⑤ 看取り介護計画の策定状況.....	187
⑥ ターミナルケアにおける課題 .....	189
⑦ 施設内での看取りに関する意見等 .....	202
第 3 節 入所者の詳細調査の結果 .....	204
1. 病院・診療所への入院者の状況 .....	204
(1) 入院者の基本情報.....	204
① 年齢.....	204
② 性別.....	205
③ 入所前の世帯構成 .....	205
④ 要介護度（入院前） .....	205
⑤ 障害高齢者日常生活自立度（入院前） .....	206
⑥ 認知症高齢者の日常生活自立度（入院前） .....	206
⑦ 行動・心理症状（入院前） .....	207
⑧ 入院前に有していた傷病.....	208
⑨ 過去 1 年間（平成 27 年 7 月～28 年 6 月）の入院回数 .....	210
⑩ 入院時点でターミナル期であったか.....	210
⑪ 入院時点で看取り介護計画を作成していたか.....	211
(2) 入院時の状況 .....	212
① 入院理由 .....	212
② 入院時の状況 .....	214

③ 入院先の病床種類 .....	214
④ 入院先へ入所者の情報提供を行った職員 .....	215
⑤ 入院前2週間の受診状況 .....	216
⑥ 入院前2週間の配置医による診察回数 .....	218
⑦ 入院前2週間に実施した医療的ケア等 .....	220
(3) 退院等の状況 .....	223
① 退院直後の状況 .....	223
② (医療機関で死亡した場合のみ) 入院～死亡までの入院期間 .....	227
③ 退院日までの入院期間 .....	228
④ 医療機関からの情報提供の有無とその方法 .....	229
⑤ 退院後2週間の配置医による診察回数 .....	230
⑥ 退院後2週間の受診状況 .....	231
⑦ 退院後2週間に実施した医療的ケア .....	233
⑧ 要介護度 .....	235
⑨ 障害高齢者の日常生活自立度 .....	236
⑩ 認知症高齢者の日常生活自立度 .....	237
⑪ 行動・心理症状 .....	238
2. 死亡者の状況 .....	240
(1) 死亡者の基本情報 .....	240
① 死亡場所 .....	240
② 年齢 .....	242
③ 性別 .....	243
④ 在所期間 (施設への入所日～死亡日) .....	244
⑤ 要介護度 .....	247
⑥ 障害高齢者日常生活自立度 .....	248
⑦ 認知症高齢者の日常生活自立度 (入院前) .....	249
⑧ 有していた傷病 .....	250
⑨ 施設内での普段の居室 .....	252
⑩ 身元引受人 .....	252
⑪ 入所前の世帯構成 .....	253
(2) 死亡時の状況 .....	254
① 主たる死因 .....	254
② 死亡場所について .....	255
③ 看取り介護計画の作成状況 .....	270
④ 看取り介護加算の算定状況 .....	272
(3) 施設内での死亡者の状況 .....	275
① 死亡時間帯 .....	275
② 死亡時期の予測 .....	275
③ 死亡時の立会者 .....	279

④ 死亡前の居室の移動の有無 .....	281
⑤ 当該利用者のターミナル期の対応のために職員の勤務体制を変更したこと	283
⑥ 経口摂取がほとんどできなくなった時期 .....	283
⑦ ターミナル期に実施した処置 .....	285
⑧ ターミナル期以前から実施していた処置 .....	288
⑨ 死亡前2週間の配置医による診察回数 .....	290
⑩ 死亡前2週間の受診状況 .....	291
⑪ 死亡前3か月間の入院の有無 .....	292
(4) 病院・診療所での死亡者の状況 .....	294
① 医療機関への搬送（移動）方法 .....	294
② 入院日～死亡日までの期間 .....	296
③ 搬送理由 .....	297
④ 施設で搬送（入院）を判断した者 .....	298
⑤ 死亡時期の予測 .....	300
⑥ 搬送前2週間以内に施設で実施していた処置 .....	304
⑦ 搬送前2週間の配置医による診察回数 .....	307
⑧ 搬送前2週間の受診状況 .....	308
⑨ 死亡前3か月間の入院の有無 .....	310
3. 時期による医療処置等の内容の相違 .....	313
(1) 医療的ケアの実施状況 .....	313
① 実施した医療的ケア .....	313
② 配置医による診察回数、診察実施率 .....	314
(2) 入所者の状況 .....	315
① 年齢 .....	315
② 要介護度 .....	315
③ 障害高齢者の日常生活自立度 .....	315
④ 認知症高齢者の日常生活自立度 .....	316
⑤ 行動・心理症状 .....	316
⑥ 有していた傷病 .....	317
⑦ 入院理由 .....	318
⑧ 死因 .....	318

調査票  
結果概要



# 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業の 調査検討組織 設置要綱

## 1. 設置目的

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社は介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置する。

## 2. 実施体制

- (1) 本調査検討組織は、福井小紀子（日本赤十字大学教授）を委員長とし、その他の委員は以下のとおりとする。
- (2) 委員長が必要があると認めるときは、本調査検討組織において、関係者から意見を聴くことができる。

## 3. 調査検討組織の運営

- (1) 調査検討組織の運営は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が行う。
- (2) 前号に定めるもののほか、本調査検討組織の運営に関する事項その他必要な事項については、本調査検討組織が定める。

### 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業の 調査検討組織 委員等

委員長	福井小紀子	（日本赤十字看護大学 教授）
委員	石川貴美子	（秦野市福祉部高齢介護課 専任技幹（兼）課長代理）
	小澤 竹俊	（めぐみ在宅クリニック 院長）
	島田 千穂	（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム 終末期ケアのあり方フェリダー）
	瀬戸 雅嗣	（公益社団法人全国老人福祉施設協議会 副会長）
	沼田 美幸	（公益社団法人日本看護協会 医療政策部長）
	長谷川英世	（社会福祉法人ぱる いきいきタウン蕨 施設長）

（敬称略、50音順）

### 【オブザーバー】

- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長 佐藤 守孝
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 老人介護専門官 八田 睦美
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 企画調整専門官 山崎 菜央
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 企画調整専門官 前川 遼
- 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 予算係長 梁瀬 晃
- 厚生労働省 老健局 老人保健課 介護保険データ分析室長 西嶋 康浩



## (4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業

### 1. 調査の目的

介護老人福祉施設については、入所者の重度化が進む中で、特に看取り期における医療ニーズに対応した医療提供状況を把握する必要がある。

平成27年度に行われた「介護保険施設等における利用者等の医療ニーズへの対応の在り方に関する調査研究事業」では、介護保険施設間の比較を念頭に主に共通事項についての調査が行われたところである。

平成28年度調査においては、非常勤の医師が勤務することが多い介護老人福祉施設における医療的ケアの現状（認知症対応、摂食嚥下障害対応、がん末期対応、看取り期の医療行為等）や、医療職をはじめとした職員の夜間の配置体制の実態把握、施設ごとの医療提供状況の違い、看取りを入所施設で完結するための外部医療機関との連携体制や連携上の問題を明らかにし、今後の検討課題を抽出する。

### 2. 調査客体

介護老人福祉施設 3,000施設程度 ※無作為抽出

### 3. 主な調査項目

#### 介護老人福祉施設の実態調査

- ・職員体制：配置医、看護職員、認定特定行為業務従事者、歯科衛生士等の医療職（および医行為実施者）の体制等
- ・新規入所者と退所者の状況：施設における入所者数、入所理由、入所前の居場所、入所までに要した期間、退所者数、退所先内訳、死亡退所者、施設内死亡者、退所理由等
- ・外部連携：外部医療機関、協力歯科医療機関との連携体制、連携上の課題等
- ・受療の状況：往診、訪問診療、訪問歯科診療の状況、訪問看護の利用状況等
- ・入所者の状況：疾患名、要介護度、認知症高齢者日常生活自立度等の属性、受けている医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、褥瘡処置等数項目）等
- ・医療提供体制：入所者の医療処置対応（感染管理、認知症対応、摂食嚥下障害対応、褥瘡対応、がん末期対応、看取り期の医療対応等）、介護職員の喀痰吸引・経管栄養等実施状況、認定のための研修実施状況、介護職員による医行為実施に対する要望・課題等
- ・看取り：施設内の看取りの実績、看取り計画の策定状況、看取り介護加算算定状況、配置医の看取りに対する意向や問題意識、看取り期における医療行為の実態と病院への搬送事由、死亡退所者と施設内死亡者との施設間の比較等



# 第1章 調査実施概要

## 1. 調査の目的

介護老人福祉施設については、入所者の重度化が進む中で、特に看取り期における医療ニーズに対応した医療提供状況を把握する必要がある。

平成27年度に行われた「介護保険施設等における利用者等の医療ニーズへの対応の在り方に関する調査研究事業」では、介護保険施設間の比較を念頭に主に共通事項についての調査が行われたところである。

平成28年度調査においては、非常勤の医師が勤務することが多い介護老人福祉施設における医療的ケアの現状（認知症対応、摂食嚥下障害対応、がん末期対応、看取り期の医療行為等）や、医療職をはじめとした職員の夜間の配置体制の実態把握、施設ごとの医療提供状況の違い、看取りを入所施設で完結するための外部医療機関との連携体制や連携上の問題を明らかにし、今後の検討課題を抽出する。

## 2. 事業実施方法

### (1) 調査検討組織の設置と開催状況

介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業の調査を実施するにあたり、調査設計、調査票の作成、調査の実施、集計、分析、検証、報告書の作成等の検討を行うため、以下のとおり介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業の調査検討組織（以下、「調査検討組織」という。）を設置した。

調査検討組織の運営は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングが行った。

#### ① 構成委員

##### ○委員長

福井 小紀子（日本赤十字看護大学 教授）

##### ○委員（五十音順、敬称略）

石川貴美子（秦野市福祉部高齢介護課 専任技幹（兼）課長代理）

小澤 竹俊（めぐみ在宅クリニック 院長）

島田 千穂（地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所  
福祉と生活ケア研究チーム終末期ケアのあり方テーマリーダー）

瀬戸 雅嗣（公益社団法人全国老人福祉施設協議会 副会長）

沼田 美幸（公益社団法人日本看護協会 医療政策部長）

長谷川英世（社会福祉法人ぱる いきいきタウン 蕨 施設長）

## 2 事業実施方法

### ○オブザーバー

厚生労働省	老健局	高齢者支援課	課長	佐藤	守孝
厚生労働省	老健局	高齢者支援課	老人介護専門官	八田	睦美
厚生労働省	老健局	高齢者支援課	企画調整専門官	山崎	菜央
厚生労働省	老健局	高齢者支援課	企画調整専門官	前川	遼
厚生労働省	老健局	高齢者支援課	予算係長	梁瀬	晃
厚生労働省	老健局	老人保健課	介護保険データ分析室長	西嶋	康浩

## ② 開催状況

### <第1回>

- 日時：平成28年9月6日
- 場所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 中会議室
- 議題：
  - ・事業概要について
  - ・調査実施方法・調査票案の検討
  - ・その他

### <第2回>

- 日時：平成29年1月30日
- 場所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 中会議室
- 議題：
  - ・調査の進捗報告
  - ・単純集計結果（速報）の報告・検討について
  - ・その他

### <第3回>

- 日時：平成29年2月22日
- 場所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 1906 会議室
- 議題：
  - ・報告書素案について
  - ・介護給付費分科会提出資料について
  - ・その他

## (2) アンケート調査実施概要

### ① 調査票の構成

調査票は、施設全体の状況についてたずねる施設票と、死亡により施設を退所した入所者についてたずねる死亡者票、施設の入所者のうち、医療機関に入院した入所者についてたずねる入院者票の三部構成とした。

## ② 調査対象

対象は、介護老人福祉施設及び地域密着型介護老人福祉施設とし、無作為に抽出した3,000施設を対象とした。

施設票については3,000施設を対象に配付した。

死亡者票は、上記の施設のうち、1,000施設を対象に配付、調査対象は平成28年8月から9月の2か月間に亡くなった人全員とした。

入院者票は、上記の施設のうち、2,000施設（死亡者票を送付していない施設）を対象に配付、調査対象は平成28年7月に医療機関に入院した人全員とした。（入院前に施設の入所者でなかった人は対象には含まない。）

## ③ 調査期間

平成27年10月21日～平成27年11月11日

ただし、回収状況を勘案し、12月21日回収分までを有効票として取り扱った。

## ④ 主な調査項目

- ・職員体制： 配置医、看護職員、認定特定行為業務従事者、歯科衛生士等の医療職（および医行為実施者）の体制等
- ・新規入所者と退所者の状況： 施設における入所者数、入所理由、入所前の居場所、入所までに要した期間、退所者数、退所先内訳、死亡退所者、施設内死亡者、退所理由等
- ・外部連携： 外部医療機関、協力歯科医療機関との連携体制、連携上の課題等
- ・受療の状況： 往診、訪問診療、訪問歯科診療の状況、訪問看護の利用状況等
- ・入所者の状況： 疾患名、要介護度、認知症高齢者日常生活自立度等の属性、受けている医療的ケア（喀痰吸引、経管栄養、褥瘡処置等数項目）等
- ・医療提供体制： 入所者の医療処置対応（感染管理、認知症対応、摂食嚥下障害対応、褥瘡対応、がん末期対応、看取り期の医療対応等）、介護職員の喀痰吸引・経管栄養等実施状況、認定のための研修実施状況、介護職員による医行為実施に対する要望・課題等
- ・看取り： 施設内の看取りの実績、看取り計画の策定状況、看取り介護加算算定状況、配置医の看取りに対する意向や問題意識、看取り期における医療行為の実態と病院への搬送事由、死亡退所者と施設内死亡者との施設間の比較等

## 第2章 調査結果

### 第1節 回収結果

#### 1. 回収状況

施設票は、3,000 施設に発送、1,518 施設から回収し、回収率は 50.6%であった。

図表 2-1 回収状況

調査票名	母集団 (事業所)	発出数 (件)	回収数 (件)	回収率	有効 回収数 (件)	有効 回収率
施設票	9,594	3,000	1,518	50.6%	1,502	50.1%
入院者票	-	4,000	1,855	-	1,678	-
死亡者票	-	2,000	822	-	779	-

※死亡者票・入院者票は、施設ごとに対象数が異なり、確定できないため、回収率等は記載していない。

※施設票では、「白紙」「調査辞退」「期限遅れでの回収」を無効票とした。

※入院者票では、「調査対象期間（平成 28 年 7 月）以外に入院した者」、「基本属性のみの回答等、主な設問に無回答」について無効票とした。

※死亡票では、「調査対象期間（平成 28 年 8 月～9 月）以外に死亡した者」、「死亡場所が無回答等、主な設問に無回答」について無効票とした。

図表 2-2 施設票の対象別の回収状況の詳細

対象種類	母集団 (除被災地)	施設票の 発出数(件)	回収数(件)	回収率
介護老人福祉施設： 入院者票送付先	7,629 (7,405)	1,600	747	46.7%
介護老人福祉施設： 死亡者票送付先		800	413	51.6%
地域密着型介護老人福祉施設： 入院者票送付先	1,965 (1,852)	400	233	58.3%
地域密着型介護老人福祉施設： 死亡者票送付先		200	125	62.5%
小計	9,594	3,000	1,518	50.6%

## 第2節 介護老人福祉施設票の結果

### 1. 施設の基本情報

#### ① 所在地

施設の所在地別の有効回収率は以下の表のとおりであった。

図表 2-3 所在地 (n=1,502)

No.	都道府県	発送数	有効回収数	有効回収率	構成比
1	北海道	129	68	52.7%	4.5%
2	青森県	43	26	60.5%	1.7%
3	岩手県	35	25	71.4%	1.7%
4	宮城県	67	34	50.7%	2.3%
5	秋田県	45	25	55.6%	1.7%
6	山形県	48	22	45.8%	1.5%
7	福島県	53	22	41.5%	1.5%
8	茨城県	88	38	43.2%	2.5%
9	栃木県	65	29	44.6%	1.9%
10	群馬県	68	38	55.9%	2.5%
11	埼玉県	129	62	48.1%	4.1%
12	千葉県	136	71	52.2%	4.7%
13	東京都	163	85	52.1%	5.7%
14	神奈川県	135	56	41.5%	3.7%
15	新潟県	95	54	56.8%	3.6%
16	富山県	34	18	52.9%	1.2%
17	石川県	35	19	54.3%	1.3%
18	福井県	32	21	65.6%	1.4%
19	山梨県	32	19	59.4%	1.3%
20	長野県	69	33	47.8%	2.2%
21	岐阜県	54	31	57.4%	2.1%
22	静岡県	89	52	58.4%	3.5%
23	愛知県	116	57	49.1%	3.8%
24	三重県	61	37	60.7%	2.5%
25	滋賀県	34	14	41.2%	0.9%
26	京都府	61	32	52.5%	2.1%
27	大阪府	158	61	38.6%	4.1%
28	兵庫県	135	64	47.4%	4.3%
29	奈良県	33	15	45.5%	1.0%
30	和歌山県	35	19	54.3%	1.3%
31	鳥取県	16	7	43.8%	0.5%
32	島根県	36	21	58.3%	1.4%
33	岡山県	72	31	43.1%	2.1%
34	広島県	76	34	44.7%	2.3%
35	山口県	48	24	50.0%	1.6%

1 施設の基本情報

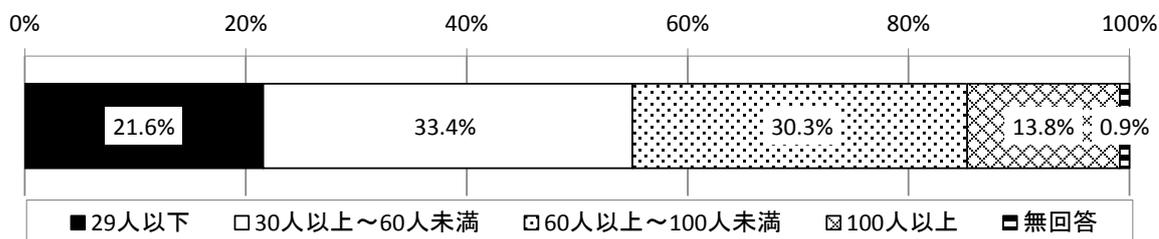
(続き)

No.	都道府県	発送数	有効回収数	有効回収率	構成比
36	徳島県	24	10	41.7%	0.7%
37	香川県	30	17	56.7%	1.1%
38	愛媛県	45	19	42.2%	1.3%
39	高知県	22	14	63.6%	0.9%
40	福岡県	124	68	54.8%	4.5%
41	佐賀県	21	8	38.1%	0.5%
42	長崎県	47	29	61.7%	1.9%
43	熊本県	0	0	-	0.0%
44	大分県	41	19	46.3%	1.3%
45	宮崎県	34	13	38.2%	0.9%
46	鹿児島県	64	29	45.3%	1.9%
47	沖縄県	23	12	52.2%	0.8%
	全体	3,000	1,502	50.1%	100.0%

② 入所定員

入所定員は、「30人以上～60人未満」が33.4%、「60人以上～100人未満」は30.3%、「29人以下」は21.6%であった。平均60.4人であった。

図表 2-4 入所定員 (n=1,502)



図表 2-5 入所定員

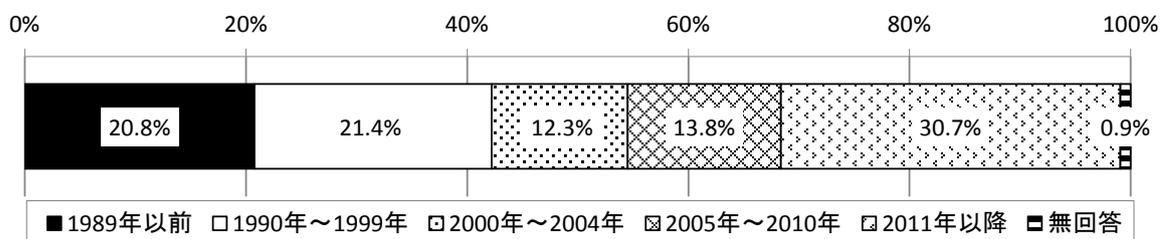
(単位：人)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
入所定員	1,489	60.4	29.9	50.0	220	10

③ 開設年

開設年は、「2011年以降」が30.7%、「1990年～1999年」は21.4%、「1989年以前」は20.8%であった。

図表 2-6 開設年 (n=1,502)

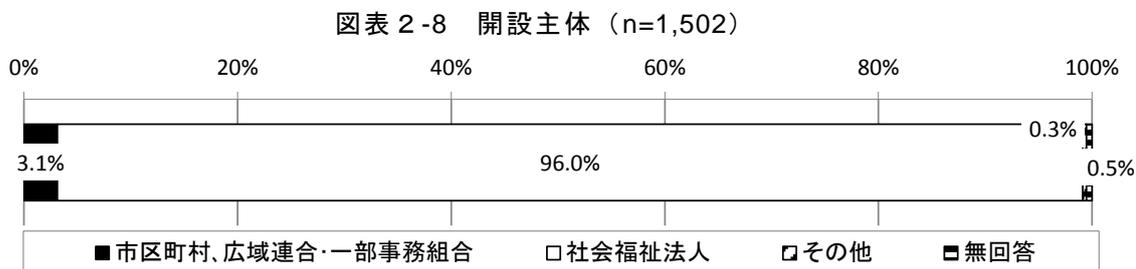


図表 2-7 入所定員別 開設年

	合計	1989年以前	1990年～1999年	2000年～2004年	2005年～2010年	2011年以降	無回答
全体	1,502 100.0%	312 20.8%	322 21.4%	185 12.3%	208 13.8%	461 30.7%	14 0.9%
29人以下	324 100.0%	4 1.2%	7 2.2%	7 2.2%	63 19.4%	240 74.1%	3 0.9%
30人以上～60人未満	502 100.0%	113 22.5%	165 32.9%	90 17.9%	53 10.6%	79 15.7%	2 0.4%
60人以上～100人未満	455 100.0%	107 23.5%	122 26.8%	66 14.5%	75 16.5%	81 17.8%	4 0.9%
100人以上	208 100.0%	85 40.9%	27 13.0%	20 9.6%	15 7.2%	56 26.9%	5 2.4%

④ 開設主体

開設主体は、「社会福祉法人」が 96.0%、「市区町村、広域連合・一部事務組合」は 3.1%であった。



図表 2-9 開設年別 開設主体

	合計	市区町村、 広域連合・ 一部事務 組合	社会福 祉法人	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	47 3.1%	1442 96.0%	5 0.3%	8 0.5%
1989 年以前	312 100.0%	24 7.7%	286 91.7%	1 0.3%	1 0.3%
1990 年～1999 年	322 100.0%	13 4.0%	308 95.7%	0 0.0%	1 0.3%
2000 年～2004 年	185 100.0%	4 2.2%	179 96.8%	0 0.0%	2 1.1%
2005 年～2010 年	208 100.0%	2 1.0%	204 98.1%	1 0.5%	1 0.5%
2011 年以降	461 100.0%	4 0.9%	453 98.3%	3 0.7%	1 0.2%

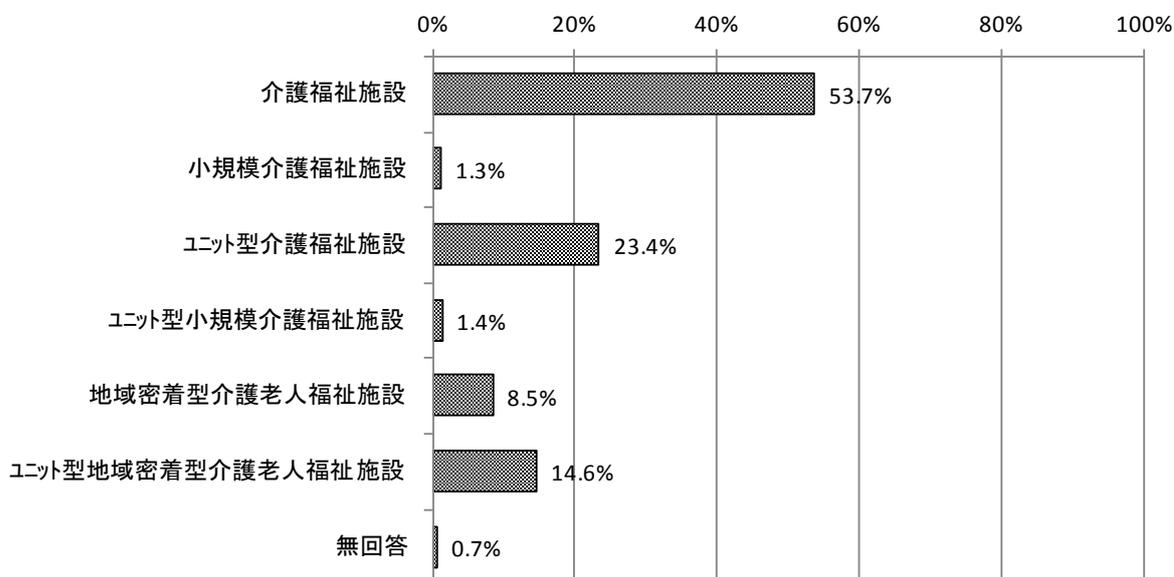
図表 2-10 入所定員別 開設主体

	合計	市区町村、 広域連合・ 一部事務 組合	社会福 祉法人	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	47 3.1%	1442 96.0%	5 0.3%	8 0.5%
29 人以下	324 100.0%	5 1.5%	318 98.1%	0 0.0%	1 0.3%
30 人以上～60 人未 満	502 100.0%	13 2.6%	486 96.8%	2 0.4%	1 0.2%
60 人以上～100 人 未満	455 100.0%	18 4.0%	431 94.7%	2 0.4%	4 0.9%
100 人以上	208 100.0%	11 5.3%	194 93.3%	1 0.5%	2 1.0%

⑤ 介護報酬上の届出

介護報酬上の届出は、「介護福祉施設」が 53.7%、「ユニット型介護福祉施設」は 23.4%、「ユニット型地域密着型介護老人福祉施設」は 14.6%であった。

図表 2-11 介護報酬上の届け出（複数回答）（n=1,502）



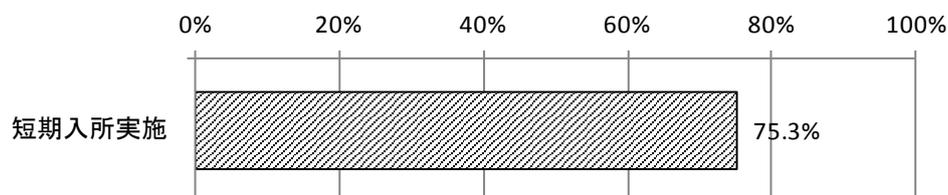
図表 2-12 入所定員別 介護報酬上の届け出（複数回答）

	合計	介護福祉施設	小規模介護福祉施設	ユニット型介護福祉施設	ユニット型小規模介護福祉施設	地域密着型介護老人福祉施設	ユニット型地域密着型介護老人福祉施設	無回答
全体	1,502 100.0%	806 53.7%	19 1.3%	352 23.4%	21 1.4%	128 8.5%	219 14.6%	10 0.7%
29人以下	324 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	113 34.9%	211 65.1%	4 1.2%
30人以上～60人未満	502 100.0%	352 70.1%	19 3.8%	107 21.3%	21 4.2%	4 0.8%	1 0.2%	3 0.6%
60人以上～100人未満	455 100.0%	306 67.3%	2 0.4%	157 34.5%	1 0.2%	9 2.0%	6 1.3%	1 0.2%
100人以上	208 100.0%	141 67.8%	0 0.0%	79 38.0%	0 0.0%	1 0.5%	1 0.5%	2 1.0%

⑥ 短期入所生活介護の有無・定員

短期入所生活介護の定員を設けて実施している施設（空床利用以外）は 1,131 施設（75.3%）であった。また、定員を設けている場合の短期入所生活介護の定員は平均 12.7 人であった。

図表 2-13 短期入所生活介護の定員の有無（n=1,502）



図表 2-14 （定員がある場合）短期入所生活介護の実施率、定員

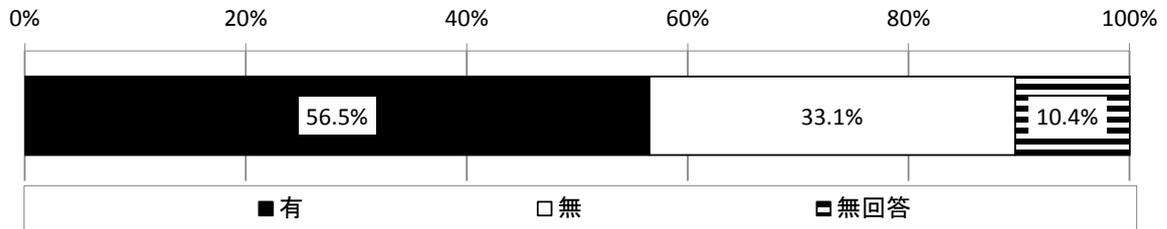
（単位：人）

	施設全体	定員のある施設件数	実施割合	定員平均値	標準偏差	中央値
全体	1,502	1,131	75.3%	12.7	6.6	10.0
29人以下	324	157	48.5%	10.9	5.5	10.0
30人以上～60人未満	502	413	82.3%	11.9	6.0	10.0
60人以上～100人未満	455	402	88.4%	13.3	7.0	10.0
100人以上	208	156	75.0%	15.5	7.4	16.0

⑦ 医務室の保険医療機関としての指定の有無

医務室の保険医療機関としての指定は、「有」が56.5%、「無」が33.1%であった。

図表 2-15 医務室の保険医療機関としての指定の有無 (n=1,502)



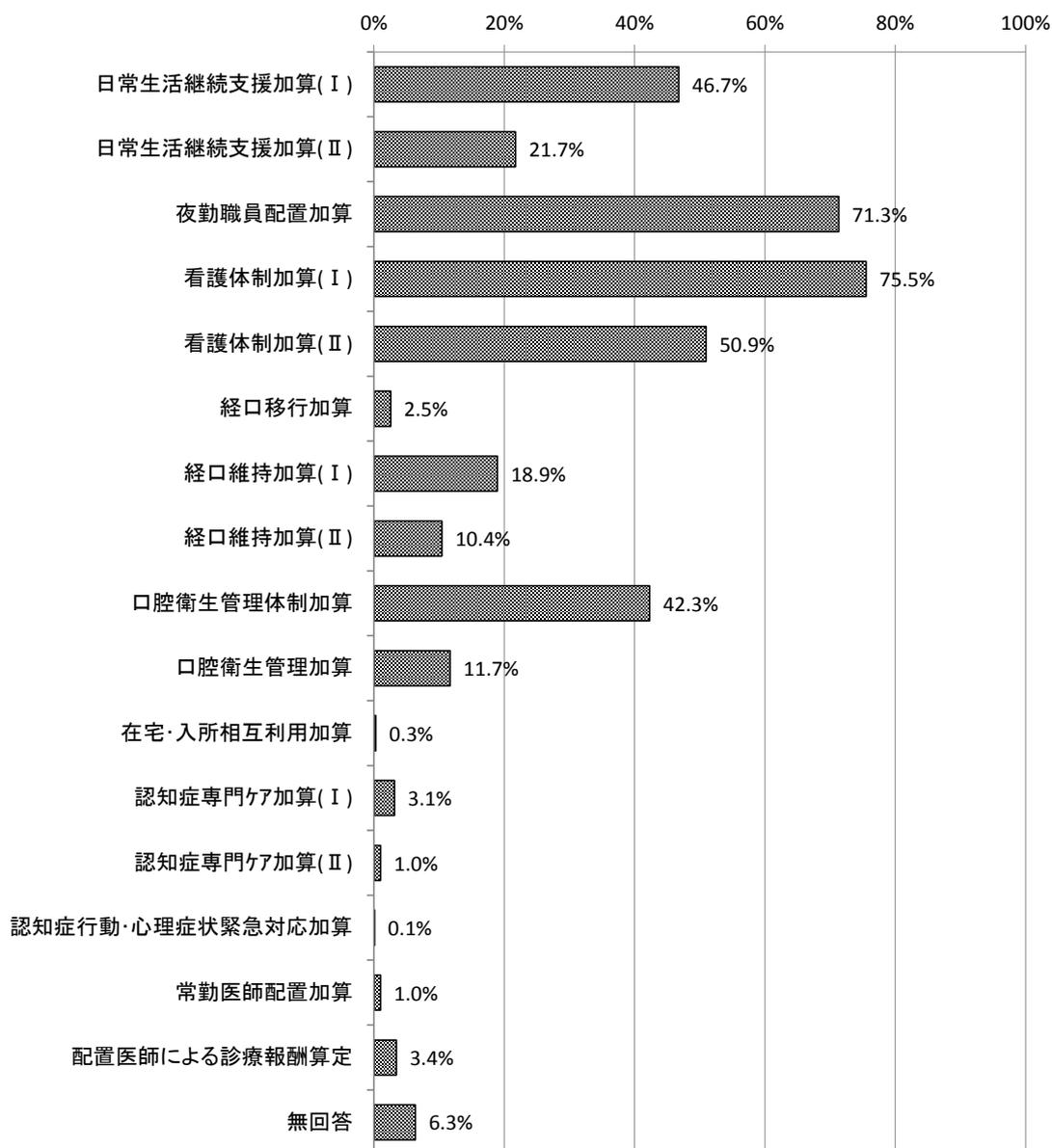
図表 2-16 入所定員別 医務室の保険医療機関としての指定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	849 56.5%	497 33.1%	156 10.4%
29人以下	324 100.0%	163 50.3%	122 37.7%	39 12.0%
30人以上～60人未満	502 100.0%	295 58.8%	155 30.9%	52 10.4%
60人以上～100人未満	455 100.0%	264 58.0%	149 32.7%	42 9.2%
100人以上	208 100.0%	122 58.7%	70 33.7%	16 7.7%

⑧ 加算等の算定状況（平成 28 年 10 月分）

加算の算定状況（平成 28 年 10 月分）は、「看護体制加算（Ⅰ）」が 75.5%、「夜勤職員配置加算」は 71.3%、「看護体制加算（Ⅱ）」は 50.9%であった。

図表 2-17 加算等の算定状況（複数回答）（n=1,502）



図表 2-18 入所定員別 加算等の算定状況

	合計	日常生活 継続 支援 加算 (Ⅰ)	日常生活 継続 支援 加算 (Ⅱ)	夜勤 職員 配置 加算	看護 体制 加算 (Ⅰ)	看護 体制 加算 (Ⅱ)	経口 移行 加算	経口 維持 加算 (Ⅰ)	経口 維持 加算 (Ⅱ)	口腔 衛生 管理 体制 加算
全体	1,502 100.0%	702 46.7%	326 21.7%	1,071 71.3%	1,134 75.5%	765 50.9%	38 2.5%	284 18.9%	156 10.4%	635 42.3%
29人以下	324 100.0%	62 19.1%	120 37.0%	163 50.3%	196 60.5%	135 41.7%	4 1.2%	35 10.8%	18 5.6%	93 28.7%
30人以上～ 60人未満	502 100.0%	285 56.8%	70 13.9%	358 71.3%	380 75.7%	252 50.2%	12 2.4%	99 19.7%	51 10.2%	199 39.6%
60人以上～ 100人未満	455 100.0%	236 51.9%	93 20.4%	362 79.6%	369 81.1%	253 55.6%	14 3.1%	95 20.9%	55 12.1%	210 46.2%
100人以上	208 100.0%	114 54.8%	37 17.8%	180 86.5%	180 86.5%	118 56.7%	8 3.8%	54 26.0%	32 15.4%	126 60.6%

	合計	口腔 衛生 管理 加算	在宅・ 入所 相互 利用 加算	認知 症専 門ケ 加算 (Ⅰ)	認知 症専 門ケ 加算 (Ⅱ)	認知 症行 動・心 理症 状緊 急対 応加 算	常勤 医師 配置 加算	配置 医師 によ る診 療報 酬算 定	無回 答
全体	1,502 100.0%	175 11.7%	4 0.3%	47 3.1%	15 1.0%	1 0.1%	15 1.0%	51 3.4%	95 6.3%
29人以下	324 100.0%	21 6.5%	1 0.3%	16 4.9%	6 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	7 2.2%	36 11.1%
30人以上～ 60人未満	502 100.0%	59 11.8%	1 0.2%	23 4.6%	7 1.4%	1 0.2%	3 0.6%	17 3.4%	32 6.4%
60人以上～ 100人未満	455 100.0%	59 13.0%	0 0.0%	5 1.1%	2 0.4%	0 0.0%	3 0.7%	20 4.4%	21 4.6%
100人以上	208 100.0%	34 16.3%	2 1.0%	3 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	9 4.3%	6 2.9%	5 2.4%

図表 2-19 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（「救急車を呼ぶ」と回答した施設のうち、「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設／それ以外）

別 加算等の算定状況

	合計	日常生活 継続 支援 加算 (I)	日常生活 継続 支援 加算 (II)	夜勤 職員 配置 加算	看護 体制 加算 (I)	看護 体制 加算 (II)	経口 移行 加算	経口 維持 加算 (I)	経口 維持 加算 (II)	口腔 衛生 管理 体制 加算
全体	1,502 100.0%	702 46.7%	326 21.7%	1,071 71.3%	1,134 75.5%	765 50.9%	38 2.5%	284 18.9%	156 10.4%	635 42.3%
「救急車を呼ぶ」のみ選択	241 100.0%	94 39.0%	43 17.8%	169 70.1%	188 78.0%	97 40.2%	4 1.7%	40 16.6%	23 9.5%	110 45.6%
上記以外	1,261 100.0%	608 48.2%	283 22.4%	902 71.5%	946 75.0%	668 53.0%	34 2.7%	244 19.3%	133 10.5%	525 41.6%

	合計	口腔 衛生 管理 加算	在宅・ 入所 相互 利用 加算	認知 症専 門ケ 加算 (I)	認知 症専 門ケ 加算 (II)	認知 症行 動・心 理症 状緊 急対 応加 算	常勤 医師 配置 加算	配置 医師 によ る診 療報 酬算 定	無回 答
全体	1,502 100.0%	175 11.7%	4 0.3%	47 3.1%	15 1.0%	1 0.1%	15 1.0%	51 3.4%	95 6.3%
「救急車を呼ぶ」のみ選択	241 100.0%	26 10.8%	2 0.8%	4 1.7%	3 1.2%	0 0.0%	1 0.4%	9 3.7%	18 7.5%
上記以外	1,261 100.0%	149 11.8%	2 0.2%	43 3.4%	12 1.0%	1 0.1%	14 1.1%	42 3.3%	77 6.1%

注) 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法は、p.30図表 2-55参照

## 2. 医療・介護の提供体制等

### (1) 医師や協力病院の体制

#### ① 常勤の医師

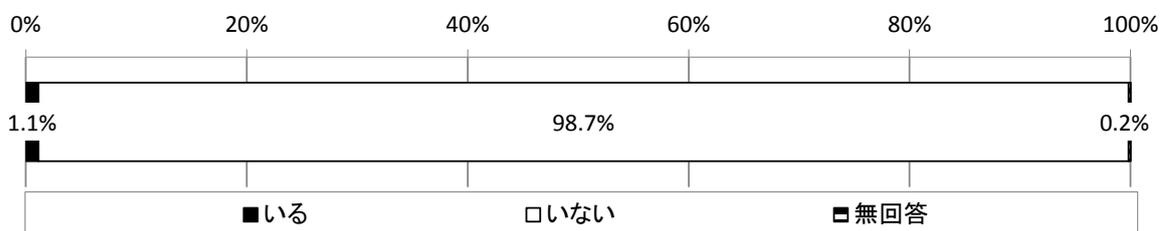
##### 1) 常勤の医師の有無

常勤の医師は、「いる」施設が 1.1%であった。

常勤医師がいる場合、常勤の医師の人数は全ての施設で 1 人であった。

常勤医師の年齢階級別人数は、「70 歳以上」が 47.1%、「60 代」が 23.5%、「40 代」が 17.6%であった。

図表 2-20 常勤の医師の有無 (n=1,502)



図表 2-21 (常勤医師がいる場合) 常勤の医師の人数

(単位：人)

	件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
常勤医師の人数	17	17	1.0	0.0	1.0

図表 2-22 常勤医師の年齢階級別人数 (全施設での合計)

常勤医師の年齢階級	人数	構成比
40 代	3	17.6%
50 代	2	11.8%
60 代	4	23.5%
70 歳以上	8	47.1%
合計	17	100.0%

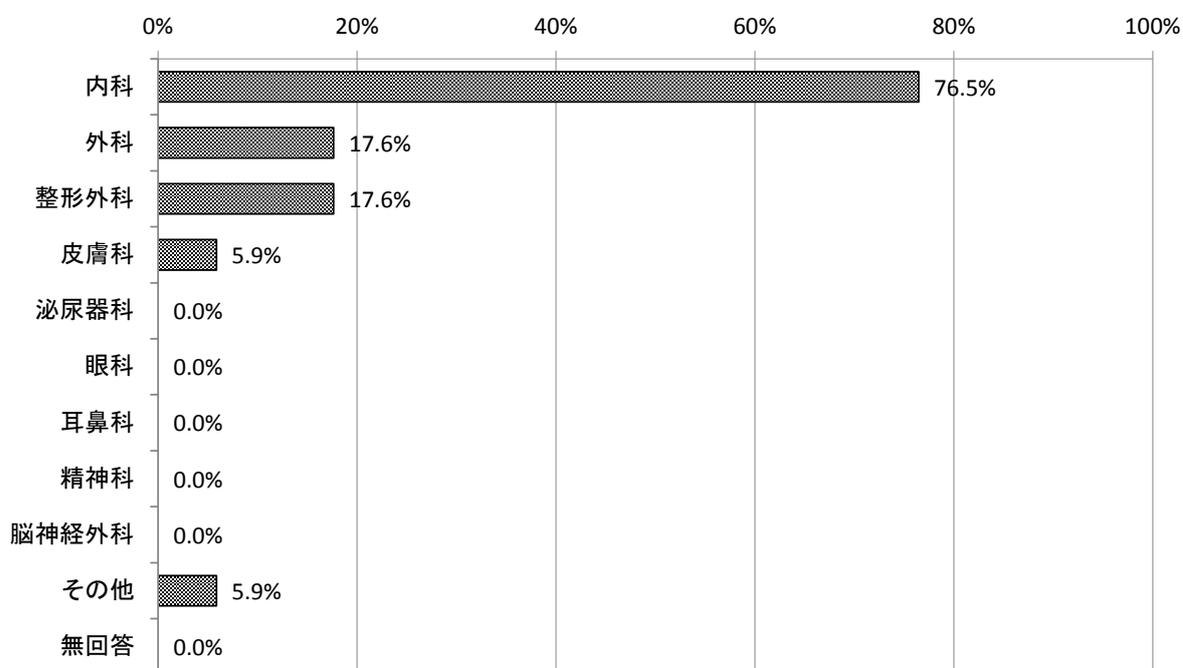
図表 2-23 入所定員別 常勤の医師の有無

	合計	いる	いない	無回答
全体	1,502 100.0%	17 1.1%	1482 98.7%	3 0.2%
29 人以下	324 100.0%	0 0.0%	323 99.7%	1 0.3%
30 人以上～60 人未満	502 100.0%	4 0.8%	496 98.8%	2 0.4%
60 人以上～100 人未満	455 100.0%	3 0.7%	452 99.3%	0 0.0%
100 人以上	208 100.0%	10 4.8%	198 95.2%	0 0.0%

2) 常勤医師の専門の診療科

配置している常勤医師の専門の診療科は、「内科」が13施設（76.5%）、「外科」、「整形外科」がそれぞれ3施設（17.6%）であった。

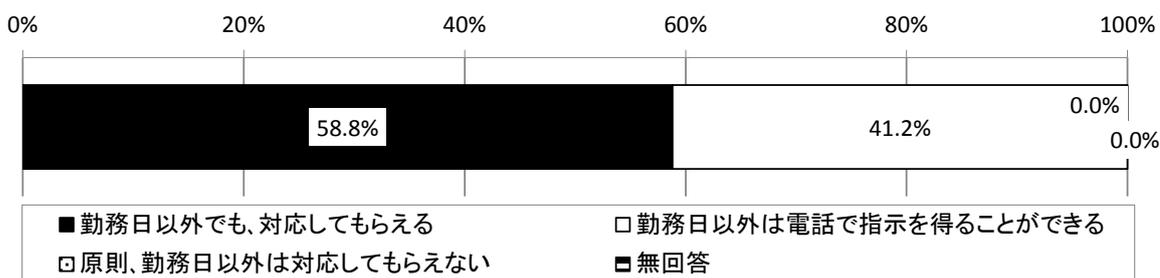
図表 2-24 常勤医師の専門の診療科（施設数ベース）（複数回答）（n=17）



3) 常勤医師の勤務日以外の対応

常勤医師の勤務日以外の対応は、「勤務日以外でも、対応してもらえる」が58.8%、「勤務日以外は電話で指示を得ることができる」は41.2%であった。

図表 2-25 医師の勤務日以外における対応（n=17）

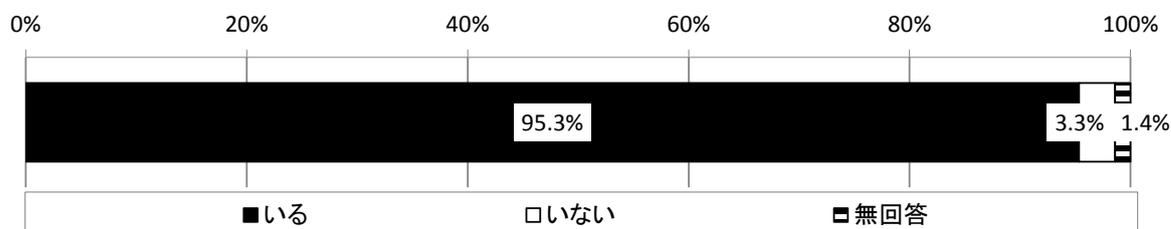


② 非常勤の配置医

1) 非常勤の配置医の有無

非常勤の配置医の有無は、「いる」が95.3%、「いない」が3.3%であった。

図表 2-26 非常勤の配置医の有無 (n=1,502)



図表 2-27 開設年別 非常勤の配置医の有無

	合計	いる	いない	無回答
全体	1,502 100.0%	1,432 95.3%	49 3.3%	21 1.4%
1989年以前	312 100.0%	301 96.5%	7 2.2%	4 1.3%
1990年～1999年	322 100.0%	313 97.2%	7 2.2%	2 0.6%
2000年～2004年	185 100.0%	175 94.6%	6 3.2%	4 2.2%
2005年～2010年	208 100.0%	193 92.8%	10 4.8%	5 2.4%
2011年以降	461 100.0%	438 95.0%	17 3.7%	6 1.3%

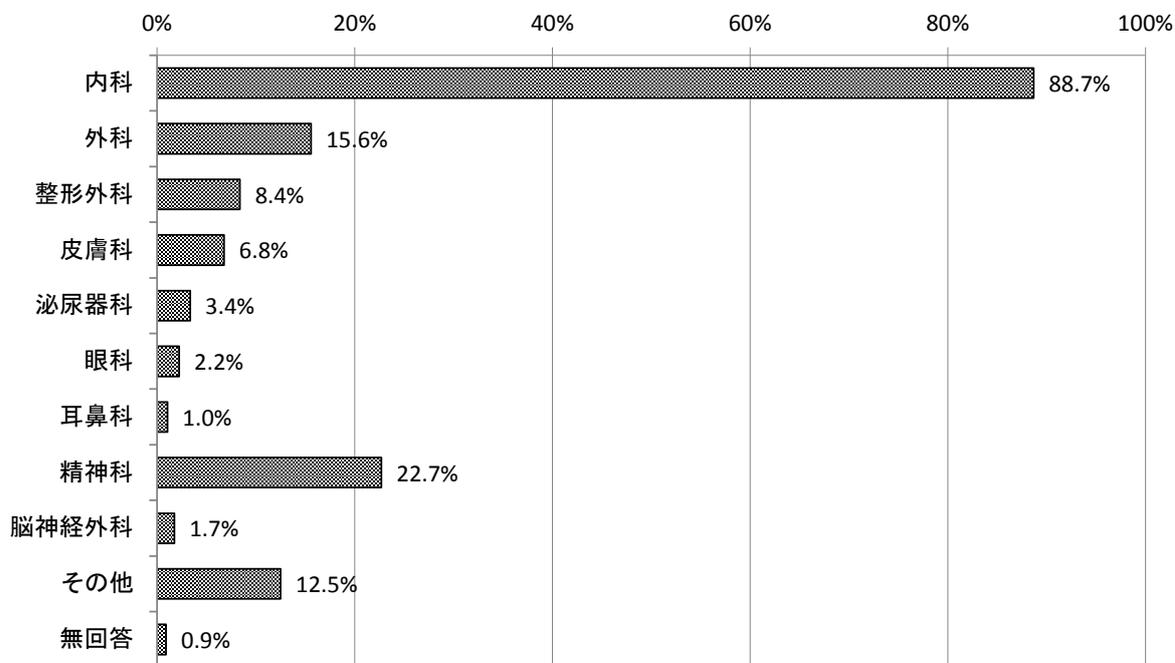
図表 2-28 入所定員別 非常勤の配置医の有無

	合計	いる	いない	無回答
全体	1,502 100.0%	1,432 95.3%	49 3.3%	21 1.4%
29人以下	324 100.0%	308 95.1%	12 3.7%	4 1.2%
30人以上～60人未満	502 100.0%	478 95.2%	17 3.4%	7 1.4%
60人以上～100人未満	455 100.0%	434 95.4%	15 3.3%	6 1.3%
100人以上	208 100.0%	202 97.1%	4 1.9%	2 1.0%

2) 非常勤の配置医の専門の診療科

非常勤の配置医の専門の診療科は、「内科」が 88.7%、「精神科」は 22.7%で、「外科」は 15.6%であった。

図表 2-29 (非常勤の配置医がいる場合) 非常勤の配置医の専門の診療科 (複数回答)  
(n=1,432)

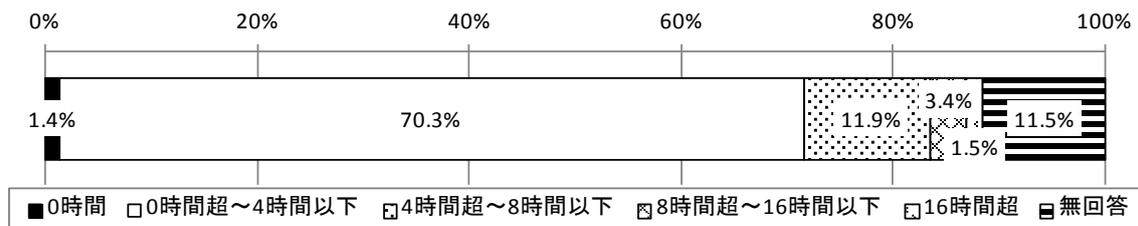


※「その他」の内容は、「歯科」「婦人科」「消化器科」「神経内科」「循環器科」などであった。

### 3) 非常勤の配置医の平均的な1週間の勤務時間

非常勤の配置医がいる場合、非常勤の配置医の平均的な1週間の勤務時間は、「0時間超～4時間以下」が70.3%、「4時間超～8時間以下」は11.9%、「8時間超～16時間以下」は3.4%であった。非常勤の配置医の平均的な1週間の勤務時間の平均値は3.6時間であった。

図表 2-30 (非常勤の配置医がいる場合) 非常勤の配置医の平均的な1週間における勤務時間 (n=1,432)



注) 複数の配置医がいる場合は、それらの合計時間である

図表 2-31 非常勤の配置医の平均的な1週間における勤務時間

(単位：時間)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
非常勤の配置医の1週間の勤務時間 (合計時間)	1,267	3.6	4.7	2.0

図表 2-32 入所定員別 非常勤の配置医の平均的な1週間における勤務時間

	合計	0時間	0時間超～4時間以下	4時間超～8時間以下	8時間超～16時間以下	16時間以上	無回答
全体	1,432 100.0%	20 1.4%	1,007 70.3%	170 11.9%	49 3.4%	21 1.5%	165 11.5%
29人以下	308 100.0%	7 2.3%	244 79.2%	15 4.9%	3 1.0%	0 0.0%	39 12.7%
30人以上～60人未満	478 100.0%	8 1.7%	352 73.6%	51 10.7%	13 2.7%	5 1.0%	49 10.3%
60人以上～100人未満	434 100.0%	4 0.9%	296 68.2%	70 16.1%	15 3.5%	3 0.7%	46 10.6%
100人以上	202 100.0%	1 0.5%	106 52.5%	34 16.8%	18 8.9%	13 6.4%	30 14.9%

図表 2-33 施設の看取りの方針別 非常勤の配置医の平均的な1週間における勤務時間

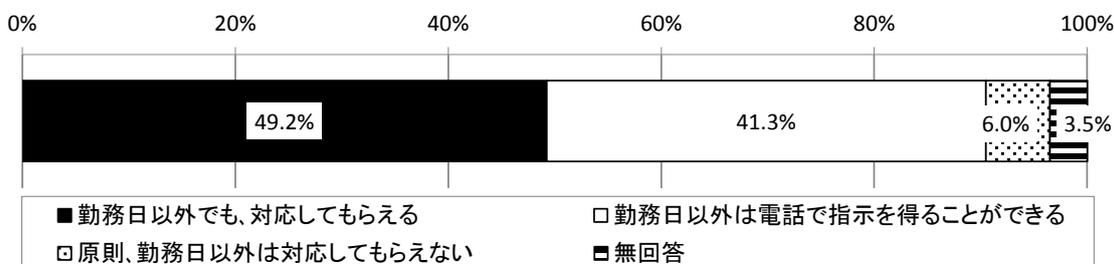
	合計	0時間	0時間超～4時間以下	4時間超～8時間以下	8時間超～16時間以下	16時間以上	無回答
全体	1,432 100.0%	20 1.4%	1,007 70.3%	170 11.9%	49 3.4%	21 1.5%	165 11.5%
希望があれば、施設内で看取る	1,116 100.0%	12 1.1%	790 70.8%	139 12.5%	44 3.9%	17 1.5%	114 10.2%
原則、病院等に移す	236 100.0%	6 2.5%	163 69.1%	22 9.3%	4 1.7%	2 0.8%	39 16.5%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

4) 非常勤の配置医の勤務日以外の対応

非常勤の配置医がいる場合、非常勤の配置医による勤務日以外の対応は、「勤務日以外でも、必要な時には、一般に対応してもらえる」が49.2%、「勤務日以外は電話で指示を得ることができる」は41.3%であった。

図表 2-34 (非常勤の配置医がいる場合) 非常勤の配置医による勤務日以外の対応 (n=1,432)



図表 2-35 (非常勤の配置医がいる場合) 入所定員別 非常勤の配置医による勤務日以外の対応

	合計	勤務日以外でも、必要な時には一般に対応してもらえる	勤務日以外は電話で指示を得ることができる	原則、勤務日以外は対応してもらえない	無回答
全体	1,432 100.0%	704 49.2%	591 41.3%	87 6.1%	50 3.5%
29人以下	308 100.0%	163 52.9%	123 39.9%	17 5.5%	5 1.6%
30人以上～60人未満	478 100.0%	234 49.0%	206 43.1%	23 4.8%	15 3.1%
60人以上～100人未満	434 100.0%	219 50.5%	170 39.2%	29 6.7%	16 3.7%
100人以上	202 100.0%	81 40.1%	89 44.1%	18 8.9%	14 6.9%

図表 2-36 施設の看取りの方針別 非常勤の配置医による勤務日以外の対応

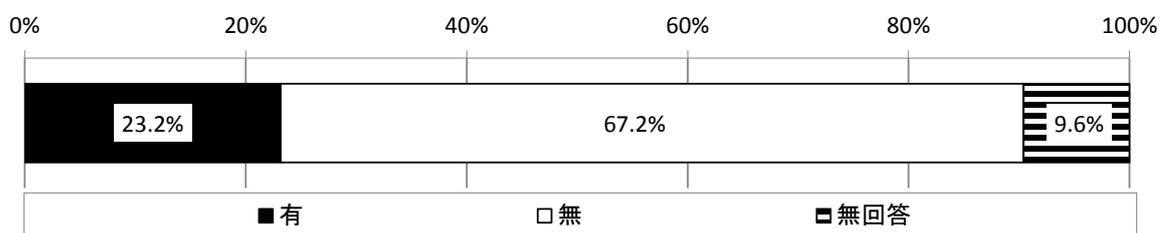
	合計	勤務日 以外で も、対応 しても らえる	勤務日 以外は 電話で 指示を 得ること ができる	原則、勤 務日以 外は対 応して もらえ ない	無回答
全体	1,432 100.0%	704 49.2%	591 41.3%	87 6.1%	50 3.5%
希望があれば、施 設内で看取る	1,116 100.0%	593 53.1%	435 39.0%	56 5.0%	32 2.9%
原則、病院等に移 す	236 100.0%	73 30.9%	126 53.4%	26 11.0%	11 4.7%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

### ③ 在宅療養支援診療所・病院との連携体制

在宅療養支援診療所・病院との連携体制は、「有」が 23.2%であった。「有」の場合、在宅療養支援診療所・病院からの往診・訪問診療の回数は平均 5.6 回であった。

図表 2-37 在宅療養支援診療所・病院との連携体制 (n=1,502)



図表 2-38 入所規模別

在宅療養支援診療所・病院からの往診・訪問診療の実績 (平成 28 年 10 月分)

(単位: 回)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
全体	288	5.6	4.2	4.0
29 人以下	81	4.0	2.3	4.0
30 人以上～60 人未満	82	6.2	5.1	4.0
60 人以上～100 人未満	78	5.8	4.1	4.0
100 人以上	41	7.0	5.0	6.0

図表 2-39 入所定員別 在宅療養支援診療所・病院との連携体制

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	348 23.2%	1,010 67.2%	144 9.6%
29人以下	324 100.0%	89 27.5%	209 64.5%	26 8.0%
30人以上～60人未 満	502 100.0%	97 19.3%	357 71.1%	48 9.6%
60人以上～100人 未満	455 100.0%	106 23.3%	313 68.8%	36 7.9%
100人以上	208 100.0%	50 24.0%	127 61.1%	31 14.9%

図表 2-40 施設の看取りの方針別 在宅療養支援診療所・病院との連携体制

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	348 23.2%	1,010 67.2%	144 9.6%
希望があれば、施 設内で看取る	1,171 100.0%	268 22.9%	792 67.6%	111 9.5%
原則、病院等に移 す	245 100.0%	59 24.1%	165 67.3%	21 8.6%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

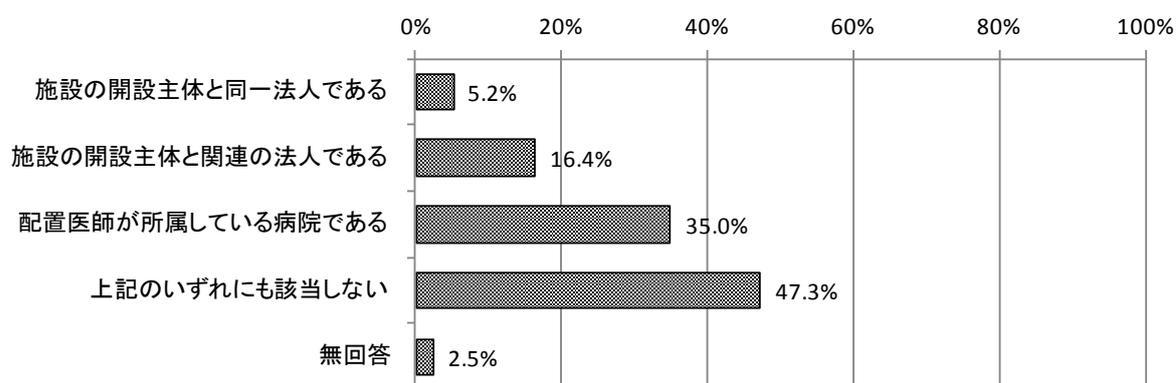
④ 協力病院

1) 協力病院の体制

協力病院の体制は、「配置医師が所属している病院である」が 35.0%、「施設の開設主体と関連の法人である」は 16.4%で、「施設の開設主体と同一法人である」は 5.2%であった。

同一法人、関連法人、配置医師が所属している病院の「いずれにも該当しない」が 47.3%であった。

図表 2-41 協力病院の体制（複数回答）（n=1,502）



図表 2-42 施設の看取りの方針別 協力病院の体制

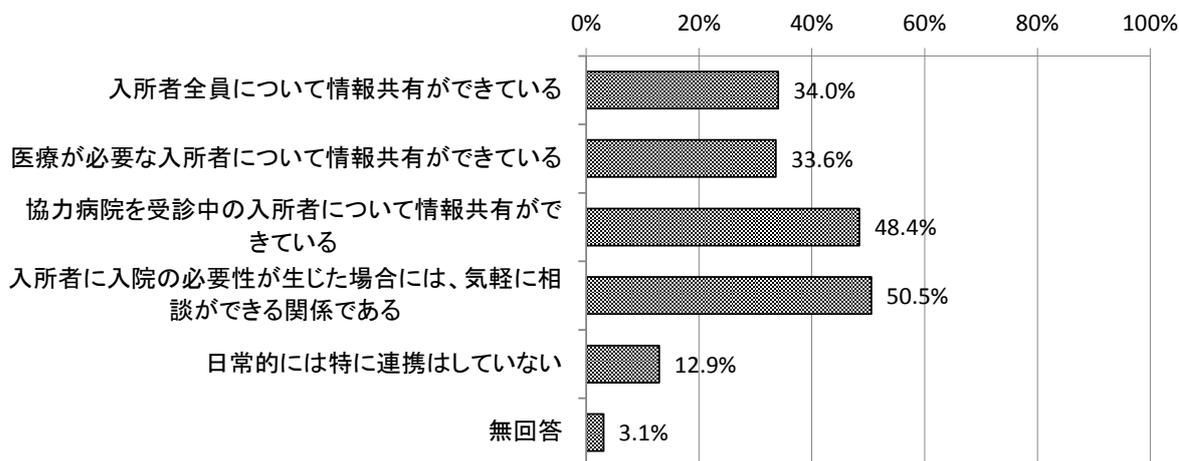
	合計	施設の開設主体と同一法人である	施設の開設主体と関連の法人である	配置医師が所属している病院である	上記のいずれにも該当しない	無回答
全体	1,502 100.0%	78 5.2%	246 16.4%	525 35.0%	710 47.3%	38 2.5%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	60 5.1%	189 16.1%	382 32.6%	585 50.0%	27 2.3%
原則、病院等に移す	245 100.0%	13 5.3%	39 15.9%	109 44.5%	94 38.4%	6 2.4%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

2) 協力病院との連携状況

協力病院との連携状況は、「入所者に入院の必要性が生じた場合には、気軽に相談ができる関係である」は 50.5%、「協力病院を受診中の入所者について情報共有できている」が 48.4%、「入所者全員について情報共有ができていない」は 34.0%であった。

図表 2-43 協力病院との連携状況（複数回答）（n=1,502）



図表 2-44 施設の看取りの方針別 協力病院との連携状況

	合計	入所者全員について情報共有ができていない	医療が必要な入所者について情報共有ができていない	協力病院を受診中の入所者について情報共有ができていない	入院の必要性が生じた場合、気軽に相談できる	日常的には特に連携はしていない	無回答
全体	1,502 100.0%	511 34.0%	505 33.6%	727 48.4%	759 50.5%	194 12.9%	46 3.1%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	370 31.6%	390 33.3%	573 48.9%	585 50.0%	170 14.5%	32 2.7%
原則、病院等に移す	245 100.0%	109 44.5%	82 33.5%	113 46.1%	130 53.1%	18 7.3%	8 3.3%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

図表 2 -45 協力病院による施設内看取りに対する支援別 協力病院との連携状況

	合計	入所者 全員に ついて 情報共 有がで きてい る	医療が 必要な 入所者 につい て情報 共有が できて いる	協力病 院を受 診中の 入所者 につい て情報 共有が できて いる	入院の 必要性 が生じ た場合、 気軽に 相談で きる	日常的 には特 に連携 はして いない	無回答
全体	1,502 100.0%	511 34.0%	505 33.6%	727 48.4%	759 50.5%	194 12.9%	46 3.1%
積極的である	484 100.0%	244 50.4%	210 43.4%	260 53.7%	280 57.9%	24 5.0%	12 2.5%
特に支援はない	889 100.0%	220 24.7%	247 27.8%	411 46.2%	416 46.8%	161 18.1%	26 2.9%

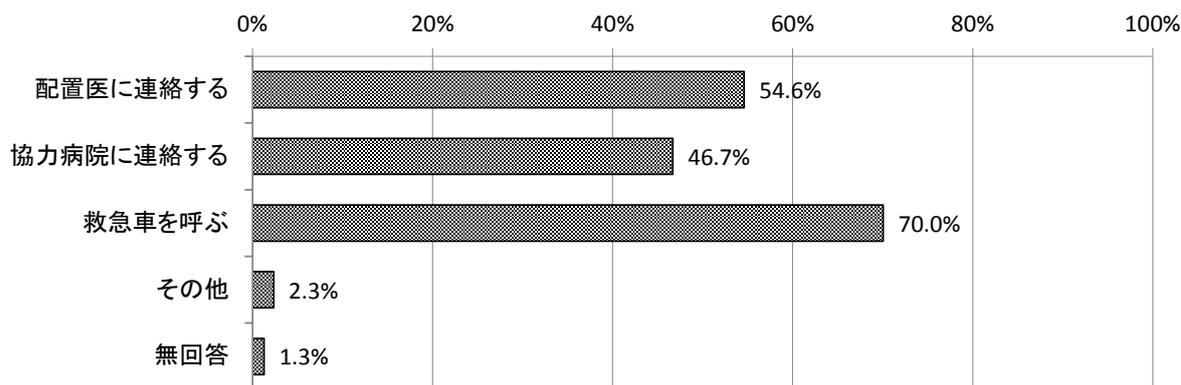
注) 協力病院による施設内看取りに対する支援は、p.185図表 2 -338参照

⑤ 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法

入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法は、「救急車を呼ぶ」が 70.0%、「配置医に連絡する」は 54.6%で、「協力病院に連絡する」は 46.7%であった。

注) 本設問は複数回答である。「救急車を呼ぶ」と回答した施設のうち、「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設については、p.30 参照のこと

図表 2-46 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（複数回答）（n=1,502）



合計	配置医に連絡する	協力病院に連絡する	救急車を呼ぶ	その他	無回答
1,502	820	701	1,052	35	19
100.0%	54.6%	46.7%	70.0%	2.3%	1.3%

※「その他」の内容は、「看護師へ連絡」「救急病院へ行く」「嘱託医へ連絡」などであった。

図表 2-47 非常勤の配置医の勤務日以外の対応別

入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法

	合計	配置医に連絡する	協力病院に連絡する	救急車を呼ぶ	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	820 54.6%	701 46.7%	1,052 70.0%	35 2.3%	19 1.3%
勤務日以外でも、対応してもらえる	704 100.0%	451 64.1%	322 45.7%	447 63.5%	14 2.0%	6 0.9%
勤務日以外は電話で指示を得ることができる	591 100.0%	316 53.5%	276 46.7%	462 78.2%	9 1.5%	2 0.3%
原則、勤務日以外は対応してもらえない	87 100.0%	9 10.3%	47 54.0%	71 81.6%	7 8.0%	0 0.0%

図表 2-48 配置医の勤務時間別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法

	合計	配置医 に連絡 する	協力病 院に連 絡する	救急車 を呼ぶ	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	820 54.6%	701 46.7%	1,052 70.0%	35 2.3%	19 1.3%
0時間	20 100.0%	8 40.0%	7 35.0%	15 75.0%	2 10.0%	0 0.0%
0時間超～4時間以下	1007 100.0%	557 55.3%	462 45.9%	717 71.2%	24 2.4%	5 0.5%
4時間超～8時間以下	170 100.0%	93 54.7%	92 54.1%	114 67.1%	2 1.2%	2 1.2%
8時間超～16時間以下	49 100.0%	28 57.1%	25 51.0%	34 69.4%	0 0.0%	0 0.0%
16時間以上	21 100.0%	15 71.4%	11 52.4%	10 47.6%	1 4.8%	0 0.0%

図表 2-49 看護体制加算（Ⅱ）算定の有無別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法

	合計	配置医 に連絡 する	協力病 院に連 絡する	救急車 を呼ぶ	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	820 54.6%	701 46.7%	1,052 70.0%	35 2.3%	19 1.3%
算定あり	765 100.0%	442 57.8%	392 51.2%	539 70.5%	18 2.4%	8 1.0%
算定なし	737 100.0%	378 51.3%	309 41.9%	513 69.6%	17 2.3%	11 1.5%

図表 2-50 看護職員の基本的な夜勤体制別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法

	合計	配置医 に連絡 する	協力病 院に連 絡する	救急車 を呼ぶ	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	820 54.6%	701 46.7%	1,052 70.0%	35 2.3%	19 1.3%
原則、夜勤職員には看護 職員が含まれる	25 100.0%	11 44.0%	14 56.0%	18 72.0%	0 0.0%	0 0.0%
原則、看護職員は当直す る	20 100.0%	10 50.0%	8 40.0%	10 50.0%	1 5.0%	1 5.0%
介護職員を含めたローテー ションによる	44 100.0%	24 54.5%	21 47.7%	30 68.2%	1 2.3%	0 0.0%
原則、看護職員の夜勤・ 当直はない	1,352 100.0%	742 54.9%	641 47.4%	953 70.5%	32 2.4%	16 1.2%
その他	56 100.0%	32 57.1%	17 30.4%	38 67.9%	1 1.8%	1 1.8%

注) 看護職員の基本的な夜勤体制は、p.48図表 2-83参照

図表 2-51 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別

## 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法

	合計	配置医 に連絡 する	協力病 院に連 絡する	救急車 を呼ぶ	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	820 54.6%	701 46.7%	1,052 70.0%	35 2.3%	19 1.3%
原則、夜勤職員には1人 以上含まれる	372 100.0%	227 61.0%	167 44.9%	248 66.7%	5 1.3%	2 0.5%
原則、1人以上が当直す る	23 100.0%	10 43.5%	16 69.6%	17 73.9%	0 0.0%	0 0.0%
ローテーションによりいないこ ともある	673 100.0%	370 55.0%	312 46.4%	465 69.1%	19 2.8%	6 0.9%
原則、夜勤・当直はない	83 100.0%	42 50.6%	35 42.2%	66 79.5%	2 2.4%	1 1.2%

注) 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制は、p.85図表 2-159参照

図表 2-52 施設の看取りの方針別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法

	合計	配置医 に連絡 する	協力病 院に連 絡する	救急車 を呼ぶ	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	820 54.6%	701 46.7%	1052 70.0%	35 2.3%	19 1.3%
希望があれば、施 設内で看取る	1,171 100.0%	721 61.6%	512 43.7%	800 68.3%	30 2.6%	12 1.0%
原則、病院等に移 す	245 100.0%	67 27.3%	146 59.6%	191 78.0%	3 1.2%	2 0.8%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

図表 2-53 配置医の施設内看取りに対する意向別

## 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法

	合計	配置医 に連絡 する	協力病 院に連 絡する	救急車 を呼ぶ	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	820 54.6%	701 46.7%	1,052 70.0%	35 2.3%	19 1.3%
積極的である	740 100.0%	493 66.6%	319 43.1%	485 65.5%	15 2.0%	4 0.5%
積極的か消極的かどち らともいえない	470 100.0%	219 46.6%	230 48.9%	362 77.0%	12 2.6%	5 1.1%
どちらかといえば消極 的である	160 100.0%	47 29.4%	86 53.8%	118 73.8%	1 0.6%	3 1.9%
その他	47 100.0%	24 51.1%	27 57.4%	29 61.7%	2 4.3%	1 2.1%

注) 配置医の施設内看取りに対する意向は、p.163図表 2-295参照

図表 2 -54 協力病院による施設内看取りに対する支援別

入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法

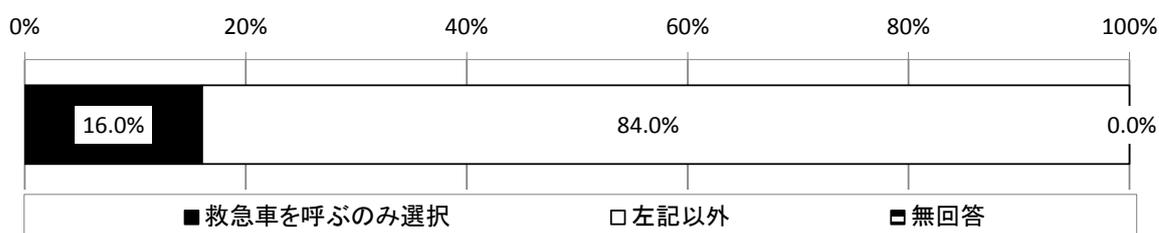
	合計	配置医 に連絡 する	協力病 院に連 絡する	救急車 を呼ぶ	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	820 54.6%	701 46.7%	1,052 70.0%	35 2.3%	19 1.3%
積極的である	484 100.0%	242 50.0%	269 55.6%	312 64.5%	12 2.5%	8 1.7%
特に支援はない	889 100.0%	517 58.2%	367 41.3%	649 73.0%	19 2.1%	7 0.8%

注) 協力病院による施設内看取りに対する支援は、p.185図表 2 -338参照

1) 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（複数回答）にて、「救急車を呼ぶ」と回答した施設のうち、「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設

入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（複数回答）の設問にて、「救急車を呼ぶ」と回答した 1,052 施設であった。そのうち、「救急車を呼ぶのみ選択（「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設）」は 241 施設で、全体の 16.0%であった。

図表 2-55 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（「救急車を呼ぶ」と回答した施設のうち、「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設）（n=1,502）



図表 2-56 配置医の平均的な 1 週間における医師の勤務時間別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（「救急車を呼ぶ」と回答した施設のうち、「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設）

	合計	救急車を呼ぶのみ選択	左記以外
全体	1,502 100.0%	241 16.0%	1,261 84.0%
0 時間	20 100.0%	6 30.0%	14 70.0%
0 時間超～4 時間以下	1,007 100.0%	165 16.4%	842 83.6%
4 時間超～8 時間以下	170 100.0%	20 11.8%	150 88.2%
8 時間超～16 時間以下	49 100.0%	7 14.3%	42 85.7%
16 時間以上	21 100.0%	1 4.8%	20 95.2%

図表 2-57 非常勤の配置医の勤務日以外の対応別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（「救急車を呼ぶ」と回答した施設のうち、「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設）

	合計	救急車を呼ぶのみ選択	左記以外
全体	1,502 100.0%	241 16.0%	1,261 84.0%
勤務日以外でも、対応してもらえる	704 100.0%	67 9.5%	637 90.5%
勤務日以外は電話で指示を得ることができる	591 100.0%	118 20.0%	473 80.0%
原則、勤務日以外は対応してもらえない	87 100.0%	33 37.9%	54 62.1%

図表 2-58 看護職員の基本的な夜勤体制別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（「救急車を呼ぶ」と回答した施設のうち、「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設）

	合計	救急車を呼ぶのみ選択	左記以外
全体	1,502 100.0%	241 16.0%	1,261 84.0%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	4 16.0%	21 84.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	3 15.0%	17 85.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	8 18.2%	36 81.8%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1,352 100.0%	212 15.7%	1,140 84.3%
その他	56 100.0%	11 19.6%	45 80.4%

注) 看護職員の基本的な夜勤体制は、p.48図表 2-83参照

図表 2-59 看護職員に関する加算別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（「救急車を呼ぶ」と回答した施設のうち、「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設）

		合計	救急車を呼ぶのみ選択	左記以外
全体		1,502 100.0%	241 16.0%	1,261 84.0%
夜勤職員配置加算	算定あり	1,071 100.0%	169 15.8%	902 84.2%
	算定なし	336 100.0%	54 16.1%	282 83.9%
看護体制加算（Ⅰ）	算定あり	1,134 100.0%	188 16.6%	946 83.4%
	算定なし	273 100.0%	35 12.8%	238 87.2%
看護体制加算（Ⅱ）	算定あり	765 100.0%	97 12.7%	668 87.3%
	算定なし	642 100.0%	126 19.6%	516 80.4%

図表 2-60 施設の看取りの方針別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（「救急車を呼ぶ」と回答した施設のうち、「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設）

	合計	救急車を呼ぶのみ選択	左記以外
全体	1,502 100.0%	241 16.0%	1,261 84.0%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	164 14.0%	1,007 86.0%
原則、病院等に移す	245 100.0%	60 24.5%	185 75.5%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

図表 2-61 施設長の施設内看取りに対する意向別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（「救急車を呼ぶ」と回答した施設のうち、「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設）

	合計	救急車を呼ぶのみ選択	左記以外
全体	1,502 100.0%	241 16.0%	1,261 84.0%
積極的である	957 100.0%	131 13.7%	826 86.3%
積極的か消極的かどちらともいえない	322 100.0%	65 20.2%	257 79.8%
どちらかといえば消極的である	78 100.0%	19 24.4%	59 75.6%
その他	56 100.0%	8 14.3%	48 85.7%

注) 施設長の施設内看取りに対する意向は、p.163図表 2-295参照

図表 2-62 配置医の施設内看取りに対する意向別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（「救急車を呼ぶ」と回答した施設のうち、「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設）

	合計	救急車を呼ぶのみ選択	左記以外
全体	1,502 100.0%	241 16.0%	1,261 84.0%
積極的である	740 100.0%	87 11.8%	653 88.2%
積極的か消極的かどちらともいえない	470 100.0%	89 18.9%	381 81.1%
どちらかといえば消極的である	160 100.0%	43 26.9%	117 73.1%
その他	47 100.0%	2 4.3%	45 95.7%

注) 配置医の施設内看取りに対する意向は、p.163図表 2-295参照

図表 2-63 協力病院による施設内看取りに対する支援別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法（「救急車を呼ぶ」と回答した施設のうち、「配置医に連絡する」「協力病院に連絡する」のいずれも回答しなかった施設）

	合計	救急車を呼ぶのみ選択	左記以外
全体	1,502 100.0%	241 16.0%	1,261 84.0%
積極的である	484 100.0%	60 12.4%	424 87.6%
特に支援はない	889 100.0%	158 17.8%	731 82.2%

注) 協力病院による施設内看取りに対する支援は、p.185図表 2-338参照

(2) その他の職員体制

① 職員数：常勤換算数

職員数（常勤換算数）について、「歯科医師」は平均 0.0 人、「看護師」は平均は 2.1 人、「准看護師」は平均 1.7 人、「介護職員」は平均 28.7 人、「管理栄養士・栄養士」は平均 1.1 人、「機能訓練指導員」は平均 0.6 人、「歯科衛生士」は平均 0.0 人、「介護支援専門員」は平均 1.2 人であった。

図表 2-64 職員数（常勤換算数）（n=1,299）

（単位：人）

	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	0.0	0.0	0.0
看護師	2.1	1.5	2.0
准看護師	1.7	1.3	1.5
（再掲）看護師+准看護師（看護職員）	3.8	1.7	3.8
介護職員	28.7	14.3	25.6
うち、介護福祉士	16.5	10.9	15.0
管理栄養士・栄養士	1.1	0.7	1.0
機能訓練指導員	0.6	0.7	0.5
うち、理学療法士	0.1	0.4	0.0
うち、作業療法士	0.1	0.3	0.0
うち、言語聴覚士	0.0	0.1	0.0
歯科衛生士	0.0	0.2	0.0
介護支援専門員	1.2	0.9	1.0

図表 2-65 入所定員別 平均職員数（常勤換算数）

（単位：人）

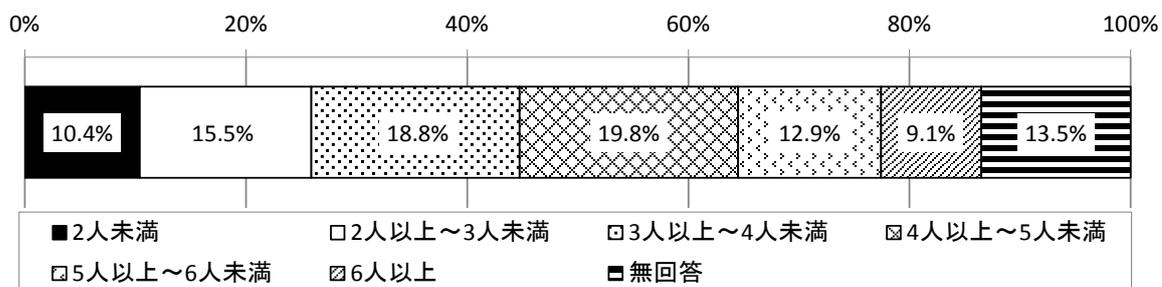
	全体	入所定員			
		29人以下 (n=270)	30人以上 60人未満 (n=431)	60人以上 100人未満 (n=398)	100人以上 (n=189)
歯科医師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師	2.1	1.1	1.7	2.6	3.5
准看護師	1.7	0.8	1.6	2.0	2.2
（再掲）看護師+准看護師（看護職員）	3.8	2.0	3.4	4.7	5.7
介護職員	28.7	15.4	21.9	34.8	50.6
うち、介護福祉士	16.5	8.1	13.2	20.0	28.5
管理栄養士・栄養士	1.1	0.7	1.0	1.2	1.5
機能訓練指導員	0.6	0.4	0.5	0.7	1.1
うち、理学療法士	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3
うち、作業療法士	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2
うち、言語聴覚士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歯科衛生士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
介護支援専門員	1.2	0.9	1.0	1.3	1.9

1) 看護職員

看護職員数（常勤換算数）は、「4人以上～5人未満」が19.8%、「3人以上～4人未満」は18.8%で、「2人以上～3人未満」は15.5%であった。

また、入所定員100人あたりの看護職員数（常勤換算数）は、「4人以上～6人未満」が30.3%、「6人以上～8人未満」が28.0%、「8人以上」が20.5%であった。

図表 2-66 看護職員数（常勤換算数）（n=1,502）



図表 2-67 入所定員別 看護職員数（常勤換算数）

	合計	2人未満	2人以上～3人未満	3人以上～4人未満	4人以上～5人未満	5人以上～6人未満	6人以上	無回答
全体	1,502 100.0%	156 10.4%	233 15.5%	283 18.8%	297 19.8%	194 12.9%	136 9.1%	203 13.5%
29人以下	324 100.0%	128 39.5%	100 30.9%	31 9.6%	5 1.5%	6 1.9%	0 0.0%	54 16.7%
30人以上～60人未満	502 100.0%	25 5.0%	121 24.1%	145 28.9%	92 18.3%	37 7.4%	11 2.2%	71 14.1%
60人以上～100人未満	455 100.0%	1 0.2%	7 1.5%	92 20.2%	147 32.3%	102 22.4%	49 10.8%	57 12.5%
100人以上	208 100.0%	0 0.0%	3 1.4%	14 6.7%	53 25.5%	45 21.6%	74 35.6%	19 9.1%

図表 2-68 入所定員別 入所定員 100 人あたりの看護職員数（常勤換算数）

	合計	0人以上 ～4人未 満	4人以上 ～6人未 満	6人以上 ～8人未 満	8人以上	無回答
全体	1,502 100.0%	104 6.9%	455 30.3%	421 28.0%	308 20.5%	214 14.2%
29人以下	324 100.0%	33 10.2%	70 21.6%	69 21.3%	98 30.2%	54 16.7%
30人以上～60人未 満	502 100.0%	15 3.0%	110 21.9%	157 31.3%	149 29.7%	71 14.1%
60人以上～100人 未満	455 100.0%	20 4.4%	165 36.3%	158 34.7%	55 12.1%	57 12.5%
100人以上	208 100.0%	36 17.3%	110 52.9%	37 17.8%	6 2.9%	19 9.1%

## ② 職員数：実人数

常勤の職員数（実人数）について、「歯科医師」は平均 0.0 人、「看護師」は平均は 1.8 人、「准看護師」は平均 1.5 人、「介護職員」は平均 25.0 人、「管理栄養士・栄養士」は平均 1.1 人、「機能訓練指導員」は平均 0.8 人、「歯科衛生士」は平均 0.0 人、「介護支援専門員」は平均 1.4 人であった。

非常勤の職員数（実人数）について、「歯科医師」は平均 0.1 人、「看護師」は平均は 0.8 人、「准看護師」は平均 0.6 人、「介護職員」は平均 6.6 人、「管理栄養士・栄養士」は平均 0.1 人、「機能訓練指導員」は平均 0.3 人、「歯科衛生士」は平均 0.1 人、「介護支援専門員」は平均 0.1 人であった。

図表 2-69 職員数（実人数）（n=1,369）

（単位：人）

	【常勤】			【非常勤】		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
歯科医師	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.0
看護師	1.8	1.3	2.0	0.8	1.2	0.0
准看護師	1.5	1.2	1.0	0.6	1.0	0.0
介護職員	25.0	12.3	23.0	6.6	7.1	5.0
うち、介護福祉士	15.5	9.8	14.0	2.2	3.0	1.0
管理栄養士・栄養士	1.1	0.7	1.0	0.1	0.2	0.0
機能訓練指導員	0.8	0.7	1.0	0.3	0.7	0.0
うち、理学療法士	0.1	0.4	0.0	0.1	0.4	0.0
うち、作業療法士	0.1	0.3	0.0	0.0	0.2	0.0
うち、言語聴覚士	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
歯科衛生士	0.0	0.2	0.0	0.1	0.3	0.0
介護支援専門員	1.4	1.1	1.0	0.1	0.3	0.0

図表 2-70 入所定員別 【常勤】平均職員数（実人数）

（単位：人）

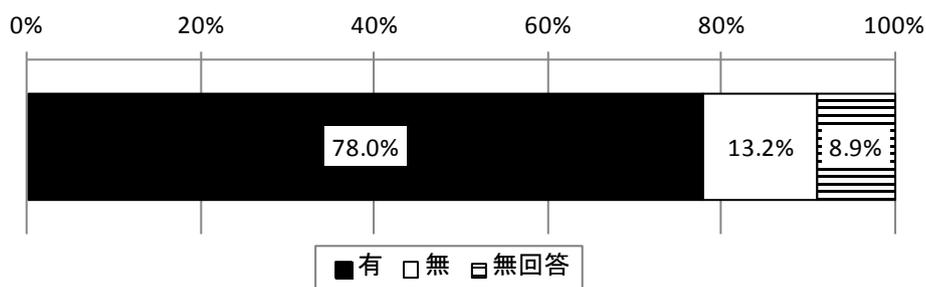
	全体	【常勤】			
		29 人以下 (n=294)	30 人以上 60 人未満 (n=452)	60 人以上 100 人未満 (n=418)	100 人以上 (n=193)
歯科医師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師	1.8	1.0	1.5	2.1	2.7
准看護師	1.5	0.8	1.5	1.7	1.8
介護職員	25.0	13.7	19.8	30.5	42.8
うち、介護福祉士	15.5	7.8	12.6	18.8	26.5
管理栄養士・栄養士	1.1	0.9	1.1	1.2	1.5
機能訓練指導員	0.8	0.5	0.7	0.8	1.2
うち、理学療法士	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3
うち、作業療法士	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
うち、言語聴覚士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歯科衛生士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護支援専門員	1.4	1.1	1.3	1.5	2.2

図表 2-71 入所定員別 【非常勤】平均職員数（実人数）

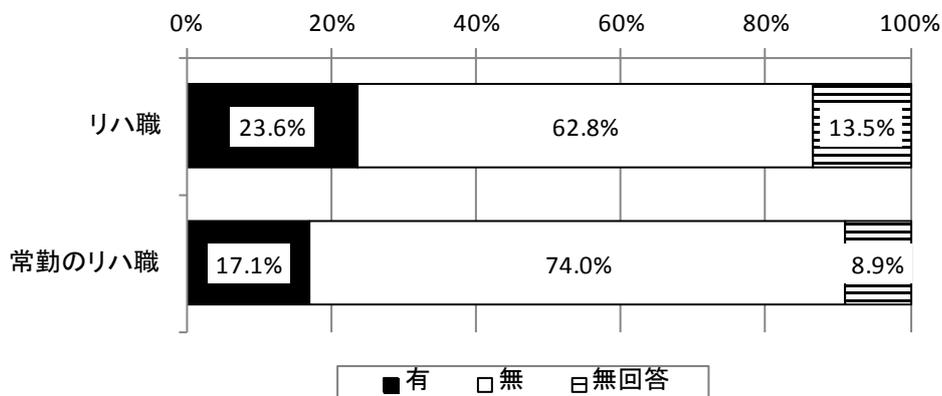
（単位：人）

	全体	【非常勤】			
		29人以下 (n=294)	30人以上 60人未満 (n=452)	60人以上 100人未満 (n=418)	100人以上 (n=193)
歯科医師	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
看護師	0.8	0.4	0.6	1.1	1.3
准看護師	0.6	0.3	0.6	0.7	0.9
介護職員	6.6	3.6	4.4	7.6	14.2
うち、介護福祉士	2.2	1.1	1.5	2.5	4.7
管理栄養士・栄養士	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
機能訓練指導員	0.3	0.2	0.2	0.3	0.5
うち、理学療法士	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3
うち、作業療法士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
うち、言語聴覚士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歯科衛生士	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1
介護支援専門員	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1

図表 2-72 常勤看護師の有無（n=1,502）



図表 2-73 リハ職・常勤リハ職の有無（n=1,502）



## ③ 退職した職員（平成 27 年 10 月～平成 28 年 9 月）

退職した常勤の看護職員は、「1 年未満」は平均 0.2 人、「1 年以上 3 年未満」は平均 0.2 人、「3 年以上 5 年未満」は平均 0.1 人で、「5 年以上」は平均 0.2 人であった。

退職した非常勤の看護職員は、「1 年未満」は平均 0.2 人、「1 年以上 3 年未満」は平均 0.1 人、「3 年以上 5 年未満」は平均 0.0 人で、「5 年以上」は平均 0.1 人であった。

退職した常勤の介護職員は、「1 年未満」は平均 1.0 人、「1 年以上 3 年未満」は平均 1.0 人、「3 年以上 5 年未満」は平均 0.6 人で、「5 年以上」は平均 0.7 人であった。

退職した非常勤の介護職員は、「1 年未満」は平均 0.7 人、「1 年以上 3 年未満」は平均 0.3 人、「3 年以上 5 年未満」は平均 0.2 人で、「5 年以上」は平均 0.2 人であった。

また、退職した看護職員と介護職員の合計は 1 施設あたり平均 5.7 人で、うち看護職員（常勤）は平均 0.6 人、看護職員（非常勤）は平均 0.4 人、介護職員（常勤）は平均 3.3 人、介護職員（非常勤）は平均 1.5 人であった。

図表 2-74 退職した職員数（実人数）（n=1,215）

（単位：人）

	合計値	構成比	平均値	標準偏差	中央値
<b>【看護職員：常勤】</b>					
看護職員・常勤：1 年未満	281	36.4%	0.2	0.6	0.0
看護職員・常勤：1 年以上 3 年未満	187	24.2%	0.2	0.4	0.0
看護職員・常勤：3 年以上 5 年未満	112	14.5%	0.1	0.3	0.0
看護職員・常勤：5 年以上	192	24.9%	0.2	0.5	0.0
看護職員・常勤：小計	772	100.0%	0.6	1.0	0.0
<b>【看護職員：非常勤】</b>					
看護職員・非常勤：1 年未満	219	46.1%	0.2	0.5	0.0
看護職員・非常勤：1 年以上 3 年未満	118	24.8%	0.1	0.4	0.0
看護職員・非常勤：3 年以上 5 年未満	50	10.5%	0.0	0.2	0.0
看護職員・非常勤：5 年以上	88	18.5%	0.1	0.4	0.0
看護職員・非常勤：小計	475	100.0%	0.4	0.8	0.0
<b>【介護職員：常勤】</b>					
介護職員・常勤：1 年未満	1,201	30.3%	1.0	1.6	0.0
介護職員・常勤：1 年以上 3 年未満	1,175	29.7%	1.0	1.6	0.0
介護職員・常勤：3 年以上 5 年未満	695	17.5%	0.6	1.0	0.0
介護職員・常勤：5 年以上	891	22.5%	0.7	1.1	0.0
介護職員・常勤：小計	3,962	100.0%	3.3	2.9	3.0
<b>【介護職員：非常勤】</b>					
介護職員・非常勤：1 年未満	906	51.0%	0.7	1.4	0.0
介護職員・非常勤：1 年以上 3 年未満	424	23.9%	0.3	0.8	0.0
介護職員・非常勤：3 年以上 5 年未満	201	11.3%	0.2	0.5	0.0
介護職員・非常勤：5 年以上	246	13.8%	0.2	0.5	0.0
介護職員・非常勤：小計	1,777	100.0%	1.5	1.9	1.0
退職した職員合計	6,986		5.7	4.1	5.0

1) 入所定員別

図表 2-75 (29人以下) 入所定員別 退職した職員数(実人数)(n=240)

(単位:人)

	合計値	構成比	平均値	標準偏差	中央値
<b>【看護職員:常勤】</b>					
看護職員・常勤:1年未満	37	41.6%	0.2	0.5	0.0
看護職員・常勤:1年以上3年未満	36	40.4%	0.2	0.4	0.0
看護職員・常勤:3年以上5年未満	10	11.2%	0.0	0.2	0.0
看護職員・常勤:5年以上	6	6.7%	0.0	0.2	0.0
看護職員・常勤:小計	89	100.0%	0.4	0.6	0.0
<b>【看護職員:非常勤】</b>					
看護職員・非常勤:1年未満	36	62.1%	0.2	0.5	0.0
看護職員・非常勤:1年以上3年未満	18	31.0%	0.1	0.3	0.0
看護職員・非常勤:3年以上5年未満	1	1.7%	0.0	0.1	0.0
看護職員・非常勤:5年以上	3	5.2%	0.0	0.1	0.0
看護職員・非常勤:小計	58	100.0%	0.2	0.6	0.0
<b>【介護職員:常勤】</b>					
介護職員・常勤:1年未満	191	34.9%	0.8	1.3	0.0
介護職員・常勤:1年以上3年未満	227	41.5%	0.9	1.8	0.0
介護職員・常勤:3年以上5年未満	74	13.5%	0.3	0.7	0.0
介護職員・常勤:5年以上	55	10.1%	0.2	0.6	0.0
介護職員・常勤:小計	547	100.0%	2.3	2.4	2.0
<b>【介護職員:非常勤】</b>					
介護職員・非常勤:1年未満	139	59.9%	0.6	1.3	0.0
介護職員・非常勤:1年以上3年未満	53	22.8%	0.2	0.5	0.0
介護職員・非常勤:3年以上5年未満	27	11.6%	0.1	0.4	0.0
介護職員・非常勤:5年以上	13	5.6%	0.1	0.3	0.0
介護職員・非常勤:小計	232	100.0%	1.0	1.5	0.0
退職した職員合計	926		3.9	3.3	3.0

図表 2-76 (30人以上 60人未満) 入所定員別 退職した職員数(実人数)(n=431)

(単位:人)

	合計値	構成比	平均値	標準偏差	中央値
<b>【看護職員：常勤】</b>					
看護職員・常勤：1年未満	95	34.2%	0.2	0.5	0.0
看護職員・常勤：1年以上3年未満	65	23.4%	0.2	0.4	0.0
看護職員・常勤：3年以上5年未満	36	12.9%	0.1	0.3	0.0
看護職員・常勤：5年以上	82	29.5%	0.2	0.5	0.0
看護職員・常勤：小計	278	100.0%	0.6	1.0	0.0
<b>【看護職員：非常勤】</b>					
看護職員・非常勤：1年未満	61	42.4%	0.1	0.4	0.0
看護職員・非常勤：1年以上3年未満	35	24.3%	0.1	0.3	0.0
看護職員・非常勤：3年以上5年未満	22	15.3%	0.1	0.3	0.0
看護職員・非常勤：5年以上	26	18.1%	0.1	0.3	0.0
看護職員・非常勤：小計	144	100.0%	0.3	0.8	0.0
<b>【介護職員：常勤】</b>					
介護職員・常勤：1年未満	354	28.5%	0.8	1.4	0.0
介護職員・常勤：1年以上3年未満	345	27.8%	0.8	1.4	0.0
介護職員・常勤：3年以上5年未満	216	17.4%	0.5	0.8	0.0
介護職員・常勤：5年以上	326	26.3%	0.8	1.1	0.0
介護職員・常勤：小計	1,241	100.0%	2.9	2.5	2.0
<b>【介護職員：非常勤】</b>					
介護職員・非常勤：1年未満	246	51.9%	0.6	1.2	0.0
介護職員・非常勤：1年以上3年未満	88	18.6%	0.2	0.5	0.0
介護職員・非常勤：3年以上5年未満	55	11.6%	0.1	0.4	0.0
介護職員・非常勤：5年以上	85	17.9%	0.2	0.5	0.0
介護職員・非常勤：小計	474	100.0%	1.1	1.5	1.0
退職した職員合計	2,137		5.0	3.5	4.0

図表 2-77 (60人以上 100人未満) 入所定員別 退職した職員数(実人数)(n=294)

(単位:人)

	合計値	構成比	平均値	標準偏差	中央値
<b>【看護職員：常勤】</b>					
看護職員・常勤:1年未満	98	39.5%	0.3	0.7	0.0
看護職員・常勤:1年以上3年未満	50	20.2%	0.1	0.4	0.0
看護職員・常勤:3年以上5年未満	34	13.7%	0.1	0.3	0.0
看護職員・常勤:5年以上	66	26.6%	0.2	0.5	0.0
看護職員・常勤:小計	248	100.0%	0.7	1.0	0.0
<b>【看護職員：非常勤】</b>					
看護職員・非常勤:1年未満	78	47.0%	0.2	0.6	0.0
看護職員・非常勤:1年以上3年未満	39	23.5%	0.1	0.4	0.0
看護職員・非常勤:3年以上5年未満	17	10.2%	0.0	0.2	0.0
看護職員・非常勤:5年以上	32	19.3%	0.1	0.4	0.0
看護職員・非常勤:小計	166	100.0%	0.4	0.9	0.0
<b>【介護職員：常勤】</b>					
介護職員・常勤:1年未満	430	30.8%	1.2	1.9	1.0
介護職員・常勤:1年以上3年未満	350	25.1%	0.9	1.3	0.5
介護職員・常勤:3年以上5年未満	275	19.7%	0.7	1.2	0.0
介護職員・常勤:5年以上	339	24.3%	0.9	1.3	0.0
介護職員・常勤:小計	1,394	100.0%	3.8	3.0	3.0
<b>【介護職員：非常勤】</b>					
介護職員・非常勤:1年未満	314	48.2%	0.8	1.3	0.0
介護職員・非常勤:1年以上3年未満	172	26.4%	0.5	0.8	0.0
介護職員・非常勤:3年以上5年未満	76	11.7%	0.2	0.5	0.0
介護職員・非常勤:5年以上	90	13.8%	0.2	0.6	0.0
介護職員・非常勤:小計	652	100.0%	1.8	2.0	1.0
退職した職員合計	2,460		6.6	4.2	6.0

図表 2-78 (100人以上)入所定員別 退職した職員数(実人数)(n=163)

(単位:人)

	合計値	構成比	平均値	標準偏差	中央値
<b>【看護職員：常勤】</b>					
看護職員・常勤：1年未満	48	31.8%	0.3	0.6	0.0
看護職員・常勤：1年以上3年未満	36	23.8%	0.2	0.5	0.0
看護職員・常勤：3年以上5年未満	32	21.2%	0.2	0.6	0.0
看護職員・常勤：5年以上	35	23.2%	0.2	0.5	0.0
看護職員・常勤：小計	151	100.0%	0.9	1.2	1.0
<b>【看護職員：非常勤】</b>					
看護職員・非常勤：1年未満	42	41.6%	0.3	0.7	0.0
看護職員・非常勤：1年以上3年未満	25	24.8%	0.2	0.5	0.0
看護職員・非常勤：3年以上5年未満	8	7.9%	0.0	0.2	0.0
看護職員・非常勤：5年以上	26	25.7%	0.2	0.5	0.0
看護職員・非常勤：小計	101	100.0%	0.6	1.0	0.0
<b>【介護職員：常勤】</b>					
介護職員・常勤：1年未満	205	28.0%	1.3	1.7	1.0
介護職員・常勤：1年以上3年未満	238	32.6%	1.5	2.0	1.0
介護職員・常勤：3年以上5年未満	125	17.1%	0.8	1.2	0.0
介護職員・常勤：5年以上	163	22.3%	1.0	1.4	1.0
介護職員・常勤：小計	731	100.0%	4.5	3.4	4.0
<b>【介護職員：非常勤】</b>					
介護職員・非常勤：1年未満	204	50.0%	1.3	1.9	0.0
介護職員・非常勤：1年以上3年未満	108	26.5%	0.7	1.2	0.0
介護職員・非常勤：3年以上5年未満	41	10.0%	0.3	0.6	0.0
介護職員・非常勤：5年以上	55	13.5%	0.3	0.6	0.0
介護職員・非常勤：小計	408	100.0%	2.5	2.7	2.0
退職した職員合計	1,391		8.5	4.5	8.0

2) 認定のための実地研修の実施状況別

図表 2-79 (実施した施設) 認定のための実地研修の実施状況別

退職した職員数(実人数)(n=440)

(単位:人)

	合計値	構成比	平均値	標準偏差	中央値
<b>【介護職員:常勤】</b>					
介護職員・常勤:1年未満	372	26.5%	0.8	1.4	0.0
介護職員・常勤:1年以上3年未満	418	29.8%	1.0	1.4	0.0
介護職員・常勤:3年以上5年未満	271	19.3%	0.6	1.1	0.0
介護職員・常勤:5年以上	343	24.4%	0.8	1.1	0.0
介護職員・常勤:小計	1,404	100.0%	3.2	2.8	3.0
<b>【介護職員:非常勤】</b>					
介護職員・非常勤:1年未満	247	42.7%	0.6	1.1	0.0
介護職員・非常勤:1年以上3年未満	171	29.6%	0.4	0.8	0.0
介護職員・非常勤:3年以上5年未満	69	11.9%	0.2	0.4	0.0
介護職員・非常勤:5年以上	91	15.7%	0.2	0.5	0.0
介護職員・非常勤:小計	578	100.0%	1.3	1.7	1.0

注) 認定のための実地研修の実施状況は、p.82図表 2-153参照

図表 2-80 (実施しなかった施設) 認定のための実地研修の実施状況別

退職した職員数(実人数)(n=675)

(単位:人)

	合計値	構成比	平均値	標準偏差	中央値
<b>【介護職員:常勤】</b>					
介護職員・常勤:1年未満	726	32.6%	1.1	1.7	0.0
介護職員・常勤:1年以上3年未満	658	29.5%	1.0	1.7	0.0
介護職員・常勤:3年以上5年未満	368	16.5%	0.5	0.9	0.0
介護職員・常勤:5年以上	475	21.3%	0.7	1.1	0.0
介護職員・常勤:小計	2,227	100.0%	3.3	3.0	3.0
<b>【介護職員:非常勤】</b>					
介護職員・非常勤:1年未満	579	55.5%	0.9	1.5	0.0
介護職員・非常勤:1年以上3年未満	223	21.4%	0.3	0.7	0.0
介護職員・非常勤:3年以上5年未満	113	10.8%	0.2	0.5	0.0
介護職員・非常勤:5年以上	129	12.4%	0.2	0.5	0.0
介護職員・非常勤:小計	1,044	100.0%	1.5	2.1	1.0

注) 認定のための実地研修の実施状況は、p.82図表 2-153参照

## 3) 施設の看取りの方針別

図表 2-81 (希望があれば、施設内で看取るようにしている) 施設の看取りの方針別

退職した職員数(実人数)(n=972)

(単位:人)

	合計値	構成比	平均値	標準偏差	中央値
<b>【看護職員：常勤】</b>					
看護職員・常勤:1年未満	225	35.7%	0.2	0.6	0.0
看護職員・常勤:1年以上3年未満	148	23.5%	0.2	0.4	0.0
看護職員・常勤:3年以上5年未満	96	15.2%	0.1	0.4	0.0
看護職員・常勤:5年以上	161	25.6%	0.2	0.5	0.0
看護職員・常勤:小計	630	100.0%	0.6	1.0	0.0
<b>【看護職員：非常勤】</b>					
看護職員・非常勤:1年未満	176	45.6%	0.2	0.6	0.0
看護職員・非常勤:1年以上3年未満	93	24.1%	0.1	0.4	0.0
看護職員・非常勤:3年以上5年未満	42	10.9%	0.0	0.2	0.0
看護職員・非常勤:5年以上	75	19.4%	0.1	0.4	0.0
看護職員・非常勤:小計	386	100.0%	0.4	0.9	0.0
<b>【介護職員：常勤】</b>					
介護職員・常勤:1年未満	929	29.5%	1.0	1.6	0.0
介護職員・常勤:1年以上3年未満	930	29.5%	1.0	1.5	0.0
介護職員・常勤:3年以上5年未満	555	17.6%	0.6	1.0	0.0
介護職員・常勤:5年以上	734	23.3%	0.8	1.2	0.0
介護職員・常勤:小計	3,148	100.0%	3.2	2.9	3.0
<b>【介護職員：非常勤】</b>					
介護職員・非常勤:1年未満	729	51.1%	0.8	1.4	0.0
介護職員・非常勤:1年以上3年未満	332	23.3%	0.3	0.7	0.0
介護職員・非常勤:3年以上5年未満	165	11.6%	0.2	0.5	0.0
介護職員・非常勤:5年以上	200	14.0%	0.2	0.5	0.0
介護職員・非常勤:小計	1,426	100.0%	1.5	2.0	1.0
退職した職員合計	5,590		5.8	4.2	5.0

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

図表 2-82 (原則、病院等に移すようにしている) 施設の看取りの方針別

退職した職員数(実人数)(n=185)

(単位:人)

	合計値	構成比	平均値	標準偏差	中央値
<b>【看護職員：常勤】</b>					
看護職員・常勤:1年未満	44	41.9%	0.2	0.5	0.0
看護職員・常勤:1年以上3年未満	31	29.5%	0.2	0.4	0.0
看護職員・常勤:3年以上5年未満	11	10.5%	0.1	0.3	0.0
看護職員・常勤:5年以上	19	18.1%	0.1	0.3	0.0
看護職員・常勤:小計	105	100.0%	0.6	0.8	0.0
<b>【看護職員：非常勤】</b>					
看護職員・非常勤:1年未満	35	51.5%	0.2	0.5	0.0
看護職員・非常勤:1年以上3年未満	16	23.5%	0.1	0.4	0.0
看護職員・非常勤:3年以上5年未満	5	7.4%	0.0	0.2	0.0
看護職員・非常勤:5年以上	12	17.6%	0.1	0.3	0.0
看護職員・非常勤:小計	68	100.0%	0.4	0.7	0.0
<b>【介護職員：常勤】</b>					
介護職員・常勤:1年未満	208	34.0%	1.1	1.8	0.0
介護職員・常勤:1年以上3年未満	180	29.4%	1.0	1.6	0.0
介護職員・常勤:3年以上5年未満	110	18.0%	0.6	1.0	0.0
介護職員・常勤:5年以上	114	18.6%	0.6	1.0	0.0
介護職員・常勤:小計	612	100.0%	3.3	2.9	3.0
<b>【介護職員：非常勤】</b>					
介護職員・非常勤:1年未満	128	49.6%	0.7	1.1	0.0
介護職員・非常勤:1年以上3年未満	72	27.9%	0.4	0.9	0.0
介護職員・非常勤:3年以上5年未満	22	8.5%	0.1	0.4	0.0
介護職員・非常勤:5年以上	36	14.0%	0.2	0.5	0.0
介護職員・非常勤:小計	258	100.0%	1.4	1.8	1.0
退職した職員合計	1,043		5.6	4.1	5.0

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

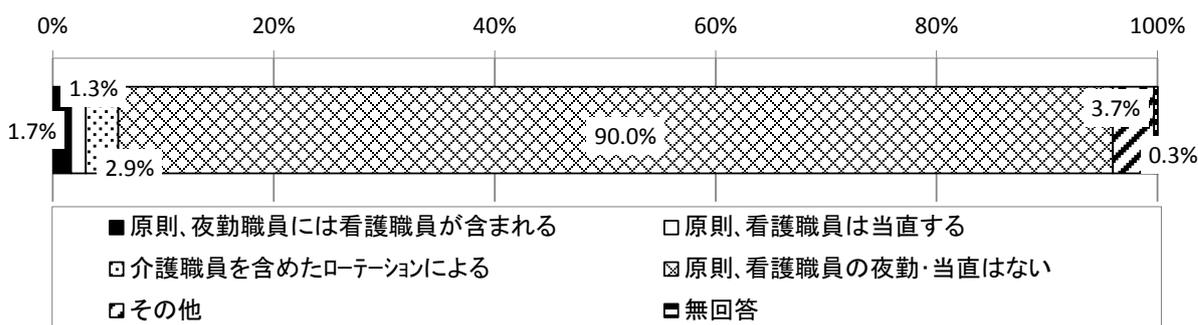
### (3) 看護職員の体制

#### ① 施設の看護職員の体制等

##### 1) 看護職員の基本的な夜勤体制

看護職員の基本的な夜勤体制は、「原則、看護職員の夜勤・当直はない」が 90.0%、「介護職員を含めたローテーションによる」は 2.9%、「原則、夜勤職員には看護職員が含まれる」は 1.7%であった。

図表 2-83 看護職員の基本的な夜勤体制 (n=1,502)



図表 2-84 看護職員数（常勤換算数）別 看護職員の基本的な夜勤体制

	合計	原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	原則、看護職員は当直する	介護職員を含めたローテーションによる	原則、看護職員の夜勤・当直はない	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	25 1.7%	20 1.3%	44 2.9%	1,352 90.0%	56 3.7%	5 0.3%
2人未満	156 100.0%	1 0.6%	4 2.6%	4 2.6%	141 90.4%	6 3.8%	0 0.0%
2人以上～3人未満	233 100.0%	3 1.3%	4 1.7%	8 3.4%	210 90.1%	8 3.4%	0 0.0%
3人以上～4人未満	283 100.0%	2 0.7%	1 0.4%	4 1.4%	264 93.3%	11 3.9%	1 0.4%
4人以上～5人未満	297 100.0%	1 0.3%	4 1.3%	5 1.7%	275 92.6%	12 4.0%	0 0.0%
5人以上～6人未満	194 100.0%	6 3.1%	3 1.5%	12 6.2%	165 85.1%	8 4.1%	0 0.0%
6人以上	136 100.0%	8 5.9%	3 2.2%	3 2.2%	120 88.2%	2 1.5%	0 0.0%

図表 2-85 看護体制加算（Ⅱ）算定の有無別 看護職員の基本的な夜勤体制

	合計	原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	原則、看護職員は当直する	介護職員を含めたローテーションによる	原則、看護職員の夜勤・当直はない	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	25 1.7%	20 1.3%	44 2.9%	1,352 90.0%	56 3.7%	5 0.3%
算定あり	765 100.0%	20 2.6%	9 1.2%	25 3.3%	684 89.4%	25 3.3%	2 0.3%
算定なし	737 100.0%	5 0.7%	11 1.5%	19 2.6%	668 90.6%	31 4.2%	3 0.4%

【「原則、看護職員の夜勤・当直はない」の場合】



図表 2-86 （原則、看護職員の夜勤・当直はない場合）看護体制加算（Ⅱ）算定ありの場合  
看護職員の勤務時間以外のオンコール体制

	合計	夜間はオンコール体制をとっている	休日はオンコール体制をとっている	看護職員のオンコール体制はとっていない	無回答
全体	1,352 100.0%	1257 93.0%	264 19.5%	86 6.4%	9 0.7%
算定あり	684 100.0%	657 96.1%	112 16.4%	22 3.2%	5 0.7%

図表 2-87 施設の看取りの方針別 看護職員の基本的な夜勤体制

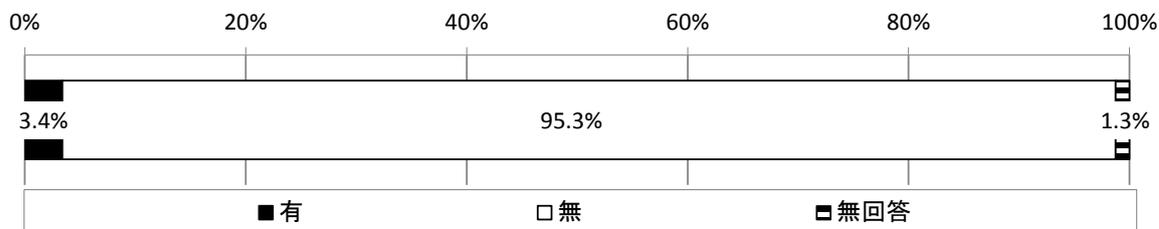
	合計	原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	原則、看護職員は当直する	介護職員を含めたローテーションによる	原則、看護職員の夜勤・当直はない	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	25 1.7%	20 1.3%	44 2.9%	1,352 90.0%	56 3.7%	5 0.3%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	18 1.5%	18 1.5%	35 3.0%	1,050 89.7%	47 4.0%	3 0.3%
原則、病院等に移す	245 100.0%	6 2.4%	1 0.4%	7 2.9%	224 91.4%	6 2.4%	1 0.4%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

2) 看護職員の急な夜勤

入所者の急変時等、状態により看護職員が急に夜勤をすることは、「有」が3.4%であった。また、「有」の場合の平均日数は1か月あたり1.6日であった。

図表 2-88 看護職員の急な夜勤 (n=1,502)



図表 2-89 入所定員別 1か月の平均日数 (n=37)

(単位：日)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
全体	37	1.6	1.5	1.0
29人以下	6	1.8	1.3	1.5
30人以上～60人未満	17	1.3	0.7	1.0
60人以上～100人未満	9	1.3	1.4	1.0
100人以上	4	3.0	3.4	1.5

図表 2-90 看護職員の基本的な夜勤体制別 看護職員の急な夜勤

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	51 3.4%	1,432 95.3%	19 1.3%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	1 4.0%	19 76.0%	5 20.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	2 10.0%	18 90.0%	0 0.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	2 4.5%	42 95.5%	0 0.0%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1352 100.0%	40 3.0%	1301 96.2%	11 0.8%
その他	56 100.0%	5 8.9%	50 89.3%	1 1.8%

図表 2-91 看護職員数（常勤換算）別 看護職員の急な夜勤

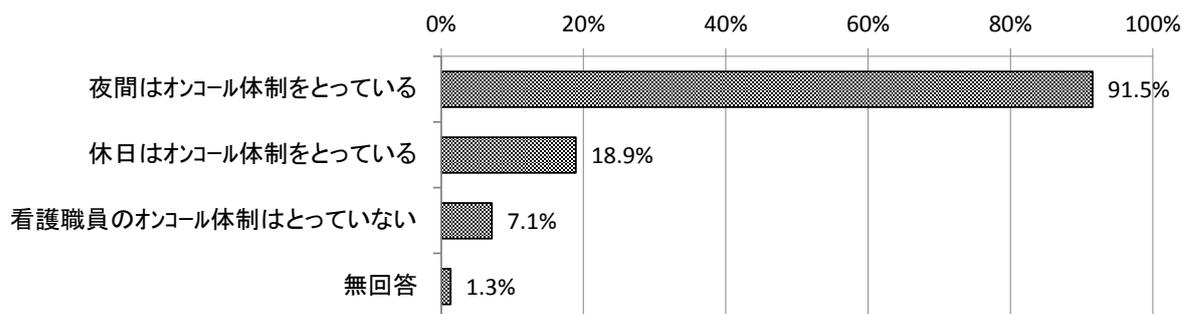
	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	51 3.4%	1,432 95.3%	19 1.3%
2人未満	156 100.0%	7 4.5%	147 94.2%	2 1.3%
2人以上～3人未満	233 100.0%	10 4.3%	221 94.8%	2 0.9%
3人以上～4人未満	283 100.0%	11 3.9%	267 94.3%	5 1.8%
4人以上～5人未満	297 100.0%	7 2.4%	289 97.3%	1 0.3%
5人以上～6人未満	194 100.0%	5 2.6%	188 96.9%	1 0.5%
6人以上	136 100.0%	5 3.7%	127 93.4%	4 2.9%

3) 勤務時間以外対応

i) オンコール体制

勤務時間以外のオンコール体制は、「夜間はオンコール体制をとっている」が 91.5%、「休日はオンコール体制をとっている」は 18.9%、「看護職員のオンコール体制はとっていない」は 7.1%であった。

図表 2-92 勤務時間以外のオンコール体制（複数回答）（n=1,502）



図表 2-93 看護職員の基本的な夜勤体制別 勤務時間以外のオンコール体制

	合計	夜間はオンコール体制をとっている	休日はオンコール体制をとっている	看護職員のオンコール体制はとっていない	無回答
全体	1,502 100.0%	1,375 91.5%	284 18.9%	107 7.1%	20 1.3%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	7 28.0%	2 8.0%	10 40.0%	8 32.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	13 65.0%	2 10.0%	7 35.0%	0 0.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	42 95.5%	9 20.5%	2 4.5%	0 0.0%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1,352 100.0%	1,257 93.0%	264 19.5%	86 6.4%	9 0.7%
その他	56 100.0%	53 94.6%	7 12.5%	2 3.6%	1 1.8%

図表 2-94 施設の看取りの方針別 勤務時間以外のオンコール体制

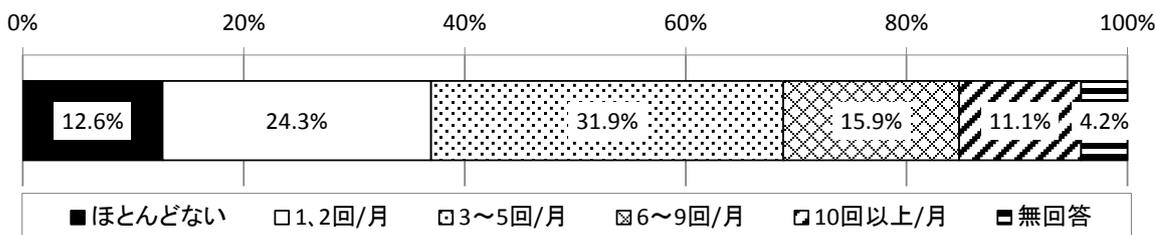
	合計	夜間はオンコール体制をとっている	休日はオンコール体制をとっている	看護職員のオンコール体制はとっていない	無回答
全体	1,502 100.0%	1,375 91.5%	284 18.9%	107 7.1%	20 1.3%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	1,093 93.3%	216 18.4%	60 5.1%	18 1.5%
原則、病院等に移す	245 100.0%	208 84.9%	52 21.2%	37 15.1%	0 0.0%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

ii) 勤務時間以外の電話対応

勤務時間以外の電話対応は、「3～5回/月」が31.9%、「1,2回/月」は24.3%、「6～9回/月」は15.9%であった。

図表 2-95 勤務時間以外の電話対応 (n=1,502)



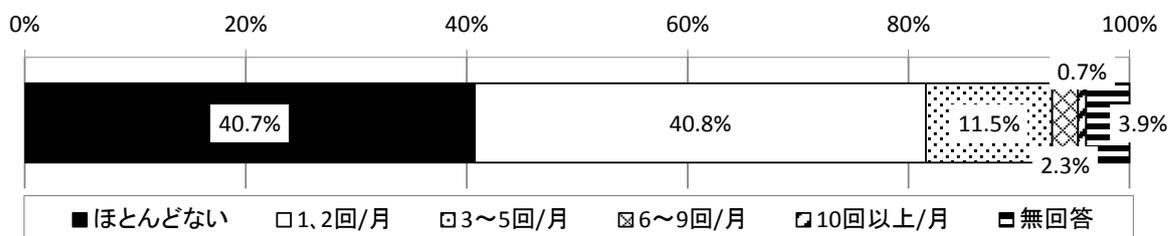
図表 2-96 看護職員数(常勤換算)別 勤務時間以外の電話対応

	合計	ほとんどない	1,2回/月	3～5回/月	6～9回/月	10回以上/月	無回答
全体	1,502 100.0%	190 12.6%	365 24.3%	479 31.9%	239 15.9%	166 11.1%	63 4.2%
2人未満	156 100.0%	29 18.6%	42 26.9%	48 30.8%	23 14.7%	12 7.7%	2 1.3%
2人以上～3人未満	233 100.0%	30 12.9%	67 28.8%	65 27.9%	40 17.2%	23 9.9%	8 3.4%
3人以上～4人未満	283 100.0%	40 14.1%	70 24.7%	95 33.6%	45 15.9%	23 8.1%	10 3.5%
4人以上～5人未満	297 100.0%	26 8.8%	69 23.2%	107 36.0%	47 15.8%	36 12.1%	12 4.0%
5人以上～6人未満	194 100.0%	25 12.9%	47 24.2%	68 35.1%	24 12.4%	23 11.9%	7 3.6%
6人以上	136 100.0%	16 11.8%	19 14.0%	41 30.1%	26 19.1%	25 18.4%	9 6.6%

iii) 勤務時間以外の呼出による出勤

勤務時間以外の呼出による出勤は、「1、2回/月」が40.8%、「ほとんどない」は40.7%で、「3～5回/月」は11.5%であった。

図表 2-97 勤務時間以外の呼出による出勤 (n=1,502)



図表 2-98 看護職員数（常勤換算）別 勤務時間以外の呼出による出勤

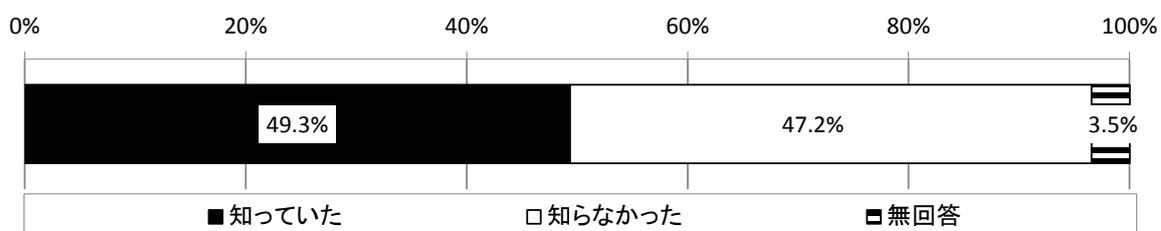
	合計	ほとんどない	1、2回/月	3～5回/月	6～9回/月	10回以上/月	無回答
全体	1,502 100.0%	612 40.7%	613 40.8%	172 11.5%	35 2.3%	11 0.7%	59 3.9%
2人未満	156 100.0%	70 44.9%	67 42.9%	14 9.0%	0 0.0%	1 0.6%	4 2.6%
2人以上～3人未満	233 100.0%	93 39.9%	98 42.1%	23 9.9%	7 3.0%	2 0.9%	10 4.3%
3人以上～4人未満	283 100.0%	127 44.9%	117 41.3%	24 8.5%	5 1.8%	1 0.4%	9 3.2%
4人以上～5人未満	297 100.0%	119 40.1%	119 40.1%	37 12.5%	10 3.4%	3 1.0%	9 3.0%
5人以上～6人未満	194 100.0%	75 38.7%	75 38.7%	34 17.5%	3 1.5%	1 0.5%	6 3.1%
6人以上	136 100.0%	49 36.0%	54 39.7%	19 14.0%	5 3.7%	1 0.7%	8 5.9%

② 訪問看護ステーションとの連携

1) 訪問看護ステーションの看護職員が入所者に対応できることの認知

訪問看護ステーションの看護職員が施設の入所者に対応できることを知っているかたずねたところ、「知っていた」が49.3%、「知らなかった」は47.2%であった。

図表 2-99 訪問看護ステーションの利用可能性についての認知状況 (n=1,502)



図表 2-100 開設年別 訪問看護ステーションの利用可能性についての認知状況

	合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体	1,502 100.0%	741 49.3%	709 47.2%	52 3.5%
1989年以前	312 100.0%	150 48.1%	150 48.1%	12 3.8%
1990年～1999年	322 100.0%	150 46.6%	161 50.0%	11 3.4%
2000年～2004年	185 100.0%	93 50.3%	89 48.1%	3 1.6%
2005年～2010年	208 100.0%	104 50.0%	97 46.6%	7 3.4%
2011年以降	461 100.0%	239 51.8%	203 44.0%	19 4.1%

図表 2-101 入所定員別 訪問看護ステーションの利用可能性についての認知状況

	合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体	1,502 100.0%	741 49.3%	709 47.2%	52 3.5%
29人以下	324 100.0%	156 48.1%	153 47.2%	15 4.6%
30人以上～60人未満	502 100.0%	246 49.0%	244 48.6%	12 2.4%
60人以上～100人未満	455 100.0%	220 48.4%	223 49.0%	12 2.6%
100人以上	208 100.0%	110 52.9%	87 41.8%	11 5.3%

図表 2-102 施設の看取りの方針別 訪問看護ステーションの利用可能性についての認知状況

	合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体	1,502 100.0%	741 49.3%	709 47.2%	52 3.5%
希望があれば、施設内で看取る	1171 100.0%	594 50.7%	538 45.9%	39 3.3%
原則、病院等に移す	245 100.0%	107 43.7%	129 52.7%	9 3.7%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

図表 2-103 施設長の施設内看取りに対する意向別 訪問看護ステーションの利用可能性についての認知状況

	合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体	1,502 100.0%	741 49.3%	709 47.2%	52 3.5%
積極的である	957 100.0%	511 53.4%	416 43.5%	30 3.1%
積極的か消極的かどちらともいえない	322 100.0%	133 41.3%	183 56.8%	6 1.9%
どちらかといえば消極的である	78 100.0%	34 43.6%	43 55.1%	1 1.3%
その他	56 100.0%	28 50.0%	24 42.9%	4 7.1%

注) 施設長の施設内看取りに対する意向は、p.163図表 2-295参照

図表 2-104 協力病院による施設内看取りに対する支援別 訪問看護ステーションの利用可能性についての認知状況

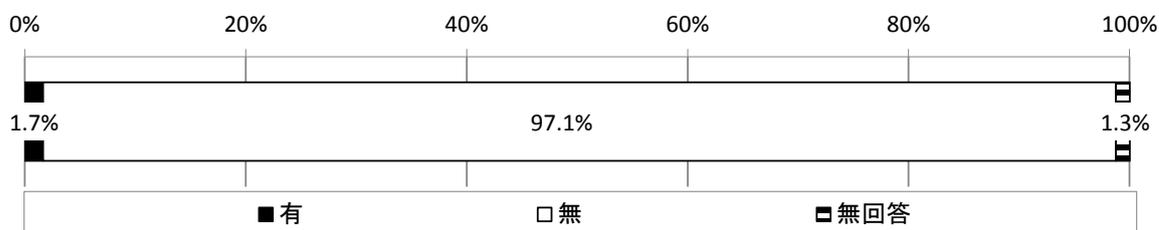
	合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体	1,502 100.0%	741 49.3%	709 47.2%	52 3.5%
積極的である	484 100.0%	264 54.5%	201 41.5%	19 3.9%
特に支援はない	889 100.0%	423 47.6%	445 50.1%	21 2.4%

注) 協力病院による施設内看取りに対する支援は、p.185図表 2-338参照

2) 訪問看護ステーションの看護職員による入所者の対応の有無

訪問看護ステーションの看護職員が入所者の対応をすることは、「有」が 1.7%、「無」が 97.1%であった。

図表 2 -105 訪問看護ステーションの看護職員による入所者の対応の有無 (n=1,502)



図表 2 -106 開設年別 訪問看護ステーションの看護職員による入所者の対応の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	25 1.7%	1458 97.1%	19 1.3%
1989年以前	312 100.0%	3 1.0%	305 97.8%	4 1.3%
1990年～1999年	322 100.0%	3 0.9%	317 98.4%	2 0.6%
2000年～2004年	185 100.0%	4 2.2%	179 96.8%	2 1.1%
2005年～2010年	208 100.0%	0 0.0%	205 98.6%	3 1.4%
2011年以降	461 100.0%	15 3.3%	438 95.0%	8 1.7%

図表 2 -107 入所定員別 訪問看護ステーションの看護職員による入所者の対応の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	25 1.7%	1458 97.1%	19 1.3%
29人以下	324 100.0%	7 2.2%	310 95.7%	7 2.2%
30人以上～60人未満	502 100.0%	4 0.8%	494 98.4%	4 0.8%
60人以上～100人未満	455 100.0%	11 2.4%	441 96.9%	3 0.7%
100人以上	208 100.0%	3 1.4%	200 96.2%	5 2.4%

図表 2-108 看護職員数（常勤換算）別 訪問看護ステーションの看護職員による入所者の  
対応の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	25 1.7%	1458 97.1%	19 1.3%
2人未満	156 100.0%	4 2.6%	149 95.5%	3 1.9%
2人以上～3人未満	233 100.0%	2 0.9%	228 97.9%	3 1.3%
3人以上～4人未満	283 100.0%	3 1.1%	280 98.9%	0 0.0%
4人以上～5人未満	297 100.0%	4 1.3%	289 97.3%	4 1.3%
5人以上～6人未満	194 100.0%	5 2.6%	186 95.9%	3 1.5%
6人以上	136 100.0%	2 1.5%	133 97.8%	1 0.7%

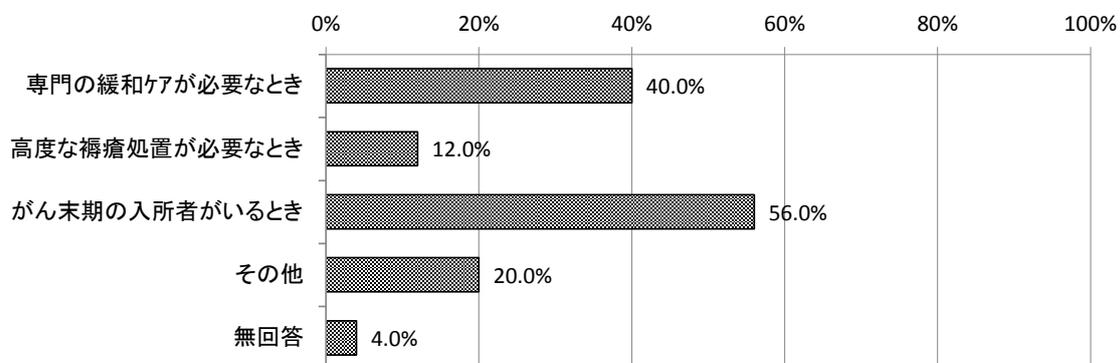
図表 2-109 看護職員の基本的な夜勤体制別

訪問看護ステーションの看護職員による入所者の対応の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	25 1.7%	1458 97.1%	19 1.3%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	1 4.0%	23 92.0%	1 4.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	0 0.0%	20 100.0%	0 0.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	1 2.3%	43 97.7%	0 0.0%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1,352 100.0%	22 1.6%	1,315 97.3%	15 1.1%
その他	56 100.0%	1 1.8%	54 96.4%	1 1.8%

訪問看護ステーションの看護職員が入所者の対応をする時の状況は、「がん末期の入所者がいるとき」が 56.0%、「専門の緩和ケアが必要なとき」は 40.0%、「高度な褥瘡処置が必要なとき」は 12.0%であった。

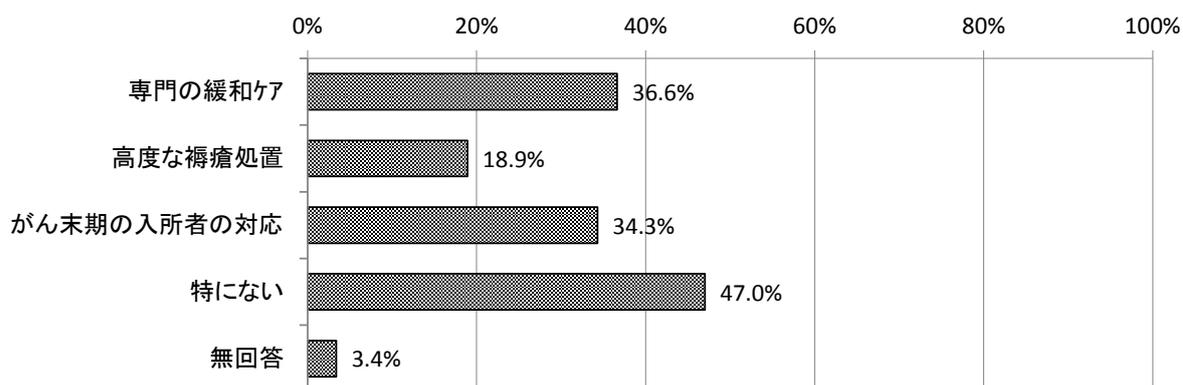
図表 2-110 訪問看護ステーションの看護職員による入所者の対応の内容（複数回答）（n=25）



3) 訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置

訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置は、「専門の緩和ケア」が 36.6%、「がん末期の入所者の対応」は 34.3%、「高度な褥瘡処置」は 18.9%であった。

図表 2-111 訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置（複数回答）（n=1,502）



図表 2-112 訪問看護ステーションの看護職員が入所者に対応できることの認知別 訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置

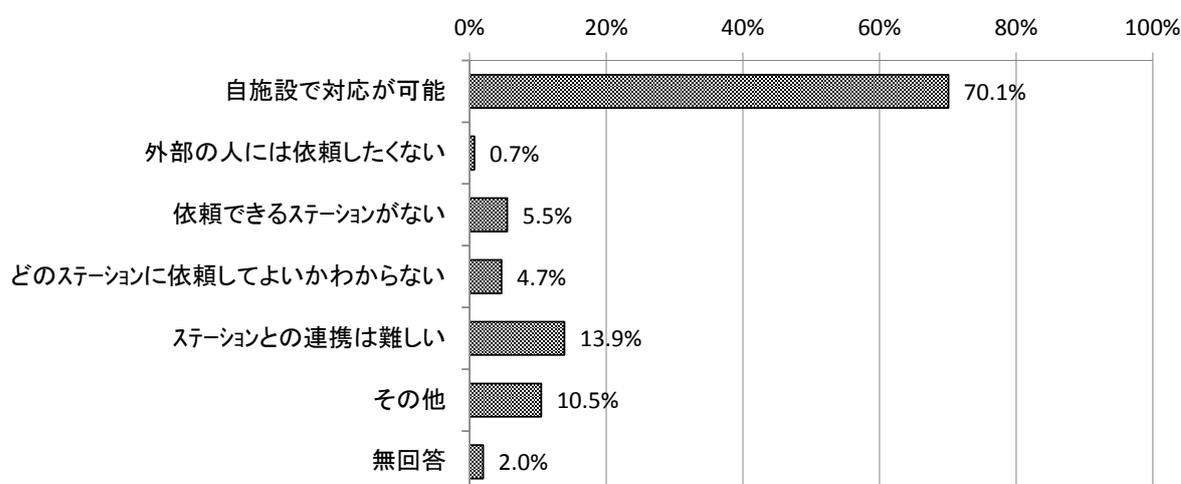
	合計	専門の緩和ケア	高度な褥瘡処置	がん末期の入所者の対応	特にない	無回答
全体	1,502 100.0%	550 36.6%	284 18.9%	515 34.3%	706 47.0%	51 3.4%
知っていた	741 100.0%	292 39.4%	139 18.8%	279 37.7%	328 44.3%	15 2.0%
知らなかった	709 100.0%	251 35.4%	139 19.6%	227 32.0%	359 50.6%	15 2.1%

図表 2-113 施設の看取りの方針別 訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置

	合計	専門の緩和ケア	高度な褥瘡処置	がん末期の入所者の対応	特にない	無回答
全体	1,502 100.0%	550 36.6%	284 18.9%	515 34.3%	706 47.0%	51 3.4%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	424 36.2%	228 19.5%	396 33.8%	560 47.8%	35 3.0%
原則、病院等に移す	245 100.0%	101 41.2%	44 18.0%	91 37.1%	103 42.0%	9 3.7%

訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が「特にない」と回答した 706 施設に、その理由をたずねたところ、「自施設で対応が可能」が 70.1%、「ステーションとの連携は難しい」は 13.9%、「依頼できるステーションがない」は 5.5%であった。

図表 2-114 (訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が特にない場合)理由(複数回答)(n=706)



※「その他」の内容は、「協力病院との連携」「対象者がいない」などであった。

図表 2-115 開設年別 (訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができ  
 ると思う医療処置が特にならない場合) 理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ス テー シ ョ ン と の 連 携 は 難 しい	その他	無回答
全体	706 100.0%	495 70.1%	5 0.7%	39 5.5%	33 4.7%	98 13.9%	74 10.5%	14 2.0%
1989年以前	152 100.0%	111 73.0%	0 0.0%	9 5.9%	3 2.0%	18 11.8%	20 13.2%	3 2.0%
1990年～1999年	156 100.0%	116 74.4%	2 1.3%	7 4.5%	5 3.2%	26 16.7%	14 9.0%	1 0.6%
2000年～2004年	90 100.0%	61 67.8%	1 1.1%	4 4.4%	3 3.3%	10 11.1%	14 15.6%	0 0.0%
2005年～2010年	107 100.0%	75 70.1%	0 0.0%	5 4.7%	5 4.7%	13 12.1%	11 10.3%	5 4.7%
2011年以降	195 100.0%	130 66.7%	1 0.5%	14 7.2%	16 8.2%	29 14.9%	15 7.7%	4 2.1%

図表 2-116 入所定員別 (訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができ  
 ると思う医療処置が特にならない場合) 理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ス テー シ ョ ン と の 連 携 は 難 しい	その他	無回答
全体	706 100.0%	495 70.1%	5 0.7%	39 5.5%	33 4.7%	98 13.9%	74 10.5%	14 2.0%
29人以下	142 100.0%	95 66.9%	0 0.0%	10 7.0%	8 5.6%	22 15.5%	11 7.7%	6 4.2%
30人以上～60人 未満	238 100.0%	172 72.3%	2 0.8%	13 5.5%	10 4.2%	28 11.8%	22 9.2%	5 2.1%
60人以上～100人 未満	213 100.0%	148 69.5%	1 0.5%	13 6.1%	8 3.8%	36 16.9%	25 11.7%	1 0.5%
100人以上	107 100.0%	77 72.0%	2 1.9%	3 2.8%	7 6.5%	11 10.3%	14 13.1%	2 1.9%

図表 2-117 配置医の勤務日以外における対応別（訪問看護ステーションとの連携により  
対応の充実を図ることができると思う医療処置が特にならない場合）理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ステー ション との連 携は難 しい	その他	無回答
全体	706 100.0%	495 70.1%	5 0.7%	39 5.5%	33 4.7%	98 13.9%	74 10.5%	14 2.0%
勤務日以外でも、 対応してもらえ る	349 100.0%	263 75.4%	0 0.0%	23 6.6%	11 3.2%	40 11.5%	28 8.0%	10 2.9%
勤務日以外は電 話で指示を得る ことができる	260 100.0%	181 69.6%	4 1.5%	6 2.3%	15 5.8%	41 15.8%	32 12.3%	2 0.8%
原則、勤務日以外 は対応してもら えない	40 100.0%	18 45.0%	0 0.0%	6 15.0%	4 10.0%	8 20.0%	6 15.0%	1 2.5%

図表 2-118 看護職員数（常勤換算）別（訪問看護ステーションとの連携により対応の  
充実を図ることができると思う医療処置が特にならない場合）理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ステー ション との連 携は難 しい	その他	無回答
全体	706 100.0%	495 70.1%	5 0.7%	39 5.5%	33 4.7%	98 13.9%	74 10.5%	14 2.0%
2人未満	70 100.0%	47 67.1%	1 1.4%	11 15.7%	3 4.3%	9 12.9%	6 8.6%	0 0.0%
2人以上～3人未 満	103 100.0%	60 58.3%	0 0.0%	8 7.8%	4 3.9%	18 17.5%	11 10.7%	7 6.8%
3人以上～4人未 満	132 100.0%	91 68.9%	1 0.8%	5 3.8%	8 6.1%	19 14.4%	19 14.4%	1 0.8%
4人以上～5人未 満	136 100.0%	103 75.7%	0 0.0%	3 2.2%	7 5.1%	20 14.7%	12 8.8%	0 0.0%
5人以上～6人未 満	98 100.0%	71 72.4%	1 1.0%	6 6.1%	6 6.1%	13 13.3%	9 9.2%	1 1.0%
6人以上	72 100.0%	58 80.6%	2 2.8%	1 1.4%	1 1.4%	4 5.6%	8 11.1%	2 2.8%

図表 2-119 入所定員 100 人あたりの看護職員数（常勤換算）＋認定特定行為実施介護職員数（第一号～第三号、実人数）別（訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が特にない場合）理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ス テー ション との連 携は難 しい	その他	無回答
全体	706 100.0%	495 70.1%	5 0.7%	39 5.5%	33 4.7%	98 13.9%	74 10.5%	14 2.0%
0 人以上～4 人未 満	87 100.0%	56 64.4%	1 1.1%	6 6.9%	4 4.6%	19 21.8%	7 8.0%	0 0.0%
4 人以上～6 人未 満	144 100.0%	86 59.7%	1 0.7%	11 7.6%	11 7.6%	25 17.4%	24 16.7%	2 1.4%
6 人以上～8 人未 満	127 100.0%	90 70.9%	2 1.6%	10 7.9%	7 5.5%	12 9.4%	9 7.1%	6 4.7%
8 人以上～10 人未 満	73 100.0%	54 74.0%	0 0.0%	4 5.5%	0 0.0%	9 12.3%	8 11.0%	0 0.0%
10 人以上～20 人 未満	140 100.0%	107 76.4%	0 0.0%	5 3.6%	6 4.3%	10 7.1%	15 10.7%	2 1.4%
20 人以上	106 100.0%	83 78.3%	1 0.9%	3 2.8%	3 2.8%	20 18.9%	6 5.7%	3 2.8%

図表 2-120 看護職員の基本的な夜勤体制別（訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が特にない場合）理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ス テー ション との連 携は難 しい	その他	無回答
全体	706 100.0%	495 70.1%	5 0.7%	39 5.5%	33 4.7%	98 13.9%	74 10.5%	14 2.0%
原則、夜勤職員に は看護職員が含 まれる	15 100.0%	13 86.7%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
原則、看護職員は 当直する	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員を含め たローテーションによる	22 100.0%	16 72.7%	0 0.0%	3 13.6%	2 9.1%	3 13.6%	2 9.1%	0 0.0%
原則、看護職員の 夜勤・当直はない	638 100.0%	444 69.6%	4 0.6%	35 5.5%	30 4.7%	89 13.9%	69 10.8%	14 2.2%
その他	25 100.0%	16 64.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	5 20.0%	3 12.0%	0 0.0%

図表 2-121 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別  
(訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が特  
にない場合)理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ス テーション との連 携は難 しい	その他	無回答
全体	706 100.0%	495 70.1%	5 0.7%	39 5.5%	33 4.7%	98 13.9%	74 10.5%	14 2.0%
原則、夜勤職員に は1人以上含まれ る	180 100.0%	128 71.1%	0 0.0%	12 6.7%	9 5.0%	28 15.6%	15 8.3%	4 2.2%
原則、1人以上が 当直する	13 100.0%	11 84.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%
ローテーションによりい ないこともある	314 100.0%	230 73.2%	2 0.6%	14 4.5%	15 4.8%	37 11.8%	30 9.6%	9 2.9%
原則、夜勤・当直 はない	36 100.0%	21 58.3%	1 2.8%	1 2.8%	1 2.8%	8 22.2%	7 19.4%	0 0.0%

注) 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制は、p.85図表 2-159参照

図表 2-122 施設の看取りの方針別 (訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を  
図ることができると思う医療処置が特にない場合)理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ス テーション との連 携は難 しい	その他	無回答
全体	706 100.0%	495 70.1%	5 0.7%	39 5.5%	33 4.7%	98 13.9%	74 10.5%	14 2.0%
希望があれば、施 設内で看取る	560 100.0%	417 74.5%	3 0.5%	23 4.1%	19 3.4%	70 12.5%	58 10.4%	9 1.6%
原則、病院等に移 す	103 100.0%	53 51.5%	2 1.9%	12 11.7%	11 10.7%	19 18.4%	14 13.6%	2 1.9%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

図表 2-123 施設内死亡割合別（訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が特にならない場合）理由

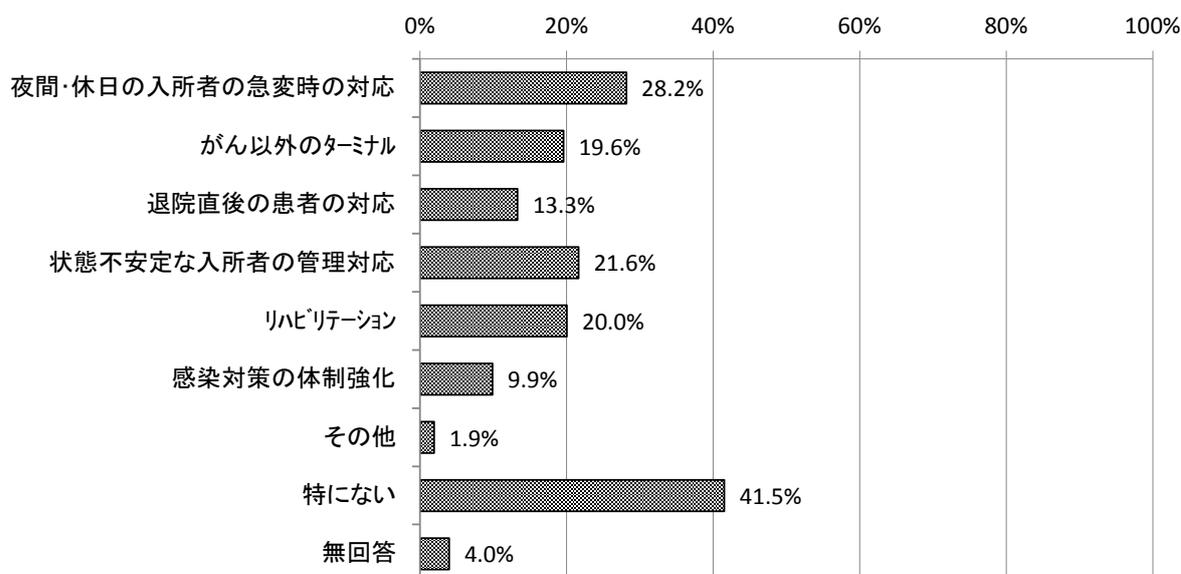
	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ス テーション との連 携は難 しい	その他	無回答
全体	706 100.0%	495 70.1%	5 0.7%	39 5.5%	33 4.7%	98 13.9%	74 10.5%	14 2.0%
0%	204 100.0%	124 60.8%	2 1.0%	22 10.8%	13 6.4%	38 18.6%	23 11.3%	3 1.5%
0%超～20%未満	49 100.0%	32 65.3%	1 2.0%	2 4.1%	4 8.2%	5 10.2%	11 22.4%	0 0.0%
20%以上～40% 未満	93 100.0%	61 65.6%	1 1.1%	3 3.2%	6 6.5%	10 10.8%	11 11.8%	3 3.2%
40%以上～60% 未満	89 100.0%	66 74.2%	0 0.0%	6 6.7%	3 3.4%	13 14.6%	7 7.9%	3 3.4%
60%以上～80% 未満	118 100.0%	94 79.7%	1 0.8%	4 3.4%	3 2.5%	15 12.7%	9 7.6%	1 0.8%
80%以上～100% 未満	71 100.0%	55 77.5%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	8 11.3%	7 9.9%	2 2.8%
100%	59 100.0%	46 78.0%	0 0.0%	1 1.7%	2 3.4%	4 6.8%	6 10.2%	1 1.7%

注) 施設内死亡割合は、p.137図表 2-242参照

4) 今後、訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置等

今後、訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置等は、「夜間・休日の入所者の急変時の対応」が28.2%、「状態不安定な入所者の管理対応」は21.6%、「リハビリテーション」は20.0%であった。

図表 2-124 今後、訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置等（複数回答）（n=1,502）



図表 2-125 訪問看護ステーションの看護職員が入所者に対応できることの認知別 今後、訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置等

	合計	夜間・休日の入所者の急変時の対応	がん以外のターミナル	退院直後の患者の対応	状態不安定な入所者の管理対応	リハビリテーション	感染対策の体制強化	その他	特にない	無回答
全体	1,502 100.0%	423 28.2%	294 19.6%	200 13.3%	325 21.6%	301 20.0%	149 9.9%	29 1.9%	624 41.5%	60 4.0%
知っていた	741 100.0%	221 29.8%	159 21.5%	87 11.7%	158 21.3%	141 19.0%	55 7.4%	17 2.3%	303 40.9%	19 2.6%
知らなかった	709 100.0%	194 27.4%	132 18.6%	110 15.5%	163 23.0%	156 22.0%	91 12.8%	12 1.7%	301 42.5%	21 3.0%

図表 2-126 施設の看取りの方針別 今後、訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置等

	合計	夜間・休日の入所者の急変時の対応	がん以外のターミナル	退院直後の患者の対応	状態不安定な入所者の管理対応	リハビリテーション	感染対策の体制強化	その他	特にな	無回答
全体	1,502 100.0%	423 28.2%	294 19.6%	200 13.3%	325 21.6%	301 20.0%	149 9.9%	29 1.9%	624 41.5%	60 4.0%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	308 26.3%	205 17.5%	162 13.8%	230 19.6%	226 19.3%	124 10.6%	23 2.0%	513 43.8%	41 3.5%
原則、病院等に移す	245 100.0%	90 36.7%	72 29.4%	28 11.4%	74 30.2%	57 23.3%	22 9.0%	1 0.4%	77 31.4%	12 4.9%

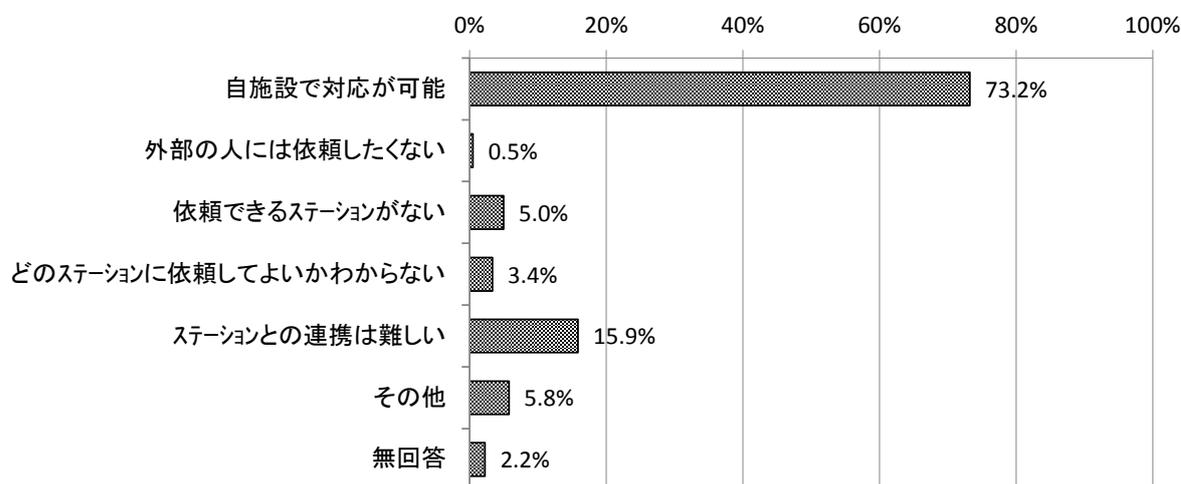
注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

今後、訪問看護ステーションとの連携で対応が充実すると思う医療処置等が特にな

い理由は、「自施設で対応が可能」が 73.2%、「ステーションとの連携は難しい」は 15.9%で、「依頼できるステーションがない」は 5.0%であった。

図表 2-127 (今後、訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置等が特にな

い場合) 理由 (複数回答) (n=624)



※「その他」の内容は、「協力病院との連携」などであった。

図表 2-128 開設年別 (訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると  
思う医療処置が特にならない場合) 理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるステ ーションが ない	どのステ ーションに 依頼してよ いかわか らない	ステーシ ョンとの連 携は難 しい	その他	無回答
全体	624 100.0%	457 73.2%	3 0.5%	31 5.0%	21 3.4%	99 15.9%	36 5.8%	14 2.2%
1989年以前	147 100.0%	115 78.2%	1 0.7%	9 6.1%	3 2.0%	16 10.9%	8 5.4%	2 1.4%
1990年～1999年	130 100.0%	104 80.0%	1 0.8%	5 3.8%	4 3.1%	20 15.4%	6 4.6%	2 1.5%
2000年～2004年	80 100.0%	55 68.8%	1 1.3%	2 2.5%	2 2.5%	12 15.0%	10 12.5%	2 2.5%
2005年～2010年	90 100.0%	63 70.0%	0 0.0%	3 3.3%	5 5.6%	16 17.8%	4 4.4%	4 4.4%
2011年以降	172 100.0%	117 68.0%	0 0.0%	12 7.0%	7 4.1%	33 19.2%	8 4.7%	4 2.3%

図表 2-129 入所定員別 (訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると  
思う医療処置が特にならない場合) 理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるステ ーションが ない	どのステ ーションに 依頼してよ いかわか らない	ステーシ ョンとの連 携は難 しい	その他	無回答
全体	624 100.0%	457 73.2%	3 0.5%	31 5.0%	21 3.4%	99 15.9%	36 5.8%	14 2.2%
29人以下	118 100.0%	82 69.5%	0 0.0%	5 4.2%	3 2.5%	18 15.3%	9 7.6%	4 3.4%
30人以上～60人未満	201 100.0%	155 77.1%	0 0.0%	10 5.0%	6 3.0%	32 15.9%	8 4.0%	2 1.0%
60人以上～100人未満	193 100.0%	139 72.0%	1 0.5%	12 6.2%	8 4.1%	32 16.6%	12 6.2%	5 2.6%
100人以上	105 100.0%	77 73.3%	2 1.9%	4 3.8%	4 3.8%	15 14.3%	6 5.7%	3 2.9%

図表 2-130 非常勤の配置医の勤務日以外における対応別（訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が特にならない場合）理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ステー ション との連 携は難 しい	その他	無回答
全体	624 100.0%	457 73.2%	3 0.5%	31 5.0%	21 3.4%	99 15.9%	36 5.8%	14 2.2%
勤務日以外でも、対応してもらえない	312 100.0%	251 80.4%	0 0.0%	15 4.8%	8 2.6%	32 10.3%	16 5.1%	8 2.6%
勤務日以外は電話で指示を得ることができる	229 100.0%	155 67.7%	3 1.3%	6 2.6%	9 3.9%	53 23.1%	15 6.6%	3 1.3%
原則、勤務日以外は対応してもらえない	35 100.0%	22 62.9%	0 0.0%	4 11.4%	2 5.7%	6 17.1%	2 5.7%	1 2.9%

図表 2-131 看護職員数（常勤換算）別（訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が特にならない場合）理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ステー ション との連 携は難 しい	その他	無回答
全体	624 100.0%	457 73.2%	3 0.5%	31 5.0%	21 3.4%	99 15.9%	36 5.8%	14 2.2%
2人未満	53 100.0%	38 71.7%	0 0.0%	3 5.7%	1 1.9%	6 11.3%	6 11.3%	1 1.9%
2人以上～3人未満	88 100.0%	54 61.4%	0 0.0%	6 6.8%	4 4.5%	18 20.5%	6 6.8%	3 3.4%
3人以上～4人未満	101 100.0%	75 74.3%	1 1.0%	5 5.0%	3 3.0%	20 19.8%	5 5.0%	2 2.0%
4人以上～5人未満	125 100.0%	102 81.6%	0 0.0%	4 3.2%	4 3.2%	17 13.6%	4 3.2%	0 0.0%
5人以上～6人未満	93 100.0%	70 75.3%	0 0.0%	6 6.5%	3 3.2%	17 18.3%	4 4.3%	2 2.2%
6人以上	76 100.0%	59 77.6%	2 2.6%	2 2.6%	4 5.3%	7 9.2%	3 3.9%	3 3.9%

図表 2-132 入所定員 100 人あたりの看護職員数（常勤換算）＋認定特定行為実施介護職員数（第一号～第三号、実人数）別（訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が特にない場合）理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるステ ーションが ない	どのステ ーションに 依頼し てよいか わからない	ステーション との連 携は難 しい	その他	無回答
全体	624 100.0%	457 73.2%	3 0.5%	31 5.0%	21 3.4%	99 15.9%	36 5.8%	14 2.2%
0人以上～4人 未満	76 100.0%	49 64.5%	0 0.0%	3 3.9%	2 2.6%	18 23.7%	6 7.9%	2 2.6%
4人以上～6人 未満	117 100.0%	76 65.0%	1 0.9%	6 5.1%	6 5.1%	22 18.8%	11 9.4%	4 3.4%
6人以上～8人 未満	118 100.0%	90 76.3%	1 0.8%	8 6.8%	6 5.1%	17 14.4%	3 2.5%	2 1.7%
8人以上～10人 未満	69 100.0%	50 72.5%	1 1.4%	4 5.8%	3 4.3%	6 8.7%	5 7.2%	1 1.4%
10人以上～20 人未満	125 100.0%	100 80.0%	0 0.0%	5 4.0%	1 0.8%	18 14.4%	6 4.8%	3 2.4%
20人以上	93 100.0%	72 77.4%	0 0.0%	5 5.4%	3 3.2%	16 17.2%	2 2.2%	1 1.1%

図表 2-133 看護職員の基本的な夜勤体制別（訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が特にならない場合）理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ス テーシ ョン との連 携は難 しい	その他	無回答
全体	624 100.0%	457 73.2%	3 0.5%	31 5.0%	21 3.4%	99 15.9%	36 5.8%	14 2.2%
原則、夜勤職員 には看護職員が 含まれる	13 100.0%	12 92.3%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
原則、看護職員 は当直する	6 100.0%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員を含め たローテーションによ る	19 100.0%	13 68.4%	0 0.0%	2 10.5%	1 5.3%	3 15.8%	0 0.0%	1 5.3%
原則、看護職員 の夜勤・当直は ない	558 100.0%	410 73.5%	3 0.5%	27 4.8%	19 3.4%	91 16.3%	33 5.9%	11 2.0%
その他	27 100.0%	16 59.3%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	4 14.8%	3 11.1%	2 7.4%

図表 2-134 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別（訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が特にならない場合）理由

	合計	自施設 で対応 が可能	外部の 人には 依頼し たくない	依頼で きるス テーションが ない	どのス テーションに 依頼し てよい かわか らない	ス テーシ ョン との連 携は難 しい	その他	無回答
全体	624 100.0%	457 73.2%	3 0.5%	31 5.0%	21 3.4%	99 15.9%	36 5.8%	14 2.2%
原則、夜勤職員 には1人以上含 まれる	168 100.0%	128 76.2%	0 0.0%	12 7.1%	6 3.6%	29 17.3%	7 4.2%	0 0.0%
原則、1人以上が 当直する	10 100.0%	7 70.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%
ローテーションによ りいないこともあ る	289 100.0%	223 77.2%	1 0.3%	10 3.5%	11 3.8%	38 13.1%	14 4.8%	11 3.8%
原則、夜勤・当直 はない	30 100.0%	14 46.7%	0 0.0%	1 3.3%	1 3.3%	10 33.3%	5 16.7%	0 0.0%

注) 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制は、p.85図表 2-159参照

図表 2-135 施設の看取りの方針別 (訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が特にない場合) 理由

	合計	自施設で対応が可能	外部の人には依頼したくない	依頼できるステーションがない	どのステーションに依頼してよいかわからない	ステーションとの連携は難しい	その他	無回答
全体	624 100.0%	457 73.2%	3 0.5%	31 5.0%	21 3.4%	99 15.9%	36 5.8%	14 2.2%
希望があれば、施設内で看取る	513 100.0%	389 75.8%	3 0.6%	20 3.9%	16 3.1%	71 13.8%	33 6.4%	13 2.5%
原則、病院等に移す	77 100.0%	49 63.6%	0 0.0%	7 9.1%	4 5.2%	17 22.1%	3 3.9%	1 1.3%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

図表 2-136 施設死亡割合別 (訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が特にない場合) 理由

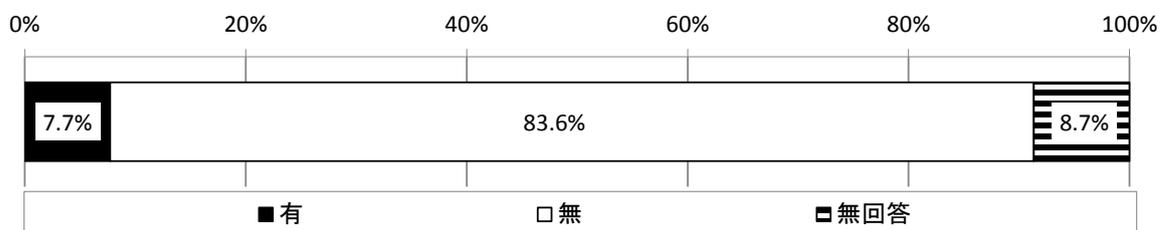
	合計	自施設で対応が可能	外部の人には依頼したくない	依頼できるステーションがない	どのステーションに依頼してよいかわからない	ステーションとの連携は難しい	その他	無回答
全体	624 100.0%	457 73.2%	3 0.5%	31 5.0%	21 3.4%	99 15.9%	36 5.8%	14 2.2%
0%	169 100.0%	113 66.9%	0 0.0%	16 9.5%	6 3.6%	34 20.1%	8 4.7%	0 0.0%
0%超～20%未満	40 100.0%	24 60.0%	0 0.0%	2 5.0%	2 5.0%	8 20.0%	6 15.0%	2 5.0%
20%以上～40%未満	77 100.0%	54 70.1%	1 1.3%	1 1.3%	2 2.6%	13 16.9%	5 6.5%	4 5.2%
40%以上～60%未満	88 100.0%	67 76.1%	0 0.0%	7 8.0%	3 3.4%	15 17.0%	4 4.5%	2 2.3%
60%以上～80%未満	112 100.0%	87 77.7%	0 0.0%	3 2.7%	4 3.6%	16 14.3%	4 3.6%	2 1.8%
80%以上～100%未満	65 100.0%	53 81.5%	2 3.1%	2 3.1%	3 4.6%	8 12.3%	2 3.1%	2 3.1%
100%	52 100.0%	42 80.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	3 5.8%	6 11.5%	1 1.9%

注) 施設内死亡割合は、p.137図表 2-242参照

③ 併設病院・診療所等他の施設等から看護職員の応援を受けることの有無

併設病院・診療所等他の施設等から看護職員の応援を受けることは、「有」が7.7%であった。

図表 2-137 他の施設等から看護職員の応援を受けることの有無 (n=1,502)



図表 2-138 看護職員の基本的な夜勤体制別

他の施設等から看護職員の応援を受けることの有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	116 7.7%	1,256 83.6%	130 8.7%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	4 16.0%	19 76.0%	2 8.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	2 10.0%	17 85.0%	1 5.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	4 9.1%	38 86.4%	2 4.5%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1352 100.0%	99 7.3%	1,131 83.7%	122 9.0%
その他	56 100.0%	7 12.5%	48 85.7%	1 1.8%

図表 2-139 看護職員数（常勤換算）別 他の施設等から看護職員の応援を受けることの有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	116 7.7%	1,256 83.6%	130 8.7%
2人未満	156 100.0%	30 19.2%	118 75.6%	8 5.1%
2人以上～3人未満	233 100.0%	13 5.6%	193 82.8%	27 11.6%
3人以上～4人未満	283 100.0%	17 6.0%	252 89.0%	14 4.9%
4人以上～5人未満	297 100.0%	15 5.1%	255 85.9%	27 9.1%
5人以上～6人未満	194 100.0%	5 2.6%	176 90.7%	13 6.7%
6人以上	136 100.0%	12 8.8%	113 83.1%	11 8.1%

## (4) 認定特定行為

## ① 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員数・特定行為を実施した職員数

「認定証の交付を受けた介護職員数（第一号）」は平均 1.8 人で、うち「1 年以内に特定行為を実施した者」は平均 0.7 人であった。

「認定証の交付を受けた介護職員数（第二号）」は平均 4.4 人で、うち「1 年以内に特定行為を実施した者」は平均 2.2 人であった。

「認定証の交付を受けた介護職員数（第三号）」は平均 0.9 人で、うち「1 年以内に特定行為を実施した者」は平均 0.4 人であった。

図表 2-140 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員数等（n=1,287）  
（単位：人）

	合計値	平均値	標準偏差	中央値
認定証の交付を受けた介護職員数：第一号	2,334	1.8	4.6	0.0
うち1年以内に特定行為を実施した者：第一号	895	0.7	2.7	0.0
認定証の交付を受けた介護職員数：第二号	5,707	4.4	6.9	1.0
うち1年以内に特定行為を実施した者：第二号	2,895	2.2	5.0	0.0
認定証の交付を受けた介護職員数：第三号	1,140	0.9	4.2	0.0
うち1年以内に特定行為を実施した者：第三号	475	0.4	2.6	0.0

図表 2-141 入所定員別 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員数等  
（平均）

（単位：人）

	全体	入所定員			
		29人以下 (n=278)	30人以上 60人未満 (n=435)	60人以上 100人未満 (n=393)	100人以上 (n=173)
認定証の交付を受けた介護職員数：第一号	1.8	0.8	1.6	2.4	2.7
うち1年以内に特定行為を実施した者：第一号	0.7	0.3	0.6	0.8	1.3
認定証の交付を受けた介護職員数：第二号	4.4	1.7	3.9	5.8	7.3
うち1年以内に特定行為を実施した者：第二号	2.2	0.9	1.9	2.7	4.3
認定証の交付を受けた介護職員数：第三号	0.9	0.4	1.1	0.9	1.0
うち1年以内に特定行為を実施した者：第三号	0.4	0.1	0.3	0.4	0.8

1) 認定証の交付を受けた介護職員数が「0人」を除いた場合

「認定証の交付を受けた介護職員数（第一号）」は、0人を除いて集計したところ、平均は6.4人、うち「1年以内に特定行為を実施した者」は平均5.1人であった

「認定証の交付を受けた介護職員数（第二号）」は、0人を除いて集計したところ、平均は7.8人、うち「1年以内に特定行為を実施した者」は平均6.2人であった

「認定証の交付を受けた介護職員数（第三号）」は、0人を除いて集計したところ、平均は10.8人、うち「1年以内に特定行為を実施した者」は平均10.6人であった。

図表 2-142 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員数等(0人を除いた集計)  
(単位：人)

	回答施設数※	合計値	平均値	標準偏差	中央値
認定証の交付を受けた介護職員数：第一号	362	2,334	6.4	6.8	3.0
うち1年以内に特定行為を実施した者：第一号	175	895	5.1	5.5	3.0
認定証の交付を受けた介護職員数：第二号	731	5,707	7.8	7.6	5.0
うち1年以内に特定行為を実施した者：第二号	468	2,895	6.2	6.6	4.0
認定証の交付を受けた介護職員数：第三号	106	1,140	10.8	10.3	8.0
うち1年以内に特定行為を実施した者：第三号	45	475	10.6	9.4	6.0

※回答施設数：対象の職員が1人以上した施設数

## ② 喀痰吸引、経管栄養等を実施した職員数

「口腔内喀痰吸引」を実施した職員数は平均 5.7 人、「鼻腔内喀痰吸引」を実施した職員数は平均 1.7 人、「気管カニューレ内部の喀痰吸引」を実施した職員数は平均 0.1 人、「胃ろう又は腸ろうによる経管栄養」を実施した職員数は平均 2.8 人、「経鼻経管栄養」を実施した職員数は平均 0.4 人であった。

図表 2-143 喀痰吸引、経管栄養等を実施した職員数

(単位：人)

	件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
口腔内喀痰吸引	1,225	6,967	5.7	7.8	2.0
鼻腔内喀痰吸引	1,225	2,029	1.7	4.1	0.0
気管カニューレ内部の喀痰吸引	1,225	95	0.1	0.6	0.0
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	1,225	3,482	2.8	6.2	0.0
経鼻経管栄養	1,225	544	0.4	2.4	0.0

図表 2-144 入所定員別 喀痰吸引、経管栄養等を実施した職員数 (平均)

(単位：人)

	全体	入所定員			
		29 人以下 (n=250)	30 人以上 60 人未満 (n=412)	60 人以上 100 人未満 (n=382)	100 人以上 (n=171)
口腔内喀痰吸引	5.7	2.1	5.4	8.6	8.6
鼻腔内喀痰吸引	1.7	0.6	1.7	2.0	2.0
気管カニューレ内部の喀痰吸引	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	2.8	1.2	2.6	3.9	3.9
経鼻経管栄養	0.4	0.2	0.5	0.6	0.6

## 1) 喀痰吸引、経管栄養等を実施した職員数が「0 人」を除いた場合

0 人を除いて集計したところ、「口腔内喀痰吸引」を実施した職員数は平均 9.6 人、「鼻腔内喀痰吸引」を実施した職員数は平均 6.0 人、「気管カニューレ内部の喀痰吸引」を実施した職員数は平均 3.3 人、「胃ろう又は腸ろうによる経管栄養」を実施した職員数は平均 8.9 人、「経鼻経管栄養」を実施した職員数は平均 6.0 人であった。

図表 2-145 喀痰吸引、経管栄養等を実施した職員数 (0 人を除いた集計)

(単位：人)

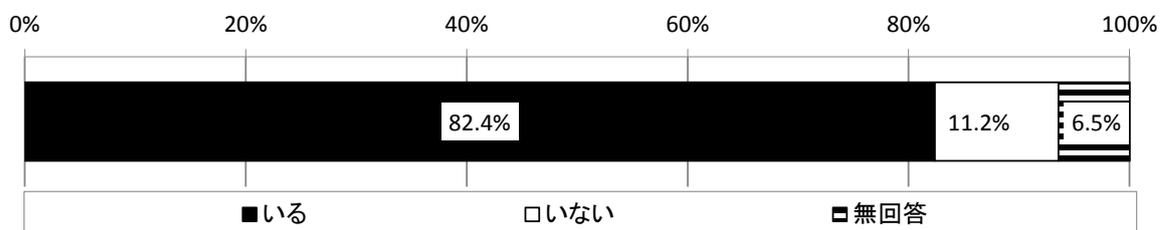
	回答施設数※	合計値	平均値	標準偏差	中央値
口腔内喀痰吸引	722	6,967	9.6	8.0	7.0
鼻腔内喀痰吸引	337	2,029	6.0	6.0	4.0
気管カニューレ内部の喀痰吸引	29	95	3.3	2.4	3.0
胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	391	3,482	8.9	8.1	6.0
経鼻経管栄養	91	544	6.0	6.7	4.0

※回答施設数：対象の職員が 1 人以上した施設数

③ 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員

認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員の有無は、「いる」が82.4%、「いない」が11.2%であった。

図表 2-146 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員の有無 (n=1,502)



図表 2-147 開設年別 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員の有無

	合計	いる	いない	無回答
全体	1,502 100.0%	1,237 82.4%	168 11.2%	97 6.5%
1989年以前	312 100.0%	271 86.9%	27 8.7%	14 4.5%
1990年～1999年	322 100.0%	278 86.3%	25 7.8%	19 5.9%
2000年～2004年	185 100.0%	158 85.4%	16 8.6%	11 5.9%
2005年～2010年	208 100.0%	167 80.3%	29 13.9%	12 5.8%
2011年以降	461 100.0%	354 76.8%	69 15.0%	38 8.2%

図表 2-148 入所定員別 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員の有無

	合計	いる	いない	無回答
全体	1,502 100.0%	1,237 82.4%	168 11.2%	97 6.5%
29人以下	324 100.0%	255 78.7%	49 15.1%	20 6.2%
30人以上～60人未満	502 100.0%	417 83.1%	55 11.0%	30 6.0%
60人以上～100人未満	455 100.0%	384 84.4%	43 9.5%	28 6.2%
100人以上	208 100.0%	170 81.7%	21 10.1%	17 8.2%

図表 2-149 施設の看取りの方針別 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない

職員の有無 (n=1,502)

	合計	いる	いない	無回答
全体	1,502 100.0%	1,237 82.4%	168 11.2%	97 6.5%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	973 83.1%	127 10.8%	71 6.1%
原則、病院等に移す	245 100.0%	200 81.6%	32 13.1%	13 5.3%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

1) 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員がいる場合

認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員がいる場合、認定証の交付を受けていない職員数は平均 16.5 人であった。

図表 2-150 (認定証の交付を受けていない職員がいる場合)

認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員数

(単位：人)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
認定証の交付を受けていない職員の人数	783	16.5	12.2	14.0

図表 2-151 入所定員別 (認定証の交付を受けていない職員がいる場合)

認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員数

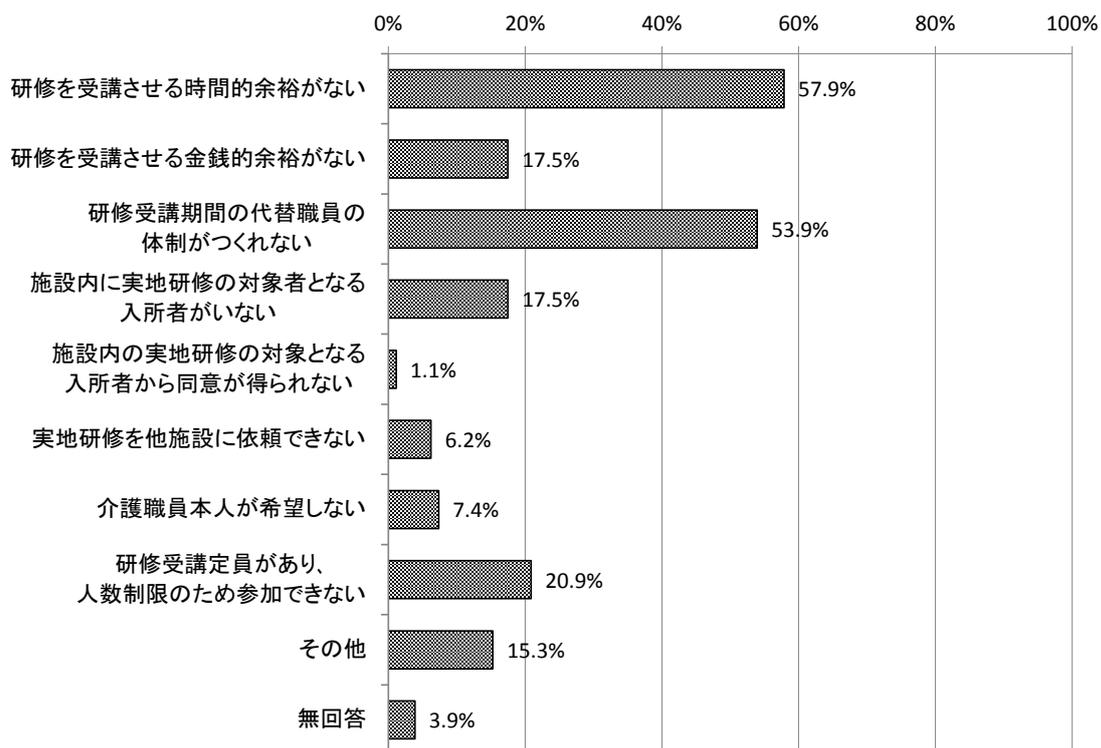
(単位：人)

	全体	入所定員			
		29人以下 (n=173)	30人以上 60人未満 (n=276)	60人以上 100人未満 (n=236)	100人以上 (n=94)
認定証の交付を受けていない職員の人数	16.5	11.1	13.7	19.2	27.9

i) 認知特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員がいる理由

認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員がいる場合、その理由は、「研修を受講させる時間的余裕がない」が 57.9%、「研修受講期間の代替職員の体制がつかれない」は 53.9%、「研修受講定員があり、人数制限のため参加できない」は 20.9%であった。

図表 2-152 (認定証の交付を受けていない職員がいる場合) 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員がいる理由(複数回答)(n=1,237)



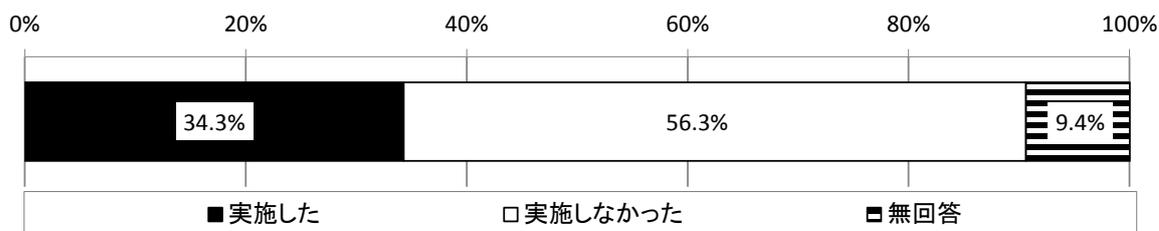
※「その他」の内容は、「計画的に実施している」「現在受講中」「看護職が対応」などであった。

④ 認定特定行為業務従事者認定のための実地研修の実施状況

認定特定行為業務従事者認定のための実地研修の実施状況は、「実施しなかった」が 56.3%、「実施した」は 34.3%であった。

認定のための実施研修を実施した場合について、実施人数は平均 2.5 人であった。

図表 2-153 認定特定行為業務従事者認定のための実地研修の実施状況（平成 27 年度）  
(n=1,237)



図表 2-154 （認定のための実施研修を実施した場合）

認定特定行為業務従事者認定のための実地研修の実施人数（平成 27 年度）(n=1,237)  
(単位：人)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
実施人数	479	2.5	2.6	2.0

図表 2-155 開設年別 認定特定行為業務従事者認定のための実地研修の実施状況  
(平成 27 年度)

	合計	実施した	実施しなかった	無回答
全体	1,502 100.0%	515 34.3%	846 56.3%	141 9.4%
1989 年以前	312 100.0%	132 42.3%	155 49.7%	25 8.0%
1990 年～1999 年	322 100.0%	132 41.0%	164 50.9%	26 8.1%
2000 年～2004 年	185 100.0%	77 41.6%	92 49.7%	16 8.6%
2005 年～2010 年	208 100.0%	65 31.3%	126 60.6%	17 8.2%
2011 年以降	461 100.0%	107 23.2%	301 65.3%	53 11.5%

図表 2-156 入所定員別 認定特定行為業務従事者認定のための実地研修の実施状況  
(平成 27 年度)

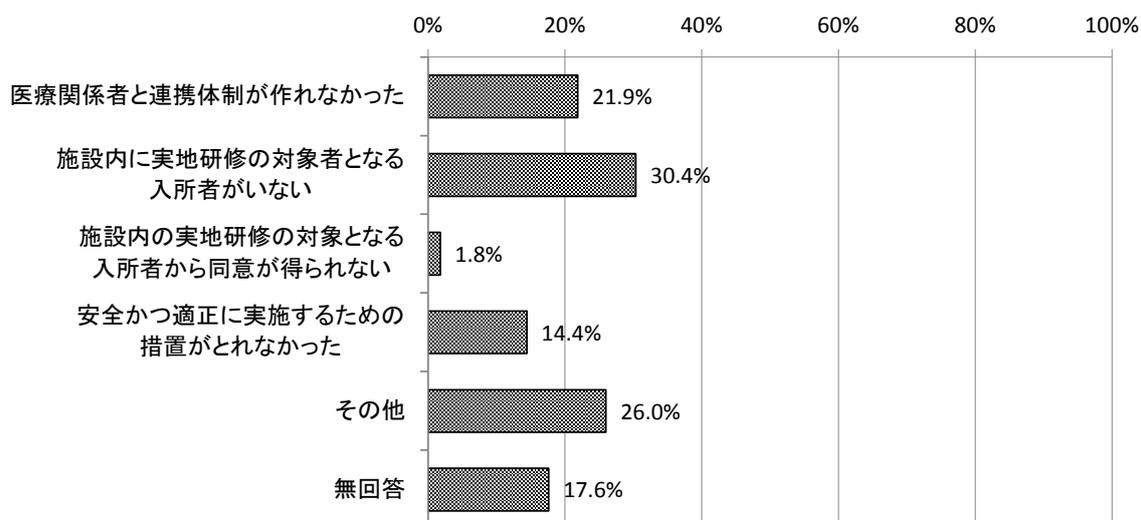
	合計	実施した	実施しなかった	無回答
全体	1,502 100.0%	515 34.3%	846 56.3%	141 9.4%
29人以下	324 100.0%	78 24.1%	219 67.6%	27 8.3%
30人以上～60人未満	502 100.0%	161 32.1%	298 59.4%	43 8.6%
60人以上～100人未満	455 100.0%	193 42.4%	223 49.0%	39 8.6%
100人以上	208 100.0%	80 38.5%	101 48.6%	27 13.0%

1) 認定特定行為業務従事者認定のための実地研修を実施しなかった理由

認定特定行為業務従事者認定のための実地研修を実施しなかった理由は、「施設内に実地研修の対象者となる入所者がいない」が 30.4%、「医療関係者と連携体制が作れなかった」は 21.9%、「安全かつ適正に実施するための措置がとれなかった」は 14.4%であった。

図表 2-157 (認定のための実施研修を実施しなかった場合)

認定特定行為業務従事者のための実地研修を実施しなかった理由(複数回答)(n=846)



※「その他」の内容は、「対象職員がいない」「指導看護師がいない」「研修に参加できなかった」「研修を受講した職員がいなかった」「人員不足」などであった。

図表 2-158 (認定のための実施研修を実施しなかった場合) 入所定員別

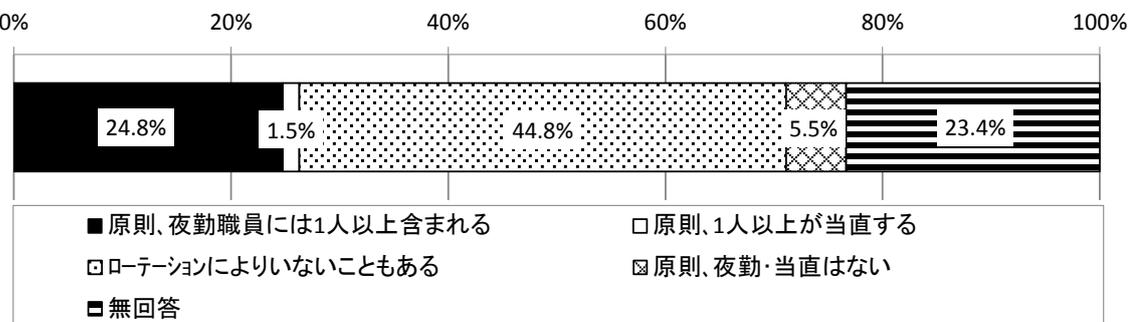
認定特定行為業務従事者のための実地研修を実施しなかった理由

	合計	医療関係者と連携体制が作れなかった	施設内に実地研修の対象者となる入所者がいない	施設内の実地研修の対象となる入所者から同意が得られない	安全かつ適正に実施するための措置がとれなかった	その他	無回答
全体	846 100.0%	185 21.9%	257 30.4%	15 1.8%	122 14.4%	220 26.0%	149 17.6%
29人以下	219 100.0%	54 24.7%	93 42.5%	3 1.4%	33 15.1%	45 20.5%	35 16.0%
30人以上～60人未満	298 100.0%	69 23.2%	85 28.5%	4 1.3%	41 13.8%	77 25.8%	50 16.8%
60人以上～100人未満	223 100.0%	40 17.9%	54 24.2%	4 1.8%	34 15.2%	68 30.5%	42 18.8%
100人以上	101 100.0%	19 18.8%	23 22.8%	3 3.0%	14 13.9%	28 27.7%	22 21.8%

⑤ 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制

認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制は、「ローテーションによりいないこともある」が44.8%、「原則、夜勤職員には1人以上含まれる」は24.8%、「原則、夜勤・当直はない」は5.5%であった。

図表 2-159 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制 (n=846)



図表 2-160 入所定員別 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制

	合計	原則、夜勤職員には1人以上含まれる	原則、1人以上が当直する	ローテーションによりいないこともある	原則、夜勤・当直はない	無回答
全体	1,502 100.0%	372 24.8%	23 1.5%	673 44.8%	83 5.5%	351 23.4%
29人以下	324 100.0%	40 12.3%	1 0.3%	153 47.2%	29 9.0%	101 31.2%
30人以上～60人未満	502 100.0%	134 26.7%	14 2.8%	211 42.0%	26 5.2%	117 23.3%
60人以上～100人未満	455 100.0%	142 31.2%	3 0.7%	213 46.8%	22 4.8%	75 16.5%
100人以上	208 100.0%	56 26.9%	5 2.4%	88 42.3%	6 2.9%	53 25.5%

図表 2-161 施設の看取りの方針別 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制

	合計	原則、夜勤職員には1人以上含まれる	原則、1人以上が当直する	ローテーションによりいないこともある	原則、夜勤・当直はない	無回答
全体	1,502 100.0%	372 24.8%	23 1.5%	673 44.8%	83 5.5%	351 23.4%
希望があれば、施設内で看取る	1171 100.0%	313 26.7%	17 1.5%	536 45.8%	54 4.6%	251 21.4%
原則、病院等に移す	245 100.0%	42 17.1%	4 1.6%	104 42.4%	27 11.0%	68 27.8%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

⑥ 介護職員による認定特定行為実施をより適切に進めるために必要なこと（自由回答）

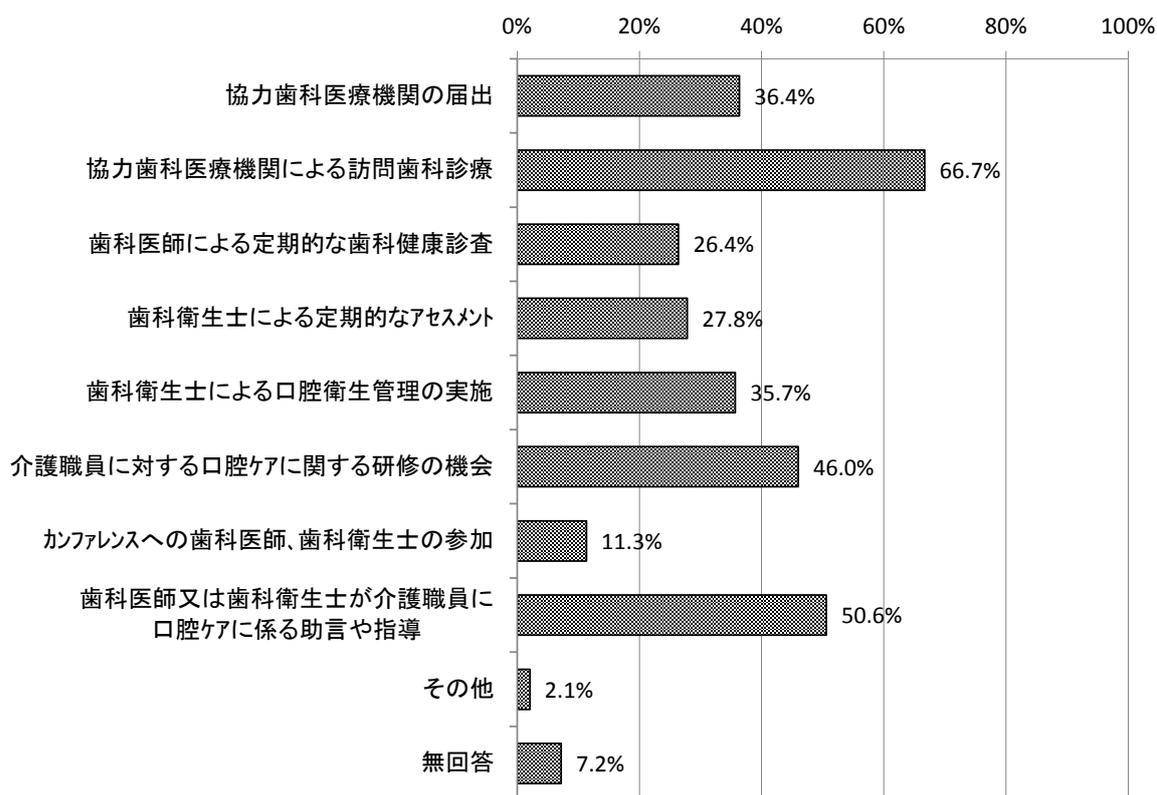
介護職員による認定特定行為実施をより適切に進めるために必要なこととして、主な回答は以下のとおりであった。

○研修
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護職員全員が研修を受けてすべての職員が資格を所有すること。</li> <li>・ 50時間の座学研修含め、参加した際の代替派遣職員の補助があると施設からも参加しやすくなる。</li> <li>・ 50時間研修を受講するための人力的余裕がない。</li> <li>・ 研修時間、代替職員、研修場所等、研修の回数等何人か複数受けてほしいが、1～2名ほどしか行くことができず、時間がかかってしまうことから、研修時間等の短縮等検討が必要と考える。</li> <li>・ より多くの職員が喀痰吸引の研修を受講する必要があると思うが、現状の介護職員の人数では受講のために抜けられると業務が厳しいこともあり、介護職員数をもっと増えてもらわないとなかなか計画はしても予定どおり受講させることが難しい。</li> <li>・ 喀痰吸引等基本研修日数が多いので、処遇人数確保の為研修参加人数に制限を必要とする。法人毎の基本研修を組んでもらえれば多数の介護職が早期に修了できると考える。</li> <li>・ 近隣での研修があれば参加しやすい。各手続きや制度が複雑すぎる。登録、研修の簡略化必要。早わかりテキストのような本がほしい。制度やしきみ等わかりやすく知りたい。</li> <li>・ 研修の機会を増やしてほしい。施設によっては、実習先の確保が難しい場合が増えていると考えられる。（要件の緩和）</li> <li>・ 研修受講に関する金銭的・時間的負担の軽減</li> <li>・ 研修受講定員の増員。</li> </ul>
○指導看護師
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導看護師の確保と介護職員の増員</li> <li>・ 指導出来る看護師が正看に限られる為、人員が確保できない。准看も指導可能であれば良い。</li> </ul>
○実地研修
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正看護師が指導者講習をうけていないと実施研修が自施設で出来ない為、離島であり、人材の確保が困難な地においては、准看護師にも指導者としての講習を受ける要件を与えていただき柔軟な処置を作してほしい。</li> <li>・ 実地研修を行うことを自施設で行う負担が大きい。時間外に実施することも多い。</li> <li>・ 実地研修を受け入れてくれる外部施設が複数あると研修を進めやすい。</li> <li>・ 実地研修は対象になる入所者がいない為に他施設に依頼したりするのは、指導する方も受講方も大変である。研修期間も長く、研修のシステムを見直して欲しい。</li> </ul>
○フォローアップ、スキル向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繰り返し研修の実施</li> <li>・ 実習終了後も継続的なフォローアップ研修等を実施し、スキルを向上していく必要がある。</li> <li>・ 吸引を実際に施行する事例が少ないためフォローアップが必要。</li> <li>・ 認定証の交付を受けたからと言って、実施が可能と言うわけではなく、技術的、精神的に、フォローが必要になってくる。</li> <li>・ 認定証を持っていても現状対象者がいない為実際必要となった時に実施できるか不安もあり定期的に研修が必要となる。</li> <li>・ 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員の研修参加はもちろん、交付を受けている職員へも定期的なマニュアル、手技等の指導、勉強会が必要と考える。</li> <li>・ 迅速かつ的確に実施できるよう定期的または随時看護職員の同行や指導を受けることで判断力や手技を高める。</li> </ul>

(5) 口腔衛生管理体制

口腔衛生管理体制として、有する項目、実施項目は、「協力歯科医療機関による訪問歯科診療」が 66.7%、「歯科医師又は歯科衛生士が介護職員に口腔ケアに係る助言や指導」は 50.6%で、「介護職員に対する口腔ケアに関する研修の機会」は 46.0%であった。

図表 2-162 口腔衛生管理体制（複数回答）（n=1,502）



図表 2-163 開設年別 口腔衛生管理体制

	合計	協力 歯科 医療 機関 の届 出	協力 歯科 医療 機関 による訪 問歯 科診 療	歯科 医師 による定 期的な 歯科健 康診 査	歯科 衛生 士に よる定 期的な ア セスメント	歯科 衛生 士に よる口 腔衛 生管 理の 実 施	介護 職員 に対 する 口腔 ケアに 関 する 研修 の機 会	カン ファ レン スへ の歯 科医 師、 歯 科衛 生士 の参 加	介護 職員 に口 腔ケ アに 係 る助 言や 指 導	その 他	無回 答
全体	1,502 100.0%	546 36.4%	1,002 66.7%	396 26.4%	418 27.8%	536 35.7%	691 46.0%	170 11.3%	760 50.6%	31 2.1%	108 7.2%
1989年以前	312 100.0%	115 36.9%	207 66.3%	85 27.2%	102 32.7%	121 38.8%	160 51.3%	41 13.1%	172 55.1%	8 2.6%	23 7.4%
1990年～ 1999年	322 100.0%	104 32.3%	215 66.8%	76 23.6%	91 28.3%	113 35.1%	144 44.7%	41 12.7%	177 55.0%	6 1.9%	23 7.1%
2000年～ 2004年	185 100.0%	62 33.5%	126 68.1%	54 29.2%	62 33.5%	85 45.9%	104 56.2%	24 13.0%	113 61.1%	5 2.7%	10 5.4%
2005年～ 2010年	208 100.0%	71 34.1%	141 67.8%	49 23.6%	44 21.2%	63 30.3%	90 43.3%	21 10.1%	98 47.1%	2 1.0%	17 8.2%
2011年以 降	461 100.0%	190 41.2%	304 65.9%	128 27.8%	115 24.9%	150 32.5%	189 41.0%	41 8.9%	195 42.3%	10 2.2%	33 7.2%

図表 2-164 入所定員別 口腔衛生管理体制

	合計	協力 歯科 医療 機関 の届 出	協力 歯科 医療 機関 による訪 問歯 科診 療	歯科 医師 による定 期的な 歯科健 康診 査	歯科 衛生 士に よる定 期的な ア セスメント	歯科 衛生 士に よる口 腔衛 生管 理の 実 施	介護 職員 に対 する 口腔 ケアに 関 する 研修 の機 会	カン ファ レン スへ の歯 科医 師、 歯 科衛 生士 の参 加	介護 職員 に口 腔ケ アに 係 る助 言や 指 導	その 他	無回 答
全体	1,502 100.0%	546 36.4%	1002 66.7%	396 26.4%	418 27.8%	536 35.7%	691 46.0%	170 11.3%	760 50.6%	31 2.1%	108 7.2%
29人以下	324 100.0%	140 43.2%	196 60.5%	83 25.6%	67 20.7%	96 29.6%	132 40.7%	19 5.9%	130 40.1%	6 1.9%	20 6.2%
30人以上～ 60人未満	502 100.0%	165 32.9%	325 64.7%	116 23.1%	142 28.3%	164 32.7%	223 44.4%	51 10.2%	241 48.0%	14 2.8%	38 7.6%
60人以上～ 100人未満	455 100.0%	170 37.4%	324 71.2%	135 29.7%	133 29.2%	177 38.9%	229 50.3%	65 14.3%	253 55.6%	455 100.0%	170 37.4%
100人以上	208 100.0%	67 32.2%	151 72.6%	59 28.4%	72 34.6%	94 45.2%	99 47.6%	35 16.8%	128 61.5%	3 1.4%	18 8.7%

### 3. 入所者数等

#### (1) 入所者数

##### ① 入所者数（全体）

入所者数は平均 58.7 人であった。

図表 2-165 入所者数

(単位：人)

	件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
入所者数	1,495	87,739	58.7	29.0	50.0	216	9

##### ② 要介護度別入所者数

要介護別入所者数について、「要介護 1」は平均 1.3 人、「要介護 2」は平均 3.5 人、「要介護 3」は平均 13.5 人、「要介護 4」は平均 21.1 人、「要介護 5」は平均 19.2 人、「申請中」は平均 0.1 人であった。

図表 2-166 要介護別入所者数 (n=1,486)

(単位：人)

	合計値	構成比	平均値 (1施設 あたり)	標準偏差	中央値
要介護 1	1,864	2.1%	1.3	2.1	0.0
要介護 2	5,262	6.0%	3.5	3.8	2.0
要介護 3	20,052	23.0%	13.5	8.7	11.0
要介護 4	31,367	35.9%	21.1	11.2	19.0
要介護 5	28,550	32.7%	19.2	11.4	18.0
申請中	161	0.2%	0.1	0.6	0.0
合計人数 (計算値)	87,256	100.0%			

##### ③ 年齢階級別入所者数

「年齢階級別入所者数」について、「40～64 歳」は平均 0.6 人、「65～74 歳」は平均 3.8 人、「75～84 歳」は平均 15.8 人、「85～94 歳」は平均 29.5 人、「95 歳以上」は平均 8.9 人であった。

図表 2-167 年齢階級別入所者数 (n=1,466)

(単位：人)

	合計値	構成比	平均値	標準偏差	中央値
40～64 歳	819	1.0%	0.6	0.9	0.0
65～74 歳	5,530	6.4%	3.8	3.5	3.0
75～84 歳	23,219	27.0%	15.8	9.6	14.0
85～94 歳	43,275	50.4%	29.5	14.9	27.0
95 歳以上	13,066	15.2%	8.9	6.4	8.0
合計人数 (計算値)	85,909	100.0%			

## ④ 障害高齢者の日常生活自立度別入所者数

「障害高齢者の日常生活自立度別入所者数」について、「自立」は平均 0.3 人、「J」は平均 1.1 人、「A」は平均 12.0 人、「B」は平均 30.6 人、「C」は平均 14.3 人であった。

図表 2-168 障害高齢者の日常生活自立度別入所者数 (n=1,247)

(単位：人)

	合計値	構成比	平均値	標準偏差	中央値
自立	351	0.5%	0.3	2.5	0.0
J	1,373	1.9%	1.1	2.6	0.0
A	14,994	20.6%	12.0	9.8	10.0
B	38,176	52.5%	30.6	17.8	28.0
C	17,776	24.5%	14.3	11.1	12.0
合計人数 (計算値)	72,670	100.0%			

## ⑤ 認知症高齢者の日常生活自立度別入所者数

「認知症高齢者の日常生活自立度別入所者数」について、「自立」は平均 1.0 人、「I」は平均 2.6 人、「II」は平均 11.7 人、「III」は平均 26.8 人、「IV」は平均 13.5 人、「M」は平均 2.5 人であった。

図表 2-169 認知症高齢者の日常生活自立度別入所者数 (n=1,329)

(単位：人)

	合計値	構成比	平均値	標準偏差	中央値
自立	1,369	1.8%	1.0	2.9	0.0
I	3,491	4.5%	2.6	3.2	2.0
II	15,543	20.1%	11.7	9.1	9.0
III	35,657	46.1%	26.8	16.4	24.0
IV	17,973	23.2%	13.5	10.6	11.0
M	3,285	4.2%	2.5	4.4	1.0
合計人数 (計算値)	77,318	100.0%			

(2) 新規入所者（平成28年4月～9月の新規入所全員）

平成28年4月～9月の新規入所者数は、回答施設の合計で11,194人、平均7.8人であった。

図表2-170 新規入所者数（回答データ数）

（単位：人）

	件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
新規入所者数	1,434	11,194	7.8	6.7	7.0

※なお、平成28年4月以降の開設施設は全員が新規入所となる。

① 入所時の年齢

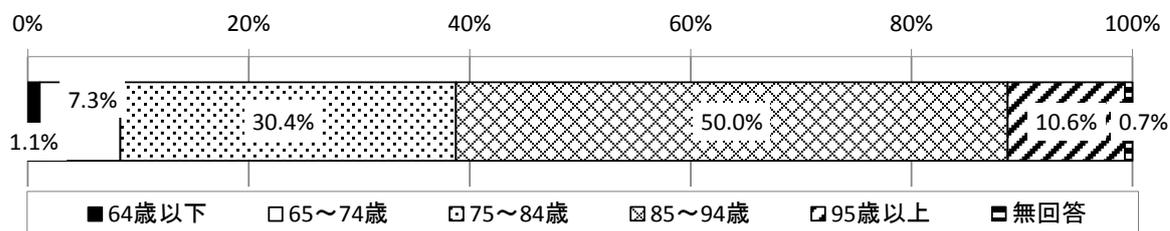
入所時の年齢は平均85.7歳で、「85～94歳」が50.0%、「75～84歳」は30.4%で、「95歳以上」は10.6%であった。

図表2-171 入所時の年齢

（単位：歳）

	件数	平均値	標準偏差	中央値
入所時の年齢	11,116	85.7	7.7	86.0

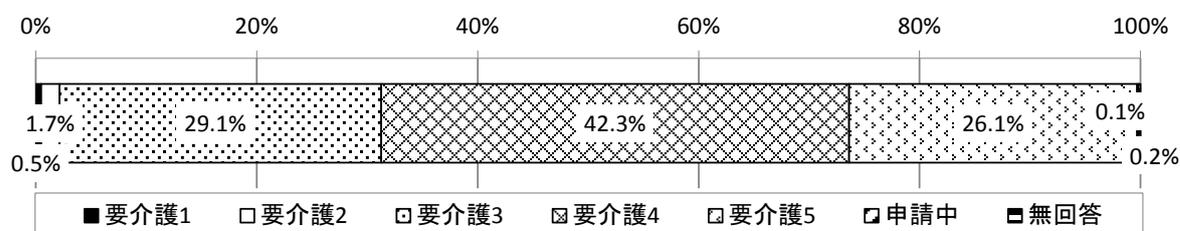
図表2-172 入所時の年齢（n=11,194）



② 入所時の要介護度

入所時の要介護度は、「要介護4」が42.3%、「要介護3」は29.1%で、「要介護5」は26.1%であった。

図表2-173 入所時の要介護度（n=11,194）



図表 2-174 都道府県別 入所時の要介護度

	回答 施設数	合計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	無回答
全体	1,434	11,194 100.0%	54 0.5%	186 1.7%	3,260 29.1%	4,740 42.3%	2,921 26.1%	12 0.1%	21 0.2%
北海道	63	490 100.0%	0 0.0%	7 1.4%	146 29.8%	213 43.5%	124 25.3%	0 0.0%	0 0.0%
青森県	24	152 100.0%	0 0.0%	3 2.0%	30 19.7%	69 45.4%	48 31.6%	2 1.3%	0 0.0%
岩手県	24	152 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	27 17.8%	78 51.3%	47 30.9%	0 0.0%	0 0.0%
宮城県	33	205 100.0%	0 0.0%	1 0.5%	49 23.9%	91 44.4%	64 31.2%	0 0.0%	0 0.0%
秋田県	25	132 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	27 20.5%	56 42.4%	49 37.1%	0 0.0%	0 0.0%
山形県	21	179 100.0%	0 0.0%	1 0.6%	50 27.9%	59 33.0%	69 38.5%	0 0.0%	0 0.0%
福島県	21	218 100.0%	0 0.0%	1 0.5%	69 31.7%	85 39.0%	62 28.4%	1 0.5%	0 0.0%
茨城県	35	313 100.0%	1 0.3%	9 2.9%	92 29.4%	131 41.9%	80 25.6%	0 0.0%	0 0.0%
栃木県	28	153 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	45 29.4%	77 50.3%	31 20.3%	0 0.0%	0 0.0%
群馬県	33	314 100.0%	0 0.0%	3 1.0%	117 37.3%	119 37.9%	75 23.9%	0 0.0%	0 0.0%
埼玉県	60	548 100.0%	6 1.1%	13 2.4%	184 33.6%	218 39.8%	119 21.7%	0 0.0%	8 1.5%
千葉県	64	572 100.0%	9 1.6%	25 4.4%	161 28.1%	238 41.6%	129 22.6%	1 0.2%	9 1.6%
東京都	84	834 100.0%	2 0.2%	9 1.1%	161 19.3%	395 47.4%	264 31.7%	1 0.1%	2 0.2%
神奈川県	53	493 100.0%	1 0.2%	15 3.0%	147 29.8%	202 41.0%	128 26.0%	0 0.0%	0 0.0%
新潟県	54	385 100.0%	2 0.5%	4 1.0%	94 24.4%	175 45.5%	109 28.3%	1 0.3%	0 0.0%
富山県	17	126 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	32 25.4%	58 46.0%	36 28.6%	0 0.0%	0 0.0%
石川県	19	144 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	50 34.7%	60 41.7%	34 23.6%	0 0.0%	0 0.0%
福井県	21	148 100.0%	0 0.0%	1 0.7%	47 31.8%	60 40.5%	37 25.0%	3 2.0%	0 0.0%
山梨県	16	94 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	27 28.7%	41 43.6%	26 27.7%	0 0.0%	0 0.0%
長野県	32	264 100.0%	4 1.5%	8 3.0%	64 24.2%	109 41.3%	78 29.5%	0 0.0%	1 0.4%

(続き)

	回答 施設数	合計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	無回答
全体	1,434	11,194 100.0%	54 0.5%	186 1.7%	3,260 29.1%	4,740 42.3%	2,921 26.1%	12 0.1%	21 0.2%
岐阜県	30	219 100.0%	5 2.3%	6 2.7%	65 29.7%	84 38.4%	57 26.0%	1 0.5%	1 0.5%
静岡県	49	342 100.0%	1 0.3%	3 0.9%	139 40.6%	131 38.3%	68 19.9%	0 0.0%	0 0.0%
愛知県	56	504 100.0%	4 0.8%	11 2.2%	196 38.9%	183 36.3%	110 21.8%	0 0.0%	0 0.0%
三重県	37	215 100.0%	0 0.0%	2 0.9%	52 24.2%	110 51.2%	51 23.7%	0 0.0%	0 0.0%
滋賀県	14	101 100.0%	0 0.0%	1 1.0%	31 30.7%	46 45.5%	23 22.8%	0 0.0%	0 0.0%
京都府	30	176 100.0%	0 0.0%	1 0.6%	58 33.0%	73 41.5%	43 24.4%	1 0.6%	0 0.0%
大阪府	55	477 100.0%	1 0.2%	13 2.7%	147 30.8%	195 40.9%	121 25.4%	0 0.0%	0 0.0%
兵庫県	62	580 100.0%	4 0.7%	9 1.6%	209 36.0%	224 38.6%	134 23.1%	0 0.0%	0 0.0%
奈良県	15	117 100.0%	0 0.0%	4 3.4%	41 35.0%	49 41.9%	23 19.7%	0 0.0%	0 0.0%
和歌山県	19	127 100.0%	1 0.8%	0 0.0%	37 29.1%	51 40.2%	38 29.9%	0 0.0%	0 0.0%
鳥取県	7	43 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 14.0%	15 34.9%	22 51.2%	0 0.0%	0 0.0%
島根県	19	119 100.0%	0 0.0%	1 0.8%	28 23.5%	58 48.7%	32 26.9%	0 0.0%	0 0.0%
岡山県	29	188 100.0%	0 0.0%	1 0.5%	48 25.5%	91 48.4%	48 25.5%	0 0.0%	0 0.0%
広島県	34	186 100.0%	0 0.0%	1 0.5%	55 29.6%	76 40.9%	54 29.0%	0 0.0%	0 0.0%
山口県	23	202 100.0%	0 0.0%	1 0.5%	49 24.3%	99 49.0%	53 26.2%	0 0.0%	0 0.0%
徳島県	10	57 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 31.6%	22 38.6%	17 29.8%	0 0.0%	0 0.0%
香川県	17	127 100.0%	0 0.0%	1 0.8%	51 40.2%	51 40.2%	24 18.9%	0 0.0%	0 0.0%
愛媛県	18	91 100.0%	0 0.0%	1 1.1%	17 18.7%	41 45.1%	32 35.2%	0 0.0%	0 0.0%
高知県	13	113 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	26 23.0%	44 38.9%	42 37.2%	1 0.9%	0 0.0%
福岡県	64	501 100.0%	9 1.8%	17 3.4%	145 28.9%	214 42.7%	116 23.2%	0 0.0%	0 0.0%

## 3 入所者数等

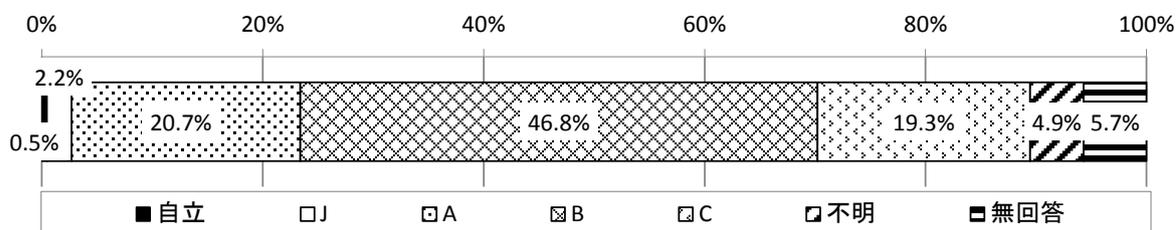
(続き)

	回答 施設数	合計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中	無回答
全体	1,434	11,194 100.0%	54 0.5%	186 1.7%	3,260 29.1%	4,740 42.3%	2,921 26.1%	12 0.1%	21 0.2%
佐賀県	8	60 100.0%	0 0.0%	2 3.3%	14 23.3%	34 56.7%	10 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
長崎県	28	230 100.0%	3 1.3%	8 3.5%	74 32.2%	92 40.0%	53 23.0%	0 0.0%	0 0.0%
熊本県	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
大分県	19	128 100.0%	0 0.0%	2 1.6%	32 25.0%	59 46.1%	35 27.3%	0 0.0%	0 0.0%
宮崎県	11	57 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 33.3%	29 50.9%	9 15.8%	0 0.0%	0 0.0%
鹿児島県	29	211 100.0%	0 0.0%	1 0.5%	48 22.7%	93 44.1%	69 32.7%	0 0.0%	0 0.0%
沖縄県	11	107 100.0%	1 0.9%	0 0.0%	36 33.6%	42 39.3%	28 26.2%	0 0.0%	0 0.0%

③ 入所時の障害高齢者の日常生活自立度

入所時の障害高齢者日常生活自立度は、「B」が46.8%、「A」は20.7%で、「C」は19.3%であった。

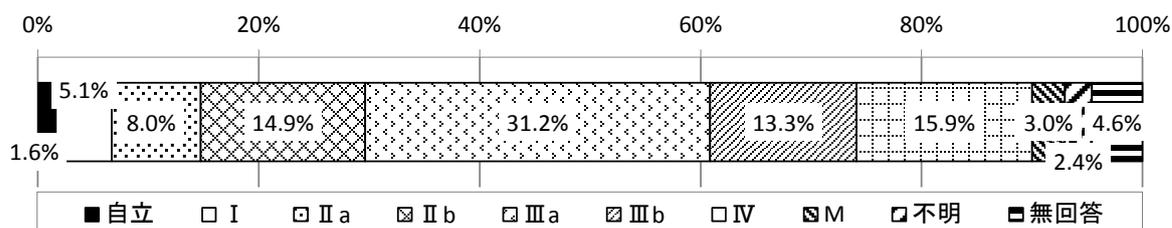
図表 2-175 入所時の障害高齢者の日常生活自立度 (n=11,194)



④ 入所時の認知症高齢者日常生活自立度

入所時の認知症高齢者日常生活自立度は、「Ⅲa」が31.2%、「Ⅳ」は15.9%で、「Ⅱb」は14.9%であった。

図表 2-176 入所時の認知症高齢者の日常生活自立度 (n=11,194)



【入所時の要介護度別 入所時の認知症高齢者日常生活自立度】

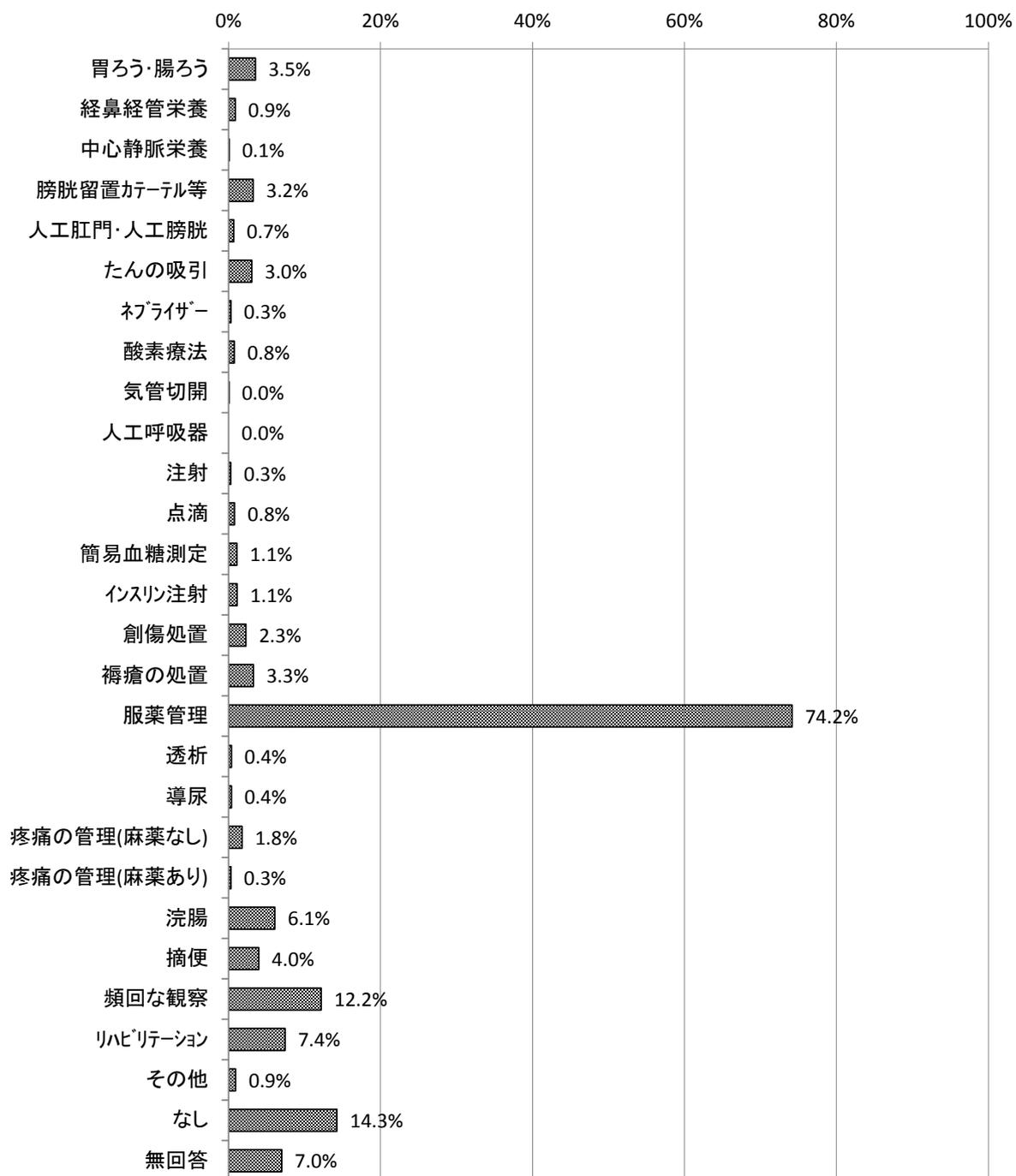
図表 2-177 入所時の要介護度別 入所時の認知症高齢者の日常生活自立度

	合計	自立	I	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	M	不明	無回答
全体	11,194	183	567	901	1,668	3,494	1,484	1,777	332	274	514
	100.0%	1.6%	5.1%	8.0%	14.9%	31.2%	13.3%	15.9%	3.0%	2.4%	4.6%
要介護 1	54	1	11	18	14	7	0	2	0	0	1
	100.0%	1.9%	20.4%	33.3%	25.9%	13.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	1.9%
要介護 2	186	4	16	35	49	50	14	4	2	2	10
	100.0%	2.2%	8.6%	18.8%	26.3%	26.9%	7.5%	2.2%	1.1%	1.1%	5.4%
要介護 3	3,260	70	194	306	635	1,056	431	292	49	79	148
	100.0%	2.1%	6.0%	9.4%	19.5%	32.4%	13.2%	9.0%	1.5%	2.4%	4.5%
要介護 4	4,740	67	247	398	721	1,591	628	685	98	100	205
	100.0%	1.4%	5.2%	8.4%	15.2%	33.6%	13.2%	14.5%	2.1%	2.1%	4.3%
要介護 5	2,921	41	99	143	249	786	405	793	181	88	136
	100.0%	1.4%	3.4%	4.9%	8.5%	26.9%	13.9%	27.1%	6.2%	3.0%	4.7%

⑤ 入所時に利用していた医療機器・必要な処置等

入所時に利用していた医療機器・必要な処置等は、「服薬管理」が74.2%、「頻回な観察」が12.2%、「リハビリテーション」が7.4%、「浣腸」が6.1%であった。

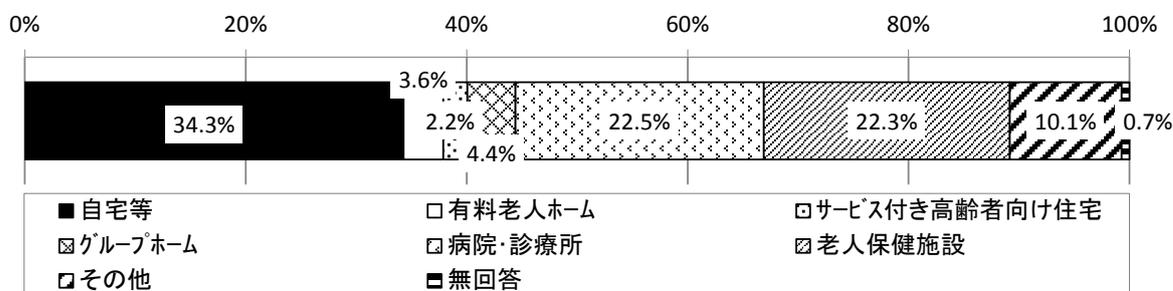
図表 2-178 入所時に利用していた利用機器・必要な処置等（複数回答）（n=11,194）



⑥ 入所前の居場所

入所前の居場所は、「自宅等」が34.3%、「病院・診療所」は22.5%で、「老人保健施設」は22.3%であった。

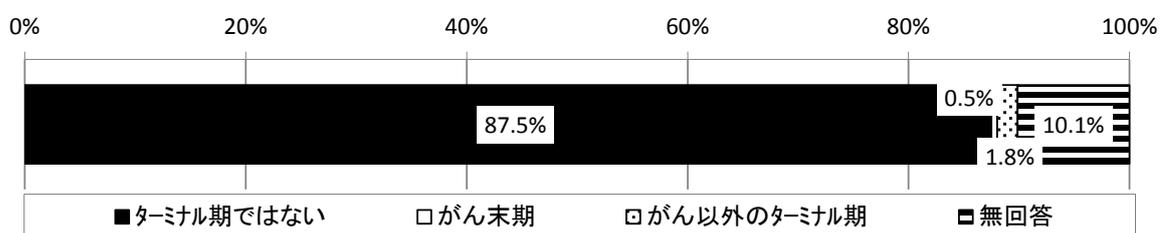
図表 2-179 入所前の居場所 (n=11,194)



⑦ ターミナル期かどうか

ターミナル期かについては、「ターミナル期ではない」が87.5%、「がん以外のターミナル期」は1.8%であった。

図表 2-180 ターミナル期かどうか (n=11,194)



## ⑧ 入所申し込みから入所までの期間

入所申し込みから入所までの期間は平均 11.0 か月であった。「1 か月」が 14.2%、「1 年以上 2 年未満」が 12.8%、「2 年以上」が 12.6%であった。

図表 2-181 入所申し込みから入所までの期間

(単位：月)

	件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
入所までの期間	10,279	11.0	16.8	5.0	187.0	0.0

図表 2-182 入所申し込みから入所までの期間 (n=11,194)

期間	件数	構成比
0 か月	606	5.4%
1 か月	1,586	14.2%
2 か月	1,204	10.8%
3 か月	936	8.4%
4 か月	781	7.0%
5 か月	556	5.0%
6 か月	444	4.0%
7 か月	359	3.2%
8 か月	313	2.8%
9 か月	217	1.9%
10 か月	208	1.9%
11 か月	217	1.9%
1 年以上～2 年未満	1,438	12.8%
2 年以上	1,414	12.6%
無回答	915	8.2%
全体	11,194	100.0%

図表 2-183 都道府県別 入所申し込みから入所までの期間

(単位：月)

	件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
全体	10,279	11.0	16.8	5.0	187.0	0.0
北海道	448	9.5	12.1	4.0	67.0	0.0
青森県	152	11.4	18.3	4.0	134.0	0.0
岩手県	149	18.2	19.2	13.0	152.0	0.0
宮城県	184	11.7	13.8	5.0	71.0	0.0
秋田県	118	13.9	18.0	6.0	99.0	0.0
山形県	172	12.9	16.8	7.0	100.0	0.0
福島県	218	14.6	18.4	6.0	115.0	0.0
茨城県	278	7.8	10.4	4.0	52.0	0.0
栃木県	125	7.3	17.3	3.0	171.0	0.0
群馬県	307	9.0	15.2	3.0	118.0	0.0
埼玉県	484	7.3	11.8	3.0	109.0	0.0
千葉県	552	7.0	11.8	3.0	146.0	0.0
東京都	754	11.2	14.6	7.0	131.0	0.0
神奈川県	461	8.0	13.9	3.0	116.0	0.0

(続き)

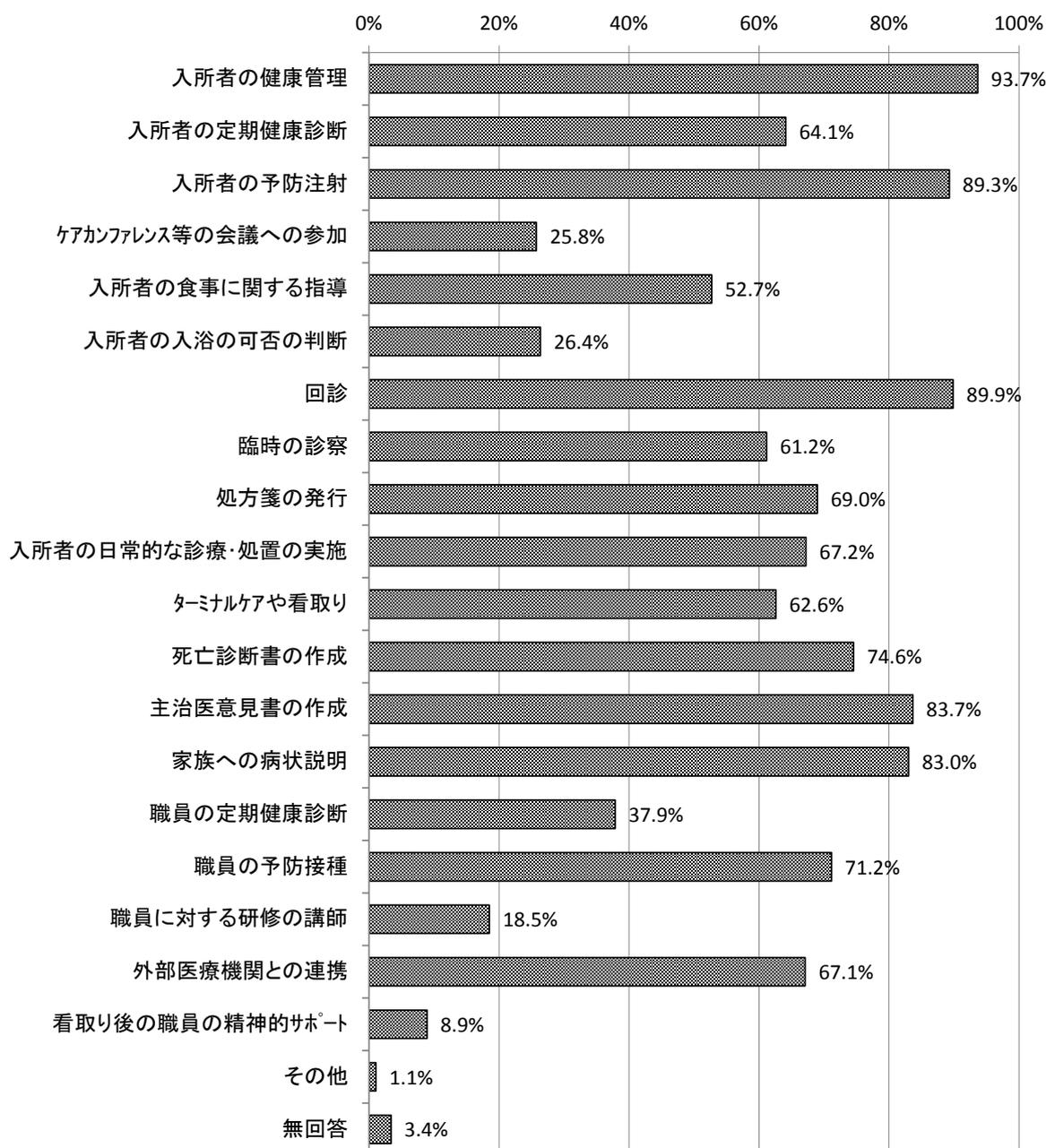
	件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
全体	10,279	11.0	16.8	5.0	187.0	0.0
新潟県	378	14.7	20.8	6.0	143.0	0.0
富山県	126	11.5	18.0	5.0	124.0	0.0
石川県	140	4.6	6.7	2.0	33.0	0.0
福井県	140	10.2	12.2	5.0	53.0	0.0
山梨県	72	26.9	24.8	21.0	141.0	1.0
長野県	214	13.0	18.6	6.0	113.0	0.0
岐阜県	198	13.5	16.2	7.0	86.0	0.0
静岡県	326	13.1	17.6	6.0	135.0	0.0
愛知県	465	11.5	22.7	4.0	177.0	0.0
三重県	215	14.1	20.3	5.0	107.0	0.0
滋賀県	100	8.7	13.3	3.5	66.0	0.0
京都府	174	12.7	19.9	6.0	187.0	0.0
大阪府	399	5.9	9.1	3.0	81.0	0.0
兵庫県	493	12.8	18.8	6.0	134.0	0.0
奈良県	104	20.4	19.0	15.0	112.0	0.0
和歌山県	126	5.5	12.4	3.0	129.0	0.0
鳥取県	35	6.7	7.7	4.0	29.0	0.0
島根県	90	17.7	29.1	5.0	161.0	0.0
岡山県	169	13.9	24.6	4.0	171.0	0.0
広島県	164	23.9	23.9	16.0	103.0	0.0
山口県	191	10.6	13.0	6.0	77.0	0.0
徳島県	57	9.2	10.8	4.0	46.0	1.0
香川県	127	17.9	21.1	8.0	128.0	0.0
愛媛県	80	10.5	12.8	5.0	56.0	1.0
高知県	104	9.7	12.7	5.0	58.0	0.0
福岡県	444	8.2	12.5	4.0	111.0	0.0
佐賀県	59	16.8	20.7	8.0	89.0	0.0
長崎県	220	10.2	17.8	3.0	98.0	0.0
熊本県	0	-	-	-	-	-
大分県	115	8.9	17.9	3.0	133.0	0.0
宮崎県	50	11.9	17.3	5.0	98.0	1.0
鹿児島県	202	8.5	12.0	4.0	70.0	0.0
沖縄県	100	13.0	20.9	2.0	99.0	0.0

## (3) 施設における医療等の実施状況

## ① 配置医師が実施している業務

配置医師が実施している業務は、「入所者の健康管理」が 93.7%、「回診」は 89.9%、「入所者の予防注射」は 89.3%であった。また、「死亡診断書の作成」は 74.6%、「入所者の日常的な診察・処置」は 67.2%、「ターミナルケアや看取り」は 62.6%、「臨時の診察」が 61.2%であった。

図表 2-184 配置医師が実施している業務（複数回答）（n=1,502）



図表 2-185 施設の看取りの方針別 配置医師が実施している業務

	合計	入所者の健康 管理	入所者の定期 健康診断	入所者の予防 注射	ケアカンファ レンス等の 会議への参加	入所者の食事 に関する指導	入所者の入浴 の可否の判断	回診
全体	1,502 100.0%	1,407 93.7%	963 64.1%	1,341 89.3%	387 25.8%	792 52.7%	396 26.4%	1,350 89.9%
希望があれば、 施設内で看取る	1171 100.0%	1109 94.7%	761 65.0%	1072 91.5%	326 27.8%	639 54.6%	315 26.9%	1061 90.6%
原則、病院等に移す	245 100.0%	228 93.1%	157 64.1%	204 83.3%	49 20.0%	113 46.1%	65 26.5%	220 89.8%

	合計	臨時の 診察	処方箋 の発行	入所者の日常 的な診療・処置 の実施	ターミナル ケアや看 取り	死亡診 断書の 作成	主治医 意見書 の作成	家族へ の病状 説明
全体	1,502 100.0%	919 61.2%	1,036 69.0%	1,010 67.2%	940 62.6%	1,120 74.6%	1,257 83.7%	1,247 83.0%
希望があれば、 施設内で看取る	1171 100.0%	787 67.2%	831 71.0%	832 71.1%	907 77.5%	1008 86.1%	1005 85.8%	1024 87.4%
原則、病院等に移す	245 100.0%	95 38.8%	153 62.4%	135 55.1%	12 4.9%	72 29.4%	192 78.4%	163 66.5%

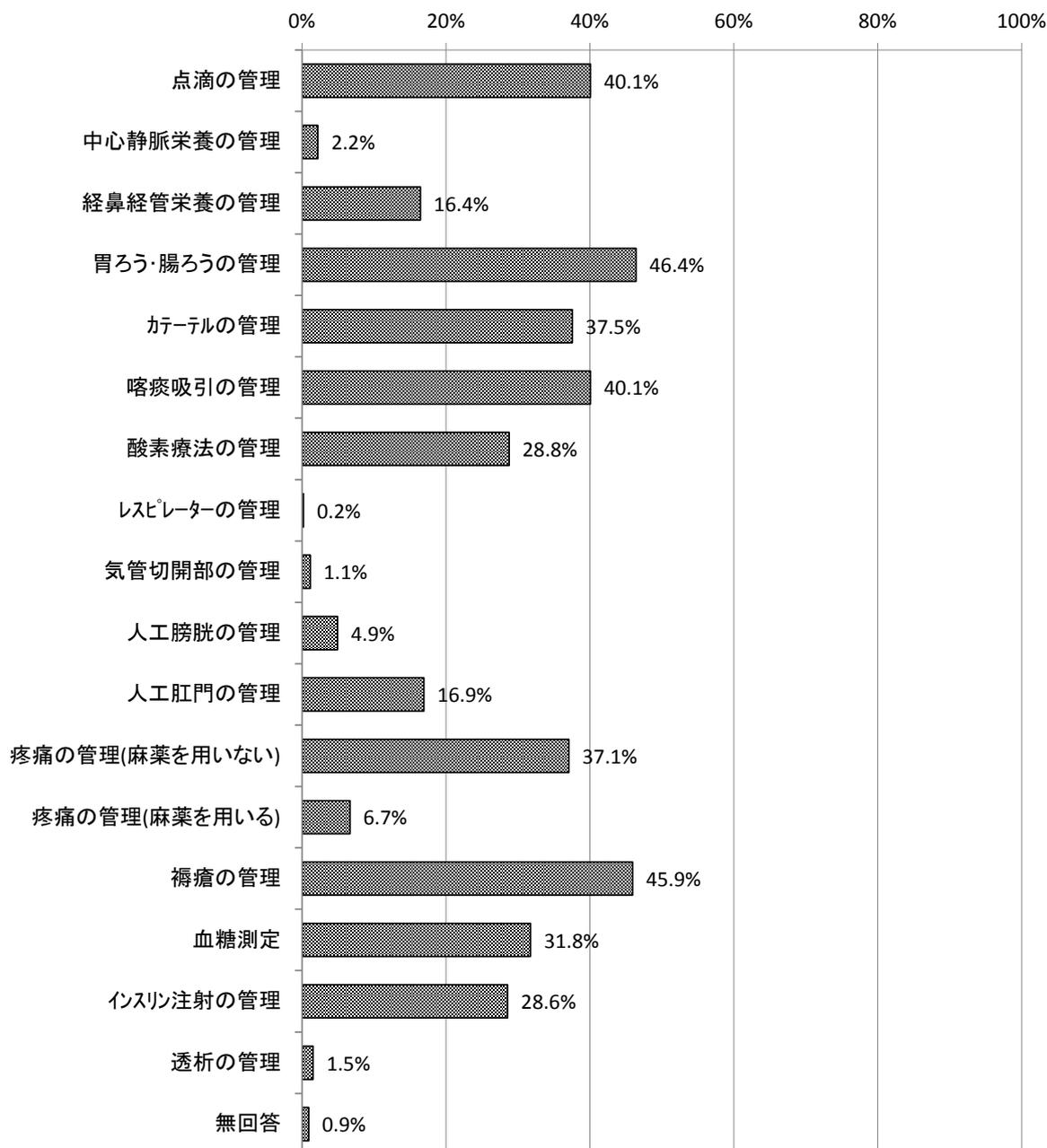
	合計	職員の 定期健 康診断	職員の 予防接 種	職員に 対する 研修の 講師	外部医 療機関 との連 携	看取り 後の職 員の精 神的サ ポート	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	569 37.9%	1,069 71.2%	278 18.5%	1,008 67.1%	134 8.9%	16 1.1%	51 3.4%
希望があれば、 施設内で看取る	1171 100.0%	453 38.7%	859 73.4%	241 20.6%	834 71.2%	133 11.4%	14 1.2%	27 2.3%
原則、病院等に移す	245 100.0%	83 33.9%	159 64.9%	30 12.2%	132 53.9%	0 0.0%	2 0.8%	10 4.1%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

3 入所者数等

入所者の日常的な診療・処置の内容としては、「胃ろう・腸ろうの管理」が 46.4%、「褥瘡の管理」は 45.9%、「点滴の管理」と「喀痰吸引の管理」が 40.1%であった。

図表 2-186 配置医師が実施している業務のうち、入所者の日常的な診療・処置の実施状況  
(複数回答) (n=1,502)



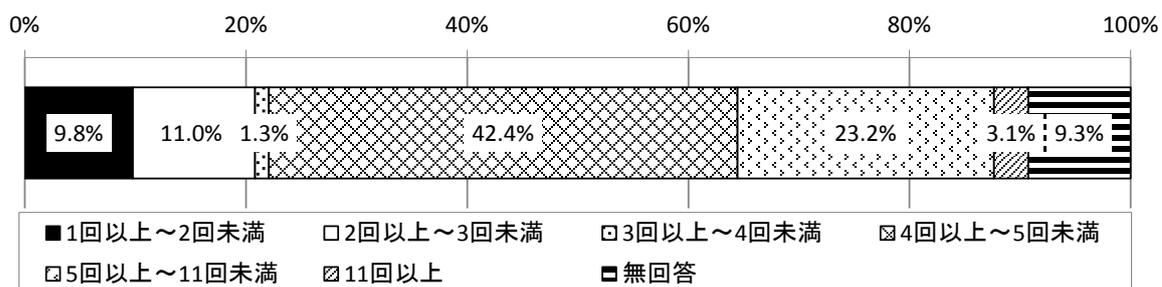
回診を実施している場合、その実施頻度は平均 4.8 回で、1 か月に「4 回以上～5 回未満」が 42.4%、「5 回以上～11 回未満」は 23.2%で、「2 回以上～3 回未満」は 11.0%であった。

図表 2-187 (回診を実施している場合) 回診の 1 か月あたりの実施頻度

(単位：回)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
回診の頻度	1,225	4.8	3.0	4.0

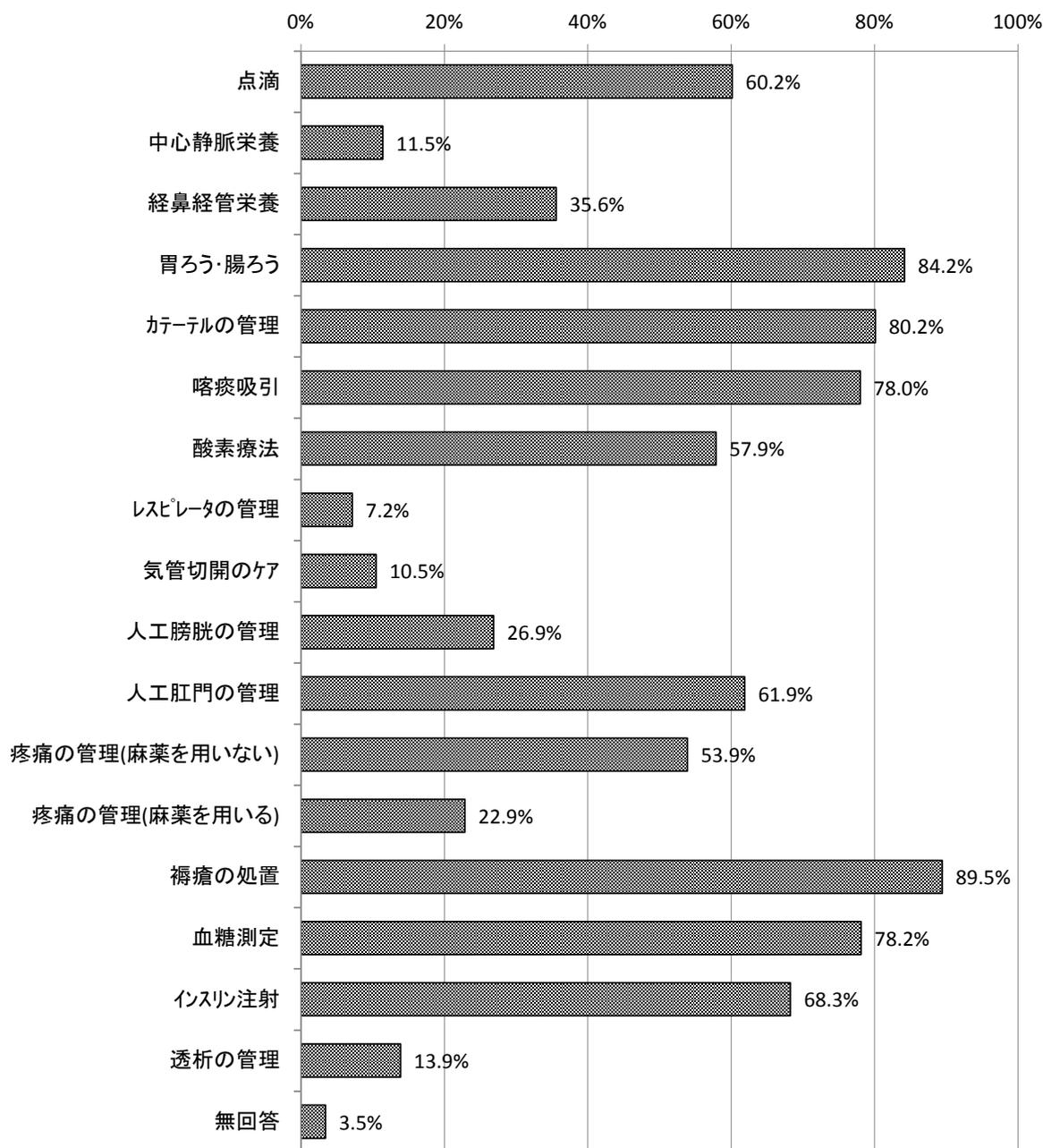
図表 2-188 (回診を実施している場合) 回診の 1 か月あたりの実施頻度



② 施設内で対応可能な処置

施設内で対応可能な処置は、「褥瘡の処置」が 89.5%、「胃ろう・腸ろう」は 84.2%、「カテーテルの管理」は 80.2%であった。

図表 2-189 施設内で対応可能な処置（複数回答）（n=1,502）



図表 2-190 入所定員別 施設内で対応可能な処置

	合計	点滴	中心 静脈 栄養	経鼻 経管 栄養	胃ろ う・腸 ろう	カテーテル の管 理	喀痰 吸引	酸素 療法	レスピレ ータの 管理	気管 切開 のケア
全体	1,502 100.0%	904 60.2%	172 11.5%	535 35.6%	1,265 84.2%	1,204 80.2%	1,172 78.0%	870 57.9%	108 7.2%	158 10.5%
29人以下	324 100.0%	191 59.0%	45 13.9%	98 30.2%	215 66.4%	227 70.1%	205 63.3%	167 51.5%	25 7.7%	33 10.2%
30人以上～ 60人未満	502 100.0%	310 61.8%	67 13.3%	210 41.8%	432 86.1%	402 80.1%	415 82.7%	295 58.8%	44 8.8%	68 13.5%
60人以上～ 100人未満	455 100.0%	272 59.8%	33 7.3%	157 34.5%	416 91.4%	385 84.6%	374 82.2%	274 60.2%	21 4.6%	31 6.8%
100人以上	208 100.0%	123 59.1%	26 12.5%	62 29.8%	191 91.8%	181 87.0%	171 82.2%	123 59.1%	18 8.7%	26 12.5%

	合計	人工 膀胱 の管 理	人工 肛門 の管 理	疼痛 の管 理(麻 薬を 用い ない)	疼痛 の管 理(麻 薬を 用い る)	褥瘡 の処 置	血糖 測定	インスリン 注射	透析 の管 理	無回 答
全体	1,502 100.0%	404 26.9%	930 61.9%	810 53.9%	344 22.9%	1,344 89.5%	1,174 78.2%	1026 68.3%	209 13.9%	52 3.5%
29人以下	324 100.0%	73 22.5%	159 49.1%	155 47.8%	63 19.4%	273 84.3%	226 69.8%	187 57.7%	47 14.5%	18 5.6%
30人以上～ 60人未満	502 100.0%	144 28.7%	308 61.4%	273 54.4%	112 22.3%	451 89.8%	411 81.9%	351 69.9%	75 14.9%	19 3.8%
60人以上～ 100人未満	455 100.0%	107 23.5%	298 65.5%	249 54.7%	98 21.5%	417 91.6%	367 80.7%	336 73.8%	48 10.5%	9 2.0%
100人以上	208 100.0%	77 37.0%	155 74.5%	128 61.5%	68 32.7%	192 92.3%	160 76.9%	143 68.8%	37 17.8%	5 2.4%

図表 2-191 看護職員数（常勤換算）別 施設内で対応可能な処置

	合計	点滴	中心 静脈 栄養	経鼻 経管 栄養	胃ろ う・腸 ろう	カテーテル の管 理	喀痰 吸引	酸素 療法	レスピレ ータの 管理	気管 切開 のケア
全体	1,502 100.0%	904 60.2%	172 11.5%	535 35.6%	1,265 84.2%	1,204 80.2%	1,172 78.0%	870 57.9%	108 7.2%	158 10.5%
2人未満	156 100.0%	94 60.3%	27 17.3%	57 36.5%	100 64.1%	117 75.0%	99 63.5%	78 50.0%	14 9.0%	16 10.3%
2人以上～3 人未満	233 100.0%	133 57.1%	34 14.6%	85 36.5%	186 79.8%	172 73.8%	183 78.5%	128 54.9%	20 8.6%	28 12.0%
3人以上～4 人未満	283 100.0%	176 62.2%	36 12.7%	107 37.8%	254 89.8%	240 84.8%	223 78.8%	166 58.7%	24 8.5%	35 12.4%
4人以上～5 人未満	297 100.0%	181 60.9%	28 9.4%	106 35.7%	264 88.9%	252 84.8%	236 79.5%	185 62.3%	23 7.7%	32 10.8%
5人以上～6 人未満	194 100.0%	114 58.8%	14 7.2%	69 35.6%	179 92.3%	161 83.0%	160 82.5%	116 59.8%	10 5.2%	18 9.3%
6人以上	136 100.0%	97 71.3%	16 11.8%	50 36.8%	129 94.9%	120 88.2%	123 90.4%	91 66.9%	9 6.6%	15 11.0%

	合計	人工 膀胱 の管 理	人工 肛門 の管 理	疼痛 の管 理(麻 薬を 用い ない)	疼痛 の管 理(麻 薬を 用い る)	褥瘡 の処 置	血糖 測定	インスリン 注射	透析 の管 理	無回 答
全体	1,502 100.0%	404 26.9%	930 61.9%	810 53.9%	344 22.9%	1,344 89.5%	1,174 78.2%	1,026 68.3%	209 13.9%	52 3.5%
2人未満	156 100.0%	35 22.4%	80 51.3%	77 49.4%	31 19.9%	131 84.0%	110 70.5%	87 55.8%	22 14.1%	8 5.1%
2人以上～3 人未満	233 100.0%	54 23.2%	133 57.1%	119 51.1%	57 24.5%	202 86.7%	175 75.1%	147 63.1%	32 13.7%	9 3.9%
3人以上～4 人未満	283 100.0%	85 30.0%	179 63.3%	158 55.8%	62 21.9%	261 92.2%	240 84.8%	211 74.6%	46 16.3%	8 2.8%
4人以上～5 人未満	297 100.0%	85 28.6%	196 66.0%	170 57.2%	72 24.2%	269 90.6%	237 79.8%	212 71.4%	39 13.1%	11 3.7%
5人以上～6 人未満	194 100.0%	52 26.8%	122 62.9%	99 51.0%	44 22.7%	177 91.2%	152 78.4%	143 73.7%	29 14.9%	3 1.5%
6人以上	136 100.0%	46 35	106 80	97 77	49 31	129 131	116 110	102 87	24 17.6%	1 0.7%

図表 2-192 入所定員 100 人あたりの看護職員数（常勤換算）＋認定特定行為実施介護職員数  
（第一号～第三号、実人数）別 施設内で対応可能な処置

	合計	点滴	中心 静脈 栄養	経鼻 経管 栄養	胃ろ う・腸 ろう	カテーテル の管 理	喀痰 吸引	酸素 療法	レスピレ ータの 管理	気管 切開 のケア
全体	1,502 100.0%	904 60.2%	172 11.5%	535 35.6%	1,265 84.2%	1,204 80.2%	1,172 78.0%	870 57.9%	108 7.2%	158 10.5%
0人以上～ 4人未満	181 100.0%	83 45.9%	18 9.9%	44 24.3%	134 74.0%	130 71.8%	109 60.2%	84 46.4%	14 7.7%	18 9.9%
4人以上～ 6人未満	300 100.0%	167 55.7%	33 11.0%	95 31.7%	239 79.7%	247 82.3%	215 71.7%	163 54.3%	20 6.7%	27 9.0%
6人以上～ 8人未満	295 100.0%	168 56.9%	29 9.8%	88 29.8%	239 81.0%	232 78.6%	218 73.9%	158 53.6%	22 7.5%	33 11.2%
8人以上～ 10人未満	165 100.0%	106 64.2%	27 16.4%	70 42.4%	143 86.7%	136 82.4%	133 80.6%	105 63.6%	17 10.3%	24 14.5%
10人以上～ 20人未満	278 100.0%	191 68.7%	28 10.1%	112 40.3%	257 92.4%	239 86.0%	246 88.5%	184 66.2%	15 5.4%	28 10.1%
20人以上	220 100.0%	149 67.7%	31 14.1%	102 46.4%	207 94.1%	181 82.3%	207 94.1%	137 62.3%	18 8.2%	25 11.4%

	合計	人工 膀胱 の管 理	人工 肛門 の管 理	疼痛 の管 理(麻 薬を 用い ない)	疼痛 の管 理(麻 薬を 用い る)	褥瘡 の処 置	血糖 測定	インスリン 注射	透析 の管 理	無回 答
全体	1,502 100.0%	404 26.9%	930 61.9%	810 53.9%	344 22.9%	1,344 89.5%	1,174 78.2%	1,026 68.3%	209 13.9%	52 3.5%
0人以上～ 4人未満	181 100.0%	43 23.8%	98 54.1%	77 42.5%	31 17.1%	152 84.0%	126 69.6%	103 56.9%	21 11.6%	11 6.1%
4人以上～ 6人未満	300 100.0%	73 24.3%	186 62.0%	152 50.7%	68 22.7%	263 87.7%	222 74.0%	191 63.7%	38 12.7%	10 3.3%
6人以上～ 8人未満	295 100.0%	72 24.4%	171 58.0%	155 52.5%	68 23.1%	263 89.2%	228 77.3%	201 68.1%	41 13.9%	12 4.1%
8人以上～ 10人未満	165 100.0%	51 30.9%	105 63.6%	93 56.4%	34 20.6%	149 90.3%	133 80.6%	117 70.9%	32 19.4%	9 5.5%
10人以上～ 20人未満	278 100.0%	83 29.9%	195 70.1%	174 62.6%	72 25.9%	261 93.9%	238 85.6%	215 77.3%	38 13.7%	1 0.4%
20人以上	220 100.0%	66 30.0%	140 63.6%	131 59.5%	58 26.4%	203 92.3%	185 84.1%	161 73.2%	32 14.5%	3 1.4%

図表 2-193 看護職員の基本的な夜勤体制別 施設内で対応可能な処置

	合計	点滴	中心 静脈 栄養	経鼻 経管 栄養	胃ろ う・腸 ろう	カテーテル の管 理	喀痰 吸引	酸素 療法	レスピレ ータの 管理	気管 切開 のケ
全体	1,502 100.0%	904 60.2%	172 11.5%	535 35.6%	1,265 84.2%	1,204 80.2%	1,172 78.0%	870 57.9%	108 7.2%	158 10.5%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	14 56.0%	4 16.0%	12 48.0%	21 84.0%	20 80.0%	21 84.0%	15 60.0%	1 4.0%	4 16.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	17 85.0%	2 10.0%	11 55.0%	18 90.0%	17 85.0%	19 95.0%	10 50.0%	1 5.0%	2 10.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	29 65.9%	6 13.6%	18 40.9%	35 79.5%	33 75.0%	35 79.5%	25 56.8%	2 4.5%	4 9.1%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1352 100.0%	811 60.0%	154 11.4%	480 35.5%	1144 84.6%	1083 80.1%	1055 78.0%	785 58.1%	98 7.2%	142 10.5%
その他	56 100.0%	30 53.6%	5 8.9%	13 23.2%	44 78.6%	46 82.1%	38 67.9%	32 57.1%	5 8.9%	5 8.9%

	合計	人工 膀胱 の管 理	人工 肛門 の管 理	疼痛 の管 理(麻 薬を 用い ない)	疼痛 の管 理(麻 薬を 用い る)	褥瘡 の処 置	血糖 測定	インスリン 注射	透析 の管 理	無回 答
全体	1,502 100.0%	404 26.9%	930 61.9%	810 53.9%	344 22.9%	1,344 89.5%	1,174 78.2%	1,026 68.3%	209 13.9%	52 3.5%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	8 32.0%	16 64.0%	16 64.0%	7 28.0%	22 88.0%	19 76.0%	18 72.0%	5 20.0%	0 0.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	11 55.0%	15 75.0%	10 50.0%	4 20.0%	19 95.0%	18 90.0%	16 80.0%	2 10.0%	0 0.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	11 25.0%	31 70.5%	22 50.0%	7 15.9%	39 88.6%	35 79.5%	31 70.5%	8 18.2%	1 2.3%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1352 100.0%	358 26.5%	831 61.5%	735 54.4%	314 23.2%	1212 89.6%	1053 77.9%	922 68.2%	187 13.8%	49 3.6%
その他	56 100.0%	13 23.2%	33 58.9%	24 42.9%	11 19.6%	47 83.9%	45 80.4%	37 66.1%	6 10.7%	2 3.6%

図表 2-194 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別 施設内で対応可能な処置

	合計	点滴	中心 静脈 栄養	経鼻 経管 栄養	胃ろ う・腸 ろう	カテーテル の管 理	喀痰 吸引	酸素 療法	レスピ レータ の管 理	気管 切開 のケア
全体	1,502 100.0%	904 60.2%	172 11.5%	535 35.6%	1,265 84.2%	1,204 80.2%	1,172 78.0%	870 57.9%	108 7.2%	158 10.5%
原則、夜勤職員には1人以上含まれる	372 100.0%	247 66.4%	40 10.8%	164 44.1%	353 94.9%	320 86.0%	347 93.3%	234 62.9%	23 6.2%	35 9.4%
原則、1人以上が当直する	23 100.0%	15 65.2%	2 8.7%	11 47.8%	23 100.0%	20 87.0%	22 95.7%	12 52.2%	2 8.7%	3 13.0%
ローテーションによりいないこともある	673 100.0%	406 60.3%	85 12.6%	248 36.8%	579 86.0%	539 80.1%	541 80.4%	406 60.3%	50 7.4%	76 11.3%
原則、夜勤・当直はない	83 100.0%	38 45.8%	6 7.2%	18 21.7%	55 66.3%	57 68.7%	45 54.2%	39 47.0%	6 7.2%	6 7.2%

	合計	人工 膀胱 の管 理	人工 肛門 の管 理	疼痛 の管 理(麻 薬を 用い ない)	疼痛 の管 理(麻 薬を 用い る)	褥瘡 の処 置	血糖 測定	インス リン 注射	透析 の管 理	無回 答
全体	1,502 100.0%	404 26.9%	930 61.9%	810 53.9%	344 22.9%	1,344 89.5%	1,174 78.2%	1,026 68.3%	209 13.9%	52 3.5%
原則、夜勤職員には1人以上含まれる	372 100.0%	107 28.8%	248 66.7%	220 59.1%	92 24.7%	352 94.6%	310 83.3%	279 75.0%	45 12.1%	3 0.8%
原則、1人以上が当直する	23 100.0%	6 26.1%	19 82.6%	12 52.2%	7 30.4%	22 95.7%	18 78.3%	14 60.9%	5 21.7%	0 0.0%
ローテーションによりいないこともある	673 100.0%	185 27.5%	429 63.7%	374 55.6%	162 24.1%	606 90.0%	529 78.6%	466 69.2%	100 14.9%	18 2.7%
原則、夜勤・当直はない	83 100.0%	21 25.3%	45 54.2%	35 42.2%	14 16.9%	70 84.3%	64 77.1%	54 65.1%	8 9.6%	3 3.6%

図表 2-195 施設の看取りの方針別 施設内で対応可能な処置

	合計	点滴	中心 静脈 栄養	経鼻 経管 栄養	胃ろ う・腸 ろう	カテーテル の管 理	喀痰 吸引	酸素 療法	レスピレ ータの 管理	気管 切開 のケア
全体	1,502 100.0%	904 60.2%	172 11.5%	535 35.6%	1,265 84.2%	1,204 80.2%	1,172 78.0%	870 57.9%	108 7.2%	158 10.5%
希望があれば、施設内で看取る	1171 100.0%	766 65.4%	137 11.7%	446 38.1%	1018 86.9%	967 82.6%	961 82.1%	726 62.0%	84 7.2%	127 10.8%
原則、病院等に移す	245 100.0%	105 42.9%	27 11.0%	65 26.5%	188 76.7%	184 75.1%	156 63.7%	102 41.6%	18 7.3%	25 10.2%

	合計	人工 膀胱 の管 理	人工 肛門 の管 理	疼痛 の管 理(麻 薬を 用い ない)	疼痛 の管 理(麻 薬を 用い る)	褥瘡 の処 置	血糖 測定	インスリン 注射	透析 の管 理	無回 答
全体	1,502 100.0%	404 26.9%	930 61.9%	810 53.9%	344 22.9%	1,344 89.5%	1,174 78.2%	1,026 68.3%	209 13.9%	52 3.5%
希望があれば、施設内で看取る	1171 100.0%	342 29.2%	771 65.8%	691 59.0%	299 25.5%	1069 91.3%	952 81.3%	837 71.5%	168 14.3%	30 2.6%
原則、病院等に移す	245 100.0%	45 18.4%	122 49.8%	92 37.6%	31 12.7%	211 86.1%	176 71.8%	149 60.8%	34 13.9%	7 2.9%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

1) 施設内で対応可能な場合

施設内で対応可能な場合、受入人数の上限を設けている施設数の割合は、「胃ろう・腸ろう」に関しては39.4%、「経鼻経管栄養」に関しては21.5%、「インスリン注射」に関しては13.5%であった。

受入上限値について、「胃ろう・腸ろう」では6.5人、「経鼻経管栄養」5.4人、「インスリン注射」では2.8人であった。

図表 2-196 (施設内で対応可能な場合) 受入人数の上限を設けている施設数・上限値

(単位：人)

	受入上限 が決まっ ている施 設数	施設内で の対応可 能な場合 受入人数 の上限を もうけて いる施設 数の割合	受入上限値		
			平均値	標準偏差	中央値
点滴	61	6.7%	2.8	1.3	2.0
中心静脈栄養	14	8.1%	2.1	1.4	1.5
経鼻経管栄養	115	21.5%	5.4	4.1	4.0
胃ろう・腸ろう	498	39.4%	6.5	4.1	5.0
カテーテルの管理	127	10.5%	4.0	2.6	4.0
喀痰吸引	114	9.7%	5.4	4.1	5.0
酸素療法	93	10.7%	2.6	1.6	2.0
レスピレータの管理	0	0.0%	-	-	-
気管切開のケア	7	4.4%	3.3	3.1	2.0
人工膀胱の管理	28	6.9%	2.4	1.9	2.0
人工肛門の管理	85	9.1%	2.4	1.5	2.0
疼痛の管理(麻薬を 用いない)	49	6.0%	3.4	2.8	3.0
疼痛の管理(麻薬を 用いる)	26	7.6%	1.7	1.0	1.0
褥瘡の処置	93	6.9%	3.8	2.2	3.0
血糖測定	127	10.8%	3.5	2.4	3.0
インスリン注射	139	13.5%	2.8	1.7	2.0
透析の管理	25	12.0%	3.0	2.9	2.0

図表 2-197 入所定員別 (施設内で対応可能な場合) 受入人数の上限を設けている施設割合

上段:受入れ上限が決まっている 施設数 下段:施設内での対応可能な場合 受入人数の上限をもうけ ている施設数の割合	全体	入所定員			
		29人以下	30人以上 ~60人未 満	60人以上 ~100人 未満	100人 以上
点滴	61	16	20	18	7
	6.7%	8.4%	6.5%	6.6%	5.7%
中心静脈栄養	14	5	6	2	1
	8.1%	11.1%	9.0%	6.1%	3.8%
経鼻経管栄養	115	15	48	37	13
	21.5%	15.3%	22.9%	23.6%	21.0%
胃ろう・腸ろう	498	67	169	172	86
	39.4%	31.2%	39.1%	41.3%	45.0%
カテーテルの管理	127	25	46	36	19
	10.5%	11.0%	11.4%	9.4%	10.5%
喀痰吸引	114	24	48	30	12
	9.7%	11.7%	11.6%	8.0%	7.0%
酸素療法	93	21	38	27	7
	10.7%	12.6%	12.9%	9.9%	5.7%
レスピレータの管理	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
気管切開のケア	7	2	2	3	0
	4.4%	6.1%	2.9%	9.7%	0.0%
人工膀胱の管理	28	5	14	7	2
	6.9%	6.8%	9.7%	6.5%	2.6%
人工肛門の管理	85	15	35	22	13
	9.1%	9.4%	11.4%	7.4%	8.4%
疼痛の管理(麻薬を用いない)	49	13	19	11	6
	6.0%	8.4%	7.0%	4.4%	4.7%
疼痛の管理(麻薬を用いる)	26	7	10	3	6
	7.6%	11.1%	8.9%	3.1%	8.8%
褥瘡の処置	93	24	32	21	16
	6.9%	8.8%	7.1%	5.0%	8.3%
血糖測定	127	21	43	46	17
	10.8%	9.3%	10.5%	12.5%	10.6%
インスリン注射	139	21	43	54	21
	13.5%	11.2%	12.3%	16.1%	14.7%
透析の管理	25	4	9	5	7
	12.0%	8.5%	12.0%	10.4%	18.9%

③ 調査時点、処置を行っている人数

1) 調査時点で処置を行っている人数（0人回答を含む）

調査時点で処置を行っている人数は、「胃ろう・腸ろう」は平均 4.0 人、「喀痰吸引」は平均 3.4 人で、「カテーテルの管理」は平均 2.5 人であった。

図表 2-198 （施設内で対応可能な場合）調査時点で処置を行っている人数（0人回答を含む）

	件数 (回答施設数)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値
点滴	851	622	0.7	1.9	0.0
中心静脈栄養	169	49	0.3	1.0	0.0
経鼻経管栄養	500	1,013	2.0	3.2	1.0
胃ろう・腸ろう	1,182	4,690	4.0	3.8	3.0
カテーテルの管理	1,132	2,874	2.5	3.1	2.0
喀痰吸引	1,099	3,778	3.4	4.8	2.0
酸素療法	819	679	0.8	1.3	0.0
レスピレータの管理	107	1	0.0	0.1	0.0
気管切開のケア	154	19	0.1	0.4	0.0
人工膀胱の管理	388	88	0.2	0.6	0.0
人工肛門の管理	880	520	0.6	0.8	0.0
疼痛の管理(麻薬を用いない)	770	1,006	1.3	2.9	0.0
疼痛の管理(麻薬を用いる)	331	66	0.2	0.7	0.0
褥瘡の処置	1,254	2,043	1.6	2.0	1.0
血糖測定	1,098	2,115	1.9	3.1	1.0
インスリン注射	957	889	0.9	1.2	1.0
透析の管理	200	105	0.5	1.4	0.0

## i) 入所定員別

図表 2-199 (29人以下) 入所定員別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数(0人回答を含む)

	件数 (回答施設数)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値
点滴	184	62	0.3	0.7	0.0
中心静脈栄養	45	14	0.3	0.8	0.0
経鼻経管栄養	92	62	0.7	1.4	0.0
胃ろう・腸ろう	205	377	1.8	1.9	1.0
カテーテルの管理	217	271	1.2	1.5	1.0
喀痰吸引	195	255	1.3	1.8	1.0
酸素療法	160	71	0.4	0.7	0.0
レスピレータの管理	25	0	0.0	0.0	0.0
気管切開のケア	33	0	0.0	0.0	0.0
人工膀胱の管理	73	9	0.1	0.4	0.0
人工肛門の管理	156	62	0.4	0.6	0.0
疼痛の管理(麻薬を用いない)	150	72	0.5	1.1	0.0
疼痛の管理(麻薬を用いる)	61	13	0.2	0.6	0.0
褥瘡の処置	258	180	0.7	1.0	0.0
血糖測定	214	216	1.0	1.5	0.0
インスリン注射	175	98	0.6	0.8	0.0
透析の管理	46	4	0.1	0.3	0.0

図表 2-200 (30人以上 60人未満) 入所定員別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数(0人回答を含む)

	件数 (回答施設数)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値
点滴	291	176	0.6	1.9	0.0
中心静脈栄養	65	23	0.4	1.3	0.0
経鼻経管栄養	192	336	1.8	2.4	1.0
胃ろう・腸ろう	397	1,319	3.3	2.9	3.0
カテーテルの管理	369	783	2.1	2.4	1.0
喀痰吸引	382	1,092	2.9	3.2	2.0
酸素療法	275	160	0.6	0.9	0.0
レスピレータの管理	43	1	0.0	0.2	0.0
気管切開のケア	65	9	0.1	0.4	0.0
人工膀胱の管理	133	15	0.1	0.4	0.0
人工肛門の管理	285	128	0.4	0.7	0.0
疼痛の管理(麻薬を用いない)	255	279	1.1	2.2	0.0
疼痛の管理(麻薬を用いる)	110	13	0.1	0.4	0.0
褥瘡の処置	414	547	1.3	1.6	1.0
血糖測定	379	541	1.4	2.1	1.0
インスリン注射	323	205	0.6	0.9	0.0
透析の管理	72	39	0.5	2.4	0.0

図表 2-201 (60人以上 100人未満) 入所定員別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数 (0人回答を含む)

	件数 (回答施設数)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値
点滴	254	273	1.1	2.4	0.0
中心静脈栄養	33	8	0.2	0.5	0.0
経鼻経管栄養	150	415	2.8	3.8	1.0
胃ろう・腸ろう	393	1,930	4.9	4.3	4.0
カテーテルの管理	366	1,017	2.8	2.7	2.0
喀痰吸引	355	1,554	4.4	5.5	3.0
酸素療法	258	302	1.2	1.5	1.0
レスピレータの管理	21	0	0.0	-	0.0
気管切開のケア	30	8	0.3	0.6	0.0
人工膀胱の管理	105	35	0.3	0.9	0.0
人工肛門の管理	286	192	0.7	0.8	1.0
疼痛の管理(麻薬を用いない)	237	411	1.7	3.5	0.0
疼痛の管理(麻薬を用いる)	93	19	0.2	0.5	0.0
褥瘡の処置	395	856	2.2	2.2	2.0
血糖測定	347	909	2.6	3.8	1.0
インスリン注射	316	356	1.1	1.4	1.0
透析の管理	47	138	2.9	8.3	0.0

図表 2-202 (100人以上) 入所定員別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数 (0人回答を含む)

	件数 (回答施設数)	合計値 (人)	平均値 (人)	標準偏差	中央値
点滴	114	109	1.0	1.9	0.0
中心静脈栄養	25	4	0.2	0.5	0.0
経鼻経管栄養	59	188	3.2	4.8	1.0
胃ろう・腸ろう	178	1,011	5.7	4.3	5.0
カテーテルの管理	171	767	4.5	5.0	3.0
喀痰吸引	160	848	5.3	7.0	2.5
酸素療法	117	136	1.2	1.5	1.0
レスピレータの管理	18	0	0.0	0.0	0.0
気管切開のケア	26	2	0.1	0.3	0.0
人工膀胱の管理	74	29	0.4	0.6	0.0
人工肛門の管理	145	136	0.9	1.0	1.0
疼痛の管理(麻薬を用いない)	123	241	2.0	4.1	0.0
疼痛の管理(麻薬を用いる)	64	21	0.3	1.3	0.0
褥瘡の処置	178	438	2.5	2.5	2.0
血糖測定	148	430	2.9	4.2	1.0
インスリン注射	134	221	1.6	1.4	1.0
透析の管理	37	36	1.0	2.2	0.0

図表 2-203 入所定員別 (施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数  
(0人回答を含む)(まとめ、平均値のみの記載)

(単位：人)

	29 人 以 下	30 人 以 上 60 人 未 満	60 人 以 上 100 人 未 満	100 人 以 上
点滴	0.3	0.6	1.1	1.0
中心静脈栄養	0.3	0.4	0.2	0.2
経鼻経管栄養	0.7	1.8	2.8	3.2
胃ろう・腸ろう	1.8	3.3	4.9	5.7
カテーテルの管理	1.2	2.1	2.8	4.5
喀痰吸引	1.3	2.9	4.4	5.3
酸素療法	0.4	0.6	1.2	1.2
レスピレータの管理	0.0	0.0	0.0	0.0
気管切開のケア	0.0	0.1	0.3	0.1
人工膀胱の管理	0.1	0.1	0.3	0.4
人工肛門の管理	0.4	0.4	0.7	0.9
疼痛の管理(麻薬を用いない)	0.5	1.1	1.7	2.0
疼痛の管理(麻薬を用いる)	0.2	0.1	0.2	0.3
褥瘡の処置	0.7	1.3	2.2	2.5
血糖測定	1.0	1.4	2.6	2.9
インスリン注射	0.6	0.6	1.1	1.6
透析の管理	0.1	0.5	2.9	1.0

2) 職員体制別にみた「胃ろう・腸ろう」「カテーテルの管理」「喀痰吸引」の処置を行っている施設

i) 胃ろう・腸ろう

図表 2-204 (胃ろう・腸ろう) 看護職員(常勤換算数)別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数(0人回答を含む)

	件数	合計(人)	平均(人)	標準偏差	中央値
全体	1,182	4,690	4.0	3.8	3.0
2人未満	97	139	1.4	1.7	1.0
2人以上～3人未満	176	509	2.9	2.6	2.0
3人以上～4人未満	231	750	3.2	3.0	3.0
4人以上～5人未満	248	1,129	4.6	3.7	4.0
5人以上～6人未満	172	888	5.2	4.1	4.0
6人以上	120	763	6.4	5.2	5.0

図表 2-205 (胃ろう・腸ろう) 入所定員100人あたりの看護職員(常勤換算数)別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数(0人回答を含む)

	件数	合計(人)	平均(人)	標準偏差	中央値
全体	1,182	4,690	4.0	3.8	3.0
0人以上～4人未満	76	318	4.2	4.0	3.0
4人以上～6人未満	363	1,439	4.0	3.7	3.0
6人以上～8人未満	340	1,380	4.1	4.0	3.0
8人以上	257	994	3.9	3.5	3.0

図表 2-206 (胃ろう・腸ろう) 入所定員100人あたりの看護職員(常勤換算数) + 認定特定行為実施介護職員数(第一号～第三号、実人数)別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数(0人回答を含む)

	件数	合計(人)	平均(人)	標準偏差	中央値
全体	1,182	4,690	4.0	3.8	3.0
0人以上～4人未満	121	447	3.7	3.9	3.0
4人以上～6人未満	226	857	3.8	3.8	3.0
6人以上～8人未満	224	777	3.5	3.9	3.0
8人以上～10人未満	136	596	4.4	3.9	3.0
10人以上～20人未満	242	995	4.1	3.5	3.0
20人以上	194	865	4.5	3.8	4.0

## ii) カテーテルの管理

図表 2-207 (カテーテルの管理) 看護職員 (常勤換算数) 別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数 (0人回答を含む)

	件数	合計 (人)	平均 (人)	標準偏差	中央値
全体	1,132	2,874	2.5	3.1	2.0
2人未満	113	131	1.2	1.4	1.0
2人以上～3人未満	164	314	1.9	2.0	1.0
3人以上～4人未満	220	472	2.1	2.3	2.0
4人以上～5人未満	239	623	2.6	3.3	2.0
5人以上～6人未満	156	545	3.5	3.9	3.0
6人以上	111	462	4.2	4.0	3.0

図表 2-208 (カテーテルの管理) 入所定員 100人あたりの看護職員 (常勤換算数) 別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数 (0人回答を含む)

	件数	合計 (人)	平均 (人)	標準偏差	中央値
全体	1,182	4,690	4.0	3.8	3.0
0人以上～4人未満	74	223	3.0	3.6	2.0
4人以上～6人未満	358	1,002	2.8	3.6	2.0
6人以上～8人未満	330	807	2.4	2.8	1.0
8人以上	233	479	2.1	2.1	2.0

図表 2-209 (カテーテルの管理) 入所定員 100人あたりの看護職員 (常勤換算数) + 認定特

定行為実施介護職員数 (第一号～第三号、実人数) 別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数 (0人回答を含む)

	件数	合計 (人)	平均 (人)	標準偏差	中央値
全体	1,182	4,690	4.0	3.8	3.0
0人以上～4人未満	119	326	2.7	3.3	2.0
4人以上～6人未満	232	660	2.8	3.8	2.0
6人以上～8人未満	218	430	2.0	2.0	1.0
8人以上～10人未満	130	304	2.3	2.4	2.0
10人以上～20人未満	225	635	2.8	3.1	2.0
20人以上	171	416	2.4	3.2	2.0

iii) 喀痰吸引

図表 2-210 (喀痰吸引) 看護職員 (常勤換算数) 別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数 (0人回答を含む)

	件数	合計 (人)	平均 (人)	標準偏差	中央値
全体	1,099	3,778	3.4	4.8	2.0
2人未満	96	105	1.1	1.5	1.0
2人以上～3人未満	175	390	2.2	2.8	1.0
3人以上～4人未満	204	527	2.6	2.8	2.0
4人以上～5人未満	222	922	4.2	5.4	3.0
5人以上～6人未満	155	627	4.0	4.7	2.0
6人以上	114	788	6.9	8.0	4.0

図表 2-211 (喀痰吸引) 入所定員 100人あたりの看護職員 (常勤換算数) 別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数 (0人回答を含む)

	件数	合計 (人)	平均 (人)	標準偏差	中央値
全体	1,182	4,690	4.0	3.8	3.0
0人以上～4人未満	62	152	2.5	3.7	1.0
4人以上～6人未満	345	1,062	3.1	4.3	2.0
6人以上～8人未満	317	1,370	4.3	6.2	2.0
8人以上	236	753	3.2	3.6	2.0

図表 2-212 (喀痰吸引) 入所定員 100人あたりの看護職員 (常勤換算数) + 認定特定行為実

施介護職員数 (第一号～第三号、実人数) 別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数 (0人回答を含む)

	件数	合計 (人)	平均 (人)	標準偏差	中央値
全体	1,182	4,690	4.0	3.8	3.0
0人以上～4人未満	98	261	2.7	3.5	2.0
4人以上～6人未満	202	543	2.7	4.5	1.0
6人以上～8人未満	204	632	3.1	5.5	2.0
8人以上～10人未満	128	432	3.4	3.7	2.5
10人以上～20人未満	232	859	3.7	4.2	2.0
20人以上	195	944	4.8	5.7	3.0

## 3) 調査時点で処置を行っている人数が「1人以上」の施設

調査時点で処置を行っている人数が「1人以上」の施設数は、「胃ろう・腸ろう」は1,036施設であり、本調査の回答全施設に対する比率は69.0%、受け入れ可能施設に対する比率は81.9%であった。「カテーテルの管理」は886施設であり、本調査の回答全施設に対する比率は59.0%、受け入れ可能施設に対する比率は73.6%であった。「喀痰吸引」は805施設であり、本調査の回答全施設に対する比率は53.6%、受け入れ可能施設に対する比率は68.7%であった。

図表 2-213 (施設内で対応可能な場合)

## 調査時点で処置を行っている人数が「1人以上」の施設数

	1人以上 処置を実 施してい る施設数	本調査の 回答全施 設に対す る比率	受け入れ可 能施設数	受け入れ可 能施設数 に対する 比率
点滴	274	18.2%	904	30.3%
中心静脈栄養	24	1.6%	172	14.0%
経鼻経管栄養	295	19.6%	535	55.1%
胃ろう・腸ろう	1,036	69.0%	1,265	81.9%
カテーテルの管理	886	59.0%	1,204	73.6%
喀痰吸引	805	53.6%	1,172	68.7%
酸素療法	382	25.4%	870	43.9%
レスピレータの管理	1	0.1%	108	0.9%
気管切開のケア	16	1.1%	158	10.1%
人工膀胱の管理	71	4.7%	404	17.6%
人工肛門の管理	391	26.0%	930	42.0%
疼痛の管理(麻薬を用いない)	270	18.0%	810	33.3%
疼痛の管理(麻薬を用いる)	48	3.2%	344	14.0%
褥瘡の処置	796	53.0%	1,344	59.2%
血糖測定	634	42.2%	1,174	54.0%
インスリン注射	523	34.8%	1,026	51.0%
透析の管理	50	3.3%	209	23.9%

i) 入所定員別

図表 2-214 (29人以下) 入所定員別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数が「1人以上」の施設数

	1人以上 処置を実 施してい る施設数	本調査の 回答全施 設に対す る比率	受入れ可 能施設数	受入れ可 能施設数 に対する 比率
点滴	44	13.6%	191	23.0%
中心静脈栄養	6	1.9%	45	13.3%
経鼻経管栄養	31	9.6%	98	31.6%
胃ろう・腸ろう	149	46.0%	215	69.3%
カテーテルの管理	135	41.7%	227	59.5%
喀痰吸引	107	33.0%	205	52.2%
酸素療法	56	17.3%	167	33.5%
レスピレータの管理	0	0.0%	25	0.0%
気管切開のケア	0	0.0%	33	0.0%
人工膀胱の管理	7	2.2%	73	9.6%
人工肛門の管理	56	17.3%	159	35.2%
疼痛の管理(麻薬を用いない)	35	10.8%	155	22.6%
疼痛の管理(麻薬を用いる)	10	3.1%	63	15.9%
褥瘡の処置	108	33.3%	273	39.6%
血糖測定	103	31.8%	226	45.6%
インスリン注射	72	22.2%	187	38.5%
透析の管理	4	1.2%	47	8.5%

図表 2-215 (30人以上 60人未満) 入所定員別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数が「1人以上」の施設数

	1人以上 処置を実 施してい る施設数	本調査の 回答全施 設に対す る比率	受入れ可 能施設数	受入れ可 能施設数 に対する 比率
点滴	81	16.1%	310	26.1%
中心静脈栄養	8	1.6%	67	11.9%
経鼻経管栄養	116	23.1%	210	55.2%
胃ろう・腸ろう	339	67.5%	432	78.5%
カテーテルの管理	285	56.8%	402	70.9%
喀痰吸引	276	55.0%	415	66.5%
酸素療法	106	21.1%	295	35.9%
レスピレータの管理	1	0.2%	44	2.3%
気管切開のケア	8	1.6%	68	11.8%
人工膀胱の管理	12	2.4%	144	8.3%
人工肛門の管理	102	20.3%	308	33.1%
疼痛の管理(麻薬を用いない)	85	16.9%	273	31.1%
疼痛の管理(麻薬を用いる)	11	2.2%	112	9.8%
褥瘡の処置	251	50.0%	451	55.7%
血糖測定	197	39.2%	411	47.9%
インスリン注射	143	28.5%	351	40.7%
透析の管理	14	2.8%	75	18.7%

図表 2-216 (60人以上100人未満) 入所定員別

(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数が「1人以上」の施設数

カテゴリー名	1人以上 処置を実 施してい る施設数	本調査の 回答全施 設に対す る比率	受入れ可 能施設数	受入れ可 能施設数 に対する 比率
点滴	106	23.3%	272	39.0%
中心静脈栄養	7	1.5%	33	21.2%
経鼻経管栄養	106	23.3%	157	67.5%
胃ろう・腸ろう	367	80.7%	416	88.2%
カテーテルの管理	304	66.8%	385	79.0%
喀痰吸引	289	63.5%	374	77.3%
酸素療法	148	32.5%	274	54.0%
レスピレータの管理	0	0.0%	21	0.0%
気管切開のケア	6	1.3%	31	19.4%
人工膀胱の管理	28	6.2%	107	26.2%
人工肛門の管理	145	31.9%	298	48.7%
疼痛の管理(麻薬を用いない)	100	22.0%	249	40.2%
疼痛の管理(麻薬を用いる)	15	3.3%	98	15.3%
褥瘡の処置	297	65.3%	417	71.2%
血糖測定	225	49.5%	367	61.3%
インスリン注射	199	43.7%	336	59.2%
透析の管理	22	4.8%	48	45.8%

図表 2-217 (100人以上) 入所定員別

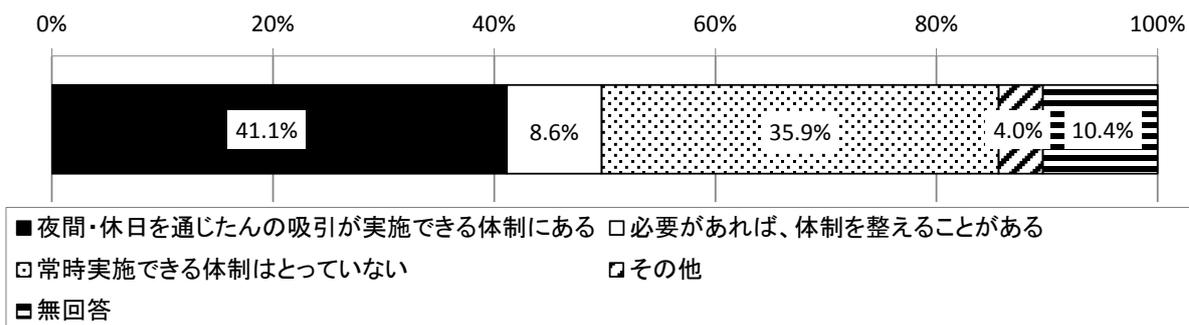
(施設内で対応可能な場合) 調査時点で処置を行っている人数が「1人以上」の施設数

	1人以上 処置を実 施してい る施設数	本調査の 回答全施 設に対す る比率	受入れ可 能施設数	受入れ可 能施設数 に対する 比率
点滴	41	19.7%	123	33.3%
中心静脈栄養	3	1.4%	26	11.5%
経鼻経管栄養	36	17.3%	62	58.1%
胃ろう・腸ろう	172	82.7%	191	90.1%
カテーテルの管理	155	74.5%	181	85.6%
喀痰吸引	127	61.1%	171	74.3%
酸素療法	67	32.2%	123	54.5%
レスピレータの管理	0	0.0%	18	0.0%
気管切開のケア	2	1.0%	26	7.7%
人工膀胱の管理	24	11.5%	77	31.2%
人工肛門の管理	87	41.8%	155	56.1%
疼痛の管理(麻薬を用いない)	48	23.1%	128	37.5%
疼痛の管理(麻薬を用いる)	12	5.8%	68	17.6%
褥瘡の処置	134	64.4%	192	69.8%
血糖測定	104	50.0%	160	65.0%
インスリン注射	106	51.0%	143	74.1%
透析の管理	10	4.8%	37	27.0%

④ 夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制か

看護職員や認定特定行為業務従事者認定症の交付を受けた介護職員を配置することで、夜間・休日を通じて、たんの吸引が実施できる体制にあるかをたずねたところ、「夜間・休日を通じたたんの吸引が実施できる体制にある」が41.1%、「常時実施できる体制はとっていない」は35.9%、「必要があれば、体制を整えることがある」は8.6%であった。

図表 2-218 夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制か (n=1,502)



※ 「その他」の内容は、「夜間はオンコール対応」などであった。

図表 2-219 開設年別 夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制か

	合計	夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制にある	必要があれば、体制を整えることがある	常時実施できる体制はとっていない	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	618 41.1%	129 8.6%	539 35.9%	60 4.0%	156 10.4%
1989年以前	312 100.0%	175 56.1%	28 9.0%	79 25.3%	8 2.6%	22 7.1%
1990年～1999年	322 100.0%	157 48.8%	25 7.8%	90 28.0%	13 4.0%	37 11.5%
2000年～2004年	185 100.0%	103 55.7%	11 5.9%	46 24.9%	5 2.7%	20 10.8%
2005年～2010年	208 100.0%	82 39.4%	23 11.1%	76 36.5%	3 1.4%	24 11.5%
2011年以降	461 100.0%	96 20.8%	42 9.1%	243 52.7%	31 6.7%	49 10.6%

図表 2-220 入所定員別 夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制か

	合計	夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制にある	必要があれば、体制を整えることがある	常時実施できる体制はとっていない	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	618 41.1%	129 8.6%	539 35.9%	60 4.0%	156 10.4%
29人以下	324 100.0%	85 26.2%	23 7.1%	179 55.2%	12 3.7%	25 7.7%
30人以上～60人未満	502 100.0%	218 43.4%	51 10.2%	154 30.7%	21 4.2%	58 11.6%
60人以上～100人未満	455 100.0%	216 47.5%	40 8.8%	137 30.1%	22 4.8%	40 8.8%
100人以上	208 100.0%	95 45.7%	15 7.2%	66 31.7%	4 1.9%	28 13.5%

図表 2-221 看護職員の基本的な夜勤体制別

夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制か

	合計	夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制にある	必要があれば、体制を整えることがある	常時実施できる体制はとっていない	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	618 41.1%	129 8.6%	539 35.9%	60 4.0%	156 10.4%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	20 80.0%	0 0.0%	4 16.0%	0 0.0%	1 4.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	8 40.0%	1 5.0%	8 40.0%	3 15.0%	0 0.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	13 29.5%	4 9.1%	22 50.0%	1 2.3%	4 9.1%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1352 100.0%	559 41.3%	117 8.7%	482 35.7%	54 4.0%	140 10.4%
その他	56 100.0%	17 30.4%	6 10.7%	21 37.5%	2 3.6%	10 17.9%

図表 2-222 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別

夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制か

	合計	夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制にある	必要があれば、体制を整えることがある	常時実施できる体制はとっていない	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	618 41.1%	129 8.6%	539 35.9%	60 4.0%	156 10.4%
原則、夜勤職員には1人以上含まれる	372 100.0%	315 84.7%	16 4.3%	21 5.6%	1 0.3%	19 5.1%
原則、1人以上が当直する	23 100.0%	17 73.9%	1 4.3%	3 13.0%	0 0.0%	2 8.7%
ローテーションによりいないこともある	673 100.0%	231 34.3%	76 11.3%	272 40.4%	34 5.1%	60 8.9%
原則、夜勤・当直はない	83 100.0%	9 10.8%	9 10.8%	56 67.5%	3 3.6%	6 7.2%

図表 2-223 施設の看取りの方針別 夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制か

	合計	夜間・休日を通じてたんの吸引が実施できる体制にある	必要があれば、体制を整えることがある	常時実施できる体制はとっていない	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	618 41.1%	129 8.6%	539 35.9%	60 4.0%	156 10.4%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	534 45.6%	118 10.1%	367 31.3%	45 3.8%	107 9.1%
原則、病院等に移す	245 100.0%	64 26.1%	5 2.0%	141 57.6%	12 4.9%	23 9.4%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

## ⑤ 施設の医療的ケアにおける課題（自由回答）

施設の医療的ケアにおける課題として、主な回答は以下の通りであった。

○医師
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療ニーズ（ケア）の多様化や受診の必要性についての判断の有無等、医師が常駐していない事への不安が大きい。</li> <li>・ 看護師の夜間不在や医師の常駐がない為、医療度が高くなってしまおうと対応ができない。配置医師が自院の診療時間中だと入居者の対応ができない。</li> <li>・ 医療的ケアを受入れる際の医師の協力が難しい。</li> <li>・ 配置医師の意向が保険診察で認められない行為はできないと言われ、医療依存度の高い方は基本的に入所しない。しかし社会は重度化の流れになっているので、医療と介護の分担が難しく、現場の調整が年々困難となっている。</li> </ul>
○看護
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定した看護職員の確保による安定した医療的ケアの提供。</li> <li>・ 医療ニーズのある利用者（吸引、胃ろう、鼻腔栄養）や重度化傾向にあるが、看護師の配置が行き届いていない現状にある。</li> <li>・ 医療的ケアを必要とする人に対して、対応できることにも内容や頻度により職員の人数も限られた中では限界もある。施設は病院と違うため、看護職も少なく対応範囲も限られる。</li> <li>・ 看護職員は基本的に夜勤体制が整っていない。夜間が介護職員のみになるので不安要素がある。</li> <li>・ 夜間はオンコール体制で看護職員が不在となるため、医療行為は最小限にしている。</li> <li>・ 看護体制が整わず医療的ケアが充実しているとは言えない。また、体制が整わないことで看護と介護の連携が円滑にとれない状況にある。</li> <li>・ 看護師が少なく点滴や血糖測定、胃ろうの対応は可能だが、長期的に継続的に行うことが難しい。</li> </ul>
○介護
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療的ケアにおける知識の向上が介護職員に必要。看護職員が指導はしているが、なかなか浸透しない。</li> <li>・ 医療的知識や経験のある介護職員が極めて不足している。無資格・未経験の職員が多く研修等も人員不足により開催出来ない。</li> <li>・ 介護職員による吸引では、口腔内だけではとり切れない。鼻腔吸引も出来ない利用者もいるため、看護師が夜間常に待機体制となっている。</li> <li>・ 何ヶ月間の講習で医療的ケアを介護職員にさせるのは不安がある。又介護職員の離職問題等もあり研修を法人負担で受講してもらうことにも不安がある。</li> <li>・ 介護職員によりケア提供の質の差があるため、平均的なケア提供が出来ていない。</li> </ul>
○認定特定行為業務従事者研修
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修期間が長く、交付まで時間がかかりすぎる。もっと短期間で充実した研修を検討してほしい。（認定特定行為業務従事者研修）</li> <li>・ 特定行為業務従事者認定者数を増やしたいが、利用者に対象者がおらず、外部受入機関も対象者不足により、実地研修が出来ない状況。体制を整えるのにまだ時間を要す。</li> <li>・ 認定特定行為業務従事者研修の受け入れ人数が少なく、資格が取りにくい。</li> <li>・ 第二号研修の機会が少なく、ほとんどが経過措置のみの認定証のため口腔内のみ。これ以上の介護職員の医療的ケアへの負担拡大は、現状を考えると難しい。</li> <li>・ 施設に対象者がいなければ第一号研修を受講できない為、入所者が鼻腔栄養や気管カニューレ挿入した場合、施設入所が継続できない状態。他施設での実地研修などスムーズに行える様にならないか。又、研修回数を増やすなど、医療的ケアを行う介護者を増やしたい。医療度の高い利用者が多くなっている。</li> <li>・ 介護スタッフが鼻腔から吸引できるようになると利用者受入れの範囲は広がる。ただ知識・技術が不十分であると看護職員も不安。せめて口腔内吸引だけでも施設内研修</li> </ul>

できるようにになるとケアがスムーズに行える。
○その他
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 入所者の障害が重複・重度化しており医療的ケアの必要性が高い方が多い。当然、医療的ケアへの依存が高く、現在の看護職員数では負担がますます多くなっている。特に「特養」という生活場所に特養での医療の範囲を超えたより専門的医療のケアを必要とする入所者が増えてきていると実感する。</li><li>・ 看取りを導入したいが、設備もない。人材不足による介護職員の負担の増、医療機関は自病院経営の法人を優先するため何かあれば救急車で対応、看取りは本当に導入できるのか。家族は特養に入れてしまえば何でもやってくれると思っている。</li><li>・ 看取り介護を利用者及び家族の要望に応じて実施しているが、夜勤時の介護職並びに深夜急変時の看護職の負担が大変に大きいため、職員配置増を検討してほしい。年間で退所者の内、施設内死亡が8割・9割以上の施設には職員配置増等の何らかの加算を是非共お願いしたい。</li></ul>

**(4) 通院・訪問診療・往診の状況**

本設問について、診療科別延べ人数をたずねたが、延べ回数を回答したり、訪問診療と往診についての回答間違い等が多いとみられ、参考扱いとする。

**① 通院****図表 2-224 【参考】通院人数**

(単位：人)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
通院：人数	1,421	16.6	23.8	11.0
診療科別延べ人数	件数	平均値	標準偏差	中央値
内科	1,421	8.3	17.7	4.0
外科	1,421	1.0	2.8	0.0
整形外科	1,421	2.0	3.7	1.0
皮膚科	1,421	1.7	3.2	1.0
眼科	1,421	0.9	1.7	0.0
耳鼻科	1,421	0.3	1.0	0.0
精神科	1,421	1.3	4.3	0.0
歯科	1,421	1.0	4.3	0.0
その他	1,421	2.4	5.5	1.0

**② 訪問診療****図表 2-225 【参考】訪問診療人数**

(単位：人)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
訪問診療：実人数	1,146	19.4	38.8	3.0
診療科別延べ人数	件数	平均値	標準偏差	中央値
内科	1,146	8.3	26.6	0.0
外科	1,146	0.1	0.9	0.0
整形外科	1,146	0.1	1.5	0.0
皮膚科	1,146	0.8	4.6	0.0
眼科	1,146	0.4	2.6	0.0
耳鼻科	1,146	0.1	1.7	0.0
精神科	1,146	1.5	7.6	0.0
歯科	1,146	14.1	36.2	0.0
その他	1,146	0.4	6.4	0.0

③ 往診

図表 2 -226 【参考】往診人数

(単位：人)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
往診：実人数	1,230	26.7	47.2	5.0
診療科別延べ人数	件数	平均値	標準偏差	中央値
内科	1,230	26.0	58.2	0.0
外科	1,230	0.6	5.5	0.0
整形外科	1,230	0.3	6.2	0.0
皮膚科	1,230	1.7	16.7	0.0
眼科	1,230	0.4	2.4	0.0
耳鼻科	1,230	0.0	0.8	0.0
精神科	1,230	2.9	14.9	0.0
歯科	1,230	5.2	21.3	0.0
その他	1,230	0.6	10.6	0.0

(5) 病院や診療所への入院の状況

① 調査時点での入院中の入所者数

調査日時点で、入院中の入所者数は平均 1.9 人、中央値は 1.0 人であった。

図表 2-227 入所定員別 調査日時点での入院中の入所者数

(単位：人)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,462	1.9	2.2	1.0
29 人以下	316	0.7	1.0	0.0
30 人以上～60 人未満	488	1.5	1.6	1.0
60 人以上～100 人未満	442	2.3	2.2	2.0
100 人以上	204	3.8	3.2	3.0

② 平成 28 年 7 月 1 か月間の入院患者数

1 か月間の入院患者数は平均 17.6 人、中央値で 3.0 人であった。

図表 2-228 入所定員別 平成 28 年 7 月 1 か月間の入院患者数

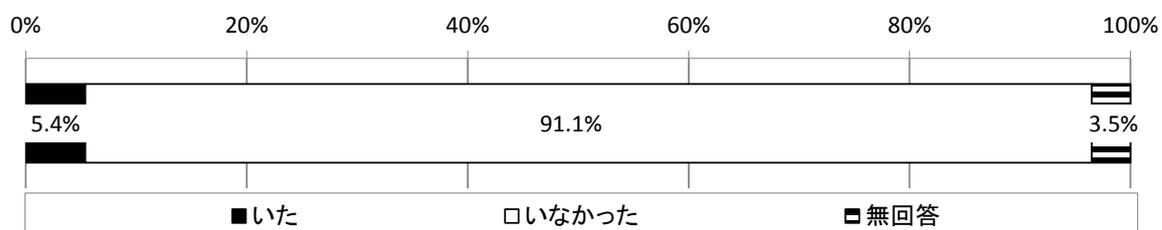
(単位：人)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
全体	1,392	17.6	56.9	3.0
29 人以下	305	4.4	11.3	1.0
30 人以上～60 人未満	462	17.2	78.4	2.0
60 人以上～100 人未満	418	20.2	36.4	4.0
100 人以上	196	33.3	70.2	6.0

③ 入院できなかった入所者

入院治療が必要と考えたが、入院できなかった入所者の有無は、「いた」が 5.4%であった。

図表 2-229 入院治療が必要と考えたが、入院できなかった入所者 (n=1,502)



図表 2-230 開設年別 入院治療が必要と考えたが、入院できなかった入所者

	合計	いた	いなか った	無回答
全体	1,502 100.0%	81 5.4%	1,368 91.1%	53 3.5%
1989年以前	312 100.0%	12 3.8%	295 94.6%	5 1.6%
1990年～1999年	322 100.0%	28 8.7%	281 87.3%	13 4.0%
2000年～2004年	185 100.0%	10 5.4%	172 93.0%	3 1.6%
2005年～2010年	208 100.0%	9 4.3%	190 91.3%	9 4.3%
2011年以降	461 100.0%	20 4.3%	418 90.7%	23 5.0%

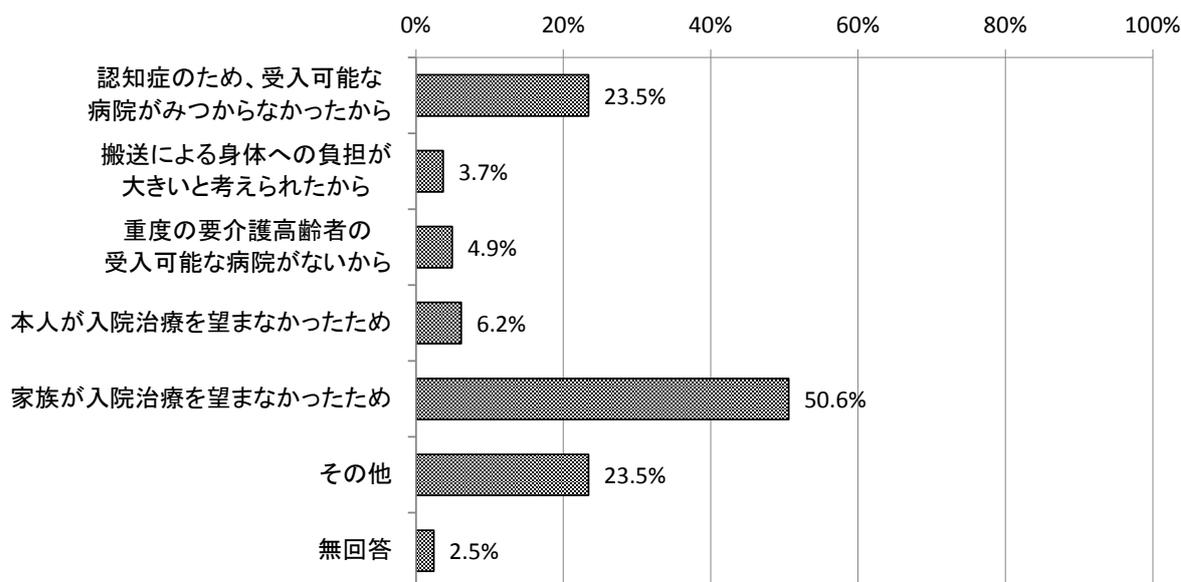
図表 2-231 入所定員別 入院治療が必要と考えたが、入院できなかった入所者

	合計	いた	いなか った	無回答
全体	1,502 100.0%	81 5.4%	1,368 91.1%	53 3.5%
29人以下	324 100.0%	6 1.9%	305 94.1%	13 4.0%
30人以上～60人未満	502 100.0%	24 4.8%	455 90.6%	23 4.6%
60人以上～100人未満	455 100.0%	30 6.6%	413 90.8%	12 2.6%
100人以上	208 100.0%	19 9.1%	185 88.9%	4 1.9%

1) (入院することができなかった入所者がいた場合) 入院できなかった理由

入院できなかった理由は、「家族が入院治療を望まなかったため」が 50.6%、「認知症のため、受入可能な病院がみつからなかったから」は 23.5%、「本人が入院治療を望まなかったため」は 6.2%であった。

図表 2-232 (入院治療が必要と考えたが、入院できなかった入所者がいた場合) 理由  
(複数回答) (n=81)



図表 2-233 入所定員別 (入院治療が必要と考えたが、入院できなかった入所者がいた場合)  
理由 (複数回答) (n=81)

	合計	認知症のため、受入可能な病院がみつからなかったから	搬送による身体への負担が大きいと考えられたから	重度の要介護高齢者の受入可能な病院がないから	本人が入院治療を望まなかったため	家族が入院治療を望まなかったため	その他	無回答
全体	81 100.0%	19 23.5%	3 3.7%	4 4.9%	5 6.2%	41 50.6%	19 23.5%	2 2.5%
29人以下	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%
30人以上~60人未満	24 100.0%	4 16.7%	1 4.2%	1 4.2%	0 0.0%	12 50.0%	8 33.3%	1 4.2%
60人以上~100人未満	30 100.0%	8 26.7%	2 6.7%	2 6.7%	2 6.7%	16 53.3%	5 16.7%	1 3.3%
100人以上	19 100.0%	6 31.6%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	9 47.4%	5 26.3%	0 0.0%

図表 2-234 施設の看取りの方針別（入院治療が必要と考えたが、入院できなかった入所者がいた場合）理由（複数回答）（n=81）

	合計	認知症のため、受入可能な病院がみつからなかったから	搬送による身体への負担が大きいと考えられたから	重度の要介護高齢者の受入可能な病院がないから	本人が入院治療を望まなかったため	家族が入院治療を望まなかったため	その他	無回答
全体	81 100.0%	19 23.5%	3 3.7%	4 4.9%	5 6.2%	41 50.6%	19 23.5%	2 2.5%
希望があれば、施設内で看取る	66 100.0%	14 21.2%	3 4.5%	3 4.5%	5 7.6%	38 57.6%	12 18.2%	1 1.5%
原則、病院等に移す	11 100.0%	4 36.4%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	6 54.5%	1 9.1%

注）施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

## (6) 退所先別退所人数（平成 28 年 4 月～9 月）

## ① 退所先別退所人数

1 施設あたりの退所先別の退所人数（平成 28 年 4 月～9 月）について、「施設内死亡」は平均 3.0 人、「入院後の死亡退所」は平均 2.1 人で、「病院・診療所」は 1.8 人であった。

図表 2-235 退所先別 退所人数（平成 28 年 4 月～9 月）（n=1,453）

（単位：人）

	合計値	構成比	1 施設あたり 平均値	標準偏差	中央値
病院・診療所	2,595	24.9%	1.8	2.4	1.0
死亡	7,337	70.4%	5.1	4.0	4.0
入院後の死亡退所	3,020	29.0%	2.1	2.6	1.0
施設内死亡	4,317	41.4%	3.0	3.5	2.0
自宅等	115	1.1%	0.1	0.4	0.0
有料老人ホーム	39	0.4%	0.0	0.2	0.0
サービス付き高齢者向け住宅	20	0.2%	0.0	0.1	0.0
グループホーム	20	0.2%	0.0	0.1	0.0
老人保健施設	82	0.8%	0.1	0.3	0.0
その他	218	2.1%	0.2	0.6	0.0
合計	10,426	100.0%	7.2	4.8	6.0

## ② 退所者全体に占める退所先別退所者の比率

退所者全体に占める退所先別退所者の比率の平均値をみると、「施設内死亡」は退所者全体の 39.0%、「医療機関での死亡」は 28.0%、「病院・診療所への退所」は 25.5%であった。

図表 2-236 退所先別比率（n=1,453）

（単位：%）

	平均値	標準偏差	中央値
病院・診療所への退所	25.5	28.8	16.7
医療機関での死亡	28.0	28.7	22.2
施設内死亡	39.0	35.1	33.3

③ 退所先が病院・診療所

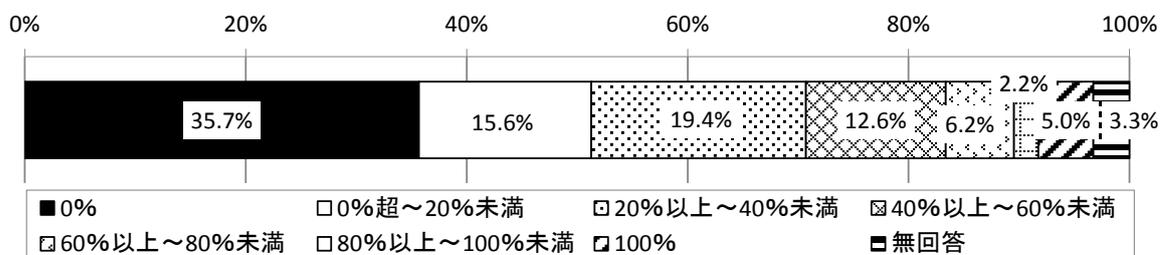
病院・診療所に入院したことによる退所人数については、「0人」が35.7%、「1人」は22.8%、「2人」は13.8%であった。平均は1.8人であった。

病院・診療所への入院による退所者の比率について、「0%」が35.7%、「20%以上～40%未満」は19.4%、「0%超以上～20%未満」は15.6%であった。

図表 2-237 病院・診療所への入院による退所人数 (n=1,502)

退所人数	施設数	構成比
0人	536	35.7%
1人	343	22.8%
2人	207	13.8%
3人	121	8.1%
4人	86	5.7%
5人	62	4.1%
6人	30	2.0%
7人	21	1.4%
8人	16	1.1%
9人	10	0.7%
10人	7	0.5%
11人以上	14	0.9%
無回答	49	3.3%
全体	1,502	100.0%

図表 2-238 病院・診療所への入院による退所者の比率 (n=1,502)



④ 入院後の死亡退所

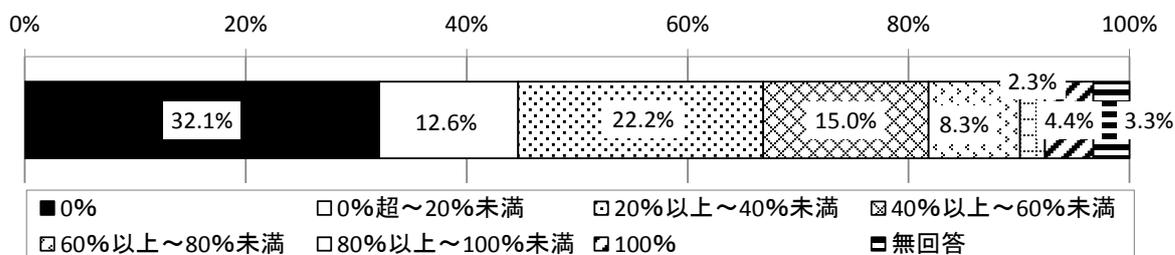
病院・診療所へ入院後、死亡したことによる退所者の人数については、「0人」が32.1%、「1人」は19.9%、「2人」は14.7%であった。平均は2.1人であった。

病院・診療所への入院後死亡による退所者の比率について、「0%」が32.1%、「20%～40%未満」は22.2%、「40%～60%未満」は15.0%であった。

図表 2-239 病院・診療所への入院後死亡による退所者の人数 (n=1,502)

退所人数	施設数	構成比
0人	482	32.1%
1人	299	19.9%
2人	221	14.7%
3人	159	10.6%
4人	90	6.0%
5人	68	4.5%
6人	42	2.8%
7人	32	2.1%
8人	20	1.3%
9人	7	0.5%
10人	11	0.7%
11人以上	22	1.5%
無回答	49	3.3%
全体	1,502	100.0%

図表 2-240 病院・診療所への入院後死亡による退所者の比率 (n=1,502)



⑤ 施設内死亡

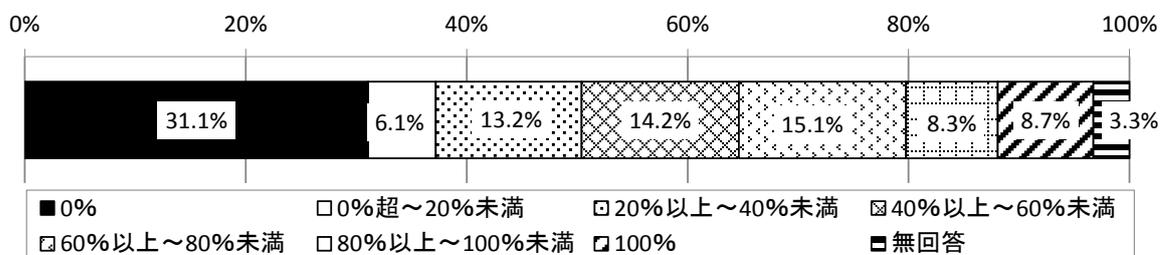
施設内死亡の人数については、「0人」が31.1%、「1人」は13.1%、「2人」は11.8%であった。平均は3.0人であった。

施設内での死亡による退所者の比率について、「0%」が31.1%、「60%以上～80%未満」は15.1%、「40%以上～60%未満」は14.2%であった。

図表 2-241 施設内での死亡による退所人数 (n=1,502)

退所人数	施設数	構成比
0人	467	31.1%
1人	197	13.1%
2人	177	11.8%
3人	132	8.8%
4人	102	6.8%
5人	106	7.1%
6人	54	3.6%
7人	53	3.5%
8人	35	2.3%
9人	40	2.7%
10人	24	1.6%
11人以上	66	4.4%
無回答	49	3.3%
全体	1,502	100.0%

図表 2-242 施設内での死亡による退所者の比率 (n=1,502)



図表 2-243 開設年別 施設内での死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回 答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
1989年以前	312 100.0%	88 28.2%	19 6.1%	41 13.1%	53 17.0%	47 15.1%	39 12.5%	22 7.1%	3 1.0%
1990年～1999年	322 100.0%	80 24.8%	18 5.6%	41 12.7%	47 14.6%	63 19.6%	34 10.6%	28 8.7%	11 3.4%
2000年～2004年	185 100.0%	40 21.6%	14 7.6%	29 15.7%	26 14.1%	31 16.8%	20 10.8%	23 12.4%	2 1.1%
2005年～2010年	208 100.0%	64 30.8%	15 7.2%	23 11.1%	31 14.9%	36 17.3%	13 6.3%	16 7.7%	10 4.8%
2011年以降	461 100.0%	191 41.4%	25 5.4%	62 13.4%	57 12.4%	47 10.2%	19 4.1%	41 8.9%	19 4.1%

図表 2-244 入所定員別 施設内での死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回 答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
29人以下	324 100.0%	156 48.1%	2 0.6%	37 11.4%	38 11.7%	31 9.6%	9 2.8%	40 12.3%	11 3.4%
30人以上～ 60人未満	502 100.0%	151 30.1%	25 5.0%	69 13.7%	68 13.5%	83 16.5%	40 8.0%	49 9.8%	17 3.4%
60人以上～ 100人未満	455 100.0%	110 24.2%	39 8.6%	55 12.1%	78 17.1%	71 15.6%	56 12.3%	34 7.5%	12 2.6%
100人以上	208 100.0%	48 23.1%	25 12.0%	34 16.3%	29 13.9%	40 19.2%	20 9.6%	6 2.9%	6 2.9%

図表 2-245 非常勤配置医の勤務日以外における対応別 施設内死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回 答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
勤務日以外でも、対応してもらえる	704 100.0%	180 25.6%	35 5.0%	88 12.5%	114 16.2%	115 16.3%	71 10.1%	74 10.5%	27 3.8%
勤務日以外は電話で指示を得ることができる	591 100.0%	207 35.0%	40 6.8%	88 14.9%	76 12.9%	86 14.6%	37 6.3%	44 7.4%	13 2.2%
原則、勤務日以外は対応してもらえない	87 100.0%	39 44.8%	3 3.4%	13 14.9%	9 10.3%	7 8.0%	8 9.2%	5 5.7%	3 3.4%

図表 2-246 在宅療養支援診療所・病院との連携体制の有無別

施設内死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回 答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
有	348 100.0%	105 30.2%	18 5.2%	60 17.2%	54 15.5%	49 14.1%	22 6.3%	32 9.2%	8 2.3%
無	1010 100.0%	316 31.3%	62 6.1%	119 11.8%	145 14.4%	155 15.3%	90 8.9%	89 8.8%	34 3.4%

図表 2-247 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法別

施設内での死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回 答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
配置医に連絡する	820 100.0%	179 21.8%	32 3.9%	116 14.1%	139 17.0%	153 18.7%	83 10.1%	90 11.0%	28 3.4%
協力病院に連絡する	701 100.0%	245 35.0%	64 9.1%	92 13.1%	93 13.3%	91 13.0%	47 6.7%	47 6.7%	22 3.1%
救急車を呼ぶ	1052 100.0%	346 32.9%	71 6.7%	150 14.3%	147 14.0%	150 14.3%	73 6.9%	83 7.9%	32 3.0%
その他	35 100.0%	10 28.6%	1 2.9%	7 20.0%	5 14.3%	4 11.4%	4 11.4%	3 8.6%	1 2.9%

図表 2-248 看護職員数（常勤換算）別 施設内での死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回答
全体	1502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
2人未満	156 100.0%	76 48.7%	2 1.3%	15 9.6%	13 8.3%	19 12.2%	3 1.9%	22 14.1%	6 3.8%
2人以上～ 3人未満	233 100.0%	88 37.8%	6 2.6%	40 17.2%	32 13.7%	22 9.4%	12 5.2%	27 11.6%	6 2.6%
3人以上～ 4人未満	283 100.0%	91 32.2%	13 4.6%	35 12.4%	39 13.8%	48 17.0%	31 11.0%	19 6.7%	7 2.5%
4人以上～ 5人未満	297 100.0%	71 23.9%	26 8.8%	32 10.8%	48 16.2%	52 17.5%	27 9.1%	29 9.8%	12 4.0%
5人以上～ 6人未満	194 100.0%	49 25.3%	27 13.9%	29 14.9%	28 14.4%	25 12.9%	22 11.3%	12 6.2%	2 1.0%
6人以上	136 100.0%	26 19.1%	11 8.1%	16 11.8%	26 19.1%	30 22.1%	17 12.5%	7 5.1%	3 2.2%

図表 2-249 看護職員の基本的な夜勤体制別 施設内での死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
原則、夜勤職員 には看護職員 が含まれる	25 100.0%	5 20.0%	3 12.0%	4 16.0%	5 20.0%	3 12.0%	2 8.0%	3 12.0%	0 0.0%
原則、看護職員 は当直する	20 100.0%	4 20.0%	1 5.0%	4 20.0%	4 20.0%	2 10.0%	1 5.0%	3 15.0%	1 5.0%
介護職員を含 めたローテーションに よる	44 100.0%	17 38.6%	4 9.1%	8 18.2%	6 13.6%	3 6.8%	2 4.5%	3 6.8%	1 2.3%
原則、看護職員 の夜勤・当直は ない	1352 100.0%	421 31.1%	78 5.8%	174 12.9%	195 14.4%	207 15.3%	118 8.7%	114 8.4%	45 3.3%
その他	56 100.0%	18 32.1%	6 10.7%	8 14.3%	3 5.4%	11 19.6%	2 3.6%	6 10.7%	2 3.6%

図表 2-250 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別 施設内での死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回 答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
原則、夜勤職員 には1人以上 含まれる	372 100.0%	95 25.5%	18 4.8%	53 14.2%	59 15.9%	61 16.4%	39 10.5%	40 10.8%	7 1.9%
原則、1人以上 が当直する	23 100.0%	8 34.8%	1 4.3%	4 17.4%	2 8.7%	4 17.4%	2 8.7%	1 4.3%	1 4.3%
ローテーションにより いないことも ある	673 100.0%	189 28.1%	39 5.8%	90 13.4%	110 16.3%	107 15.9%	59 8.8%	62 9.2%	17 2.5%
原則、夜勤・当 直はない	83 100.0%	43 51.8%	8 9.6%	8 9.6%	6 7.2%	12 14.5%	2 2.4%	1 1.2%	3 3.6%

図表 2-251 認定証交付介護職員の配置で、夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制かどうか別 施設内での死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回 答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
夜間・休日を通 じたんの吸引 が実施できる 体制にある	618 100.0%	155 25.1%	30 4.9%	71 11.5%	104 16.8%	119 19.3%	67 10.8%	59 9.5%	13 2.1%
必要があれば、 体制を整える ことがある	129 100.0%	25 19.4%	10 7.8%	26 20.2%	15 11.6%	18 14.0%	13 10.1%	17 13.2%	5 3.9%
常時実施でき る体制はとっ ていない	539 100.0%	223 41.4%	39 7.2%	78 14.5%	70 13.0%	59 10.9%	25 4.6%	36 6.7%	9 1.7%
その他	60 100.0%	22 36.7%	5 8.3%	5 8.3%	5 8.3%	11 18.3%	4 6.7%	7 11.7%	1 1.7%

図表 2-252 施設の看取りの方針別 施設内での死亡による退所者の比率

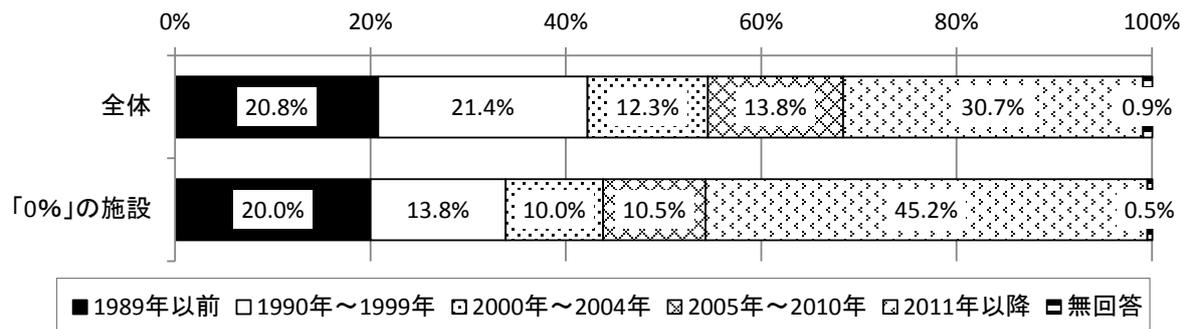
	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回 答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
希望があれば、 施設内で看取 る	1171 100.0%	210 17.9%	68 5.8%	180 15.4%	207 17.7%	224 19.1%	124 10.6%	124 10.6%	34 2.9%
原則、病院等に 移す	245 100.0%	207 84.5%	17 6.9%	11 4.5%	3 1.2%	2 0.8%	0 0.0%	2 0.8%	3 1.2%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

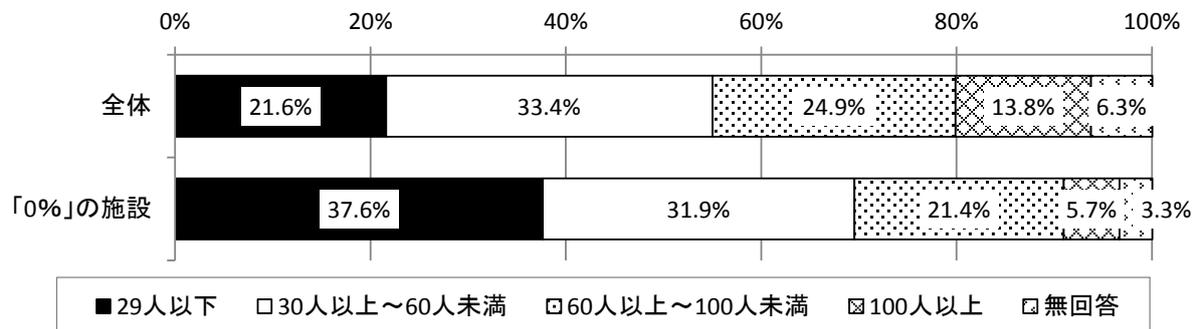


【施設の看取りの方針が「希望があれば、施設内で看取る」施設のうち、施設内での死亡による退所者の比率が「0%」の施設の特徴】

図表 2-253 開設年の比較



図表 2-254 入所定員の比較



【施設内での死亡による退所者の比率別にみた施設の看取りの方針が「希望があれば、施設内で看取る」施設の特徴】

図表 2-255 施設長の施設内看取りに対する意向別 施設内での死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回 答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
積極的である	957 100.0%	179 18.7%	49 5.1%	125 13.1%	157 16.4%	196 20.5%	110 11.5%	112 11.7%	29 3.0%
積極的か消極 的かどちらと もいえない	322 100.0%	163 50.6%	25 7.8%	48 14.9%	42 13.0%	22 6.8%	11 3.4%	6 1.9%	5 1.6%
どちらかとい えば消極的で ある	78 100.0%	59 75.6%	5 6.4%	9 11.5%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	2 2.6%
その他	56 100.0%	30 53.6%	5 8.9%	4 7.1%	6 10.7%	7 12.5%	1 1.8%	3 5.4%	0 0.0%

注) 施設長の施設内看取りに対する意向は、p.163図表 2-295参照

図表 2-256 配置医の施設内看取りに対する意向別 施設内での死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回 答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
積極的である	740 100.0%	98 13.2%	30 4.1%	92 12.4%	123 16.6%	164 22.2%	103 13.9%	105 14.2%	25 3.4%
積極的か消極 的かどちらと もいえない	470 100.0%	193 41.1%	43 9.1%	77 16.4%	71 15.1%	49 10.4%	14 3.0%	14 3.0%	9 1.9%
どちらかとい えば消極的で ある	160 100.0%	118 73.8%	8 5.0%	14 8.8%	6 3.8%	3 1.9%	3 1.9%	4 2.5%	4 2.5%
その他	47 100.0%	22 46.8%	4 8.5%	6 12.8%	5 10.6%	7 14.9%	2 4.3%	1 2.1%	0 0.0%

注) 配置医の施設内看取りに対する意向は、p.163図表 2-295参照

図表 2-257 看護職員の施設内看取りに対する意向別 施設内での死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回 答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
積極的である	832 100.0%	126 15.1%	40 4.8%	109 13.1%	139 16.7%	174 20.9%	109 13.1%	107 12.9%	28 3.4%
積極的か消極 的かどちらと もいえない	412 100.0%	189 45.9%	33 8.0%	60 14.6%	58 14.1%	40 9.7%	12 2.9%	13 3.2%	7 1.7%
どちらかとい えば消極的で ある	145 100.0%	102 70.3%	11 7.6%	15 10.3%	6 4.1%	2 1.4%	1 0.7%	5 3.4%	3 2.1%
その他	39 100.0%	17 43.6%	4 10.3%	3 7.7%	4 10.3%	8 20.5%	1 2.6%	2 5.1%	0 0.0%

注) 看護師の施設内看取りに対する意向は、p.163図表 2-295参照

図表 2-258 介護職員の施設内看取りに対する意向別 施設内での死亡による退所者の比率

	合計	0%	0%超 ～20% 未満	20%以 上～ 40%未 満	40%以 上～ 60%未 満	60%以 上～ 80%未 満	80%以 上～ 100% 未満	100%	無回 答
全体	1,502 100.0%	467 31.1%	92 6.1%	198 13.2%	214 14.2%	227 15.1%	125 8.3%	130 8.7%	49 3.3%
積極的である	733 100.0%	113 15.4%	32 4.4%	90 12.3%	125 17.1%	155 21.1%	96 13.1%	95 13.0%	27 3.7%
積極的か消極 的かどちらと もいえない	478 100.0%	192 40.2%	37 7.7%	75 15.7%	69 14.4%	58 12.1%	21 4.4%	18 3.8%	8 1.7%
どちらかとい えば消極的で ある	177 100.0%	115 65.0%	13 7.3%	21 11.9%	10 5.6%	4 2.3%	2 1.1%	9 5.1%	3 1.7%
その他	39 100.0%	20 51.3%	5 12.8%	1 2.6%	3 7.7%	5 12.8%	2 5.1%	3 7.7%	0 0.0%

注) 介護職員の施設内看取りに対する意向は、p.163図表 2-295参照

図表 2-259 施設内での死亡による退所者の比率

(単位：%)

		件数	平均	標準 偏差	中央 値
全体		1,453	39.0	35.1	33.3
常勤以外の医師： 勤務日以外の対応	勤務日以外でも、対応してもらえる	677	44.3	35.2	50.0
	勤務日以外は電話で指示を得ることができる	578	34.8	34.2	27.3
	原則、勤務日以外は対応してもらえない	84	30.2	35.2	17.1
在宅療養支援診療 所・病院との連携 体制の有無	有	340	38.6	34.4	33.3
	無	976	39.5	35.5	36.4
入所者の夜間の緊 急時の医師との連 携方法	配置医に連絡する	792	46.9	34.3	50.0
	協力病院に連絡する	679	33.8	34.0	25.0
	救急車を呼ぶ	1,020	36.4	34.4	32.3
	その他	34	39.8	34.9	35.4
看護職員数（常勤 換算）	2人未満	150	32.3	38.2	0.0
	2人以上～3人未満	227	34.8	35.6	25.0
	3人以上～4人未満	276	39.5	35.0	37.5
	4人以上～5人未満	285	43.8	35.2	45.5
	5人以上～6人未満	192	38.4	33.8	33.3
	6人以上	133	46.3	32.2	50.0
看護職員の基本的 な夜勤体制	原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25	44.2	35.3	50.0
	原則、看護職員は当直する	19	43.0	36.0	42.9
	介護職員を含めたローテーションによる	43	29.1	32.0	20.8
	原則、看護職員の夜勤・当直はない	1,307	39.2	35.2	33.3
	その他	54	36.7	35.9	25.0
認定証の交付を受 けた介護職員の夜 勤体制	原則、夜勤職員には1人以上含まれる	365	44.7	35.3	47.1
	原則、1人以上が当直する	22	34.9	34.2	31.0
	ローテーションによりいいこともある	656	41.0	34.8	40.0
	原則、夜勤・当直はない	80	21.6	28.9	0.0
開設年	1989年以前	309	41.8	34.9	42.9
	1990年～1999年	311	44.0	34.5	50.0
	2000年～2004年	183	46.1	35.2	50.0
	2005年～2010年	198	38.2	34.7	33.3
	2011年以降	442	31.2	34.6	20.0
入所定員	29人以下	313	31.0	36.5	16.7
	30人以上～60人未満	485	40.5	35.3	37.5
	60人以上～100人未満	363	42.1	34.8	42.9
	100人以上	202	38.6	32.1	36.0
認定証交付介護職 員の配置で、夜間・ 休日を通じたんの 吸引が実施できる 体制にあるか	夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制にある	605	45.4	34.8	50.0
	必要があれば、体制を整えることがある	124	46.1	35.3	40.8
	常時実施できる体制はとっていない	530	29.8	33.2	20.0
	その他	59	37.4	37.2	28.6

3 入所者数等

(続き)

		件数	平均	標準 偏差	中央 値
全体		1,453	39.0	35.1	33.3
看取りの方針	希望があれば、施設内で看取る	1,137	48.1	33.3	50.0
	原則、病院等に移す	242	4.0	13.2	0.0
	原則、自宅に帰す	1	0.0		0.0
	その他	30	5.2	18.6	0.0
施設長の施設内看取りに対する意向	積極的である	928	49.6	34.1	50.0
	積極的か消極的かどちらともいえない	317	21.5	27.9	0.0
	どちらかといえば消極的である	76	7.6	19.0	0.0
	その他	56	24.1	32.5	0.0
配置医の施設内看取りに対する意向	積極的である	715	55.4	32.9	60.0
	積極的か消極的かどちらともいえない	461	26.3	29.3	16.7
	どちらかといえば消極的である	156	10.8	23.7	0.0
	その他	47	26.6	31.6	12.5
看護職員の施設内看取りに対する意向	積極的である	804	52.8	33.4	57.1
	積極的か消極的かどちらともいえない	405	24.8	29.6	11.8
	どちらかといえば消極的である	142	11.1	23.6	0.0
	その他	39	30.2	33.8	12.5
介護職員の施設内看取りに対する意向	積極的である	706	53.1	33.5	57.5
	積極的か消極的かどちらともいえない	470	29.0	31.0	20.0
	どちらかといえば消極的である	174	14.8	27.2	0.0
	その他	39	27.5	36.3	0.0
協力病院による施設内看取りに対する支援	積極的である	472	48.3	33.7	50.0
	特に支援はない	865	35.6	35.2	28.6

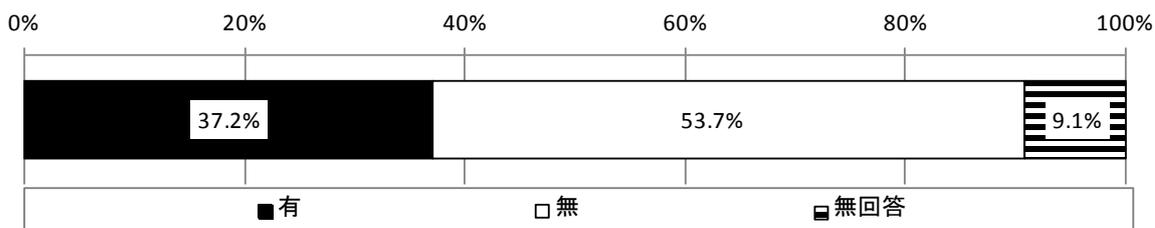
(7) 看取りについて

① 平成28年4月～9月の看取り介護加算の算定状況

1) 死亡日以前4日以上30日以下の看取り介護加算算定の有無

死亡日以前4日以上30日以下の看取り介護加算算定の有無は、「有」が37.2%、「無」が53.7%であった。

図表2-260 死亡日以前4日以上30日以下の看取り介護加算の算定有無 (n=1,502)



図表2-261 在宅療養支援診療所・病院との連携体制の有無別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	558 37.2%	807 53.7%	137 9.1%
連携有	348 100.0%	137 39.4%	185 53.2%	26 7.5%
連携無	1,010 100.0%	372 36.8%	556 55.0%	82 8.1%

図表 2-262 看護職員数（常勤換算）別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	558 37.2%	807 53.7%	137 9.1%
2人未満	156 100.0%	36 23.1%	106 67.9%	14 9.0%
2人以上～3人未満	233 100.0%	64 27.5%	155 66.5%	14 6.0%
3人以上～4人未満	283 100.0%	104 36.7%	160 56.5%	19 6.7%
4人以上～5人未満	297 100.0%	122 41.1%	150 50.5%	25 8.4%
5人以上～6人未満	194 100.0%	86 44.3%	90 46.4%	18 9.3%
6人以上	136 100.0%	76 55.9%	42 30.9%	18 13.2%

図表 2-263 入所定員 100人あたりの看護職員数（常勤換算）＋認定特定行為実施介護職員数（第一号～第三号、実人数）別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	558 37.2%	807 53.7%	137 9.1%
0人以上～4人未満	181 100.0%	53 29.3%	112 61.9%	16 8.8%
4人以上～6人未満	300 100.0%	93 31.0%	180 60.0%	27 9.0%
6人以上～8人未満	295 100.0%	99 33.6%	168 56.9%	28 9.5%
8人以上～10人未満	165 100.0%	70 42.4%	83 50.3%	12 7.3%
10人以上～20人未満	278 100.0%	116 41.7%	139 50.0%	23 8.3%
20人以上	220 100.0%	110 50.0%	96 43.6%	14 6.4%

図表 2-264 看護職員の基本的な夜勤体制別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	558 37.2%	807 53.7%	137 9.1%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	8 32.0%	11 44.0%	6 24.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	6 30.0%	12 60.0%	2 10.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	12 27.3%	29 65.9%	3 6.8%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1352 100.0%	513 37.9%	719 53.2%	120 8.9%
その他	56 100.0%	19 33.9%	33 58.9%	4 7.1%

図表 2-265 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別

加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	558 37.2%	807 53.7%	137 9.1%
原則、夜勤職員には1人以上含まれる	372 100.0%	168 45.2%	177 47.6%	27 7.3%
原則、1人以上が当直する	23 100.0%	11 47.8%	10 43.5%	2 8.7%
ローテーションによりいないこともある	673 100.0%	268 39.8%	354 52.6%	51 7.6%
原則、夜勤・当直はない	83 100.0%	20 24.1%	59 71.1%	4 4.8%

図表 2-266 施設の看取りの方針別 加算算定の有無

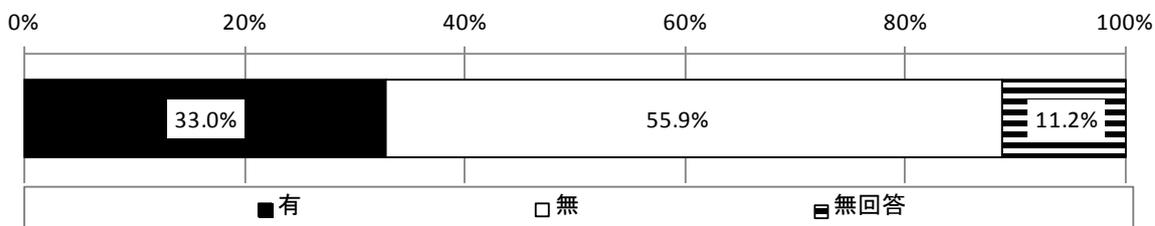
	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	558 37.2%	807 53.7%	137 9.1%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	552 47.1%	541 46.2%	78 6.7%
原則、病院等に移す	245 100.0%	1 0.4%	231 94.3%	13 5.3%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

2) 死亡日以前2日または3日以下の看取り介護加算算定の有無

死亡日以前2日または3日以下の看取り介護加算算定の有無は、「有」が33.0%、「無」が55.9%であった。

図表 2-267 死亡日以前2日または3日の看取り介護加算の算定有無 (n=1,502)



図表 2-268 在宅療養支援診療所・病院との連携体制の有無別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	495 33.0%	839 55.9%	168 11.2%
連携有	348 100.0%	118 33.9%	193 55.5%	37 10.6%
連携無	1,010 100.0%	332 32.9%	575 56.9%	103 10.2%

図表 2-269 看護職員数(常勤換算)別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	495 33.0%	839 55.9%	168 11.2%
2人未満	156 100.0%	32 20.5%	105 67.3%	19 12.2%
2人以上~3人未満	233 100.0%	57 24.5%	161 69.1%	15 6.4%
3人以上~4人未満	283 100.0%	94 33.2%	166 58.7%	23 8.1%
4人以上~5人未満	297 100.0%	111 37.4%	157 52.9%	29 9.8%
5人以上~6人未満	194 100.0%	83 42.8%	92 47.4%	19 9.8%
6人以上	136 100.0%	66 48.5%	48 35.3%	22 16.2%

図表 2-270 入所定員 100 人あたりの看護職員数（常勤換算）＋認定特定行為実施介護職員数  
（第一号～第三号、実人数）別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	495 33.0%	839 55.9%	168 11.2%
0人以上～4人未満	181 100.0%	41 22.7%	111 61.3%	29 16.0%
4人以上～6人未満	300 100.0%	89 29.7%	182 60.7%	29 9.7%
6人以上～8人未満	295 100.0%	91 30.8%	173 58.6%	31 10.5%
8人以上～10人未満	165 100.0%	66 40.0%	86 52.1%	13 7.9%
10人以上～20人未満	278 100.0%	101 36.3%	149 53.6%	28 10.1%
20人以上	220 100.0%	94 42.7%	107 48.6%	19 8.6%

図表 2-271 看護職員の基本的な夜勤体制別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	495 33.0%	839 55.9%	168 11.2%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	8 32.0%	12 48.0%	5 20.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	5 25.0%	13 65.0%	2 10.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	10 22.7%	30 68.2%	4 9.1%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1,352 100.0%	456 33.7%	746 55.2%	150 11.1%
その他	56 100.0%	16 28.6%	35 62.5%	5 8.9%

図表 2-272 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別 加算算

定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	495 33.0%	839 55.9%	168 11.2%
原則、夜勤職員には1人以上含まれる	372 100.0%	149 40.1%	187 50.3%	36 9.7%
原則、1人以上が当直する	23 100.0%	8 34.8%	11 47.8%	4 17.4%
ローテーションによりいないこともある	673 100.0%	238 35.4%	374 55.6%	61 9.1%
原則、夜勤・当直はない	83 100.0%	16 19.3%	62 74.7%	5 6.0%

図表 2-273 施設の看取りの方針別 加算算定の有無

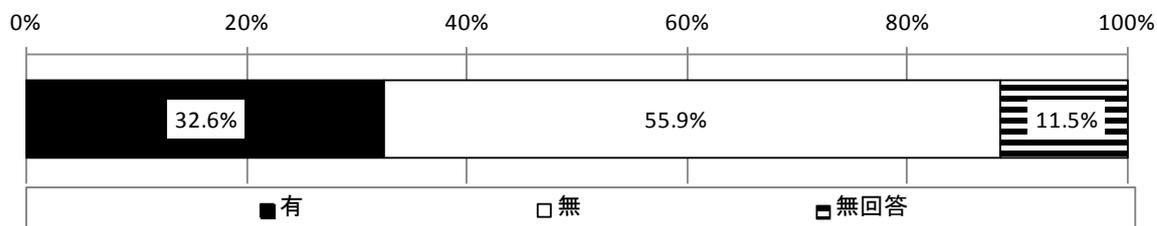
	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	495 33.0%	839 55.9%	168 11.2%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	490 41.8%	573 48.9%	108 9.2%
原則、病院等に移す	245 100.0%	1 0.4%	231 94.3%	13 5.3%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

### 3) 死亡日の看取り介護加算算定の有無

死亡日の看取り介護加算算定の有無は、「有」が32.6%、「無」が55.9%であった。

図表 2-274 死亡日の看取り介護加算の算定有無 (n=1,502)



図表 2-275 在宅療養支援診療所・病院との連携体制の有無別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	490 32.6%	839 55.9%	173 11.5%
連携有	348 100.0%	125 35.9%	189 54.3%	34 9.8%
連携無	1,010 100.0%	320 31.7%	581 57.5%	109 10.8%

図表 2-276 看護職員数（常勤換算）別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	490 32.6%	839 55.9%	173 11.5%
2人未満	156 100.0%	33 21.2%	106 67.9%	17 10.9%
2人以上～3人未満	233 100.0%	58 24.9%	157 67.4%	18 7.7%
3人以上～4人未満	283 100.0%	88 31.1%	170 60.1%	25 8.8%
4人以上～5人未満	297 100.0%	112 37.7%	158 53.2%	27 9.1%
5人以上～6人未満	194 100.0%	78 40.2%	93 47.9%	23 11.9%
6人以上	136 100.0%	66 48.5%	48 35.3%	22 16.2%

図表 2-277 入所定員 100 人あたりの看護職員数（常勤換算）＋認定特定行為実施介護職員数  
（第一号～第三号、実人数）別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	490 32.6%	839 55.9%	173 11.5%
0人以上～4人未満	181 100.0%	42 23.2%	113 62.4%	26 14.4%
4人以上～6人未満	300 100.0%	86 28.7%	184 61.3%	30 10.0%
6人以上～8人未満	295 100.0%	92 31.2%	172 58.3%	31 10.5%
8人以上～10人未満	165 100.0%	63 38.2%	87 52.7%	15 9.1%
10人以上～20人未満	278 100.0%	98 35.3%	148 53.2%	32 11.5%
20人以上	220 100.0%	96 43.6%	105 47.7%	19 8.6%

図表 2-278 看護職員の基本的な夜勤体制別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	490 32.6%	839 55.9%	173 11.5%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	7 28.0%	12 48.0%	6 24.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	6 30.0%	13 65.0%	1 5.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	10 22.7%	30 68.2%	4 9.1%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1352 100.0%	454 33.6%	745 55.1%	153 11.3%
その他	56 100.0%	13 23.2%	36 64.3%	7 12.5%

図表 2-279 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別

加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	490 32.6%	839 55.9%	173 11.5%
原則、夜勤職員には1人以上含まれる	372 100.0%	150 40.3%	184 49.5%	38 10.2%
原則、1人以上が当直する	23 100.0%	9 39.1%	11 47.8%	3 13.0%
ローテーションによりいないこともある	673 100.0%	233 34.6%	375 55.7%	65 9.7%
原則、夜勤・当直はない	83 100.0%	16 19.3%	62 74.7%	5 6.0%

図表 2-280 施設の看取りの方針別 加算算定の有無

	合計	有	無	無回答
全体	1,502 100.0%	490 32.6%	839 55.9%	173 11.5%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	485 41.4%	573 48.9%	113 9.6%
原則、病院等に移す	245 100.0%	1 0.4%	230 93.9%	14 5.7%

注) 施設の看取りの方針は、p.157図表 2-283参照

## 4) 平成 28 年 4 月～9 月の看取り介護加算の算定人数・算定延べ日数

平成 28 年 4 月～9 月の看取り介護加算の算定がある場合、「死亡日以前 4 日以上 30 日以下」の算定人数は平均 3.5 人、延べ日数は平均 60.7 日であった。算定がない場合は 0 とみなして集計したところ、算定人数は平均 1.4 人、延べ日数は平均 23.1 日であった。

「死亡日以前 2 日または 3 日」については、算定人数の平均は 3.4 人、延べ日数は平均 6.6 日であった。死亡日については、平均 3.6 人であった。算定がない場合は 0 とみなして集計したところ、算定人数は平均 1.2 人、延べ日数は平均 2.3 日であった。

図表 2-281 (算定がある場合) 看取り介護加算の算定人数・算定延べ日数

	件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
死亡日以前 4 日以上 30 日以下： 算定人数（単位：人）	541	1,882	3.5	2.8	3.0
死亡日以前 4 日以上 30 日以下： 延べ日数（単位：日）	495	30,050	60.7	59.5	42.0
死亡日以前 2 日または 3 日：算定人数 （単位：人）	480	1,647	3.4	2.8	2.0
死亡日以前 2 日または 3 日：延べ日数 （単位：日）	454	3,003	6.6	5.3	4.0
死亡日：算定人数（単位：人）	475	1,716	3.6	2.9	3.0

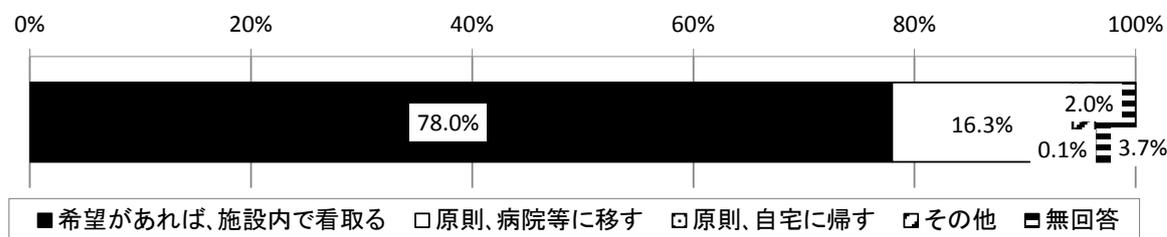
図表 2-282 看取り介護加算の算定人数・算定延べ日数（算定がない場合は 0 とみなして集計）

	件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値
死亡日以前 4 日以上 30 日以下： 算定人数（単位：人）	1,348	1,882	1.4	2.5	0.0
死亡日以前 4 日以上 30 日以下： 延べ日数（単位：日）	1,302	30,050	23.1	47.1	0.0
死亡日以前 2 日または 3 日：算定人数 （単位：人）	1,319	1,647	1.2	2.4	0.0
死亡日以前 2 日または 3 日：延べ日数 （単位：日）	1,293	3,003	2.3	4.5	0.0
死亡日：算定人数（単位：人）	1,314	1,716	1.3	2.4	0.0

② 施設の看取りの方針

施設の看取りの方針は、「希望があれば、施設内で看取る」が 78.0%、「原則、病院等に移す」は 16.3%であった。

図表 2-283 施設の看取りの方針 (n=1,502)



図表 2-284 開設年別 施設の看取りの方針

	合計	希望があれば、施設内で看取る	原則、病院等に移す	原則、自宅に帰す	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	1,171 78.0%	245 16.3%	1 0.1%	30 2.0%	55 3.7%
1989年以前	312 100.0%	250 80.1%	48 15.4%	0 0.0%	7 2.2%	7 2.2%
1990年～1999年	322 100.0%	258 80.1%	44 13.7%	0 0.0%	7 2.2%	13 4.0%
2000年～2004年	185 100.0%	160 86.5%	20 10.8%	0 0.0%	1 0.5%	4 2.2%
2005年～2010年	208 100.0%	158 76.0%	35 16.8%	1 0.5%	5 2.4%	9 4.3%
2011年以降	461 100.0%	335 72.7%	95 20.6%	0 0.0%	10 2.2%	21 4.6%

図表 2-285 入所定員別 施設の看取りの方針

	合計	希望があれば、施設内で看取る	原則、病院等に移す	原則、自宅に帰す	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	1,171 78.0%	245 16.3%	1 0.1%	30 2.0%	55 3.7%
29人以下	324 100.0%	236 72.8%	70 21.6%	0 0.0%	7 2.2%	11 3.4%
30人以上～60人未満	502 100.0%	395 78.7%	76 15.1%	0 0.0%	12 2.4%	19 3.8%
60人以上～100人未満	455 100.0%	371 81.5%	62 13.6%	1 0.2%	9 2.0%	12 2.6%
100人以上	208 100.0%	159 76.4%	35 16.8%	0 0.0%	2 1.0%	12 5.8%

図表 2-286 配置医の勤務日以外における対応別 施設の看取りの方針

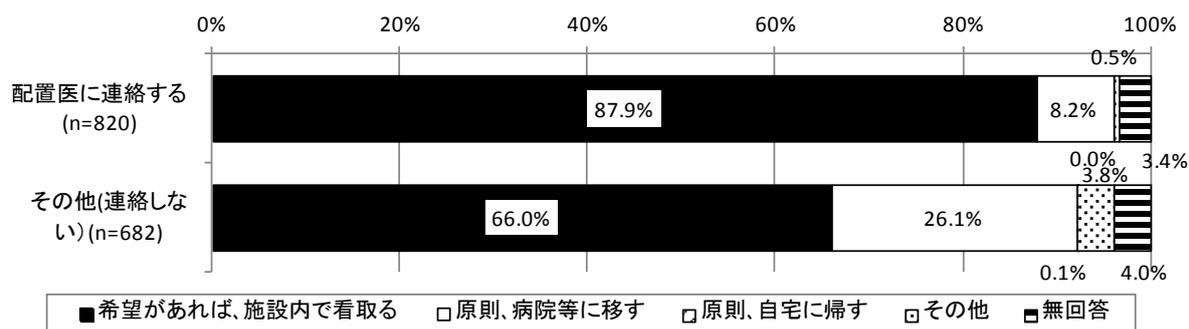
	合計	希望があれば、施設内で看取る	原則、病院等に移す	原則、自宅に帰す	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	1,171 78.0%	245 16.3%	1 0.1%	30 2.0%	55 3.7%
勤務日以外でも、対応してもらえる	704 100.0%	593 84.2%	73 10.4%	1 0.1%	13 1.8%	24 3.4%
勤務日以外は電話で指示を得ることができる	591 100.0%	435 73.6%	126 21.3%	0 0.0%	10 1.7%	20 3.4%
原則、勤務日以外は対応してもらえない	87 100.0%	56 64.4%	26 29.9%	0 0.0%	3 3.4%	2 2.3%

図表 2-287 在宅療養支援診療所・病院との連携体制の有無別 施設の看取りの方針

	合計	希望があれば、施設内で看取る	原則、病院等に移す	原則、自宅に帰す	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	1,171 78.0%	245 16.3%	1 0.1%	30 2.0%	55 3.7%
有	348 100.0%	268 77.0%	59 17.0%	0 0.0%	4 1.1%	17 4.9%
無	1010 100.0%	792 78.4%	165 16.3%	1 0.1%	24 2.4%	28 2.8%

図表 2 -288 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法別 施設の看取りの方針

	合計	希望があれば、施設内で看取る	原則、病院等に移す	原則、自宅に帰す	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	1,171 78.0%	245 16.3%	1 0.1%	30 2.0%	55 3.7%
配置医に連絡する	820 100.0%	721 87.9%	67 8.2%	0 0.0%	4 0.5%	28 3.4%
協力病院に連絡する	701 100.0%	512 73.0%	146 20.8%	1 0.1%	20 2.9%	22 3.1%
救急車を呼ぶ	1,052 100.0%	800 76.0%	191 18.2%	1 0.1%	24 2.3%	36 3.4%
その他	35 100.0%	30 85.7%	3 8.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.7%
【再掲】救急者を呼ぶのみ選択	241 100.0%	164 68.0%	60 24.9%	0 0.0%	6 2.5%	11 4.6%



図表 2-289 看護職員数（常勤換算）別 施設の看取りの方針

	合計	希望があれば、施設内で看取る	原則、病院等に移す	原則、自宅に帰す	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	1,171 78.0%	245 16.3%	1 0.1%	30 2.0%	55 3.7%
2人未満	156 100.0%	109 69.9%	40 25.6%	0 0.0%	4 2.6%	3 1.9%
2人以上～3人未満	233 100.0%	174 74.7%	44 18.9%	0 0.0%	9 3.9%	6 2.6%
3人以上～4人未満	283 100.0%	219 77.4%	50 17.7%	0 0.0%	4 1.4%	10 3.5%
4人以上～5人未満	297 100.0%	235 79.1%	46 15.5%	0 0.0%	4 1.3%	12 4.0%
5人以上～6人未満	194 100.0%	159 82.0%	24 12.4%	0 0.0%	7 3.6%	4 2.1%
6人以上	136 100.0%	117 86.0%	15 11.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.9%

図表 2-290 常勤の看護師の有無別 施設の看取りの方針

	合計	希望があれば、施設内で看取る	原則、病院等に移す	原則、自宅に帰す	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	1,171 78.0%	245 16.3%	1 0.1%	30 2.0%	55 3.7%
あり	1,171 100.0%	938 80.1%	176 15.0%	1 0.1%	23 2.0%	33 2.8%
なし	198 100.0%	128 64.6%	52 26.3%	0 0.0%	4 2.0%	14 7.1%

図表 2-291 看護職員の勤務時間以外のオンコール体制別 施設の看取りの方針

	合計	希望があれば、施設内で看取る	原則、病院等に移す	原則、自宅に帰す	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	1,171 78.0%	245 16.3%	1 0.1%	30 2.0%	55 3.7%
夜間はオンコール体制をとっている	1375 100.0%	1093 79.5%	208 15.1%	1 0.1%	26 1.9%	47 3.4%
休日はオンコール体制をとっている	284 100.0%	216 76.1%	52 18.3%	0 0.0%	8 2.8%	8 2.8%
看護職員のオンコール体制はとっていない	107 100.0%	60 56.1%	37 34.6%	0 0.0%	3 2.8%	7 6.5%

図表 2-292 入所定員 100 人あたりの看護職員数（常勤換算）＋認定特定行為実施介護職員数（第一号～第三号、実人数）別 施設の看取りの方針

	合計	希望があれば、施設内で看取る	原則、病院等に移す	原則、自宅に帰す	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	1,171 78.0%	245 16.3%	1 0.1%	30 2.0%	55 3.7%
0人以上～4人未満	181 100.0%	130 71.8%	41 22.7%	1 0.6%	1 0.6%	8 4.4%
4人以上～6人未満	300 100.0%	215 71.7%	62 20.7%	0 0.0%	11 3.7%	12 4.0%
6人以上～8人未満	295 100.0%	222 75.3%	54 18.3%	0 0.0%	8 2.7%	11 3.7%
8人以上～10人未満	165 100.0%	134 81.2%	24 14.5%	0 0.0%	3 1.8%	4 2.4%
10人以上～20人未満	278 100.0%	235 84.5%	32 11.5%	0 0.0%	4 1.4%	7 2.5%
20人以上	220 100.0%	190 86.4%	23 10.5%	0 0.0%	3 1.4%	4 1.8%

図表 2-293 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別

## 施設の看取りの方針

	合計	希望があれば、施設内で看取る	原則、病院等に移す	原則、自宅に帰す	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	1,171 78.0%	245 16.3%	1 0.1%	30 2.0%	55 3.7%
原則、夜勤職員には1人以上含まれる	372 100.0%	313 84.1%	42 11.3%	0 0.0%	7 1.9%	10 2.7%
原則、1人以上が当直する	23 100.0%	17 73.9%	4 17.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%
ローテーションによりいないこともある	673 100.0%	536 79.6%	104 15.5%	0 0.0%	13 1.9%	20 3.0%
原則、夜勤・当直はない	83 100.0%	54 65.1%	27 32.5%	0 0.0%	1 1.2%	1 1.2%

図表 2-294 認定証交付介護職員の配置で夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制かどうか

## うか別 施設の看取りの方針

	合計	希望があれば、施設内で看取る	原則、病院等に移す	原則、自宅に帰す	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	1,171 78.0%	245 16.3%	1 0.1%	30 2.0%	55 3.7%
夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制にある	618 100.0%	534 86.4%	64 10.4%	0 0.0%	8 1.3%	12 1.9%
必要があれば、体制を整えることがある	129 100.0%	118 91.5%	5 3.9%	0 0.0%	2 1.6%	4 3.1%
常時実施できる体制はとっていない	539 100.0%	367 68.1%	141 26.2%	1 0.2%	13 2.4%	17 3.2%
その他	60 100.0%	45 75.0%	12 20.0%	0 0.0%	3 5.0%	0 0.0%

③ 施設内看取りに対する意向

1) 施設内看取りに対する意向

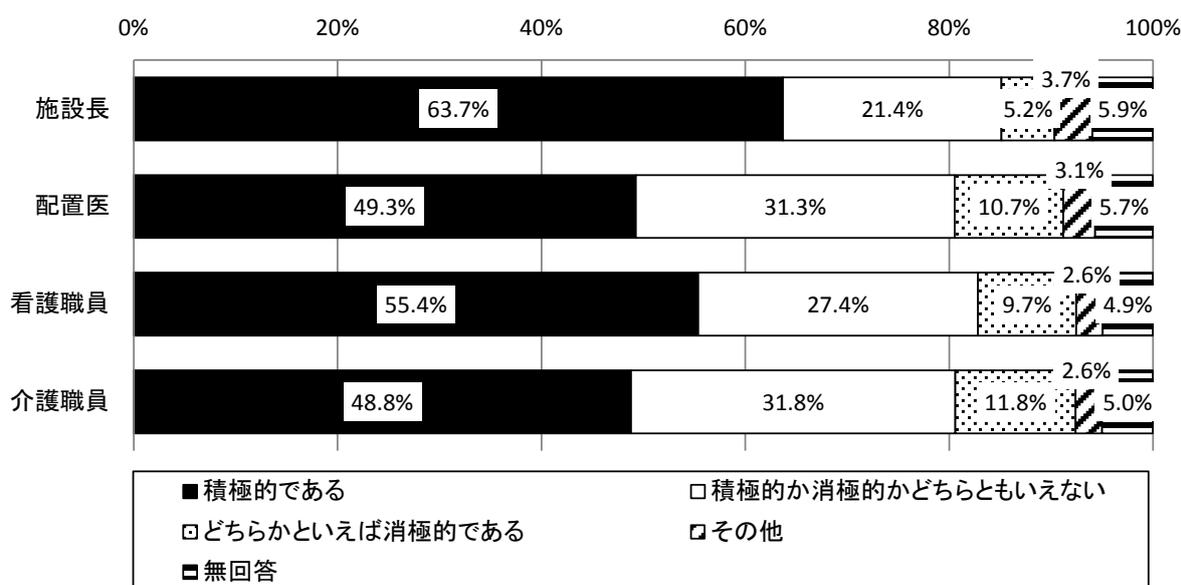
施設長の施設内看取りに対する意向は、「積極的である」が 63.7%、「積極的か消極的かどちらともいえない」は 21.4%、「どちらかといえば消極的である」は 5.2%であった。

配置医の施設内看取りに対する意向は、「積極的である」が 49.3%、「積極的か消極的かどちらともいえない」は 31.3%、「どちらかといえば消極的である」は 10.7%であった。

看護職員の施設内看取りに対する意向は、「積極的である」が 55.4%、「積極的か消極的かどちらともいえない」は 27.4%、「どちらかといえば消極的である」は 9.7%であった。

介護職員の施設内看取りに対する意向は、「積極的である」が 48.8%、「積極的か消極的かどちらともいえない」は 31.8%、「どちらかといえば消極的である」は 11.8%であった。

図表 2 -295 職種別 施設内看取りに対する意向 (n=1,502)



## i) 「施設長」の施設内看取りに対する意向

図表 2-296 非常勤の配置医の勤務日以外の対応別 施設長の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	957 63.7%	322 21.4%	78 5.2%	56 3.7%	89 5.9%
勤務日以外でも、 対応してもらえる	704 100.0%	491 69.7%	119 16.9%	27 3.8%	30 4.3%	37 5.3%
勤務日以外は電話 で指示を得ることが できる	591 100.0%	347 58.7%	155 26.2%	33 5.6%	20 3.4%	36 6.1%
原則、勤務日以外 は対応してもらえ ない	87 100.0%	47 54.0%	25 28.7%	9 10.3%	3 3.4%	3 3.4%

図表 2-297 在宅療養支援診療所・病院との連携体制の有無別

## 施設長の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	957 63.7%	322 21.4%	78 5.2%	56 3.7%	89 5.9%
有	348 100.0%	220 63.2%	80 23.0%	17 4.9%	12 3.4%	19 5.5%
無	1,010 100.0%	657 65.0%	208 20.6%	57 5.6%	41 4.1%	47 4.7%

図表 2-298 看護職員数（常勤換算）別 施設長の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	957 63.7%	322 21.4%	78 5.2%	56 3.7%	89 5.9%
2人未満	156 100.0%	88 56.4%	15 9.6%	43 27.6%	5 3.2%	5 3.2%
2人以上～3人未満	233 100.0%	133 57.1%	15 6.4%	59 25.3%	15 6.4%	11 4.7%
3人以上～4人未満	283 100.0%	176 62.2%	14 4.9%	62 21.9%	14 4.9%	17 6.0%
4人以上～5人未満	297 100.0%	208 70.0%	15 5.1%	53 17.8%	5 1.7%	16 5.4%
5人以上～6人未満	194 100.0%	134 69.1%	6 3.1%	39 20.1%	2 1.0%	13 6.7%
6人以上	136 100.0%	97 71.3%	3 2.2%	23 16.9%	6 4.4%	7 5.1%

図表 2-299 常勤の看護師の有無別 施設長の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	957 63.7%	322 21.4%	78 5.2%	56 3.7%	89 5.9%
あり	1,171 100.0%	795 67.9%	225 19.2%	56 4.8%	38 3.2%	57 4.9%
なし	198 100.0%	84 42.4%	70 35.4%	16 8.1%	10 5.1%	18 9.1%

図表 2-300 看護職員の基本的な夜勤体制別 施設長の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	957 63.7%	322 21.4%	78 5.2%	56 3.7%	89 5.9%
原則、夜勤職員に は看護職員が含ま れる	25 100.0%	16 64.0%	6 24.0%	1 4.0%	1 4.0%	1 4.0%
原則、看護職員は 当直する	20 100.0%	14 70.0%	5 25.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%
介護職員を含めた ローテーションによる	44 100.0%	29 65.9%	7 15.9%	2 4.5%	3 6.8%	3 6.8%
原則、看護職員の 夜勤・当直はない	1,352 100.0%	858 63.5%	296 21.9%	73 5.4%	48 3.6%	77 5.7%
その他	56 100.0%	37 66.1%	8 14.3%	2 3.6%	2 3.6%	7 12.5%

図表 2-301 入所定員 100 人あたりの看護職員数（常勤換算）＋認定特定行為実施介護職員数  
（第一号～第三号、実人数）別 施設長の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	957 63.7%	322 21.4%	78 5.2%	56 3.7%	89 5.9%
0人以上～4人未 満	181 100.0%	108 59.7%	47 26.0%	10 5.5%	6 3.3%	10 5.5%
4人以上～6人未 満	300 100.0%	166 55.3%	83 27.7%	19 6.3%	13 4.3%	19 6.3%
6人以上～8人未 満	295 100.0%	179 60.7%	71 24.1%	17 5.8%	11 3.7%	17 5.8%
8人以上～10人未 満	165 100.0%	110 66.7%	32 19.4%	12 7.3%	4 2.4%	7 4.2%
10人以上～20人 未満	278 100.0%	200 71.9%	47 16.9%	9 3.2%	10 3.6%	12 4.3%
20人以上	220 100.0%	161 73.2%	32 14.5%	9 4.1%	8 3.6%	10 4.5%

図表 2-302 認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別

施設長の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的か 消極的か どちらと もいえな い	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	957 63.7%	322 21.4%	78 5.2%	56 3.7%	89 5.9%
原則、夜勤職員には1 人以上含まれる	372 100.0%	257 69.1%	66 17.7%	15 4.0%	13 3.5%	21 5.6%
原則、1人以上が当直 する	23 100.0%	13 56.5%	6 26.1%	0 0.0%	2 8.7%	2 8.7%
ローテーションによりいな いこともある	673 100.0%	437 64.9%	153 22.7%	30 4.5%	25 3.7%	28 4.2%
原則、夜勤・当直はな い	83 100.0%	43 51.8%	23 27.7%	14 16.9%	1 1.2%	2 2.4%

図表 2-303 認定証交付介護職員の配置で、夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制か

どうか別 施設長の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的か 消極的か どちらと もいえな い	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	957 63.7%	322 21.4%	78 5.2%	56 3.7%	89 5.9%
夜間・休日を通じたんの 吸引が実施できる体制 にある	618 100.0%	449 72.7%	110 17.8%	18 2.9%	19 3.1%	22 3.6%
必要があれば、体制を整 えることがある	129 100.0%	92 71.3%	23 17.8%	2 1.6%	8 6.2%	4 3.1%
常時実施できる体制は とっていない	539 100.0%	292 54.2%	146 27.1%	47 8.7%	24 4.5%	30 5.6%
その他	60 100.0%	38 63.3%	17 28.3%	2 3.3%	1 1.7%	2 3.3%

図表 2-304 施設の看取りの方針別 施設長の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的か 消極的か どちらと もいえな い	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	957 63.7%	322 21.4%	78 5.2%	56 3.7%	89 5.9%
希望があれば、施 設内で看取る	1,171 100.0%	910 77.7%	190 16.2%	12 1.0%	29 2.5%	30 2.6%
原則、病院等に移 す	245 100.0%	32 13.1%	123 50.2%	64 26.1%	16 6.5%	10 4.1%

## ii) 「配置医」の施設内看取りに対する意向

図表 2-305 非常勤の配置医の勤務日以外の対応別 配置医の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	740 49.3%	470 31.3%	160 10.7%	47 3.1%	85 5.7%
勤務日以外でも、 対応してもらえる	704 100.0%	407 57.8%	188 26.7%	53 7.5%	23 3.3%	33 4.7%
勤務日以外は電話 で指示を得ることが できる	591 100.0%	260 44.0%	204 34.5%	74 12.5%	19 3.2%	34 5.8%
原則、勤務日以外 は対応してもらえ ない	87 100.0%	29 33.3%	38 43.7%	17 19.5%	0 0.0%	3 3.4%

図表 2-306 在宅療養支援診療所・病院との連携体制の有無別

## 配置医の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	740 49.3%	470 31.3%	160 10.7%	47 3.1%	85 5.7%
有	348 100.0%	180 51.7%	109 31.3%	27 7.8%	11 3.2%	21 6.0%
無	1,010 100.0%	494 48.9%	317 31.4%	120 11.9%	34 3.4%	45 4.5%

図表 2-307 看護職員数（常勤換算）別 配置医の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	740 49.3%	470 31.3%	160 10.7%	47 3.1%	85 5.7%
2人未満	156 100.0%	72 46.2%	22 14.1%	54 34.6%	3 1.9%	5 3.2%
2人以上～3人未満	233 100.0%	97 41.6%	28 12.0%	89 38.2%	10 4.3%	9 3.9%
3人以上～4人未満	283 100.0%	131 46.3%	24 8.5%	104 36.7%	9 3.2%	15 5.3%
4人以上～5人未満	297 100.0%	150 50.5%	32 10.8%	90 30.3%	8 2.7%	17 5.7%
5人以上～6人未満	194 100.0%	108 55.7%	20 10.3%	48 24.7%	6 3.1%	12 6.2%
6人以上	136 100.0%	83 61.0%	9 6.6%	31 22.8%	6 4.4%	7 5.1%

図表 2-308 常勤の看護師の有無別 配置医の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	740 49.3%	470 31.3%	160 10.7%	47 3.1%	85 5.7%
あり	1,171 100.0%	610 52.1%	356 30.4%	114 9.7%	36 3.1%	55 4.7%
なし	198 100.0%	66 33.3%	80 40.4%	27 13.6%	7 3.5%	18 9.1%

図表 2-309 看護職員の基本的な夜勤体制別 配置医の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	740 49.3%	470 31.3%	160 10.7%	47 3.1%	85 5.7%
原則、夜勤職員に は看護職員が含ま れる	25 100.0%	11 44.0%	8 32.0%	3 12.0%	1 4.0%	2 8.0%
原則、看護職員は 当直する	20 100.0%	10 50.0%	8 40.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%
介護職員を含めた ローテーションによる	44 100.0%	20 45.5%	11 25.0%	5 11.4%	4 9.1%	4 9.1%
原則、看護職員の 夜勤・当直はない	1,352 100.0%	668 49.4%	427 31.6%	149 11.0%	35 2.6%	73 5.4%
その他	56 100.0%	28 50.0%	15 26.8%	2 3.6%	6 10.7%	5 8.9%

図表 2-310 入所定員 100 人あたりの看護職員数（常勤換算）＋認定特定行為実施介護職員数

(第一号～第三号、実人数) 別 配置医の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	740 49.3%	470 31.3%	160 10.7%	47 3.1%	85 5.7%
0人以上～4人未満	181 100.0%	80 44.2%	64 35.4%	22 12.2%	6 3.3%	9 5.0%
4人以上～6人未満	300 100.0%	125 41.7%	109 36.3%	36 12.0%	10 3.3%	20 6.7%
6人以上～8人未満	295 100.0%	136 46.1%	102 34.6%	33 11.2%	10 3.4%	14 4.7%
8人以上～10人未 満	165 100.0%	83 50.3%	50 30.3%	18 10.9%	4 2.4%	10 6.1%
10人以上～20人未 満	278 100.0%	148 53.2%	90 32.4%	21 7.6%	8 2.9%	11 4.0%
20人以上	220 100.0%	137 62.3%	49 22.3%	20 9.1%	8 3.6%	6 2.7%

図表 2-311 認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別

配置医の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	740 49.3%	470 31.3%	160 10.7%	47 3.1%	85 5.7%
原則、夜勤職員に は1人以上含まれ る	372 100.0%	202 54.3%	110 29.6%	31 8.3%	11 3.0%	18 4.8%
原則、1人以上が当 直する	23 100.0%	12 52.2%	5 21.7%	4 17.4%	0 0.0%	2 8.7%
ローテーションにより ないこともある	673 100.0%	345 51.3%	215 31.9%	63 9.4%	23 3.4%	27 4.0%
原則、夜勤・当直は ない	83 100.0%	33 39.8%	31 37.3%	17 20.5%	1 1.2%	1 1.2%

図表 2-312 認定証交付介護職員の配置で、夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制か

どうか別 配置医の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	740 49.3%	470 31.3%	160 10.7%	47 3.1%	85 5.7%
夜間・休日を通じ たんの吸引が実施 できる体制にある	618 100.0%	359 58.1%	163 26.4%	54 8.7%	20 3.2%	22 3.6%
必要があれば、体 制を整えることが ある	129 100.0%	70 54.3%	43 33.3%	5 3.9%	6 4.7%	5 3.9%
常時実施できる体 制はとっていない	539 100.0%	210 39.0%	216 40.1%	73 13.5%	14 2.6%	26 4.8%
その他	60 100.0%	28 46.7%	17 28.3%	10 16.7%	2 3.3%	3 5.0%

図表 2-313 施設の看取りの方針別 配置医の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	740 49.3%	470 31.3%	160 10.7%	47 3.1%	85 5.7%
希望があれば、施 設内で看取る	1,171 100.0%	719 61.4%	339 28.9%	57 4.9%	29 2.5%	27 2.3%
原則、病院等に移 す	245 100.0%	12 4.9%	117 47.8%	98 40.0%	10 4.1%	8 3.3%

iii) 「看護職員」の施設内看取りに対する意向

図表 2-314 非常勤の配置医の勤務日以外の対応別 看護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	832 55.4%	412 27.4%	145 9.7%	39 2.6%	74 4.9%
勤務日以外でも、 対応してもらえる	704 100.0%	439 62.4%	156 22.2%	60 8.5%	20 2.8%	29 4.1%
勤務日以外は電話 で指示を得ることが できる	591 100.0%	293 49.6%	189 32.0%	62 10.5%	17 2.9%	30 5.1%
原則、勤務日以外 は対応してもらえ ない	87 100.0%	43 49.4%	32 36.8%	9 10.3%	1 1.1%	2 2.3%

図表 2-315 在宅療養支援診療所・病院との連携体制の有無別

看護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	832 55.4%	412 27.4%	145 9.7%	39 2.6%	74 4.9%
有	348 100.0%	196 56.3%	95 27.3%	29 8.3%	9 2.6%	19 5.5%
無	1,010 100.0%	560 55.4%	276 27.3%	104 10.3%	27 2.7%	43 4.3%

図表 2-316 看護職員数（常勤換算）別 看護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	832 55.4%	412 27.4%	145 9.7%	39 2.6%	74 4.9%
2人未満	156 100.0%	77 49.4%	51 32.7%	20 12.8%	4 2.6%	4 2.6%
2人以上～3人未満	233 100.0%	114 48.9%	76 32.6%	28 12.0%	6 2.6%	9 3.9%
3人以上～4人未満	283 100.0%	154 54.4%	76 26.9%	26 9.2%	12 4.2%	15 5.3%
4人以上～5人未満	297 100.0%	178 59.9%	70 23.6%	27 9.1%	4 1.3%	18 6.1%
5人以上～6人未満	194 100.0%	117 60.3%	50 25.8%	16 8.2%	3 1.5%	8 4.1%
6人以上	136 100.0%	91 66.9%	34 25.0%	2 1.5%	5 3.7%	4 2.9%

図表 2-317 常勤看護師の有無別 看護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	832 55.4%	412 27.4%	145 9.7%	39 2.6%	74 4.9%
有	1,171 100.0%	689 58.8%	305 26.0%	102 8.7%	25 2.1%	50 4.3%
無	198 100.0%	74 37.4%	69 34.8%	30 15.2%	10 5.1%	15 7.6%

図表 2-318 看護職員の基本的な夜勤体制別 看護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	832 55.4%	412 27.4%	145 9.7%	39 2.6%	74 4.9%
原則、夜勤職員に は看護職員が含ま れる	25 100.0%	13 52.0%	9 36.0%	2 8.0%	0 0.0%	1 4.0%
原則、看護職員は 当直する	20 100.0%	9 45.0%	10 50.0%	0 0.0%	1 5.0%	0 0.0%
介護職員を含めた ローテーションによる	44 100.0%	26 59.1%	9 20.5%	3 6.8%	3 6.8%	3 6.8%
原則、看護職員の 夜勤・当直はない	1,352 100.0%	752 55.6%	366 27.1%	137 10.1%	32 2.4%	65 4.8%
その他	56 100.0%	29 51.8%	17 30.4%	3 5.4%	3 5.4%	4 7.1%

図表 2-319 入所定員 100 人あたりの看護職員数（常勤換算）＋認定特定行為実施介護職員数  
（第一号～第三号、実人数）別 看護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	832 55.4%	412 27.4%	145 9.7%	39 2.6%	74 4.9%
0人以上～4人未 満	181 100.0%	89 49.2%	55 30.4%	22 12.2%	6 3.3%	9 5.0%
4人以上～6人未 満	300 100.0%	139 46.3%	101 33.7%	39 13.0%	5 1.7%	16 5.3%
6人以上～8人未 満	295 100.0%	147 49.8%	98 33.2%	29 9.8%	7 2.4%	14 4.7%
8人以上～10人未 満	165 100.0%	94 57.0%	42 25.5%	16 9.7%	5 3.0%	8 4.8%
10人以上～20人 未満	278 100.0%	182 65.5%	62 22.3%	17 6.1%	9 3.2%	8 2.9%
20人以上	220 100.0%	150 68.2%	45 20.5%	13 5.9%	6 2.7%	6 2.7%

図表 2-320 認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別

## 看護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的か 消極的か どちらと もいえな い	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	832 55.4%	412 27.4%	145 9.7%	39 2.6%	74 4.9%
原則、夜勤職員に は1人以上含まれ る	372 100.0%	232 62.4%	94 25.3%	21 5.6%	11 3.0%	14 3.8%
原則、1人以上が当 直する	23 100.0%	12 52.2%	6 26.1%	1 4.3%	1 4.3%	3 13.0%
ローテーションにより ないこともある	673 100.0%	392 58.2%	182 27.0%	58 8.6%	19 2.8%	22 3.3%
原則、夜勤・当直は ない	83 100.0%	36 43.4%	25 30.1%	20 24.1%	0 0.0%	2 2.4%

図表 2-321 認定証交付介護職員の配置で、夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制か

## どうか別 施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的か 消極的か どちらと もいえな い	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	832 55.4%	412 27.4%	145 9.7%	39 2.6%	74 4.9%
夜間・休日を通じ たんの吸引が実施 できる体制にある	618 100.0%	397 64.2%	146 23.6%	41 6.6%	17 2.8%	17 2.8%
必要があれば、体 制を整えることが ある	129 100.0%	87 67.4%	29 22.5%	4 3.1%	6 4.7%	3 2.3%
常時実施できる体 制はとっていない	539 100.0%	240 44.5%	187 34.7%	77 14.3%	12 2.2%	23 4.3%
その他	60 100.0%	29 48.3%	21 35.0%	7 11.7%	1 1.7%	2 3.3%

図表 2-322 施設の看取りの方針別 看護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的か 消極的か どちらと もいえな い	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	832 55.4%	412 27.4%	145 9.7%	39 2.6%	74 4.9%
希望があれば、施 設内で看取る	1,171 100.0%	803 68.6%	275 23.5%	50 4.3%	25 2.1%	18 1.5%
原則、病院等に移 す	245 100.0%	20 8.2%	124 50.6%	87 35.5%	8 3.3%	6 2.4%

図表 2-323 施設長の施設内看取りに対する意向別 看護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的か 消極的か どちらと もいえな い	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	832 55.4%	412 27.4%	145 9.7%	39 2.6%	74 4.9%
積極的である	957 100.0%	783 81.8%	130 13.6%	34 3.6%	5 0.5%	5 0.5%
どちらかといえば 消極的である	78 100.0%	2 2.6%	21 26.9%	54 69.2%	0 0.0%	1 1.3%
積極的か消極的か どちらともいえな い	322 100.0%	28 8.7%	232 72.0%	49 15.2%	4 1.2%	9 2.8%
その他	56 100.0%	3 5.4%	16 28.6%	6 10.7%	30 53.6%	1 1.8%

図表 2-324 配置医の施設内看取りに対する意向別 看護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的か 消極的か どちらと もいえな い	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	832 55.4%	412 27.4%	145 9.7%	39 2.6%	74 4.9%
積極的である	740 100.0%	660 89.2%	52 7.0%	21 2.8%	1 0.1%	6 0.8%
どちらかといえば 消極的である	160 100.0%	29 18.1%	54 33.8%	71 44.4%	2 1.3%	4 2.5%
積極的か消極的か どちらともいえな い	470 100.0%	124 26.4%	285 60.6%	47 10.0%	10 2.1%	4 0.9%
その他	47 100.0%	8 17.0%	10 21.3%	4 8.5%	25 53.2%	0 0.0%

## iv) 「介護職員」の施設内看取りに対する意向

図表 2-325 非常勤の配置医の勤務日以外の対応別 介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
勤務日以外でも、 対応してもらえる	704 100.0%	388 55.1%	194 27.6%	68 9.7%	21 3.0%	33 4.7%
勤務日以外は電話 で指示を得ることが できる	591 100.0%	257 43.5%	206 34.9%	83 14.0%	17 2.9%	28 4.7%
原則、勤務日以外 は対応してもらえ ない	87 100.0%	36 41.4%	33 37.9%	14 16.1%	1 1.1%	3 3.4%

図表 2-326 在宅療養支援診療所・病院との連携体制の有無別

## 介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
有	348 100.0%	173 49.7%	111 31.9%	37 10.6%	8 2.3%	19 5.5%
無	1010 100.0%	492 48.7%	315 31.2%	130 12.9%	28 2.8%	45 4.5%

図表 2-327 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法別

介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
配置医に連絡する	820 100.0%	457 55.7%	242 29.5%	64 7.8%	18 2.2%	39 4.8%
協力病院に連絡する	701 100.0%	311 44.4%	241 34.4%	98 14.0%	21 3.0%	30 4.3%
救急車を呼ぶ	1,052 100.0%	489 46.5%	352 33.5%	129 12.3%	29 2.8%	53 5.0%
その他	35 100.0%	22 62.9%	7 20.0%	2 5.7%	1 2.9%	3 8.6%

図表 2-328 看護職員数（常勤換算）別 介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
2人未満	156 100.0%	69 44.2%	50 32.1%	26 16.7%	6 3.8%	5 3.2%
2人以上～3人未満	233 100.0%	97 41.6%	76 32.6%	45 19.3%	7 3.0%	8 3.4%
3人以上～4人未満	283 100.0%	135 47.7%	99 35.0%	27 9.5%	8 2.8%	14 4.9%
4人以上～5人未満	297 100.0%	152 51.2%	92 31.0%	33 11.1%	3 1.0%	17 5.7%
5人以上～6人未満	194 100.0%	106 54.6%	55 28.4%	20 10.3%	5 2.6%	8 4.1%
6人以上	136 100.0%	83 61.0%	39 28.7%	3 2.2%	5 3.7%	6 4.4%

図表 2-329 常勤看護師の有無別 介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
有	1,171 100.0%	615 52.5%	355 30.3%	126 10.8%	27 2.3%	48 4.1%
無	198 100.0%	60 30.3%	78 39.4%	36 18.2%	7 3.5%	17 8.6%

図表 2-330 看護職員の基本的な夜勤体制別 介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
原則、夜勤職員に は看護職員が含ま れる	25 100.0%	12 48.0%	9 36.0%	3 12.0%	0 0.0%	1 4.0%
原則、看護職員は 当直する	20 100.0%	9 45.0%	11 55.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員を含めた ローテーションによる	44 100.0%	22 50.0%	13 29.5%	4 9.1%	2 4.5%	3 6.8%
原則、看護職員の 夜勤・当直はない	1,352 100.0%	663 49.0%	425 31.4%	165 12.2%	35 2.6%	64 4.7%
その他	56 100.0%	25 44.6%	19 33.9%	4 7.1%	2 3.6%	6 10.7%

図表 2-331 入所定員 100 人あたりの看護職員数（常勤換算）＋認定特定行為実施介護職員数  
（第一号～第三号、実人数）別 介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
0人以上～4人未 満	181 100.0%	74 40.9%	73 40.3%	18 9.9%	8 4.4%	8 4.4%
4人以上～6人未 満	300 100.0%	119 39.7%	112 37.3%	49 16.3%	4 1.3%	16 5.3%
6人以上～8人未 満	295 100.0%	128 43.4%	111 37.6%	36 12.2%	7 2.4%	13 4.4%
8人以上～10人未 満	165 100.0%	90 54.5%	44 26.7%	22 13.3%	3 1.8%	6 3.6%
10人以上～20人 未満	278 100.0%	156 56.1%	78 28.1%	26 9.4%	9 3.2%	9 3.2%
20人以上	220 100.0%	137 62.3%	48 21.8%	19 8.6%	6 2.7%	10 4.5%

図表 2-332 認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別  
介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
原則、夜勤職員に は1人以上含まれ る	372 100.0%	201 54.0%	109 29.3%	33 8.9%	11 3.0%	18 4.8%
原則、1人以上が当 直する	23 100.0%	9 39.1%	8 34.8%	3 13.0%	1 4.3%	2 8.7%
ローテーションにより ないこともある	673 100.0%	360 53.5%	204 30.3%	67 10.0%	19 2.8%	23 3.4%
原則、夜勤・当直は ない	83 100.0%	29 34.9%	31 37.3%	22 26.5%	0 0.0%	1 1.2%

図表 2-333 認定証交付介護職員の配置で、夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制かどうか別 介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制にある	618 100.0%	357 57.8%	170 27.5%	51 8.3%	18 2.9%	22 3.6%
必要があれば、体制を整えることがある	129 100.0%	73 56.6%	43 33.3%	7 5.4%	3 2.3%	3 2.3%
常時実施できる体制はとっていない	539 100.0%	205 38.0%	208 38.6%	91 16.9%	13 2.4%	22 4.1%
その他	60 100.0%	27 45.0%	21 35.0%	9 15.0%	2 3.3%	1 1.7%

図表 2-334 施設の看取りの方針別 介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	713 60.9%	347 29.6%	67 5.7%	23 2.0%	21 1.8%
原則、病院等に移す	245 100.0%	14 5.7%	113 46.1%	104 42.4%	10 4.1%	4 1.6%

図表 2-335 施設長の施設内看取りに対する意向別 介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
積極的である	957 100.0%	697 72.8%	201 21.0%	44 4.6%	9 0.9%	6 0.6%
どちらかといえば 消極的である	78 100.0%	3 3.8%	18 23.1%	56 71.8%	1 1.3%	0 0.0%
積極的か消極的か どちらともいえ ない	322 100.0%	17 5.3%	230 71.4%	66 20.5%	4 1.2%	5 1.6%
その他	56 100.0%	5 8.9%	16 28.6%	8 14.3%	25 44.6%	2 3.6%

図表 2-336 配置医の施設内看取りに対する意向別 介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的 か消極 的かど ちらと もいえ ない	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
積極的である	740 100.0%	585 79.1%	109 14.7%	31 4.2%	4 0.5%	11 1.5%
どちらかといえば 消極的である	160 100.0%	28 17.5%	56 35.0%	70 43.8%	4 2.5%	2 1.3%
積極的か消極的か どちらともいえ ない	470 100.0%	104 22.1%	288 61.3%	69 14.7%	7 1.5%	2 0.4%
その他	47 100.0%	6 12.8%	12 25.5%	5 10.6%	23 48.9%	1 2.1%

図表 2-337 看護職員の施設内看取りに対する意向別

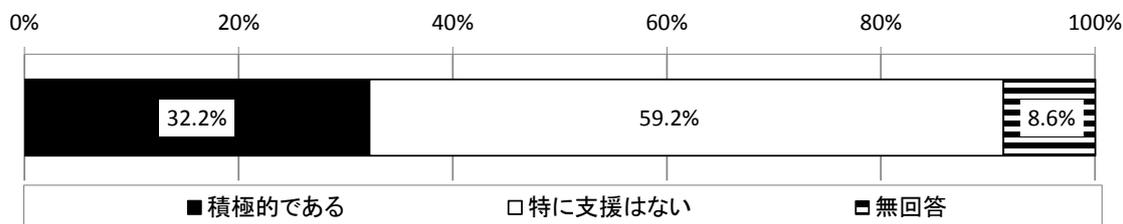
## 介護職員の施設内看取りに対する意向

	合計	積極的 である	積極的か 消極的か どちらと もいえな い	どちら かとい えば消 極的で ある	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	733 48.8%	478 31.8%	177 11.8%	39 2.6%	75 5.0%
積極的である	832 100.0%	701 84.3%	101 12.1%	20 2.4%	3 0.4%	7 0.8%
どちらかといえば 消極的である	145 100.0%	9 6.2%	22 15.2%	113 77.9%	1 0.7%	0 0.0%
積極的か消極的か どちらともいえな い	412 100.0%	20 4.9%	344 83.5%	41 10.0%	5 1.2%	2 0.5%
その他	39 100.0%	1 2.6%	7 17.9%	1 2.6%	29 74.4%	1 2.6%

④ 協力病院による施設内看取りに対する支援

協力病院による施設内看取りに対する支援は、「特に支援はない」が 59.2%、「積極的である」は 32.2%であった。

図表 2-338 協力病院による施設内看取りに対する支援 (n=1,502)



図表 2-339 開設年別 協力病院による施設内看取りに対する支援

	合計	積極的である	特に支援はない	無回答
全体	1,502 100.0%	484 32.2%	889 59.2%	129 8.6%
1989年以前	312 100.0%	116 37.2%	172 55.1%	24 7.7%
1990年～1999年	322 100.0%	106 32.9%	192 59.6%	24 7.5%
2000年～2004年	185 100.0%	65 35.1%	106 57.3%	14 7.6%
2005年～2010年	208 100.0%	64 30.8%	124 59.6%	20 9.6%
2011年以降	461 100.0%	130 28.2%	285 61.8%	46 10.0%

図表 2-340 入所定員別 協力病院による施設内看取りに対する支援

	合計	積極的である	特に支援はない	無回答
全体	1,502 100.0%	484 32.2%	889 59.2%	129 8.6%
29人以下	324 100.0%	87 26.9%	207 63.9%	30 9.3%
30人以上～60人未満	502 100.0%	152 30.3%	310 61.8%	40 8.0%
60人以上～100人未満	455 100.0%	159 34.9%	265 58.2%	31 6.8%
100人以上	208 100.0%	84 40.4%	100 48.1%	24 11.5%

3 入所者数等

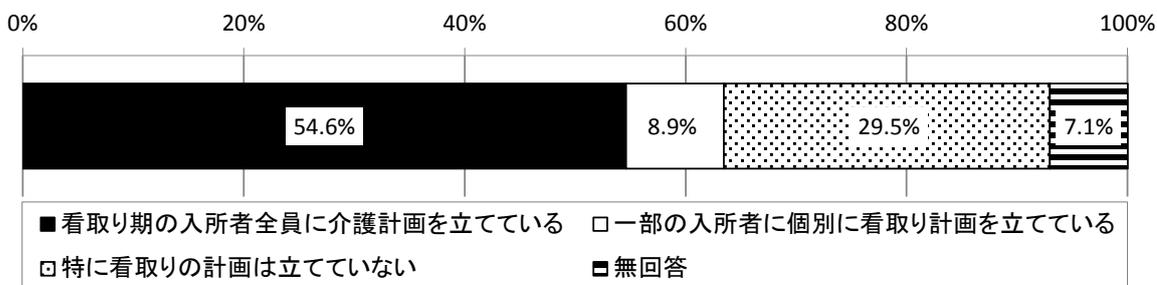
図表 2-341 施設の看取りの方針別 協力病院による施設内看取りに対する支援

	合計	積極的 である	特に支 援はな い	無回答
全体	1,502 100.0%	484 32.2%	889 59.2%	129 8.6%
希望があれば、施設内で看 取る	1,171 100.0%	463 39.5%	650 55.5%	58 5.0%
原則、病院等に移す	245 100.0%	12 4.9%	216 88.2%	17 6.9%

⑤ 看取り介護計画の策定状況

看取り介護計画の策定状況は、「看取り期の入所者全員に介護計画を立てている」が54.6%、「特に看取りの計画は立てていない」は29.5%、「一部の入所者に個別に看取り計画を立てている」は8.9%であった。

図表 2-342 看取り介護計画の策定状況 (n=1,502)



図表 2-343 開設年別 看取り介護計画の策定状況

	合計	看取り期の入所者全員に介護計画を立てている	一部の入所者に個別に看取り計画を立てている	特に看取りの計画は立てていない	無回答
全体	1,502 100.0%	820 54.6%	133 8.9%	443 29.5%	106 7.1%
1989年以前	312 100.0%	159 51.0%	41 13.1%	94 30.1%	18 5.8%
1990年～1999年	322 100.0%	190 59.0%	32 9.9%	77 23.9%	23 7.1%
2000年～2004年	185 100.0%	131 70.8%	16 8.6%	30 16.2%	8 4.3%
2005年～2010年	208 100.0%	116 55.8%	13 6.3%	62 29.8%	17 8.2%
2011年以降	461 100.0%	218 47.3%	29 6.3%	174 37.7%	40 8.7%

図表 2-344 入所定員別 看取り介護計画の策定状況

	合計	看取り 期の入 所者全 員に介 護計画 を立て ている	一部 の入 所者 に個 別に 看取 り計 画を 立て ている	特に 看取 りの 計画 は立 てて いない	無回答
全体	1,502 100.0%	820 54.6%	133 8.9%	443 29.5%	106 7.1%
29人以下	324 100.0%	151 46.6%	20 6.2%	129 39.8%	24 7.4%
30人以上～60人未満	502 100.0%	263 52.4%	56 11.2%	144 28.7%	39 7.8%
60人以上～100人未満	455 100.0%	277 60.9%	40 8.8%	116 25.5%	22 4.8%
100人以上	208 100.0%	119 57.2%	17 8.2%	53 25.5%	19 9.1%

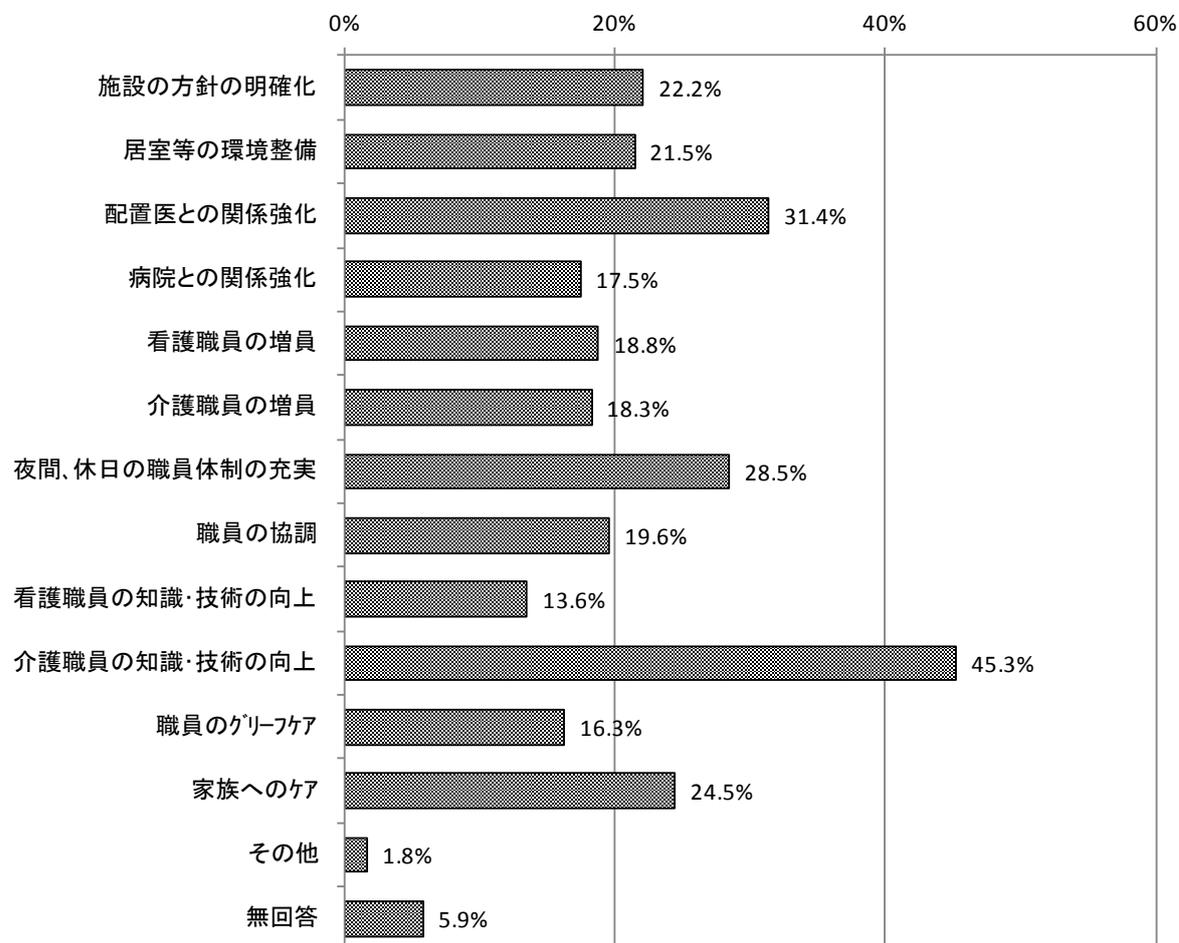
図表 2-345 施設の看取りの方針別 看取り介護計画の策定状況

	合計	看取り 期の入 所者全 員に介 護計画 を立て ている	一部 の入 所者 に個 別に 看取 り計 画を 立て ている	特に 看取 りの 計画 は立 てて いない	無回答
全体	1,502 100.0%	820 54.6%	133 8.9%	443 29.5%	106 7.1%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	808 69.0%	125 10.7%	193 16.5%	45 3.8%
原則、病院等に移す	245 100.0%	4 1.6%	7 2.9%	225 91.8%	9 3.7%

⑥ ターミナルケアにおける課題

ターミナルケアにおける課題は、「介護職員の知識・技術の向上」が45.3%、「配置医との関係強化」は31.4%、「夜間、休日の職員体制の充実」は28.5%であった。

図表 2-346 ターミナルケアにおける課題（重要なもの3つまで）（n=1,502）



図表 2-347 開設年別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の方針の明確化	居室等の環境整備	配置医との関係強化	病院との関係強化	看護職員の増員	介護職員の増員	夜間、休日の職員体制の充実
全体	1,502 100.0%	333 22.2%	323 21.5%	472 31.4%	263 17.5%	283 18.8%	275 18.3%	428 28.5%
1989年以前	312 100.0%	70 22.4%	112 35.9%	83 26.6%	61 19.6%	60 19.2%	54 17.3%	81 26.0%
1990年～1999年	322 100.0%	61 18.9%	114 35.4%	93 28.9%	43 13.4%	59 18.3%	59 18.3%	83 25.8%
2000年～2004年	185 100.0%	32 17.3%	39 21.1%	60 32.4%	32 17.3%	37 20.0%	46 24.9%	47 25.4%
2005年～2010年	208 100.0%	60 28.8%	17 8.2%	68 32.7%	34 16.3%	36 17.3%	35 16.8%	69 33.2%
2011年以降	461 100.0%	106 23.0%	39 8.5%	163 35.4%	87 18.9%	89 19.3%	78 16.9%	144 31.2%

	合計	職員の協調	看護職員の知識・技術の向上	介護職員の知識・技術の向上	職員のグリーフケア	家族へのケア	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	295 19.6%	204 13.6%	680 45.3%	245 16.3%	368 24.5%	27 1.8%	89 5.9%
1989年以前	312 100.0%	63 20.2%	48 15.4%	136 43.6%	47 15.1%	77 24.7%	3 1.0%	13 4.2%
1990年～1999年	322 100.0%	56 17.4%	34 10.6%	129 40.1%	60 18.6%	98 30.4%	7 2.2%	18 5.6%
2000年～2004年	185 100.0%	33 17.8%	25 13.5%	81 43.8%	29 15.7%	48 25.9%	4 2.2%	7 3.8%
2005年～2010年	208 100.0%	38 18.3%	28 13.5%	96 46.2%	35 16.8%	53 25.5%	2 1.0%	14 6.7%
2011年以降	461 100.0%	102 22.1%	66 14.3%	235 51.0%	69 15.0%	89 19.3%	11 2.4%	37 8.0%

図表 2-348 入所定員別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の方針の明確化	居室等の環境整備	配置医との関係強化	病院との関係強化	看護職員の増員	介護職員の増員	夜間、休日の職員体制の充実
全体	1,502 100.0%	333 22.2%	323 21.5%	472 31.4%	263 17.5%	283 18.8%	275 18.3%	428 28.5%
29人以下	324 100.0%	85 26.2%	30 9.3%	102 31.5%	66 20.4%	67 20.7%	54 16.7%	112 34.6%
30人以上～60人未満	502 100.0%	102 20.3%	134 26.7%	152 30.3%	89 17.7%	102 20.3%	92 18.3%	140 27.9%
60人以上～100人未満	455 100.0%	95 20.9%	110 24.2%	158 34.7%	70 15.4%	81 17.8%	90 19.8%	121 26.6%
100人以上	208 100.0%	48 23.1%	47 22.6%	54 26.0%	36 17.3%	32 15.4%	39 18.8%	53 25.5%

	合計	職員の協調	看護職員の知識・技術の向上	介護職員の知識・技術の向上	職員のグリーフケア	家族へのケア	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	295 19.6%	204 13.6%	680 45.3%	245 16.3%	368 24.5%	27 1.8%	89 5.9%
29人以下	324 100.0%	62 19.1%	42 13.0%	154 47.5%	43 13.3%	60 18.5%	6 1.9%	20 6.2%
30人以上～60人未満	502 100.0%	102 20.3%	63 12.5%	218 43.4%	87 17.3%	132 26.3%	11 2.2%	26 5.2%
60人以上～100人未満	455 100.0%	88 19.3%	73 16.0%	210 46.2%	72 15.8%	129 28.4%	5 1.1%	23 5.1%
100人以上	208 100.0%	41 19.7%	24 11.5%	92 44.2%	41 19.7%	44 21.2%	5 2.4%	17 8.2%

図表 2-349 非常勤の配置医の勤務日以外の対応別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の方針の明確化	居室等の環境整備	配置医との関係強化	病院との関係強化	看護職員の増員	介護職員の増員	夜間、休日の職員体制の充実
全体	1,502 100.0%	333 22.2%	323 21.5%	472 31.4%	263 17.5%	283 18.8%	275 18.3%	428 28.5%
勤務日以外でも、対応してもらえる	704 100.0%	158 22.4%	149 21.2%	198 28.1%	100 14.2%	126 17.9%	121 17.2%	202 28.7%
勤務日以外は電話で指示を得ることができる	591 100.0%	139 23.5%	134 22.7%	204 34.5%	113 19.1%	117 19.8%	108 18.3%	166 28.1%
原則、勤務日以外は対応してもらえない	87 100.0%	16 18.4%	24 27.6%	37 42.5%	27 31.0%	21 24.1%	24 27.6%	26 29.9%

	合計	職員の協調	看護職員の知識・技術の向上	介護職員の知識・技術の向上	職員のグリーフケア	家族へのケア	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	295 19.6%	204 13.6%	680 45.3%	245 16.3%	368 24.5%	27 1.8%	89 5.9%
勤務日以外でも、対応してもらえる	704 100.0%	140 19.9%	106 15.1%	337 47.9%	117 16.6%	189 26.8%	11 1.6%	37 5.3%
勤務日以外は電話で指示を得ることができる	591 100.0%	124 21.0%	69 11.7%	269 45.5%	95 16.1%	132 22.3%	8 1.4%	30 5.1%
原則、勤務日以外は対応してもらえない	87 100.0%	17 19.5%	10 11.5%	30 34.5%	15 17.2%	19 21.8%	0 0.0%	5 5.7%

図表 2-350 在宅療養支援診療所・病院との連携体制の有無別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の方針の明確化	居室等の環境整備	配置医との関係強化	病院との関係強化	看護職員の増員	介護職員の増員	夜間、休日の職員体制の充実
全体	1,502 100.0%	333 22.2%	323 21.5%	472 31.4%	263 17.5%	283 18.8%	275 18.3%	428 28.5%
有	348 100.0%	75 21.6%	67 19.3%	104 29.9%	59 17.0%	71 20.4%	60 17.2%	101 29.0%
無	1010 100.0%	218 21.6%	228 22.6%	325 32.2%	173 17.1%	185 18.3%	187 18.5%	288 28.5%

	合計	職員の協調	看護職員の知識・技術の向上	介護職員の知識・技術の向上	職員のグリーフケア	家族へのケア	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	295 19.6%	204 13.6%	680 45.3%	245 16.3%	368 24.5%	27 1.8%	89 5.9%
有	348 100.0%	76 21.8%	51 14.7%	160 46.0%	54 15.5%	86 24.7%	8 2.3%	20 5.7%
無	1010 100.0%	199 19.7%	129 12.8%	456 45.1%	172 17.0%	250 24.8%	18 1.8%	53 5.2%

図表 2-351 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の方針の明確化	居室等の環境整備	配置医との関係強化	病院との関係強化	看護職員の増員	介護職員の増員	夜間、休日の職員体制の充実
全体	1,502 100.0%	333 22.2%	323 21.5%	472 31.4%	263 17.5%	283 18.8%	275 18.3%	428 28.5%
配置医に連絡する	820 100.0%	173 21.1%	194 23.7%	236 28.8%	82 10.0%	138 16.8%	149 18.2%	236 28.8%
協力病院に連絡する	701 100.0%	153 21.8%	149 21.3%	218 31.1%	166 23.7%	154 22.0%	137 19.5%	222 31.7%
救急車を呼ぶ	1052 100.0%	244 23.2%	204 19.4%	368 35.0%	196 18.6%	196 18.6%	186 17.7%	305 29.0%
その他	35 100.0%	4 11.4%	5 14.3%	9 25.7%	3 8.6%	9 25.7%	5 14.3%	9 25.7%

	合計	職員の協調	看護職員の知識・技術の向上	介護職員の知識・技術の向上	職員のグリーフケア	家族へのケア	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	295 19.6%	204 13.6%	680 45.3%	245 16.3%	368 24.5%	27 1.8%	89 5.9%
配置医に連絡する	820 100.0%	177 21.6%	105 12.8%	399 48.7%	145 17.7%	242 29.5%	12 1.5%	41 5.0%
協力病院に連絡する	701 100.0%	139 19.8%	101 14.4%	297 42.4%	119 17.0%	152 21.7%	9 1.3%	38 5.4%
救急車を呼ぶ	1052 100.0%	200 19.0%	144 13.7%	472 44.9%	168 16.0%	248 23.6%	17 1.6%	58 5.5%
その他	35 100.0%	6 17.1%	7 20.0%	12 34.3%	6 17.1%	12 34.3%	1 2.9%	4 11.4%

図表 2-352 看護職員数（常勤換算）別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の 方針の 明確化	居室等 の環境 整備	配置医 との関 係強化	病院と の関係 強化	看護職 員の増 員	介護職 員の増 員	夜間、 休日の 職員体 制の充 実
全体	1,502 100.0%	333 22.2%	323 21.5%	472 31.4%	263 17.5%	283 18.8%	275 18.3%	428 28.5%
2人未満	156 100.0%	37 23.7%	20 12.8%	48 30.8%	30 19.2%	39 25.0%	32 20.5%	55 35.3%
2人以上～3人未 満	233 100.0%	52 22.3%	40 17.2%	77 33.0%	33 14.2%	59 25.3%	43 18.5%	77 33.0%
3人以上～4人未 満	283 100.0%	73 25.8%	55 19.4%	89 31.4%	55 19.4%	60 21.2%	47 16.6%	73 25.8%
4人以上～5人未 満	297 100.0%	60 20.2%	75 25.3%	98 33.0%	44 14.8%	54 18.2%	64 21.5%	80 26.9%
5人以上～6人未 満	194 100.0%	50 25.8%	47 24.2%	60 30.9%	41 21.1%	21 10.8%	34 17.5%	52 26.8%
6人以上	136 100.0%	21 15.4%	37 27.2%	41 30.1%	26 19.1%	15 11.0%	21 15.4%	36 26.5%

	合計	職員の 協調	看護職 員の知 識・技 術の向 上	介護職 員の知 識・技 術の向 上	職員の グリーフ ケア	家族へ のケア	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	295 19.6%	204 13.6%	680 45.3%	245 16.3%	368 24.5%	27 1.8%	89 5.9%
2人未満	156 100.0%	28 17.9%	23 14.7%	80 51.3%	15 9.6%	26 16.7%	4 2.6%	7 4.5%
2人以上～3人未 満	233 100.0%	54 23.2%	29 12.4%	102 43.8%	39 16.7%	50 21.5%	5 2.1%	11 4.7%
3人以上～4人未 満	283 100.0%	51 18.0%	36 12.7%	122 43.1%	44 15.5%	66 23.3%	5 1.8%	15 5.3%
4人以上～5人未 満	297 100.0%	60 20.2%	39 13.1%	135 45.5%	57 19.2%	85 28.6%	4 1.3%	20 6.7%
5人以上～6人未 満	194 100.0%	40 20.6%	26 13.4%	93 47.9%	26 13.4%	50 25.8%	2 1.0%	9 4.6%
6人以上	136 100.0%	26 19.1%	21 15.4%	63 46.3%	27 19.9%	38 27.9%	3 2.2%	8 5.9%

図表 2-353 入所定員 100 人あたりの看護職員数（常勤換算）＋認定特定行為実施介護職員数  
（第一号～第三号、実人数）別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の 方針の 明確化	居室等 の環境 整備	配置医 との関 係強化	病院と の関係 強化	看護職 員の増 員	介護職 員の増 員	夜間、 休日の 職員体 制の充 実
全体	1,502 100.0%	333 22.2%	323 21.5%	472 31.4%	263 17.5%	283 18.8%	275 18.3%	428 28.5%
0人以上～4人 未満	181 100.0%	40 22.1%	38 21.0%	55 30.4%	34 18.8%	44 24.3%	34 18.8%	52 28.7%
4人以上～6人 未満	300 100.0%	74 24.7%	71 23.7%	95 31.7%	57 19.0%	62 20.7%	61 20.3%	93 31.0%
6人以上～8人 未満	295 100.0%	81 27.5%	49 16.6%	108 36.6%	52 17.6%	57 19.3%	54 18.3%	83 28.1%
8人以上～10人 未満	165 100.0%	35 21.2%	33 20.0%	55 33.3%	25 15.2%	31 18.8%	27 16.4%	46 27.9%
10人以上～20 人未満	278 100.0%	50 18.0%	62 22.3%	79 28.4%	55 19.8%	41 14.7%	47 16.9%	80 28.8%
20人以上	220 100.0%	43 19.5%	58 26.4%	60 27.3%	31 14.1%	40 18.2%	43 19.5%	58 26.4%

	合計	職員の 協調	看護職 員の知 識・技 術の向 上	介護職 員の知 識・技 術の向 上	職員の グリーフ ケア	家族へ のケア	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	295 19.6%	204 13.6%	680 45.3%	245 16.3%	368 24.5%	27 1.8%	89 5.9%
0人以上～4人 未満	181 100.0%	28 15.5%	20 11.0%	83 45.9%	29 16.0%	37 20.4%	5 2.8%	9 5.0%
4人以上～6人 未満	300 100.0%	57 19.0%	46 15.3%	140 46.7%	49 16.3%	73 24.3%	8 2.7%	17 5.7%
6人以上～8人 未満	295 100.0%	74 25.1%	39 13.2%	136 46.1%	40 13.6%	63 21.4%	3 1.0%	16 5.4%
8人以上～10人 未満	165 100.0%	32 19.4%	24 14.5%	73 44.2%	25 15.2%	45 27.3%	2 1.2%	9 5.5%
10人以上～20 人未満	278 100.0%	53 19.1%	40 14.4%	126 45.3%	55 19.8%	80 28.8%	6 2.2%	12 4.3%
20人以上	220 100.0%	41 18.6%	25 11.4%	98 44.5%	37 16.8%	54 24.5%	2 0.9%	12 5.5%

図表 2-354 看護職員の基本的な夜勤体制別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の方針の明確化	居室等の環境整備	配置医との関係強化	病院との関係強化	看護職員の増員	介護職員の増員	夜間、休日の職員体制の充実
全体	1,502 100.0%	333 22.2%	323 21.5%	472 31.4%	263 17.5%	283 18.8%	275 18.3%	428 28.5%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	5 20.0%	3 12.0%	7 28.0%	5 20.0%	5 20.0%	4 16.0%	3 12.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	5 25.0%	4 20.0%	3 15.0%	3 15.0%	4 20.0%	2 10.0%	7 35.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	14 31.8%	6 13.6%	18 40.9%	11 25.0%	10 22.7%	6 13.6%	11 25.0%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1,352 100.0%	303 22.4%	301 22.3%	426 31.5%	239 17.7%	253 18.7%	254 18.8%	387 28.6%
その他	56 100.0%	5 8.9%	8 14.3%	17 30.4%	5 8.9%	11 19.6%	7 12.5%	19 33.9%

	合計	職員の協調	看護職員の知識・技術の向上	介護職員の知識・技術の向上	職員のグリーフケア	家族へのケア	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	295 19.6%	204 13.6%	680 45.3%	245 16.3%	368 24.5%	27 1.8%	89 5.9%
原則、夜勤職員には看護職員が含まれる	25 100.0%	7 28.0%	3 12.0%	14 56.0%	2 8.0%	7 28.0%	0 0.0%	1 4.0%
原則、看護職員は当直する	20 100.0%	5 25.0%	6 30.0%	7 35.0%	4 20.0%	9 45.0%	0 0.0%	0 0.0%
介護職員を含めたローテーションによる	44 100.0%	5 11.4%	6 13.6%	15 34.1%	7 15.9%	8 18.2%	2 4.5%	3 6.8%
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1,352 100.0%	264 19.5%	182 13.5%	614 45.4%	226 16.7%	330 24.4%	25 1.8%	78 5.8%
その他	56 100.0%	14 25.0%	7 12.5%	28 50.0%	6 10.7%	13 23.2%	0 0.0%	5 8.9%

図表 2-355 認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の方針の明確化	居室等の環境整備	配置医との関係強化	病院との関係強化	看護職員の増員	介護職員の増員	夜間、休日の職員体制の充実
全体	1,502 100.0%	333 22.2%	323 21.5%	472 31.4%	263 17.5%	283 18.8%	275 18.3%	428 28.5%
原則、夜勤職員には1人以上含まれる	372 100.0%	81 21.8%	107 28.8%	114 30.6%	52 14.0%	70 18.8%	74 19.9%	84 22.6%
原則、1人以上が当直する	23 100.0%	3 13.0%	7 30.4%	7 30.4%	8 34.8%	4 17.4%	2 8.7%	5 21.7%
ローテーションによりいないこともある	673 100.0%	139 20.7%	140 20.8%	210 31.2%	115 17.1%	125 18.6%	132 19.6%	202 30.0%
原則、夜勤・当直はない	83 100.0%	32 38.6%	9 10.8%	31 37.3%	22 26.5%	15 18.1%	11 13.3%	25 30.1%

	合計	職員の協調	看護職員の知識・技術の向上	介護職員の知識・技術の向上	職員のグリーフケア	家族へのケア	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	295 19.6%	204 13.6%	680 45.3%	245 16.3%	368 24.5%	27 1.8%	89 5.9%
原則、夜勤職員には1人以上含まれる	372 100.0%	75 20.2%	54 14.5%	150 40.3%	59 15.9%	107 28.8%	2 0.5%	17 4.6%
原則、1人以上が当直する	23 100.0%	1 4.3%	3 13.0%	9 39.1%	2 8.7%	5 21.7%	0 0.0%	4 17.4%
ローテーションによりいないこともある	673 100.0%	130 19.3%	89 13.2%	327 48.6%	113 16.8%	168 25.0%	12 1.8%	29 4.3%
原則、夜勤・当直はない	83 100.0%	16 19.3%	11 13.3%	41 49.4%	14 16.9%	14 16.9%	3 3.6%	1 1.2%

図表 2-356 認定証交付介護職員の配置で、夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制か

どうか別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の方針の明確化	居室等の環境整備	配置医との関係強化	病院との関係強化	看護職員の増員	介護職員の増員	夜間、休日の職員体制の充実
全体	1,502 100.0%	333 22.2%	323 21.5%	472 31.4%	263 17.5%	283 18.8%	275 18.3%	428 28.5%
夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制にある	618 100.0%	133 21.5%	155 25.1%	185 29.9%	96 15.5%	109 17.6%	107 17.3%	159 25.7%
必要があれば、体制を整えることがある	129 100.0%	24 18.6%	34 26.4%	32 24.8%	17 13.2%	27 20.9%	29 22.5%	47 36.4%
常時実施できる体制はとっていない	539 100.0%	135 25.0%	94 17.4%	190 35.3%	112 20.8%	105 19.5%	107 19.9%	176 32.7%
その他	60 100.0%	8 13.3%	11 18.3%	20 33.3%	14 23.3%	12 20.0%	13 21.7%	17 28.3%

	合計	職員の協調	看護職員の知識・技術の向上	介護職員の知識・技術の向上	職員のグリーフケア	家族へのケア	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	295 19.6%	204 13.6%	680 45.3%	245 16.3%	368 24.5%	27 1.8%	89 5.9%
夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制にある	618 100.0%	124 20.1%	82 13.3%	261 42.2%	114 18.4%	171 27.7%	8 1.3%	23 3.7%
必要があれば、体制を整えることがある	129 100.0%	23 17.8%	15 11.6%	58 45.0%	27 20.9%	38 29.5%	0 0.0%	4 3.1%
常時実施できる体制はとっていない	539 100.0%	111 20.6%	85 15.8%	273 50.6%	78 14.5%	110 20.4%	12 2.2%	29 5.4%
その他	60 100.0%	11 18.3%	8 13.3%	38 63.3%	7 11.7%	11 18.3%	4 6.7%	1 1.7%

図表 2-357 施設の看取りの方針別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の方針の明確化	居室等の環境整備	配置医との関係強化	病院との関係強化	看護職員の増員	介護職員の増員	夜間、休日の職員体制の充実
全体	1,502 100.0%	333 22.2%	323 21.5%	472 31.4%	263 17.5%	283 18.8%	275 18.3%	428 28.5%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	237 20.2%	283 24.2%	318 27.2%	153 13.1%	195 16.7%	219 18.7%	338 28.9%
原則、病院等に移す	245 100.0%	86 35.1%	35 14.3%	133 54.3%	99 40.4%	76 31.0%	47 19.2%	80 32.7%

	合計	職員の協調	看護職員の知識・技術の向上	介護職員の知識・技術の向上	職員のグリーフケア	家族へのケア	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	295 19.6%	204 13.6%	680 45.3%	245 16.3%	368 24.5%	27 1.8%	89 5.9%
希望があれば、施設内で看取る	1,171 100.0%	259 22.1%	158 13.5%	573 48.9%	226 19.3%	349 29.8%	20 1.7%	31 2.6%
原則、病院等に移す	245 100.0%	30 12.2%	36 14.7%	88 35.9%	14 5.7%	14 5.7%	5 2.0%	7 2.9%

図表 2-358 施設内死亡割合別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の 方針の 明確化	居室等 の環境 整備	配置医 との関 係強化	病院と の関係 強化	看護職 員の増 員	介護職 員の増 員	夜間、 休日の 職員体 制の充 実
全体	1,502 100.0%	333 22.2%	323 21.5%	472 31.4%	263 17.5%	283 18.8%	275 18.3%	428 28.5%
0%	467 100.0%	136 29.1%	68 14.6%	210 45.0%	137 29.3%	107 22.9%	74 15.8%	136 29.1%
0%超～20%未 満	92 100.0%	25 27.2%	12 13.0%	29 31.5%	21 22.8%	17 18.5%	19 20.7%	33 35.9%
20%以上～40% 未満	198 100.0%	37 18.7%	48 24.2%	61 30.8%	29 14.6%	31 15.7%	39 19.7%	56 28.3%
40%以上～60% 未満	214 100.0%	47 22.0%	59 27.6%	60 28.0%	27 12.6%	35 16.4%	30 14.0%	49 22.9%
60%以上～80% 未満	227 100.0%	38 16.7%	50 22.0%	46 20.3%	20 8.8%	43 18.9%	47 20.7%	67 29.5%
80%以上～ 100%未満	125 100.0%	24 19.2%	41 32.8%	22 17.6%	8 6.4%	21 16.8%	30 24.0%	29 23.2%
100%	130 100.0%	14 10.8%	39 30.0%	26 20.0%	14 10.8%	26 20.0%	31 23.8%	44 33.8%

	合計	職員の 協調	看護職 員の知 識・技 術の向 上	介護職 員の知 識・技 術の向 上	職員の グリーフ ケア	家族へ のケア	その他	無回答
全体	1,502 100.0%	295 19.6%	204 13.6%	680 45.3%	245 16.3%	368 24.5%	27 1.8%	89 5.9%
0%	467 100.0%	76 16.3%	56 12.0%	179 38.3%	46 9.9%	68 14.6%	11 2.4%	39 8.4%
0%超～20%未 満	92 100.0%	30 32.6%	17 18.5%	44 47.8%	15 16.3%	19 20.7%	0 0.0%	4 4.3%
20%以上～40% 未満	198 100.0%	45 22.7%	28 14.1%	103 52.0%	38 19.2%	47 23.7%	0 0.0%	9 4.5%
40%以上～60% 未満	214 100.0%	37 17.3%	25 11.7%	108 50.5%	42 19.6%	65 30.4%	3 1.4%	11 5.1%
60%以上～80% 未満	227 100.0%	42 18.5%	32 14.1%	106 46.7%	49 21.6%	66 29.1%	8 3.5%	9 4.0%
80%以上～ 100%未満	125 100.0%	32 25.6%	21 16.8%	60 48.0%	16 12.8%	47 37.6%	2 1.6%	2 1.6%
100%	130 100.0%	26 20.0%	20 15.4%	63 48.5%	32 24.6%	47 36.2%	3 2.3%	3 2.3%

## ⑦ 施設内での看取りに関する意見等

施設内での看取りに関する意見等は以下の通りであった。

○医師、協力病院、医療体制
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 葬儀参列も行い家族へのケアに努めているが、課題は、将来的には当施設でターミナルをと望んでも、その段階の前に入院となり退所になることが多く、医療体制の充実を望む。</li> <li>・ 施設としては、実施に向けて積極的に考えているが、協力医療機関と医師との調整で時間を要している。なかなか医師の考え方（都合）もあるので、施設の思い（考え）だけでは、進めて行けない。</li> <li>・ 施設内での看取りについては、医師の協力が不可決である。特に夜間帯の対応、協力はかかせない。加えて、介護職員の技術向上やメンタル面のフォロー等、看取りを継続して実施するためには必要と考える。</li> <li>・ 配置医不在時に死亡確認が必要な時、協力病院の協力がえられず困難があった。昨年より近隣の医師の協力がえられる体制ができたことで全ての方を看取れるようになった。</li> <li>・ 配置医による看取り対応はないため、実施するためには別に往診可能な在宅医を依頼しなければならず、協力病院との連携が困難になってしまう。</li> <li>・ 医師が2名おり一人は看とり『可』もう一人は『不可』という現状。看とりができる施設なのに医師によってできない事有り。</li> <li>・ 現在、配置医は、2週間に1回の回診以外の診察（対応）はなく、看取りは、出来ない現状。</li> </ul>
○看護職員、体制
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自施設では看護師が夜勤しているのでターミナルケアを実施しやすい環境にあるが、看護師の採用ができず、夜勤体制を組めなくなった際に対応できるか不安がある。</li> <li>・ 看取り介護を提供しているが、正看護師が配置されていない為、加算が算定できない状況にある。</li> <li>・ 施設での看取りを実施しているが、夜間の職員体制が充実しておらず、看護職員の夜勤もない為、夜勤を行う介護職員の不安や精神的負担は大きい。</li> </ul>
○介護職員、体制
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護職員の看取りケアへの意識向上を目指すとともに、配置医との連携を深めることが現状の課題である。</li> <li>・ 介護職員の知識や技術と意識があれば看護職員の基準配置でかつ医師の協力があれば施設での看取りは十分可能であると考えている。</li> <li>・ 看取りに関し、介護職員は経験が浅い。夜間看護師が不在となる為、ストレスが大きく嫌がられてしまう。研修や、医療関係者、看護師との連携、協働体制が重要。</li> <li>・ 看取りの方がいる時は夜勤者の精神負担が大きく、職員のグリーンケアも大きな課題。</li> </ul>
○家族支援
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族の理解や認識によって、安心して看取りを行えるか現場のプレッシャーに差が出てくる。嘱託医や生活相談員等からの看取り期に入る以前からの死生観の醸成に向けたアプローチ。「看取り」に対しての理解促進を図るための働きかけ、この2点が今後より重要になってくると感じている。</li> <li>・ 家族の方との説明などの話す時間を多く取る事で信頼関係を作っていけばスムーズな看取りケアになるとわかった。</li> <li>・ 家族の中には、観念で「老衰死」という事は、理解されていても、いざその時が始まると、医学的治療をもう一度という気持ちになる合があり、話し合いの中で、こちらに任せたいと決めかねる時がある。不安をとりのぞく支援をして行っている。</li> <li>・ 介護老人福祉施設は生活支援の場である事から、医療体制がソフト面においても、利用者や家族から不安の声がある。現況、看護師の勤務体制等の変更を考えていない為、看取り期に退所した利用者がいた。施設側、医師を含め信頼の構築を求められると痛</li> </ul>

<p>感ずる事があった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 直前まで判断に悩まれるご家族に対応しての支援に課題がある。</li><li>・ 利用者の状態を職員は老衰ととらえていても、家族はそう思えない時があり、医療機関入院を希望してもどこも受け入れ先がない場合の家族支援について課題がある。</li></ul>
<p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 家族の意向がはっきりしているケースが増えてきた。その為、施設での看取りを行うかどうかの判断もしやすくなった。</li><li>・ 介護老人福祉施設における看取りは非常に重要なものと認識しているが、現実問題として看護職員、介護職員ともにぎりぎりに近い人員配置の中では十分なターミナルケアの（加算算定の要件をクリアするだけの内容の）実施、提供が行えるかどうか厳しいものがある。</li><li>・ 養成校での看取り教育がなされていない。これからの地域抱活ケアシステムに於いても多死時代を迎えるとされているが基礎教育の充実や内容がマッチしていない。</li></ul>

### 第3節 入所者の詳細調査の結果

#### 1. 病院・診療所への入院者の状況

平成28年7月1か月間の入院者全員の状況について、654施設から、1,678人分の回答が得られた。平均回収数は2.6件であった。

図表2-359 入院者票の回収数

	件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
入院者票の件数	654	1,678	2.6	2.1	2.0	17	1

図表2-360 入所定員別 入院者票の回収数

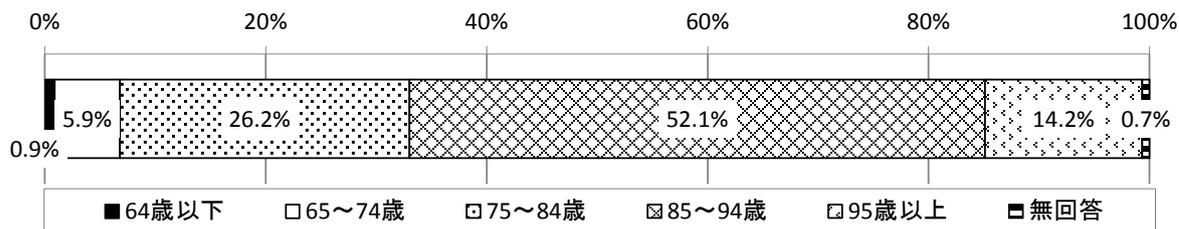
	件数	合計値	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
全体	654	1,678	2.6	2.1	2.0	17	1
29人以下	97	156	1.6	0.8	1.0	5	1
30人以上～60人未満	204	403	2.0	1.2	2.0	9	1
60人以上～100人未満	231	651	2.8	2.1	2.0	15	1
100人以上	116	447	3.9	3.0	3.0	17	1

#### (1) 入院者の基本情報

##### ① 年齢

入院者の年齢は、「85歳～94歳」が52.1%、「75歳～84歳」は26.2%、「95歳以上」は14.2%であった。平均は87.0歳であった。

図表2-361 年齢 (n=1,678)



図表2-362 年齢

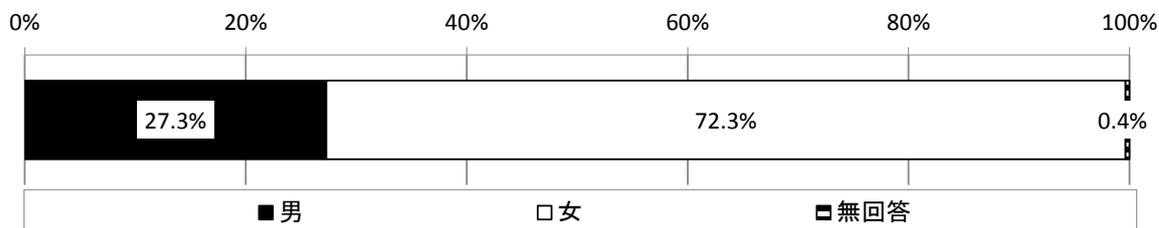
(単位：歳)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
年齢	1,667	87.0	7.7	88.0

② 性別

性別は、「男性」が27.3%、「女性」が72.3%であった。

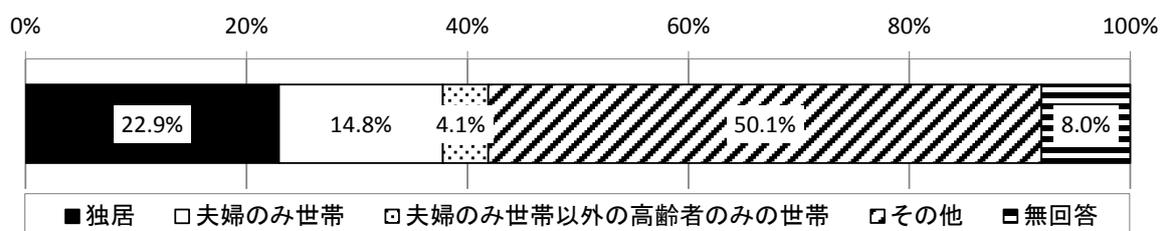
図表 2-363 性別 (n=1,678)



③ 入所前の世帯構成

入所前の世帯構成は、「独居」が22.9%、「夫婦のみ世帯」が14.8%、「夫婦のみ世帯以外の高齢者のみの世帯」が4.1%であった。

図表 2-364 入院前の世帯構成 (n=1,678)

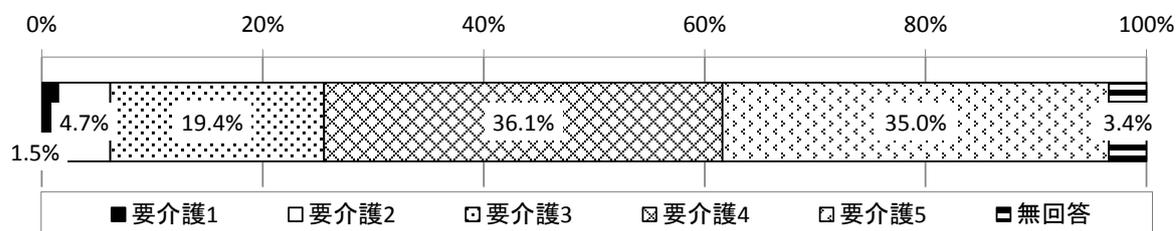


④ 要介護度 (入院前)

入院前の要介護度は、「要介護1」が1.5%、「要介護2」が4.7%、「要介護3」が19.4%、「要介護4」が36.1%、「要介護5」が35.0%であった。

平均要介護度は4.02であった。

図表 2-365 要介護度 (入院前) (n=1,678)



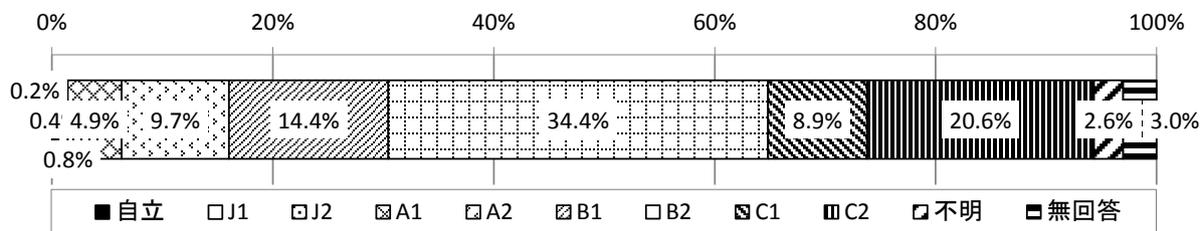
図表 2-366 要介護度 (入院前) (n=1,678)

	平均要介護度
要介護度 (入院前)	4.02

⑤ 障害高齢者日常生活自立度（入院前）

入院前の障害高齢者日常生活自立度は、「B2」が34.4%、「C2」が20.6%、「B1」が14.4%であった。

図表 2-367 障害高齢者の日常生活自立度（入院前）(n=1,678)



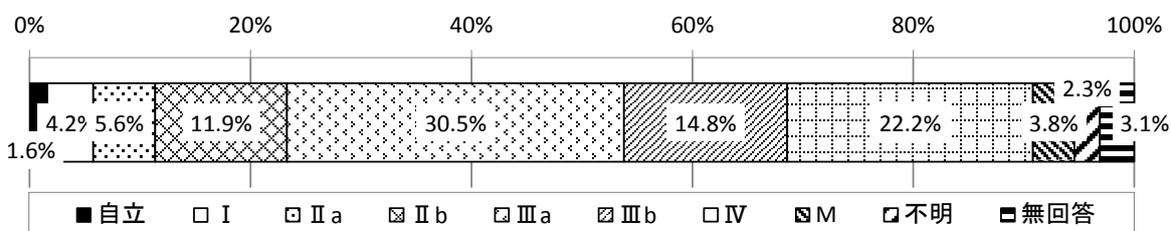
図表 2-368 要介護度別 障害高齢者の日常生活自立度（入院前）

	合計	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	不明	無回答
全体	1,678	7	3	14	82	163	242	577	150	345	44	51
	100.0%	0.4%	0.2%	0.8%	4.9%	9.7%	14.4%	34.4%	8.9%	20.6%	2.6%	3.0%
要介護1	25	3	1	1	4	10	3	1	0	0	1	1
	100.0%	12.0%	4.0%	4.0%	16.0%	40.0%	12.0%	4.0%	0.0%	0.0%	4.0%	4.0%
要介護2	79	1	0	1	9	26	25	9	0	3	4	1
	100.0%	1.3%	0.0%	1.3%	11.4%	32.9%	31.6%	11.4%	0.0%	3.8%	5.1%	1.3%
要介護3	325	2	2	9	40	60	81	90	14	9	10	8
	100.0%	0.6%	0.6%	2.8%	12.3%	18.5%	24.9%	27.7%	4.3%	2.8%	3.1%	2.5%
要介護4	605	1	0	2	19	43	96	271	57	87	16	13
	100.0%	0.2%	0.0%	0.3%	3.1%	7.1%	15.9%	44.8%	9.4%	14.4%	2.6%	2.1%
要介護5	587	0	0	0	8	20	31	190	75	236	12	15
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	3.4%	5.3%	32.4%	12.8%	40.2%	2.0%	2.6%

⑥ 認知症高齢者の日常生活自立度（入院前）

入院前の認知症高齢者の日常生活自立度は、「Ⅲ a」が30.5%、「Ⅳ」が22.2%、「Ⅲ b」が14.8%であり、「Ⅲ以上」が71.3%であった。

図表 2-369 認知症高齢者の日常生活自立度（入院前）(n=1,678)



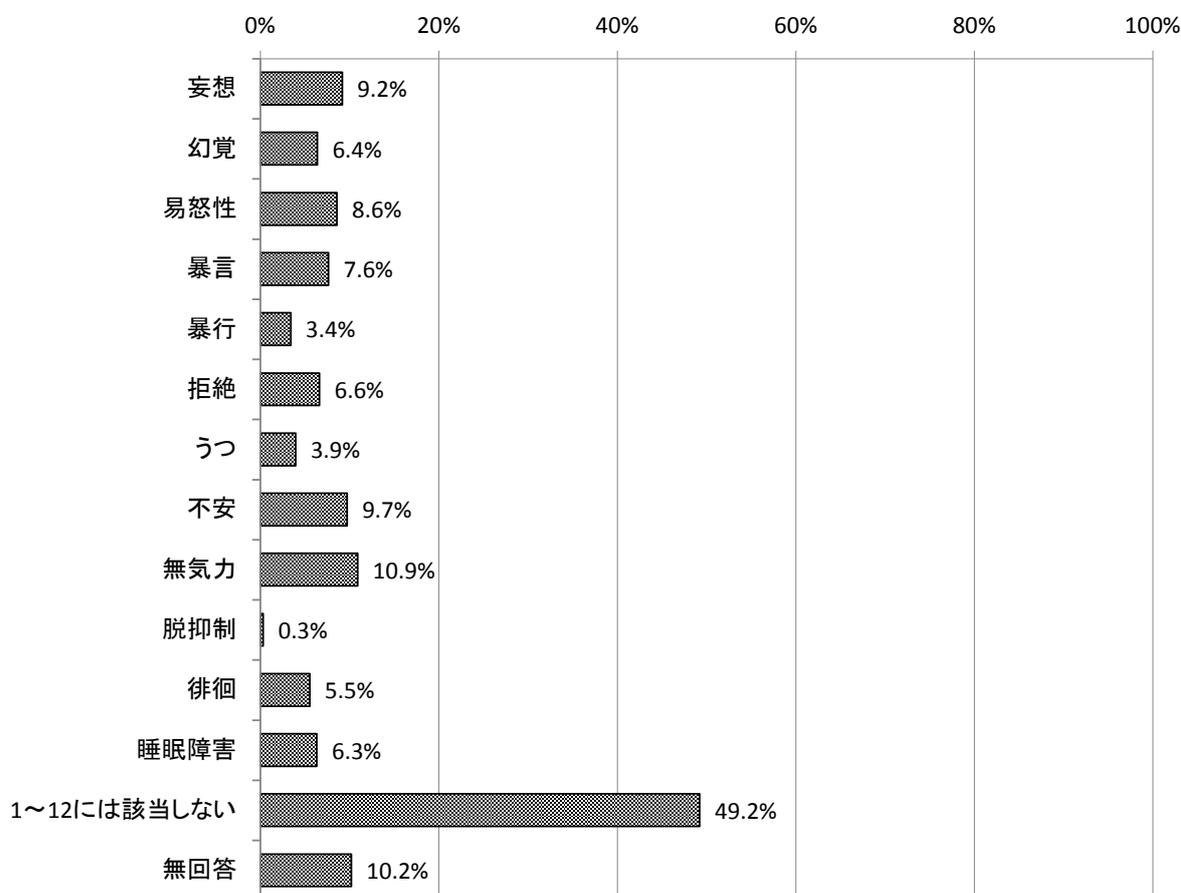
図表 2-370 要介護度別 認知症高齢者の日常生活自立度（入院前）

	合計	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	不明	無回答
全体	1,678 100.0%	27 1.6%	70 4.2%	94 5.6%	200 11.9%	512 30.5%	248 14.8%	373 22.2%	63 3.8%	39 2.3%	52 3.1%
要介護1	25 100.0%	2 8.0%	5 20.0%	8 32.0%	5 20.0%	2 8.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	1 4.0%
要介護2	79 100.0%	3 3.8%	8 10.1%	8 10.1%	21 26.6%	28 35.4%	4 5.1%	3 3.8%	0 0.0%	3 3.8%	1 1.3%
要介護3	325 100.0%	9 2.8%	17 5.2%	26 8.0%	51 15.7%	116 35.7%	59 18.2%	27 8.3%	1 0.3%	8 2.5%	11 3.4%
要介護4	605 100.0%	8 1.3%	30 5.0%	34 5.6%	76 12.6%	209 34.5%	94 15.5%	112 18.5%	13 2.1%	15 2.5%	14 2.3%
要介護5	587 100.0%	5 0.9%	8 1.4%	17 2.9%	41 7.0%	140 23.9%	85 14.5%	220 37.5%	48 8.2%	11 1.9%	12 2.0%

⑦ 行動・心理症状（入院前）

入院前の行動・心理症状は、「無気力」が10.9%、「不安」が9.7%、「妄想」が9.2%であった。

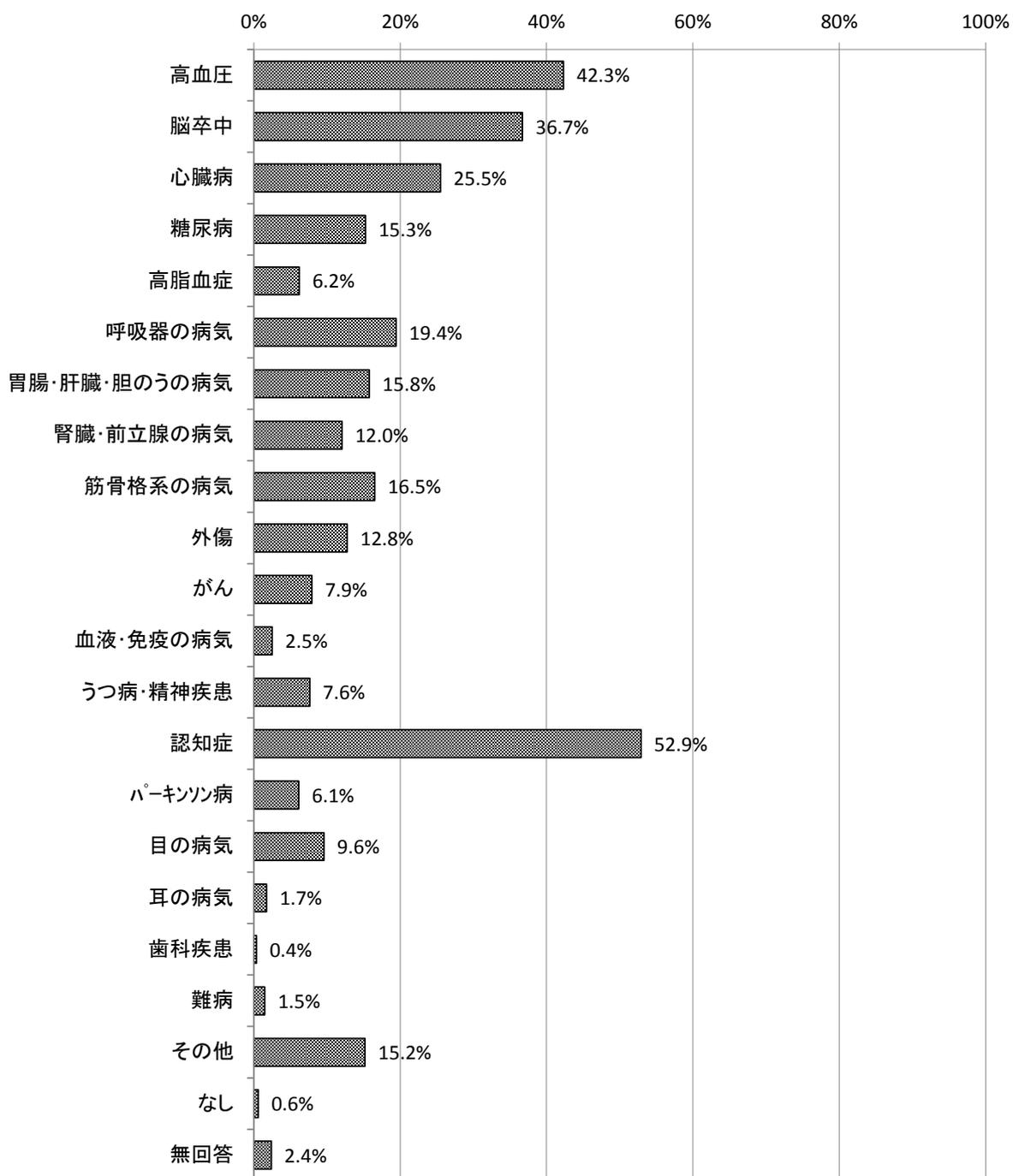
図表 2-371 行動・心理症状（入院前）（n=1,678）



⑧ 入院前に有していた傷病

入院前に有していた傷病は、「認知症」(52.9%)、「高血圧」(42.3%)、「脳卒中」(36.7%)、「心臓病」(25.5%)であった。

図表 2-372 入院前に有していた傷病（複数回答）(n=1,678)



図表 2-373 要介護度別 入院前に有していた傷病

	合計	高血 圧	脳卒 中	心臓 病	糖尿 病	高脂 血症	呼吸 器の 病気	胃腸・ 肝臓・ 胆のう の病気	腎臓・ 前立 腺の 病気	筋骨 格系 の病 気
全体	1,678 100.0%	710 42.3%	616 36.7%	428 25.5%	256 15.3%	104 6.2%	326 19.4%	265 15.8%	202 12.0%	277 16.5%
要介護 1	25 100.0%	12 48.0%	3 12.0%	6 24.0%	2 8.0%	2 8.0%	4 16.0%	5 20.0%	3 12.0%	6 24.0%
要介護 2	79 100.0%	41 51.9%	20 25.3%	24 30.4%	12 15.2%	8 10.1%	15 19.0%	14 17.7%	13 16.5%	16 20.3%
要介護 3	325 100.0%	147 45.2%	111 34.2%	96 29.5%	50 15.4%	21 6.5%	59 18.2%	43 13.2%	36 11.1%	50 15.4%
要介護 4	605 100.0%	269 44.5%	211 34.9%	152 25.1%	100 16.5%	34 5.6%	122 20.2%	109 18.0%	84 13.9%	111 18.3%
要介護 5	587 100.0%	219 37.3%	250 42.6%	130 22.1%	80 13.6%	34 5.8%	113 19.3%	89 15.2%	62 10.6%	87 14.8%

	合計	外傷	がん	血液・ 免疫の 病気	うつ 病・精 神疾患	認知 症	パーキン ソン病	目の 病気	耳の 病気	歯科 疾患
全体	1,678 100.0%	214 12.8%	133 7.9%	42 2.5%	128 7.6%	888 52.9%	103 6.1%	161 9.6%	29 1.7%	6 0.4%
要介護 1	25 100.0%	5 20.0%	2 8.0%	0 0.0%	3 12.0%	6 24.0%	1 4.0%	4 16.0%	0 0.0%	0 0.0%
要介護 2	79 100.0%	11 13.9%	7 8.9%	2 2.5%	9 11.4%	37 46.8%	2 2.5%	13 16.5%	4 5.1%	1 1.3%
要介護 3	325 100.0%	42 12.9%	35 10.8%	11 3.4%	24 7.4%	189 58.2%	12 3.7%	26 8.0%	4 1.2%	1 0.3%
要介護 4	605 100.0%	83 13.7%	46 7.6%	16 2.6%	44 7.3%	304 50.2%	41 6.8%	53 8.8%	13 2.1%	2 0.3%
要介護 5	587 100.0%	69 11.8%	39 6.6%	12 2.0%	46 7.8%	327 55.7%	42 7.2%	61 10.4%	8 1.4%	2 0.3%

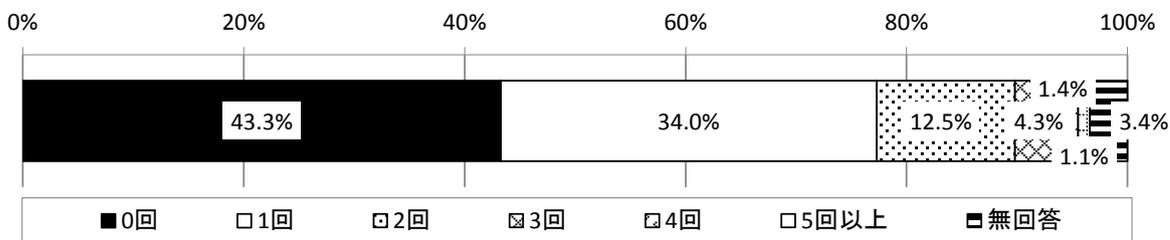
  

	合計	難病	その他	なし	無回答
全体	1,678 100.0%	25 1.5%	255 15.2%	10 0.6%	40 2.4%
要介護 1	25 100.0%	0 0.0%	6 24.0%	0 0.0%	1 4.0%
要介護 2	79 100.0%	1 1.3%	12 15.2%	0 0.0%	1 1.3%
要介護 3	325 100.0%	3 0.9%	50 15.4%	2 0.6%	7 2.2%
要介護 4	605 100.0%	14 2.3%	88 14.5%	2 0.3%	15 2.5%
要介護 5	587 100.0%	7 1.2%	89 15.2%	6 1.0%	15 2.6%

⑨ 過去1年間（平成27年7月～28年6月）の入院回数

過去1年間の入院回数は、「0回」が43.3%、「1回」が34.0%、「2回」が12.5%、「3回」が4.3%であった。平均は0.9回であった。

図表2-374 過去1年間の入院回数（n=1,678）



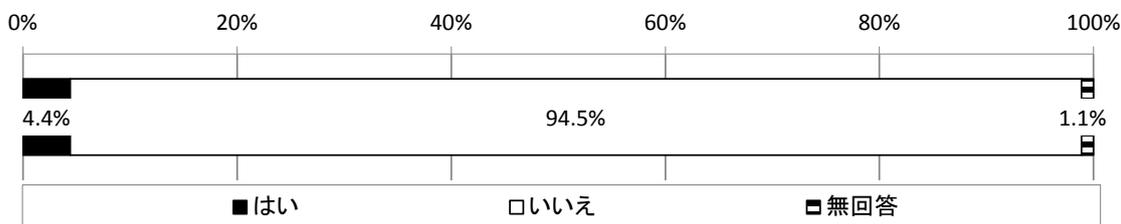
図表2-375 過去1年間の入院回数（n=1,678）

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
過去1年間の入院回数	1,621	0.9	1.1	1.0	12	0

⑩ 入院時点でターミナル期であったか

ターミナル期（医師が余命6か月以内と判断）かどうかをたずねたところ、「はい」が4.4%、「いいえ」が94.5%であった。

図表2-376 入院時点でターミナル期かどうか（n=1,678）



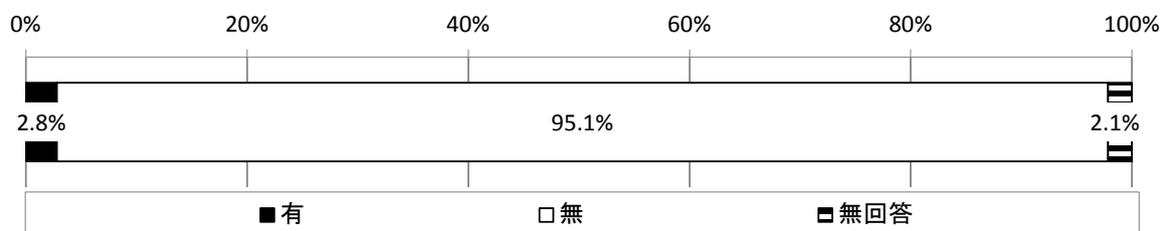
図表2-377 要介護度別 入院時点でターミナル期かどうか

	合計	はい	いいえ	無回答
全体	1,678 100.0%	74 4.4%	1,585 94.5%	19 1.1%
要介護1	25 100.0%	0 0.0%	24 96.0%	1 4.0%
要介護2	79 100.0%	4 5.1%	74 93.7%	1 1.3%
要介護3	325 100.0%	15 4.6%	308 94.8%	2 0.6%
要介護4	605 100.0%	25 4.1%	573 94.7%	7 1.2%
要介護5	587 100.0%	28 4.8%	552 94.0%	7 1.2%

⑪ 入院時点で看取り介護計画を作成していたか

入院時点での看取り介護計画の作成の有無をたずねたところ、「有」が2.8%であった。

図表 2-378 入院時点で看取り介護計画を作成していたか (n=1,678)



図表 2-379 (入院前)ターミナル期かどうか別 入院時点で看取り介護計画を作成していたか

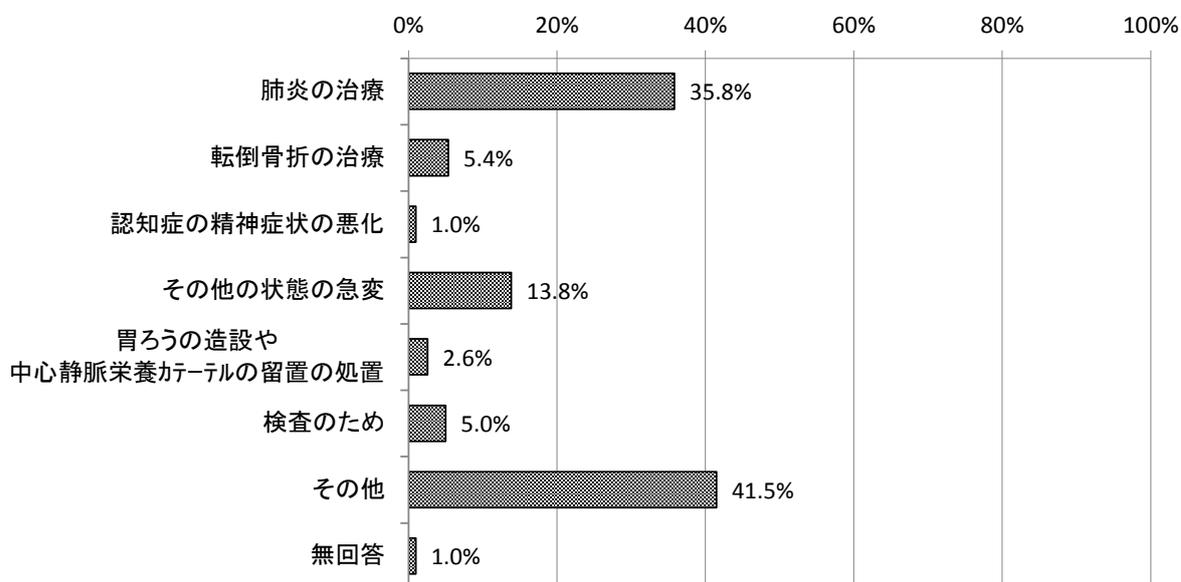
	合計	有	無	無回答
全体	1,678 100.0%	47 2.8%	1,595 95.1%	36 2.1%
はい	74 100.0%	29 39.2%	45 60.8%	0 0.0%
いいえ	1,585 100.0%	18 1.1%	1,547 97.6%	20 1.3%

(2) 入院時の状況

① 入院理由

入院理由は、「肺炎の治療」が 35.8%、「その他の状態の急変」が 13.8%であった。

図表 2-380 入院理由 (n=1,678)



※「その他」の内容は、「尿路感染症」「蜂窩織炎」「腎盂腎炎」「胆のう炎」「気管支炎」「腸閉塞」「急性胃腸炎」「食欲不振」「摂食障害」「脱水」「発熱」「嘔吐」「貧血」「狭心症」「心不全」「脳梗塞」「脳出血」「褥瘡」などであった。

図表 2-381 (施設票) 入所定員別 入院理由

	合計	肺炎の 治療	転倒骨 折の治 療	認知症 の精神 症状の 悪化	その他 の状態 の急変	胃ろう の造設 や中心 静脈栄 養カテ ーテル の留置 の処置	検査の ため	その他	無回 答
全体	1,678 100.0%	601 35.8%	90 5.4%	16 1.0%	232 13.8%	43 2.6%	84 5.0%	696 41.5%	16 1.0%
29 人以下	156 100.0%	60 38.5%	7 4.5%	3 1.9%	30 19.2%	7 4.5%	3 1.9%	52 33.3%	4 2.6%
30 人以上～60 人未満	403 100.0%	134 33.3%	23 5.7%	5 1.2%	54 13.4%	11 2.7%	21 5.2%	178 44.2%	1 0.2%
60 人以上～ 100 人未満	651 100.0%	228 35.0%	34 5.2%	3 0.5%	95 14.6%	21 3.2%	44 6.8%	262 40.2%	3 0.5%
100 人以上	447 100.0%	170 38.0%	26 5.8%	5 1.1%	52 11.6%	4 0.9%	15 3.4%	192 43.0%	7 1.6%

図表 2-382 (施設票) 非常勤の配置医の勤務日以外の対応別 入院理由

	合計	肺炎の 治療	転倒骨 折の治 療	認知症 の精神 症状の 悪化	その他 の状態 の急変	胃ろう の造設 や中心 静脈栄 養カテ テルの 留置の 処置	検査の ため	その他	無回 答
全体	1,678 100.0%	601 35.8%	90 5.4%	16 1.0%	232 13.8%	43 2.6%	84 5.0%	696 41.5%	16 1.0%
勤務日以外でも、対応してもらえない	702 100.0%	261 37.2%	40 5.7%	6 0.9%	84 12.0%	15 2.1%	37 5.3%	289 41.2%	10 1.4%
勤務日以外は電話で指示を得ることができる	734 100.0%	249 33.9%	41 5.6%	8 1.1%	119 16.2%	21 2.9%	36 4.9%	304 41.4%	3 0.4%
原則、勤務日以外は対応してもらえない	97 100.0%	38 39.2%	5 5.2%	1 1.0%	10 10.3%	3 3.1%	6 6.2%	39 40.2%	2 2.1%

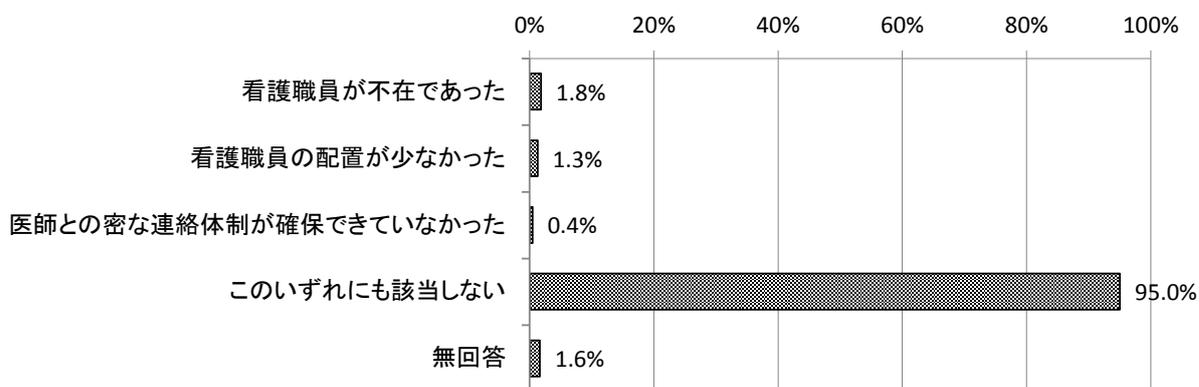
図表 2-383 (施設票) 看護職員数(常勤換算)別 入院理由

	合計	肺炎の 治療	転倒骨 折の治 療	認知症 の精神 症状の 悪化	その他 の状態 の急変	胃ろう の造設 や中心 静脈栄 養カテ テルの 留置の 処置	検査の ため	その他	無回 答
全体	1678 100.0%	601 35.8%	90 5.4%	16 1.0%	232 13.8%	43 2.6%	84 5.0%	696 41.5%	16 1.0%
2人未満	77 100.0%	27 35.1%	4 5.2%	0 0.0%	10 13.0%	4 5.2%	2 2.6%	33 42.9%	2 2.6%
2人以上～3人未満	148 100.0%	56 37.8%	10 6.8%	1 0.7%	27 18.2%	4 2.7%	7 4.7%	49 33.1%	0 0.0%
3人以上～4人未満	279 100.0%	85 30.5%	19 6.8%	5 1.8%	37 13.3%	7 2.5%	20 7.2%	118 42.3%	4 1.4%
4人以上～5人未満	366 100.0%	142 38.8%	18 4.9%	0 0.0%	54 14.8%	15 4.1%	20 5.5%	137 37.4%	3 0.8%
5人以上～6人未満	325 100.0%	114 35.1%	15 4.6%	4 1.2%	38 11.7%	6 1.8%	13 4.0%	143 44.0%	4 1.2%
6人以上	268 100.0%	95 35.4%	14 5.2%	2 0.7%	34 12.7%	2 0.7%	5 1.9%	132 49.3%	1 0.4%

② 入院時の状況

入所時の状況は、「看護職員が不在であった」が 1.8%、「看護職員の配置が少なかった」が 1.3%、「医師との密な連絡体制が確保できていなかった」が 0.4%、「このいずれにも該当しない」が 95.0%であった。

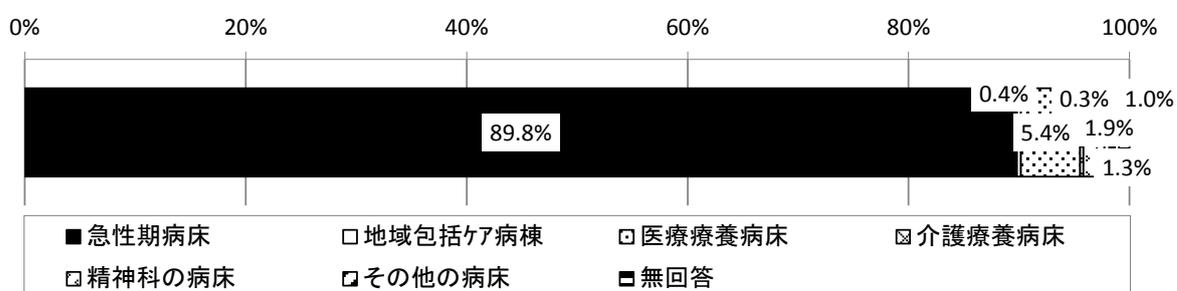
図表 2-384 入院時の状況 (n=1,678)



③ 入院先の病床種類

入院先は、「急性期病床」が 89.8%、「医療療養病床」が 5.4%であった。

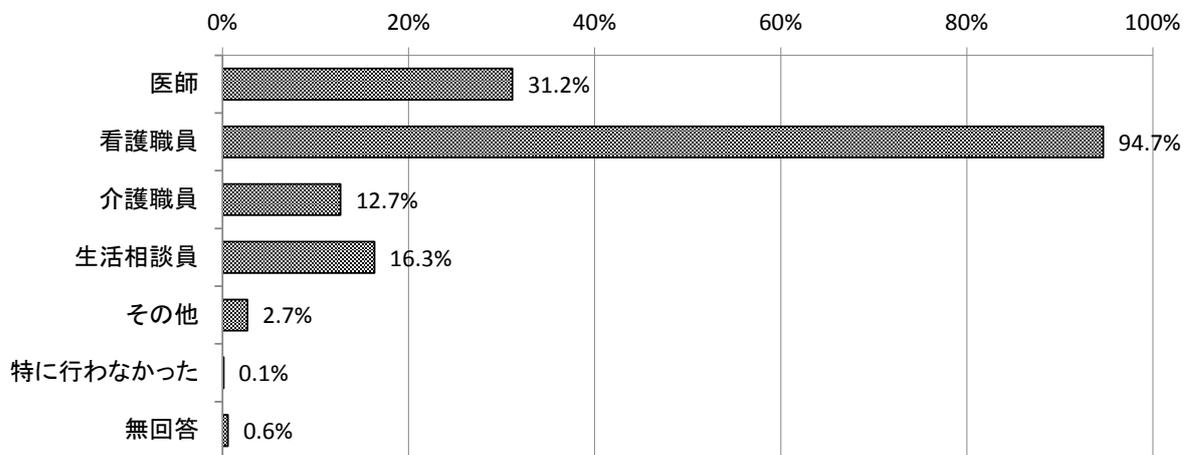
図表 2-385 入院先の病床種類 (n=1,678)



④ 入院先へ入所者の情報提供を行った職員

情報提供を行った職員は、「看護職員」が94.7%、「医師」が31.2%であった。

図表2-386 入院先へ入所者の情報提供を行った職員 (n=1,678)



※「その他」の内容は、「介護支援専門員」「栄養士」などであった。

⑤ 入院前 2 週間の受診状況

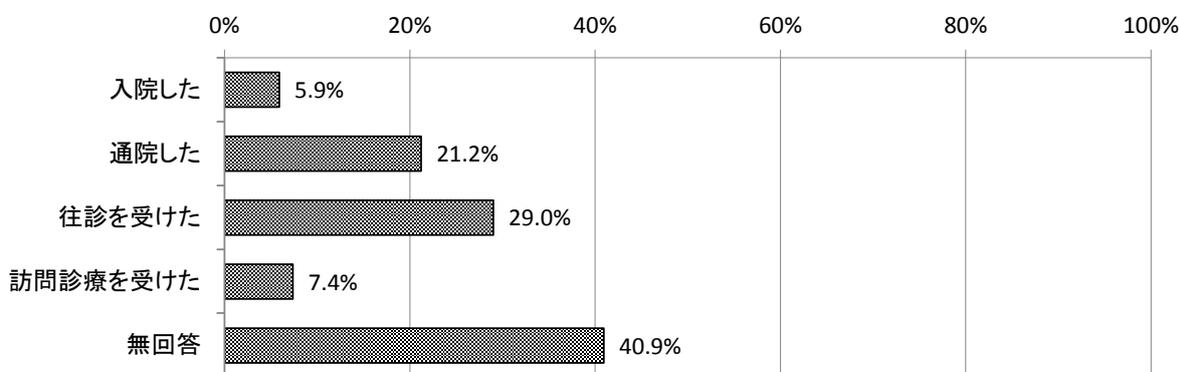
入院前 2 週間の受診状況は、「往診を受けた」が 29.0%、「通院した」が 21.2%であった。

通院した場合の通院回数は、「1 回」が 73.0%、「2 回」は 14.6%で、「3 回」は 4.2%であった。平均は 1.6 回であった。

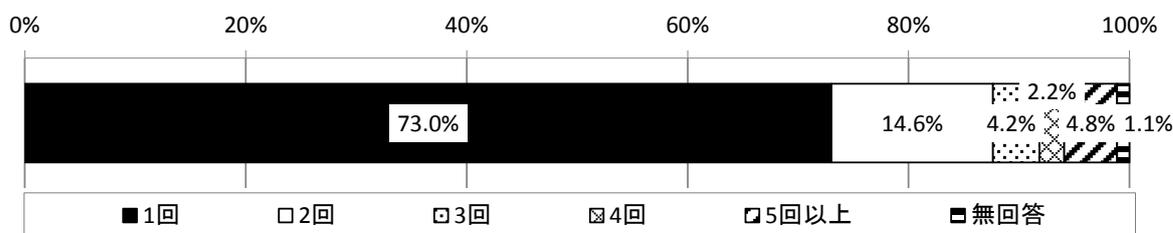
往診した場合の往診回数は、「1 回」が 58.9%、「2 回」は 27.7%で、「3 回」は 3.5%であった。平均は 1.6 回であった。

訪問診療した場合の訪問診療回数は、「1 回」が 79.8%、「2 回」は 15.3%で、「4 回」は 0.8%であった。平均は 1.2 回であった。

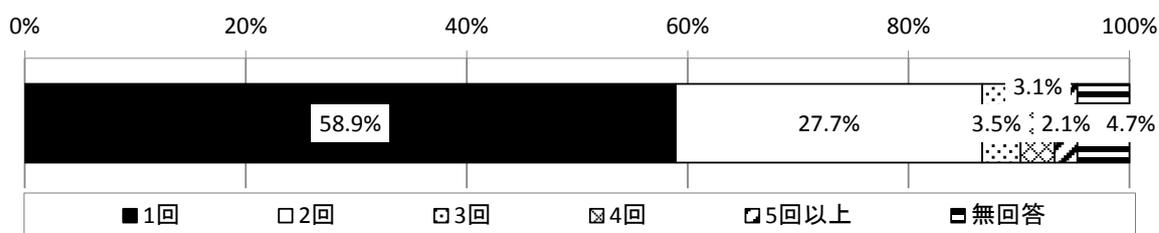
図表 2-387 入院前 2 週間の受診状況（複数回答）（n=1,678）



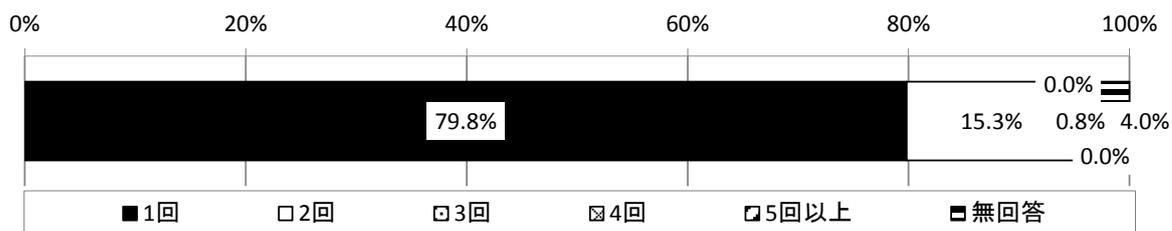
図表 2-388 通院した場合：通院回数（n=356）



図表 2-389 往診した場合：往診回数（n=487）



図表 2-390 訪問診療した場合：訪問診療回数（n=124）



図表 2-391 通院・往診・訪問診療の実施回数

(単位：回)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
通院回数	352	1.6	1.2	1.0	8	1
往診回数	464	1.6	1.1	1.0	11	1
訪問診療の回数	119	1.2	0.5	1.0	4	1

注) 実施が1回以上あった場合に集計対象とした。

図表 2-392 入院理由別 入院前2週間の受診状況

	合計	入院した	通院した	往診を受けた	訪問診療を受けた	無回答
全体	1,678 100.0%	99 5.9%	356 21.2%	487 29.0%	124 7.4%	687 40.9%
肺炎の治療	601 100.0%	43 7.2%	101 16.8%	181 30.1%	51 8.5%	258 42.9%
転倒骨折の治療	90 100.0%	1 1.1%	17 18.9%	27 30.0%	6 6.7%	40 44.4%
認知症の精神症状の悪化	16 100.0%	1 6.3%	8 50.0%	2 12.5%	2 12.5%	3 18.8%
その他の状態の急変	232 100.0%	16 6.9%	42 18.1%	67 28.9%	14 6.0%	105 45.3%
胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置	43 100.0%	3 7.0%	11 25.6%	10 23.3%	3 7.0%	18 41.9%
検査のため	84 100.0%	6 7.1%	20 23.8%	27 32.1%	6 7.1%	30 35.7%
その他	696 100.0%	37 5.3%	181 26.0%	199 28.6%	47 6.8%	264 37.9%

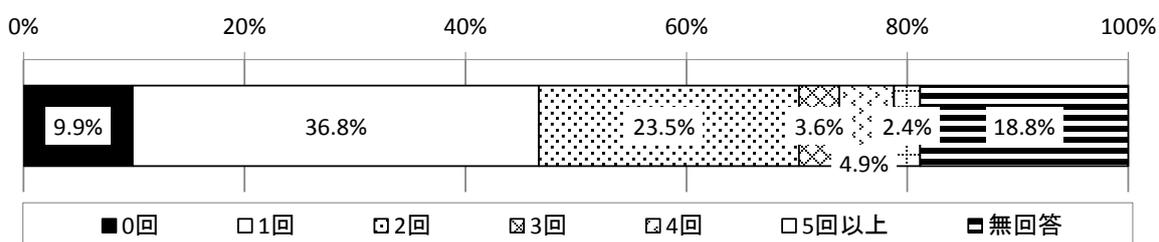
⑥ 入院前2週間の配置医による診察回数

入院前2週間の配置医による診察回数は、「1回」が36.8%、「2回」は23.5%で、「0回」は9.9%であった。

「入院前2週間の配置医による診察回数」は平均1.6回で、うち「退院して施設に戻った」回数は平均1.6回であった。

「入院前2週間の配置医による診察」の実施率は71.3%で、うち「退院して施設に戻った」割合は70.8%であった。

図表 2-393 入院前2週間の配置医による診察回数 (n=1,678)



図表 2-394 入院前2週間の配置医による診察回数

(単位：回)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
入院前2週間の配置医による診察回数	1,362	1.6	1.3	1.0	11	0
（うち）退院して施設に戻った	1,002	1.6	1.3	1.0	11	0

図表 2-395 入院前2週間の配置医による診察実施率

	件数 (対象者数)	1回以上 実施	実施率
入院前2週間の配置医による診察	1,678	1,196	71.3%
（うち）退院して施設に戻った	1,236	875	70.8%

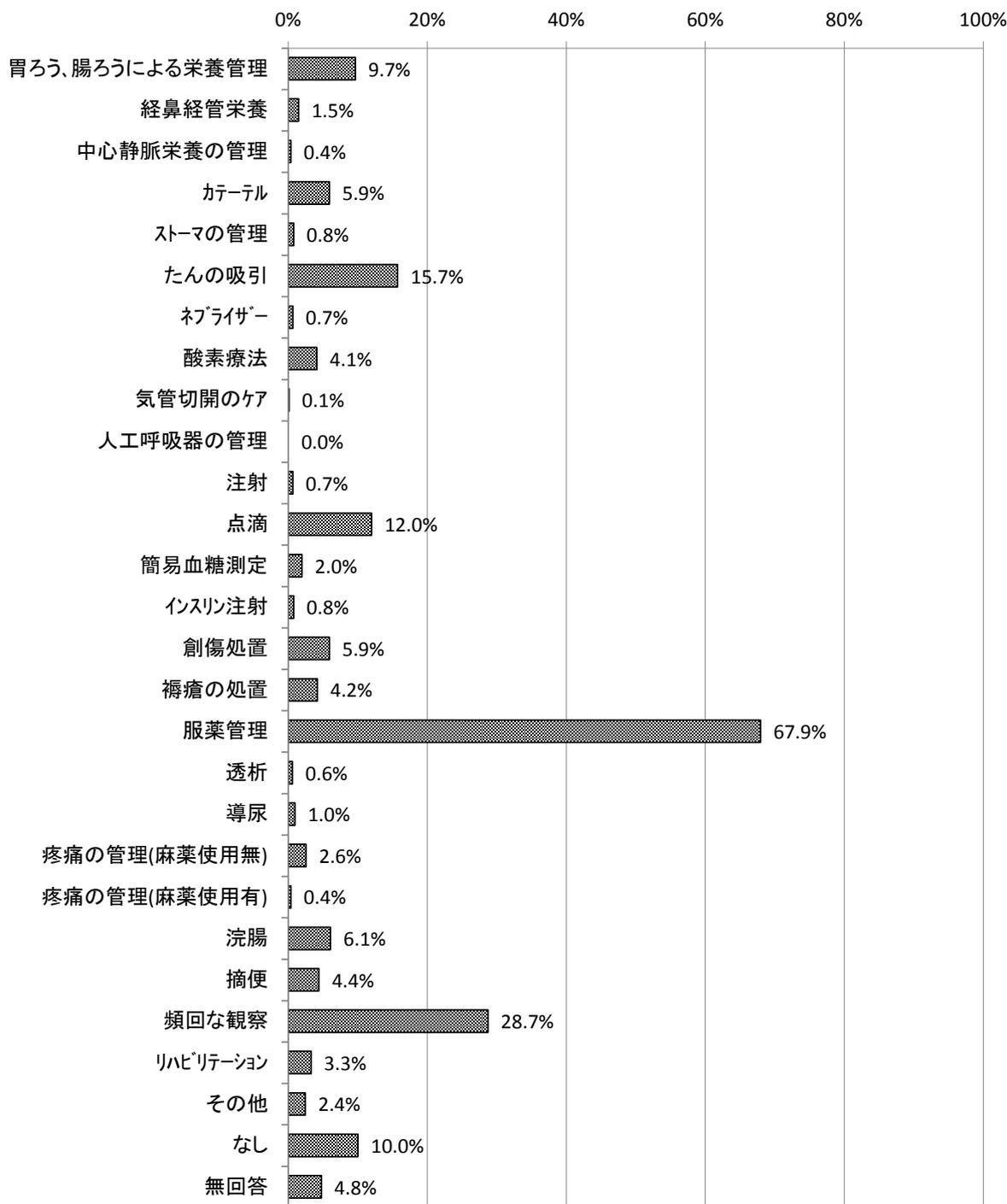
図表 2-396 入院理由別 入院前2週間の配置医による診察回数

	合計	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
全体	1,678 100.0%	166 9.9%	617 36.8%	395 23.5%	61 3.6%	83 4.9%	40 2.4%	316 18.8%
肺炎の治療	601 100.0%	51 8.5%	216 35.9%	146 24.3%	30 5.0%	36 6.0%	11 1.8%	111 18.5%
転倒骨折の治療	90 100.0%	11 12.2%	35 38.9%	22 24.4%	1 1.1%	5 5.6%	1 1.1%	15 16.7%
認知症の精神症状の悪化	16 100.0%	5 31.3%	4 25.0%	5 31.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	1 6.3%
その他の状態の急変	232 100.0%	18 7.8%	80 34.5%	55 23.7%	9 3.9%	11 4.7%	6 2.6%	53 22.8%
胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置	43 100.0%	3 7.0%	17 39.5%	8 18.6%	2 4.7%	4 9.3%	0 0.0%	9 20.9%
検査のため	84 100.0%	4 4.8%	30 35.7%	22 26.2%	6 7.1%	6 7.1%	5 6.0%	11 13.1%
その他	696 100.0%	78 11.2%	261 37.5%	165 23.7%	21 3.0%	28 4.0%	17 2.4%	126 18.1%

⑦ 入院前2週間に実施した医療的ケア等

医療的ケア等の実施状況について、「服薬管理」が67.9%、「頻回な観察」が28.7%、「たんの吸引」が15.7%、「点滴」が12.0%、「胃ろう、腸ろうによる栄養管理」が9.7%、「浣腸」が6.1%、「創傷処置」が5.9%、「カテーテル」が5.9%であった。

図表 2-397 医療的ケア等の実施状況（入院前2週間）（複数回答）（n=1,678）



注) 本調査における「服薬管理」は、服薬状況の確認や服薬の介助等を指す。

図表 2-398 入院理由別 医療的ケア等の実施状況（入院前2週間）

	合計	胃ろう、腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養の管理	カテーテル	ストーマの管理	たんの吸引	ネブライザー
全体	1,678 100.0%	162 9.7%	25 1.5%	6 0.4%	99 5.9%	13 0.8%	264 15.7%	11 0.7%
肺炎の治療	601 100.0%	81 13.5%	15 2.5%	3 0.5%	36 6.0%	2 0.3%	180 30.0%	5 0.8%
転倒骨折の治療	90 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	3 3.3%	0 0.0%
認知症の精神症状の悪化	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他の状態の急変	232 100.0%	16 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	13 5.6%	0 0.0%	27 11.6%	0 0.0%
胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置	43 100.0%	16 37.2%	3 7.0%	2 4.7%	3 7.0%	0 0.0%	12 27.9%	1 2.3%
検査のため	84 100.0%	5 6.0%	1 1.2%	0 0.0%	1 1.2%	2 2.4%	5 6.0%	0 0.0%
その他	696 100.0%	54 7.8%	9 1.3%	1 0.1%	48 6.9%	9 1.3%	62 8.9%	5 0.7%

	合計	酸素療法	気管切開のケア	人工呼吸器の管理	注射	点滴	簡易血糖測定	インスリン注射
全体	1,678 100.0%	69 4.1%	2 0.1%	0 0.0%	11 0.7%	201 12.0%	33 2.0%	13 0.8%
肺炎の治療	601 100.0%	45 7.5%	0 0.0%	0 0.0%	5 0.8%	100 16.6%	4 0.7%	2 0.3%
転倒骨折の治療	90 100.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%	1 1.1%
認知症の精神症状の悪化	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他の状態の急変	232 100.0%	15 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 10.8%	6 2.6%	0 0.0%
胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置	43 100.0%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 18.6%	1 2.3%	0 0.0%
検査のため	84 100.0%	3 3.6%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	9 10.7%	4 4.8%	1 1.2%
その他	696 100.0%	9 1.3%	1 0.1%	0 0.0%	6 0.9%	68 9.8%	19 2.7%	10 1.4%

1 病院・診療所への入院者の状況

(続き)

	合計	創傷処置	褥瘡の処置	服薬管理	透析	導尿	疼痛の管理 (麻薬使用無)	疼痛の管理 (麻薬使用有)
全体	1,678 100.0%	99 5.9%	70 4.2%	1140 67.9%	10 0.6%	16 1.0%	43 2.6%	6 0.4%
肺炎の治療	601 100.0%	25 4.2%	20 3.3%	420 69.9%	1 0.2%	3 0.5%	6 1.0%	2 0.3%
転倒骨折の治療	90 100.0%	4 4.4%	1 1.1%	48 53.3%	1 1.1%	0 0.0%	7 7.8%	1 1.1%
認知症の精神症状の悪化	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他の状態の急変	232 100.0%	14 6.0%	10 4.3%	159 68.5%	1 0.4%	2 0.9%	9 3.9%	1 0.4%
胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置	43 100.0%	3 7.0%	1 2.3%	23 53.5%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%
検査のため	84 100.0%	4 4.8%	1 1.2%	55 65.5%	0 0.0%	1 1.2%	4 4.8%	1 1.2%
その他	696 100.0%	52 7.5%	40 5.7%	483 69.4%	7 1.0%	9 1.3%	22 3.2%	1 0.1%

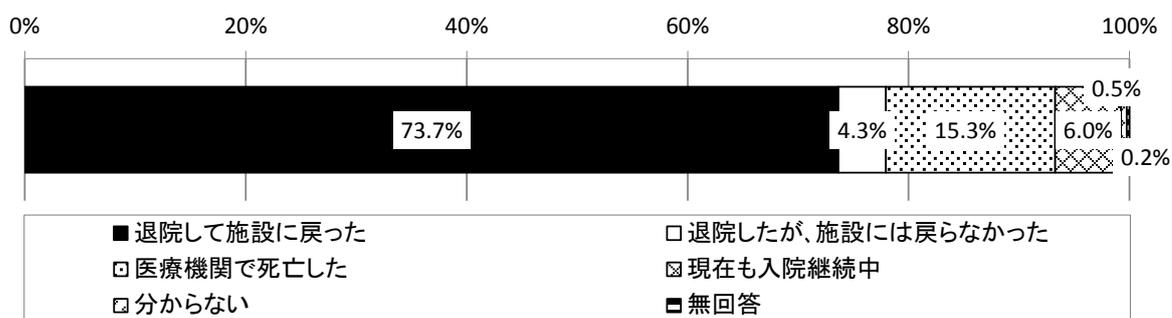
	合計	浣腸	排便	頻回な観察	リハビリテーション	その他	なし	無回答
全体	1,678 100.0%	102 6.1%	74 4.4%	482 28.7%	55 3.3%	41 2.4%	168 10.0%	80 4.8%
肺炎の治療	601 100.0%	51 8.5%	29 4.8%	207 34.4%	20 3.3%	11 1.8%	42 7.0%	31 5.2%
転倒骨折の治療	90 100.0%	4 4.4%	2 2.2%	14 15.6%	4 4.4%	1 1.1%	20 22.2%	10 11.1%
認知症の精神症状の悪化	16 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 37.5%	1 6.3%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%
その他の状態の急変	232 100.0%	15 6.5%	15 6.5%	67 28.9%	8 3.4%	8 3.4%	24 10.3%	8 3.4%
胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置	43 100.0%	3 7.0%	2 4.7%	11 25.6%	1 2.3%	0 0.0%	2 4.7%	0 0.0%
検査のため	84 100.0%	1 1.2%	2 2.4%	30 35.7%	4 4.8%	0 0.0%	9 10.7%	3 3.6%
その他	696 100.0%	35 5.0%	31 4.5%	191 27.4%	18 2.6%	25 3.6%	75 10.8%	29 4.2%

### (3) 退院等の状況

#### ① 退院直後の状況

退院直後の状況は、「退院して施設に戻った」が73.7%、「医療機関で死亡した」が15.3%、「現在も入院継続中」が6.0%、「退院したが、施設には戻らなかった」が4.3%であった。

図表 2-399 退院直後の状況 (n=1,678)



図表 2-400 入院先別 退院直後の状況

	合計	退院して施設に戻った	退院したが、施設には戻らなかった	医療機関で死亡した	現在も入院継続中	分からない	無回答
全体	1,678 100.0%	1,236 73.7%	72 4.3%	257 15.3%	100 6.0%	9 0.5%	4 0.2%
急性期病床	1,507 100.0%	1,119 74.3%	71 4.7%	227 15.1%	77 5.1%	9 0.6%	4 0.3%
地域包括ケア病棟	6 100.0%	5 83.3%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
医療療養病床	90 100.0%	60 66.7%	1 1.1%	15 16.7%	14 15.6%	0 0.0%	0 0.0%
介護療養病床	5 100.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神科の病床	32 100.0%	22 68.8%	0 0.0%	4 12.5%	6 18.8%	0 0.0%	0 0.0%
その他の病床	22 100.0%	18 81.8%	0 0.0%	4 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

図表 2-401 入院理由別 退院直後の状況

	合計	退院して施設に戻った	退院したが、施設には戻らなかった	医療機関で死亡した	現在も入院継続中	分からない	無回答
全体	1,678 100.0%	1,236 73.7%	72 4.3%	257 15.3%	100 6.0%	9 0.5%	4 0.2%
肺炎の治療	601 100.0%	414 68.9%	37 6.2%	108 18.0%	33 5.5%	6 1.0%	3 0.5%
転倒骨折の治療	90 100.0%	83 92.2%	2 2.2%	4 4.4%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%
認知症の精神症状の悪化	16 100.0%	11 68.8%	0 0.0%	2 12.5%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%
その他の状態の急変	232 100.0%	153 65.9%	13 5.6%	47 20.3%	17 7.3%	1 0.4%	1 0.4%
胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置	43 100.0%	39 90.7%	0 0.0%	3 7.0%	1 2.3%	0 0.0%	0 0.0%
検査のため	84 100.0%	62 73.8%	1 1.2%	18 21.4%	3 3.6%	0 0.0%	0 0.0%
その他	696 100.0%	529 76.0%	22 3.2%	94 13.5%	47 6.8%	4 0.6%	0 0.0%

図表 2-402 (入院前の状況) ターミナル期かどうか別 退院直後の状況

	合計	退院して施設に戻った	退院したが、施設には戻らなかった	医療機関で死亡した	現在も入院継続中	分からない	無回答
全体	1,678 100.0%	1,236 73.7%	72 4.3%	257 15.3%	100 6.0%	9 0.5%	4 0.2%
はい	74 100.0%	35 47.3%	2 2.7%	31 41.9%	5 6.8%	1 1.4%	0 0.0%
いいえ	1,585 100.0%	1,187 74.9%	69 4.4%	223 14.1%	95 6.0%	7 0.4%	4 0.3%

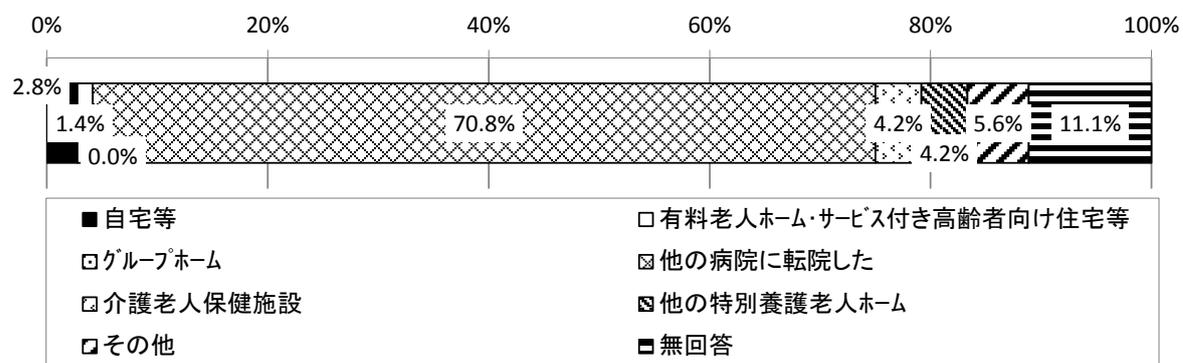
図表 2-403 入院先への入所者の情報提供を行った職員別 退院直後の状況

	合計	退院して施設に戻った	退院したが、施設には戻らなかった	医療機関で死亡した	現在も入院継続中	分からない	無回答
全体	1,678 100.0%	1,236 73.7%	72 4.3%	257 15.3%	100 6.0%	9 0.5%	4 0.2%
医師	523 100.0%	393 75.1%	25 4.8%	73 14.0%	28 5.4%	3 0.6%	1 0.2%
看護職員	1,589 100.0%	1,168 73.5%	68 4.3%	247 15.5%	93 5.9%	9 0.6%	4 0.3%
介護職員	213 100.0%	159 74.6%	4 1.9%	31 14.6%	15 7.0%	2 0.9%	2 0.9%
生活相談員	274 100.0%	196 71.5%	9 3.3%	45 16.4%	21 7.7%	2 0.7%	1 0.4%
その他	45 100.0%	35 77.8%	2 4.4%	6 13.3%	1 2.2%	1 2.2%	0 0.0%
特に行わなかった	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

1) 退院したが施設に戻らなかった場合の行き先

「退院したが施設に戻らなかった」場合の行き先は、「他の病院に転院した」が70.8%、「介護老人保健施設」が4.2%、「他の特別養護老人ホーム」が4.2%であった。

図表 2 -404 施設以外への退院の場合の退院先 (n=72)



②（医療機関で死亡した場合のみ）入院～死亡までの入院期間

死亡までの入院期間は、平均で 30.3 日間であった。

入院～死亡までの入院期間は、「0 日～10 日」が 22.6%であった。

図表 2-405 入院～死亡までの入院期間（日数）

（単位：日）

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
入院日～死亡日	190	30.3	27.9	20.5	115	0

図表 2-406 入院～死亡までの入院期間（n=257）

入院期間	施設数	構成比
0～10 日	58	22.6%
11 日～40 日	73	28.4%
41 日以上	59	23.0%
無回答	67	26.1%
全体	257	100.0%

(以下は、退院して施設に戻った場合の回答である。)

③ 退院日までの入院期間

退院日までの入院期間は、平均で 22.6 日間であった。

入院～施設への退院までの入院期間について、「0 日～10 日」が 23.9%であった。

図表 2-407 入院～施設への退院までの入院期間

(単位：日)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
入院日～退院日	1,198	22.6	18.8	17.0	114	0

図表 2-408 入院～施設への退院までの入院期間 (n=1,236)

入院期間	施設数	構成比
0～10 日	295	23.9%
11 日～40 日	733	59.3%
41 日以上	170	13.8%
無回答	38	3.1%
全体	1,236	100.0%

図表 2-409 (施設票) 施設のリハビリ職員の有無別 入院～施設への退院までの入院期間

(単位：日)

	件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
入院日～退院日	1,198	22.6	18.8	17.0	114	0
リハビリ職員あり	363	22.6	17.9	17.0	103	0
リハビリ職員なし	693	22.5	18.9	17.0	114	0

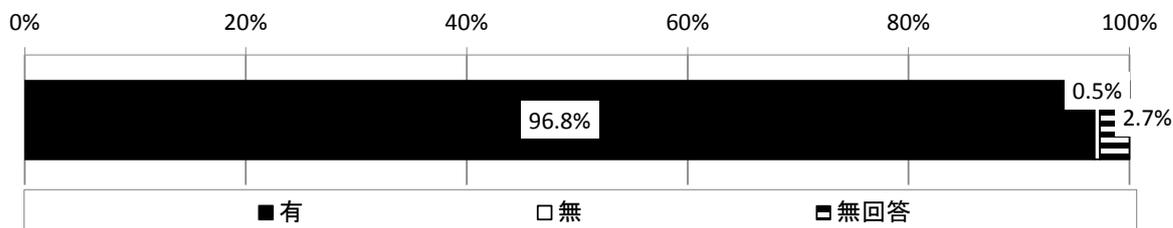
図表 2-410 (施設票) 施設のリハビリ職員の有無別 入院～施設への退院までの入院期間

	合計	0～10 日	11～40 日	41 日以上	無回答
全体	1,236 100.0%	295 23.9%	733 59.3%	170 13.8%	38 3.1%
リハビリ職員あり	377 100.0%	97 25.7%	209 55.4%	57 15.1%	14 3.7%
リハビリ職員なし	709 100.0%	165 23.3%	433 61.1%	95 13.4%	16 2.3%

④ 医療機関からの情報提供の有無とその方法

医療機関からの情報提供の有無についてたずねたところ、「有」が96.8%であった。

図表 2-411 医療機関からの情報提供の有無 (n=1,236)

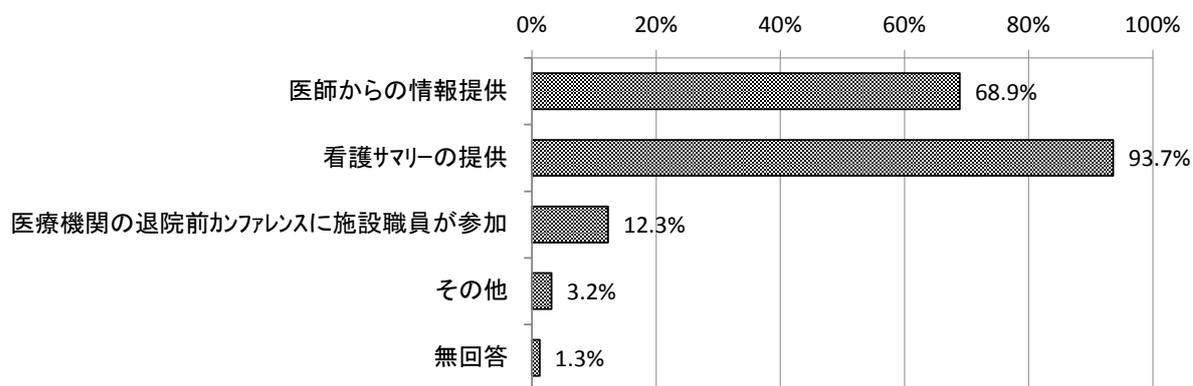


1) 医療機関からの情報提供の有の場合の提供方法

医療機関からの情報提供が「有」と答えた入所者について、その方法をたずねたところ、「看護サマリーの提供」が93.7%、「医師からの情報提供」が68.9%、「医療機関の退院前カンファレンスに施設職員が参加」が12.3%であった。

図表 2-412 (医療機関からの情報提供があった場合)

医療機関からの情報提供の方法 (複数回答) (n=1,197)



※「その他」の内容は、「リハビリサマリー」などであった。

⑤ 退院後 2 週間の配置医による診察回数

退院後 2 週間の配置医による診察回数は、平均で 1.6 回であった。

退院後 2 週間の配置医による診察回数は、「1 回」が 42.0%、「2 回」は 29.2%で、「0 回」は 10.0%であった。

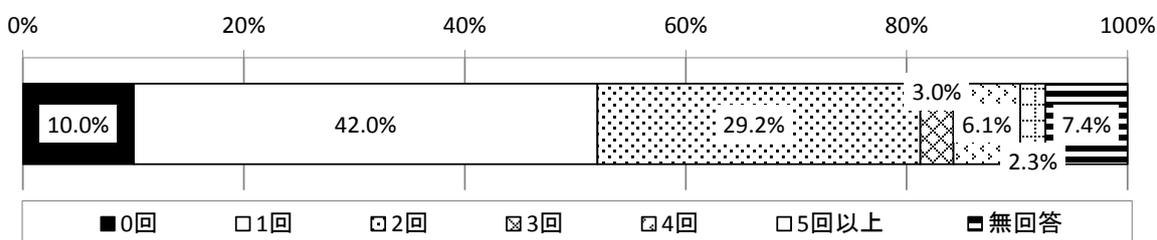
退院後 2 週間の配置医による診察の実施率は 82.5%であった。

図表 2-413 退院後 2 週間の配置医による診察回数

(単位：回)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
退院後 2 週間の配置医による診察回数	1,144	1.6	1.3	1.0	11	0

図表 2-414 退院後 2 週間の配置医による診察回数 (n=1,236)



図表 2-415 退院後 2 週間の配置医による診察実施率

	件数(対象者数)	1 回以上実施	実施率
退院後 2 週間の配置医による診察	1,236	1,020	82.5%

図表 2-416 入院理由別 退院後 2 週間の配置医による診察回数

	合計	0 回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回以上	無回答
全体	1,236 100.0%	124 10.0%	519 42.0%	361 29.2%	37 3.0%	75 6.1%	28 2.3%	92 7.4%
肺炎の治療	414 100.0%	39 9.4%	168 40.6%	114 27.5%	15 3.6%	27 6.5%	7 1.7%	44 10.6%
転倒骨折の治療	83 100.0%	2 2.4%	38 45.8%	27 32.5%	2 2.4%	5 6.0%	3 3.6%	6 7.2%
認知症の精神症状の悪化	11 100.0%	1 9.1%	4 36.4%	3 27.3%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%
その他の状態の急変	153 100.0%	15 9.8%	66 43.1%	48 31.4%	6 3.9%	12 7.8%	3 2.0%	3 2.0%
胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置	39 100.0%	5 12.8%	16 41.0%	10 25.6%	1 2.6%	4 10.3%	0 0.0%	3 7.7%
検査のため	62 100.0%	5 8.1%	25 40.3%	18 29.0%	3 4.8%	7 11.3%	2 3.2%	2 3.2%
その他	529 100.0%	60 11.3%	224 42.3%	155 29.3%	12 2.3%	27 5.1%	12 2.3%	39 7.4%

⑥ 退院後2週間の受診状況

退院後2週間の受診状況は、「往診を受けた」が27.0%、「通院した」が14.4%、「訪問診療を受けた」が7.9%であった。

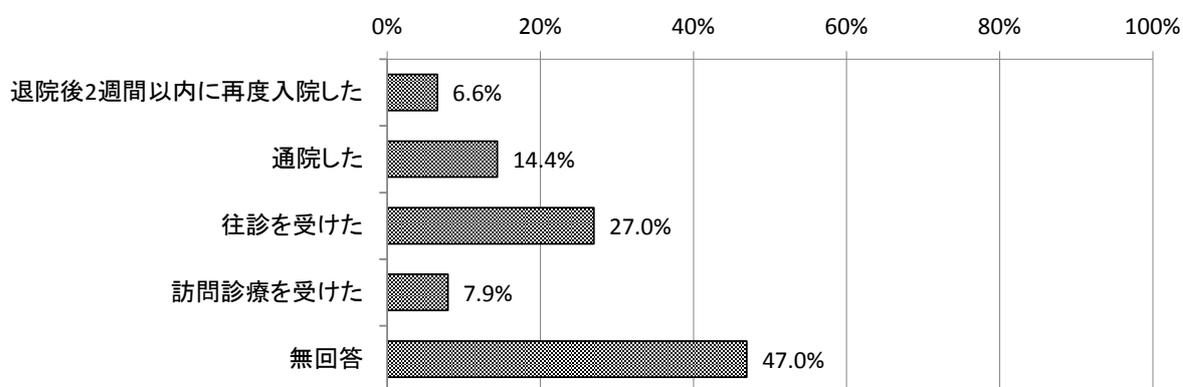
退院後2週間の通院回数は、「1回」が81.5%、「2回」は11.2%であった。

退院後2週間の往診回数は、「1回」が56.9%、「2回」は29.6%で、「4回」は4.2%であった。

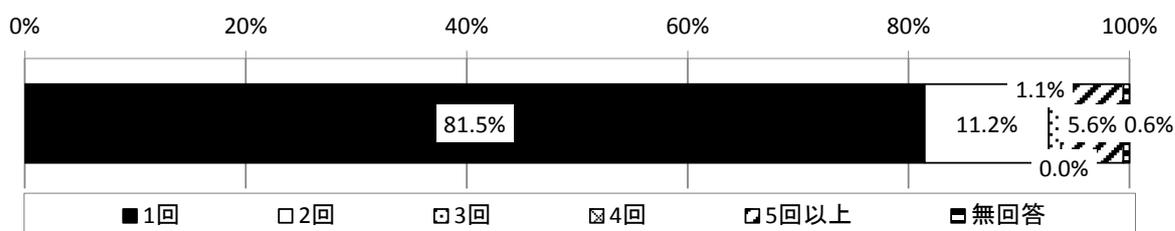
退院後2週間の訪問診療の回数は、「1回」が74.5%、「2回」は24.5%であった。

退院後2週間の通院・往診・訪問診療の回数について、通院回数は平均1.5回、往診回数は平均1.6回、訪問診療の回数は平均1.2回であった。

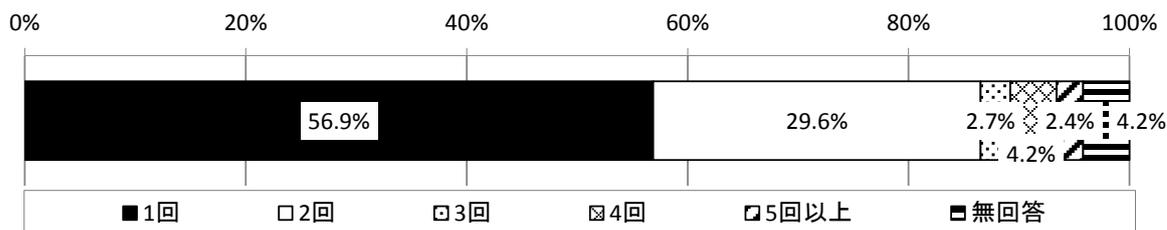
図表 2-417 退院後2週間の受診状況（複数回答）（n=1,236）



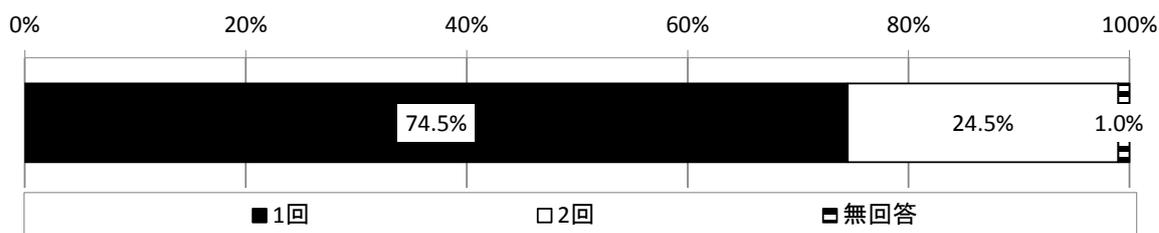
図表 2-418 退院22週間の通院回数（n=178）



図表 2-419 退院後 2 週間の往診回数 (n=334)



図表 2-420 退院後 2 週間の訪問診療の回数 (n=98)



図表 2-421 退院後 2 週間の通院・往診・訪問診療の回数

(単位：回)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
通院回数	177	1.5	1.5	1.0	14	1
往診回数	320	1.6	1.2	1.0	11	1
訪問診療の回数	97	1.2	0.4	1.0	2	1

図表 2-422 入院理由別 退院後 2 週間の受診状況

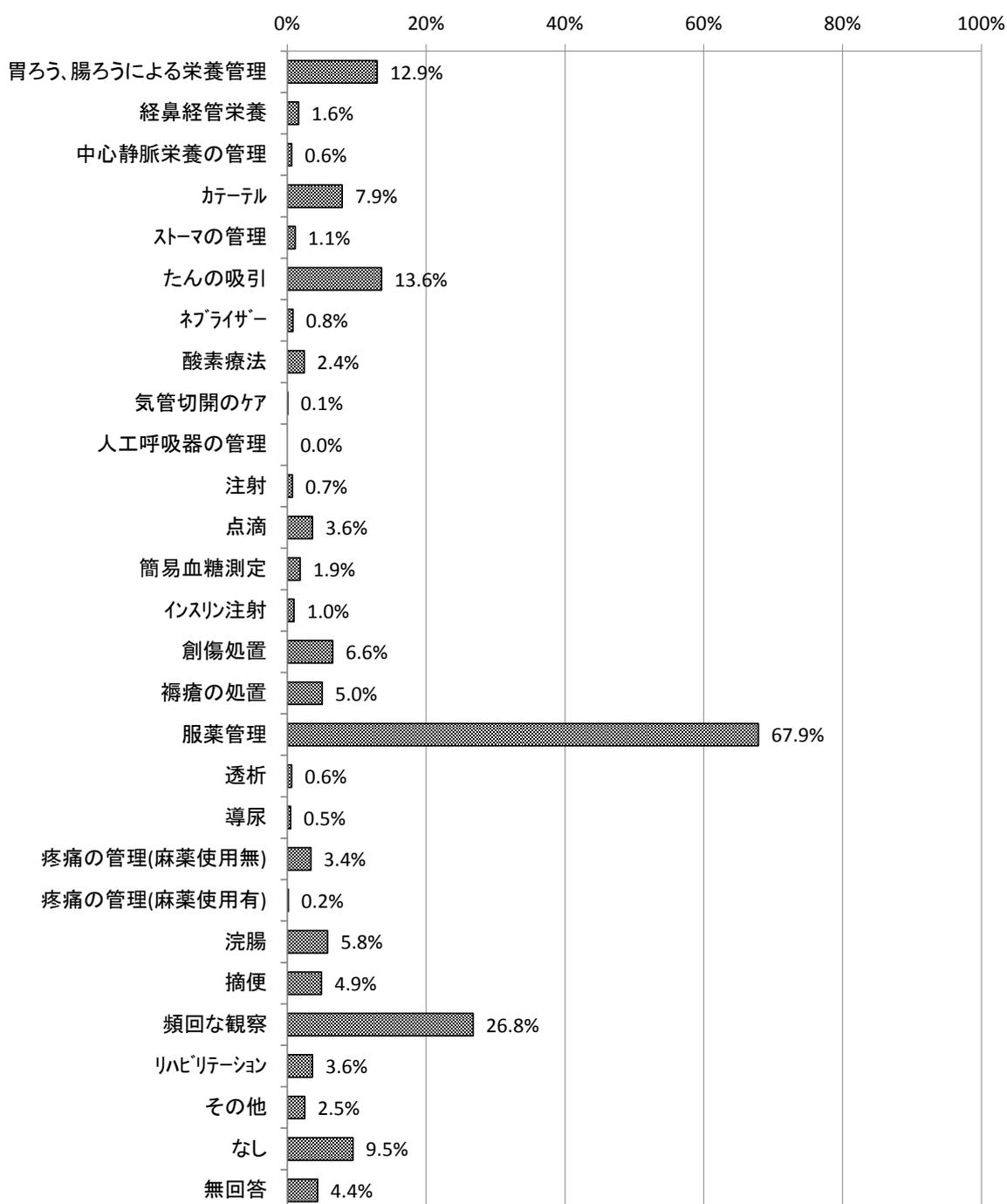
	合計	退院後 2 週間以内に再度入院した	通院した	往診を受けた	訪問診療を受けた	無回答
全体	1,236 100.0%	81 6.6%	178 14.4%	334 27.0%	98 7.9%	581 47.0%
肺炎の治療	414 100.0%	35 8.5%	40 9.7%	115 27.8%	35 8.5%	202 48.8%
転倒骨折の治療	83 100.0%	6 7.2%	14 16.9%	24 28.9%	6 7.2%	36 43.4%
認知症の精神症状の悪化	11 100.0%	1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	4 36.4%
その他の状態の急変	153 100.0%	10 6.5%	24 15.7%	37 24.2%	12 7.8%	78 51.0%
胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置	39 100.0%	2 5.1%	3 7.7%	12 30.8%	2 5.1%	21 53.8%
検査のため	62 100.0%	1 1.6%	9 14.5%	13 21.0%	5 8.1%	34 54.8%
その他	529 100.0%	29 5.5%	91 17.2%	141 26.7%	41 7.8%	242 45.7%

⑦ 退院後2週間に実施した医療的ケア

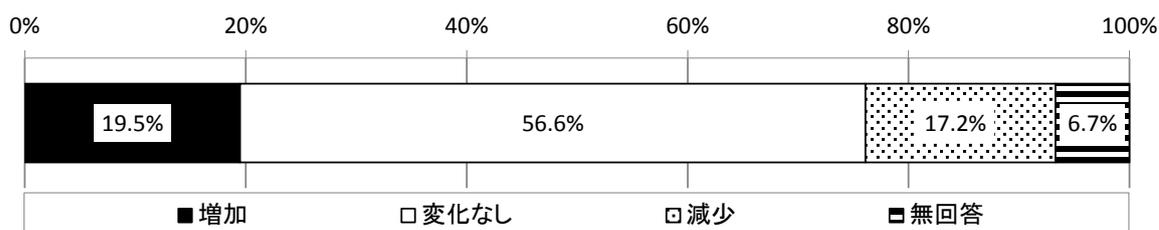
退院後2週間に実施した医療的ケアは、「服薬管理」が67.9%、「頻回な観察」が26.8%、「たんの吸引」が13.6%、「胃ろう、腸ろうによる栄養管理」が12.9%、「カテーテル」が7.9%、「創傷処置」が6.6%、「浣腸」が5.8%、「褥瘡の処置」が5.0%であった。「点滴」は3.6%であった。

入院前との比較については、「変化なし」が56.6%、「増加」は19.5%で、「減少」は17.2%であった。

図表 2-423 退院後2週間に実施した医療的ケア（複数回答）（n=1,236）



図表 2-424 入院前と比較（医療的ケアの選択項目数）（n=1,236）



図表 2-425 入院前と退院後の比較（実施した医療的ケア）（複数回答）

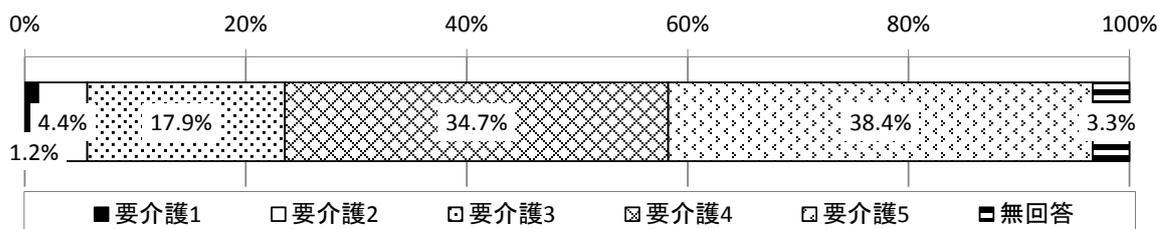
No.	実施した医療的ケア	入院前		退院後	
		件数	実施率	件数	実施率
1	胃ろう、腸ろうによる栄養管理	128	10.4%	160	12.9%
2	経鼻経管栄養	17	1.4%	20	1.6%
3	中心静脈栄養の管理	5	0.4%	8	0.6%
4	カテーテル	78	6.3%	98	7.9%
5	ストーマの管理	11	0.9%	14	1.1%
6	たんの吸引	165	13.3%	168	13.6%
7	ネブライザー	11	0.9%	10	0.8%
8	酸素療法	38	3.1%	30	2.4%
9	気管切開のケア	1	0.1%	1	0.1%
10	人工呼吸器の管理	0	0.0%	0	0.0%
11	注射	8	0.6%	9	0.7%
12	点滴	128	10.4%	45	3.6%
13	簡易血糖測定	24	1.9%	23	1.9%
14	インスリン注射	11	0.9%	12	1.0%
15	創傷処置	70	5.7%	81	6.6%
16	褥瘡の処置	52	4.2%	62	5.0%
17	服薬管理	832	67.3%	839	67.9%
18	透析	8	0.6%	8	0.6%
19	導尿	10	0.8%	6	0.5%
20	疼痛の管理(麻薬使用無)	36	2.9%	42	3.4%
21	疼痛の管理(麻薬使用有)	5	0.4%	2	0.2%
22	浣腸	75	6.1%	72	5.8%
23	排便	55	4.4%	61	4.9%
24	頻回な観察	318	25.7%	331	26.8%
25	リハビリテーション	42	3.4%	45	3.6%
26	その他	29	2.3%	31	2.5%
27	なし	138	11.2%	117	9.5%
	無回答	58	4.7%	54	4.4%
	全体	1,236	100.0%	1,236	100.0%

⑧ 要介護度

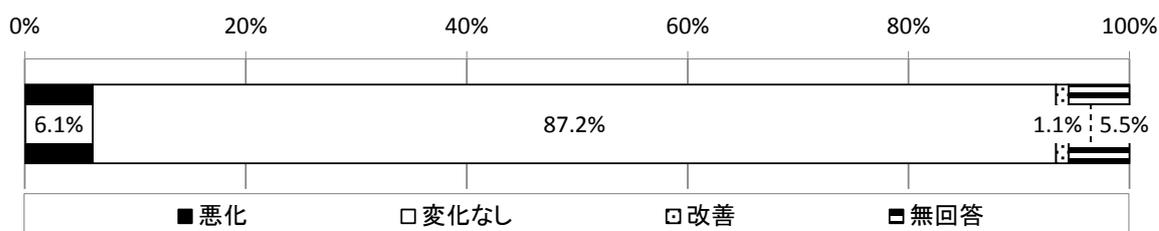
退院後の要介護度は、「要介護1」が1.2%、「要介護2」が4.4%、「要介護3」が17.9%、「要介護4」が34.7%、「要介護5」が38.4%であった。

入院前との比較については、「変化なし」が87.2%、「悪化」は6.1%で、「改善」は1.1%であった。

図表 2-426 退院後の要介護度 (n=1,236)



図表 2-427 入院前と比較 (要介護度) (n=1,236)



図表 2-428 入院～施設への退院までの入院期間別 入院前と比較

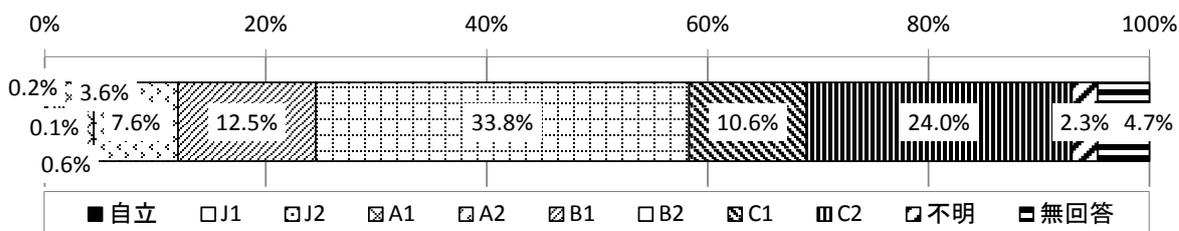
	合計	悪化	変化なし	改善	無回答
全体	1,236 100.0%	76 6.1%	1,078 87.2%	14 1.1%	68 5.5%
0～10日	295 100.0%	18 6.1%	254 86.1%	0 0.0%	23 7.8%
11～40日	733 100.0%	40 5.5%	648 88.4%	8 1.1%	37 5.0%
41日以上	170 100.0%	17 10.0%	146 85.9%	3 1.8%	4 2.4%

⑨ 障害高齢者の日常生活自立度

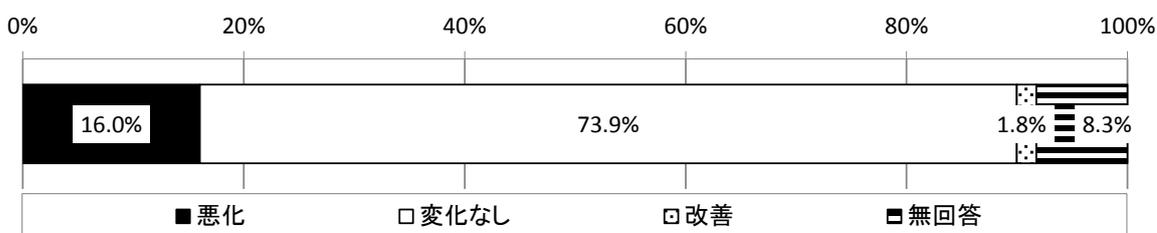
退院直後の障害高齢者日常生活自立度は、「B2」が 33.8%、「C2」が 24.0%であった。

入院前との比較については、「変化なし」が 73.9%、「悪化」は 16.0%で、「改善」は 1.8%であった。

図表 2-429 退院直後の障害高齢者の日常生活自立度 (n=1,236)



図表 2-430 入院前と比較 (障害高齢者の日常生活自立度) (n=1,236)



図表 2-431 入院～施設への退院までの入院期間別別 入院前と比較

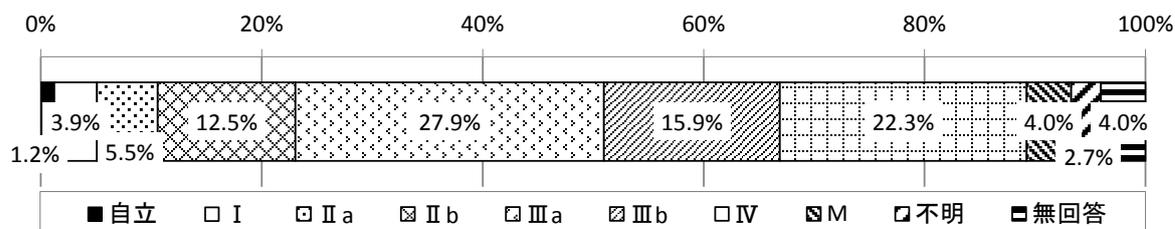
	合計	悪化	変化なし	改善	無回答
全体	1,236	198	914	22	102
	100.0%	16.0%	73.9%	1.8%	8.3%
0～10日	295	26	234	5	30
	100.0%	8.8%	79.3%	1.7%	10.2%
11～40日	733	116	553	11	53
	100.0%	15.8%	75.4%	1.5%	7.2%
41日以上	170	46	110	3	11
	100.0%	27.1%	64.7%	1.8%	6.5%

⑩ 認知症高齢者の日常生活自立度

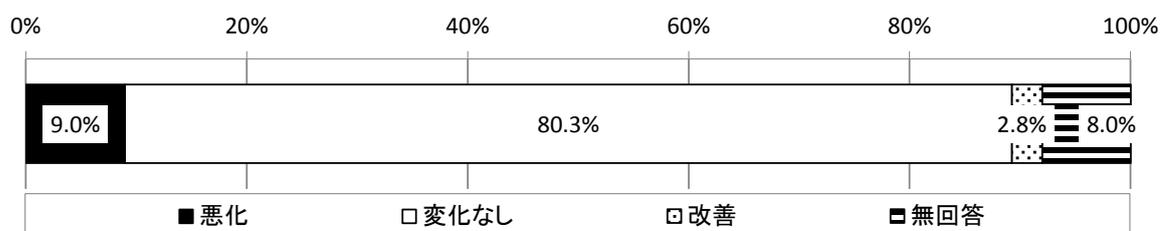
退院直後の認知症高齢者の日常生活自立度は、「Ⅲ a」が 27.9%、「Ⅳ」が 22.3%、「Ⅲ b」が 15.9%であった。「Ⅲ以上」が 70.2%であった。

入院前との比較については、「変化なし」が 80.3%、「悪化」は 9.0%で、「改善」は 2.8%であった。

図表 2-432 退院直後の認知症高齢者の日常生活自立度 (n=1,236)



図表 2-433 入院前と比較 (認知症高齢者の日常生活自立度) (n=1,236)



図表 2-434 入院～施設への退院までの入院期間別別 入院前と比較

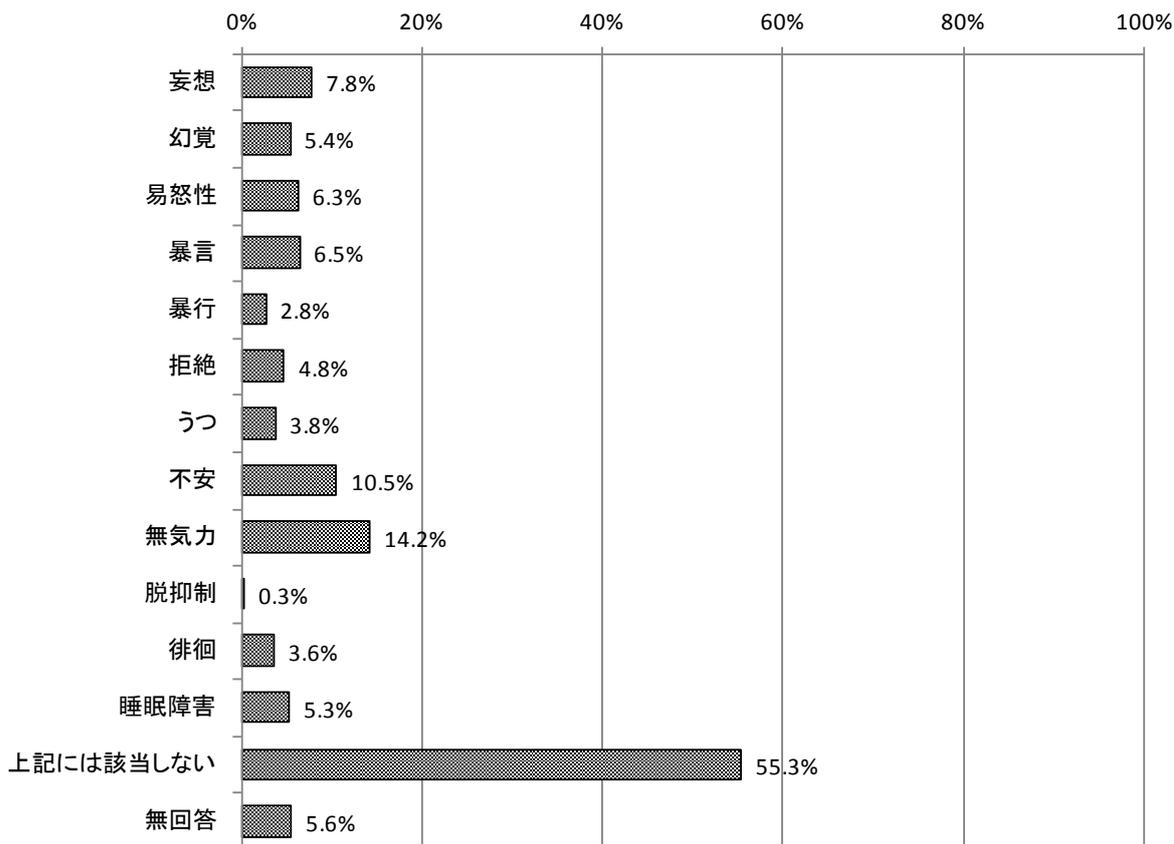
	合計	悪化	変化なし	改善	無回答
全体	1,236 100.0%	111 9.0%	992 80.3%	34 2.8%	99 8.0%
0～10日	295 100.0%	13 4.4%	247 83.7%	7 2.4%	28 9.5%
11～40日	733 100.0%	69 9.4%	594 81.0%	20 2.7%	50 6.8%
41日以上	170 100.0%	24 14.1%	127 74.7%	6 3.5%	13 7.6%

⑪ 行動・心理症状

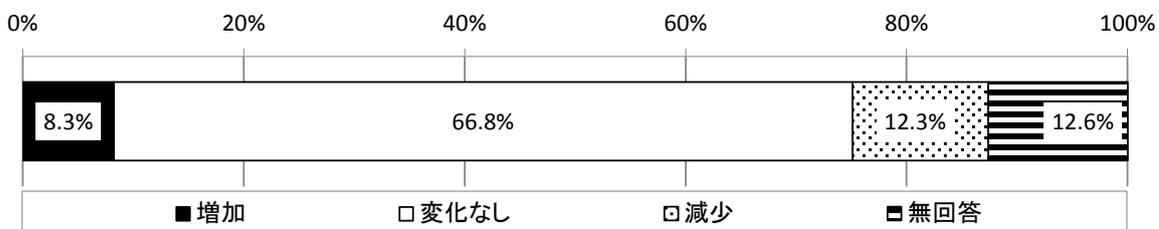
退院直後の行動・心理症状は、「無気力」が 14.2%、「不安」が 10.5%、「妄想」が 7.8%であった。

入院前との比較については、「変化なし」が 66.8%、「減少」は 12.3%で、「増加」は 8.3%であった。

図表 2-435 退院直後の行動・心理症状 (n=1,236)



図表 2-436 入院前（退院して施設に戻ったケース）と退院直後の比較 (行動・心理症状の選択項目数) (n=1,236)



図表 2-437 入院～施設への退院までの入院期間別 入院前と退院直後の比較

	合計	増加	変化なし	減少	無回答
全体	1,236 100.0%	102 8.3%	826 66.8%	152 12.3%	156 12.6%
0～10日	295 100.0%	26 8.8%	205 69.5%	24 8.1%	40 13.6%
11～40日	733 100.0%	62 8.5%	488 66.6%	89 12.1%	94 12.8%
41日以上	170 100.0%	13 7.6%	113 66.5%	30 17.6%	14 8.2%

図表 2-438 入院前（退院して施設に戻ったケース）と退院直後の比較

（行動・心理症状の選択項目）（n=1,236）

No.	行動・心理症状	入院前		退院直後	
		件数	比率	件数	比率
1	妄想	117	9.5%	97	7.8%
2	幻覚	78	6.3%	67	5.4%
3	易怒性	103	8.3%	78	6.3%
4	暴言	89	7.2%	80	6.5%
5	暴行	43	3.5%	34	2.8%
6	拒絶	73	5.9%	59	4.8%
7	うつ	54	4.4%	47	3.8%
8	不安	129	10.4%	130	10.5%
9	無気力	122	9.9%	175	14.2%
10	脱抑制	2	0.2%	4	0.3%
11	徘徊	70	5.7%	45	3.6%
12	睡眠障害	74	6.0%	66	5.3%
13	上記には該当しない	622	50.3%	684	55.3%
	無回答	125	10.1%	69	5.6%
	全体	1,236	100.0%	1,236	100.0%

## 2. 死亡者の状況

平成 28 年 9 月と 10 月に死亡した入所者全員の状況についてたずねたところ、360 施設から、779 人分の回答が得られた。回収数の平均値は 2.2 件であった。

図表 2-439 死亡者票の回収数

	件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
死亡者票の件数	360	779	2.2	1.5	2.0	9	1

図表 2-440 入所定員別 死亡者票の回収数

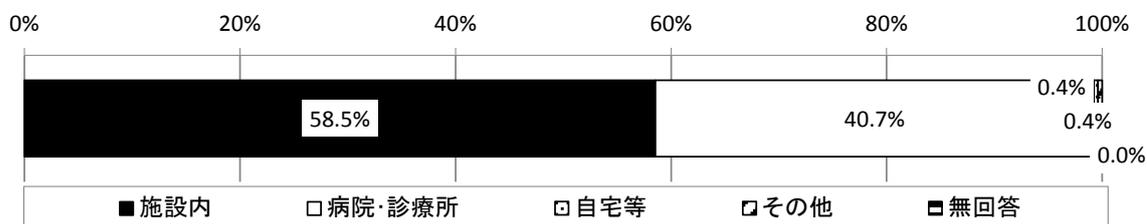
	件数	合計値	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
全体	360	779	2.2	1.5	2.0	9	1
29 人以下	47	65	1.4	0.7	1.0	4	1
30 人以上～60 人未満	122	223	1.8	1.1	2.0	7	1
60 人以上～100 人未満	126	309	2.5	1.6	2.0	9	1
100 人以上	58	168	2.9	1.9	2.0	8	1

## (1) 死亡者の基本情報

## ① 死亡場所

死亡場所は、「施設内」が 58.5%、「病院・診療所」が 40.7%であった。

図表 2-441 死亡場所 (n=779)



図表 2-442 本人の希望別 死亡場所

	合計	施設内	病院・診療所	自宅等	その他	無回答
全体	779 100.0%	456 58.5%	317 40.7%	3 0.4%	3 0.4%	0 0.0%
施設内で亡くなりたい	195 100.0%	148 75.9%	47 24.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
最期は自宅に戻りたい	59 100.0%	29 49.2%	27 45.8%	3 5.1%	0 0.0%	0 0.0%
病院で亡くなりたい	17 100.0%	1 5.9%	16 94.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
迷っていた	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
分からなかった	440 100.0%	241 54.8%	196 44.5%	0 0.0%	3 0.7%	0 0.0%

図表 2-443 身元引受人の希望別 死亡場所

	合計	施設内	病院・診療所	自宅等	その他	無回答
全体	779 100.0%	456 58.5%	317 40.7%	3 0.4%	3 0.4%	0 0.0%
施設内で亡くならせたい	517 100.0%	418 80.9%	97 18.8%	0 0.0%	2 0.4%	0 0.0%
最期は自宅に戻らせたい	10 100.0%	2 20.0%	5 50.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%
病院で亡くならせたい	104 100.0%	5 4.8%	99 95.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
迷っていた	43 100.0%	13 30.2%	29 67.4%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%
分からなかった	85 100.0%	16 18.8%	69 81.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

② 年齢

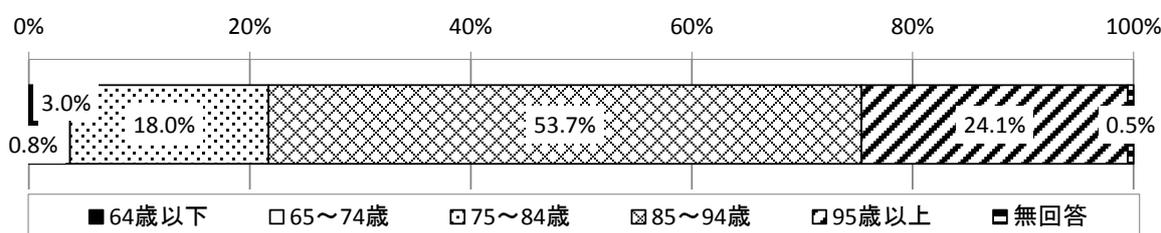
死亡者の年齢は、「85～94歳」が53.7%、「95歳以上」が24.1%、「75～84歳」が18.0%、平均89.3歳であった。

死亡場所別にみると、「施設内」で亡くなった入所者の平均年齢は90.1歳、「病院・診療所」で亡くなった入所者の平均年齢は88.2歳であった。

死亡場所別に亡くなった入所者の年齢を見ると、「施設内」では「85～94歳」が55.9%、「95歳以上」が26.3%、「75～84歳」が14.3%であった。

「病院・診療所」では「85～94歳」が50.8%、「75～84歳」が22.7%、「95歳以上」が21.1%であった。

図表 2-444 死亡者の年齢構成 (n=779)



図表 2-445 死亡場所別 年齢

(単位：歳)

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	775	89.3	7.4	90.0
施設内	456	90.1	7.1	91.0
病院・診療所	313	88.2	7.6	88.0
自宅等	3	92.0	7.2	90.0
その他	3	81.3	2.9	83.0

図表 2-446 死亡場所別 年齢

	合計	64歳以下	65～74歳	75～84歳	85～94歳	95歳以上	無回答
全体	779	6	23	140	418	188	4
	100.0%	0.8%	3.0%	18.0%	53.7%	24.1%	0.5%
施設内	456	2	14	65	255	120	0
	100.0%	0.4%	3.1%	14.3%	55.9%	26.3%	0.0%
病院・診療所	317	4	9	72	161	67	4
	100.0%	1.3%	2.8%	22.7%	50.8%	21.1%	1.3%
自宅等	3	0	0	0	2	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
その他	3	0	0	3	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

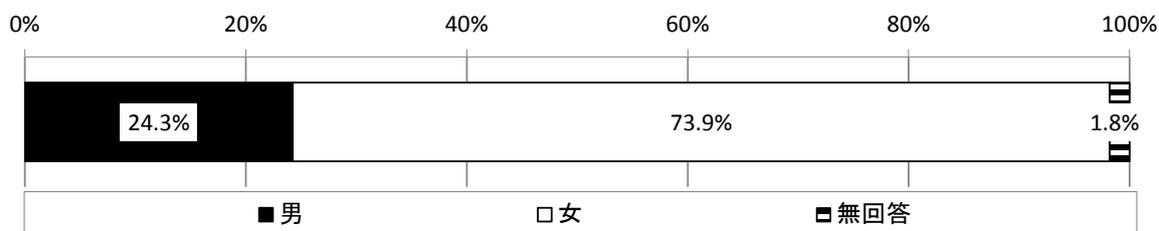
③ 性別

性別は、「男性」が24.3%、「女性」73.9%であった。

「施設内」で亡くなった入所者は、「男性」が22.6%、「女性」が75.7%であった。

「病院・診療所」で亡くなった入所者は、「男性」が26.2%、「女性」が71.9%であった。

図表 2-447 性別 (n=779)



図表 2-448 死亡場所別 性別

	合計	男	女	無回答
全体	779 100.0%	189 24.3%	576 73.9%	14 1.8%
施設内	456 100.0%	103 22.6%	345 75.7%	8 1.8%
病院・診療所	317 100.0%	83 26.2%	228 71.9%	6 1.9%
自宅等	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
その他	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%

## ④ 在所期間（施設への入所日～死亡日）

在所期間は、「180日以内」が13.7%、「181日～360日以内」が11.9%であった。  
平均在所期間は1,325.5日であった。

図表 2-449 在所期間

No.	在所期間	件数	構成比
1	180日以内	107	13.7%
2	181日～360日以内	93	11.9%
3	361日～540日以内	71	9.1%
4	541日～720日以内	69	8.9%
5	721日～900日以内	54	6.9%
6	901日～1080日以内	50	6.4%
7	1081日～1260日以内	45	5.8%
8	1261日～1440日以内	33	4.2%
9	1441日～1620日以内	38	4.9%
10	1621日～1800日以内	27	3.5%
11	1801日～1980日以内	17	2.2%
12	1981日～2160日以内	23	3.0%
13	2161日～2340日以内	21	2.7%
14	2341日～2520日以内	12	1.5%
15	2521日～2700日以内	7	0.9%
16	2701日～2880日以内	13	1.7%
17	2881日～3060日以内	7	0.9%
18	3061日～3240日以内	8	1.0%
19	3241日～3420日以内	10	1.3%
20	3421日～3600日以内	11	1.4%
21	3601日以上	56	7.2%
	無回答	7	0.9%
	全体	779	100.0%

図表 2-450 在所期間

(単位：日)

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	772	1,325.5	1,446.7	869.0

「施設内」で亡くなった入所者について、在所期間の平均は1,323.4日間であった。

「病院・診療所」で亡くなった入所者について、在所期間の平均は1,319.8日間であった。

図表 2-451 死亡場所別 在所期間

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	772	1,325.5	1446.7	869.0
施設内	455	1,323.4	1428.9	908.0
病院・診療所	311	1,319.8	1440.6	825.0
自宅等	3	147.7	212.9	38.0
その他	3	3,424.3	3591.1	2755.0

死亡場所別に在所期間を見ると、「施設内」では「180日以内」が12.9%、「181日～360日以内」は11.8%で、「541日～720日以内」は8.6%であった。

「病院・診療所」では、「180日以内」が14.5%、「181日～360日以内」は12.0%で、「361日～540日以内」は10.4%であった。

図表2-452 死亡場所別 在所期間

	合計	180日以内	181日～360日以内	361日～540日以内	541日～720日以内	721日～900日以内	901日～1080日以内	1081日～1260日以内	1261日～1440日以内
全体	779 100.0%	107 13.7%	93 11.9%	71 9.1%	69 8.9%	54 6.9%	50 6.4%	45 5.8%	33 4.2%
施設内	456 100.0%	59 12.9%	54 11.8%	37 8.1%	39 8.6%	38 8.3%	32 7.0%	34 7.5%	15 3.3%
病院・診療所	317 100.0%	46 14.5%	38 12.0%	33 10.4%	30 9.5%	16 5.0%	18 5.7%	11 3.5%	18 5.7%
自宅等	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

	合計	1441日～1620日以内	1621日～1800日以内	1801日～1980日以内	1981日～2160日以内	2161日～2340日以内	2341日～2520日以内	2521日～2700日以内	2701日～2880日以内
全体	779 100.0%	38 4.9%	27 3.5%	17 2.2%	23 3.0%	21 2.7%	12 1.5%	7 0.9%	13 1.7%
施設内	456 100.0%	27 5.9%	12 2.6%	11 2.4%	12 2.6%	13 2.9%	10 2.2%	2 0.4%	9 2.0%
病院・診療所	317 100.0%	11 3.5%	15 4.7%	6 1.9%	11 3.5%	8 2.5%	2 0.6%	5 1.6%	3 0.9%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%							
その他	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%						

2 死亡者の状況

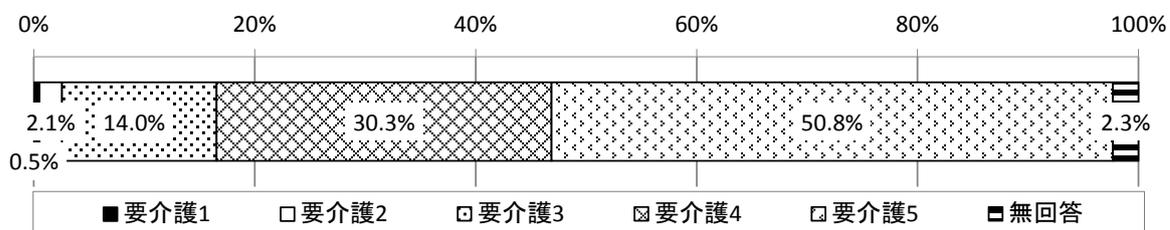
(続き)

	合計	2881日 ～3060 日以内	3061日 ～3240 日以内	3241日 ～3420 日以内	3421日 ～3600 日以内	3601日 以上	無回答
全体	779 100.0%	7 0.9%	8 1.0%	10 1.3%	11 1.4%	56 7.2%	7 0.9%
施設内	456 100.0%	5 1.1%	2 0.4%	9 2.0%	7 1.5%	28 6.1%	1 0.2%
病院・診療所	317 100.0%	2 0.6%	6 1.9%	1 0.3%	4 1.3%	27 8.5%	6 1.9%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%

⑤ 要介護度

直近の要介護度は、「要介護5」が50.8%、「要介護4」が30.3%、平均要介護度は、4.32であった。

図表 2-453 要介護度（直近）（n=779）



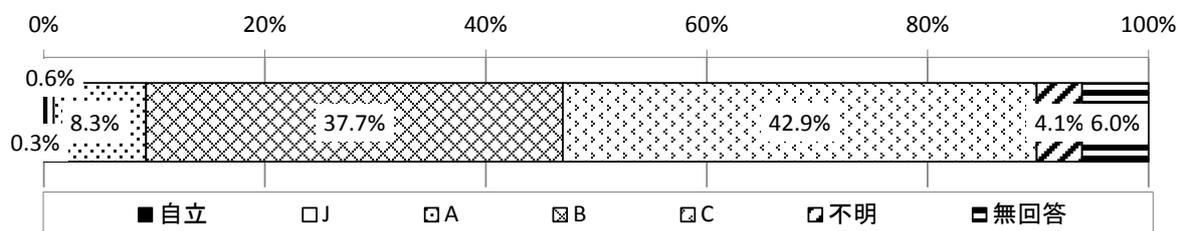
図表 2-454 死亡場所別 要介護度（直近）

	合計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	無回答
全体	779 100.0%	4 0.5%	16 2.1%	109 14.0%	236 30.3%	396 50.8%	18 2.3%
施設内	456 100.0%	1 0.2%	4 0.9%	53 11.6%	123 27.0%	266 58.3%	9 2.0%
病院・診療所	317 100.0%	3 0.9%	11 3.5%	56 17.7%	111 35.0%	127 40.1%	9 2.8%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%

⑥ 障害高齢者日常生活自立度

障害高齢者日常生活自立度は、「C」が42.9%、「B」が37.7%であった。

図表 2-455 障害高齢者の日常生活自立度 (n=779)



図表 2-456 死亡場所別 障害高齢者の日常生活自立度

	合計	自立	J	A	B	C	不明	無回答
全体	779 100.0%	2 0.3%	5 0.6%	65 8.3%	294 37.7%	334 42.9%	32 4.1%	47 6.0%
施設内	456 100.0%	1 0.2%	4 0.9%	28 6.1%	163 35.7%	221 48.5%	19 4.2%	20 4.4%
病院・診療所	317 100.0%	1 0.3%	1 0.3%	36 11.4%	130 41.0%	109 34.4%	13 4.1%	27 8.5%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%

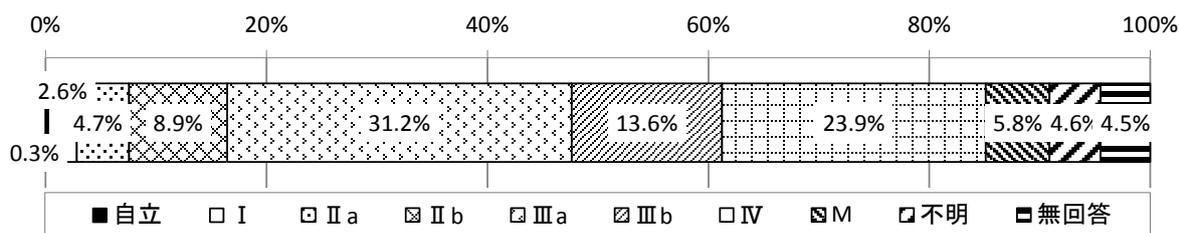
⑦ 認知症高齢者の日常生活自立度（入院前）

認知症高齢者の日常生活自立度は、「Ⅲa」が31.2%、「Ⅳ」が23.9%、「Ⅲb」が13.6%であった。「Ⅲ以上」が74.5%であった。

「施設内」で亡くなった認知症高齢者は、「Ⅲa」が30.5%、「Ⅳ」が25.0%、「Ⅲb」が15.1%で、「Ⅲ以上」が77.2%であった。

「病院・診療所」で亡くなった認知症高齢者は、「Ⅲa」が32.5%、「Ⅳ」が21.8%、「Ⅲb」が11.7%で、「Ⅲ以上」が70.7%であった。

図表 2-457 認知症高齢者の日常生活自立度（n=779）



図表 2-458 死亡場所別 認知症高齢者の日常生活自立度（n=779）

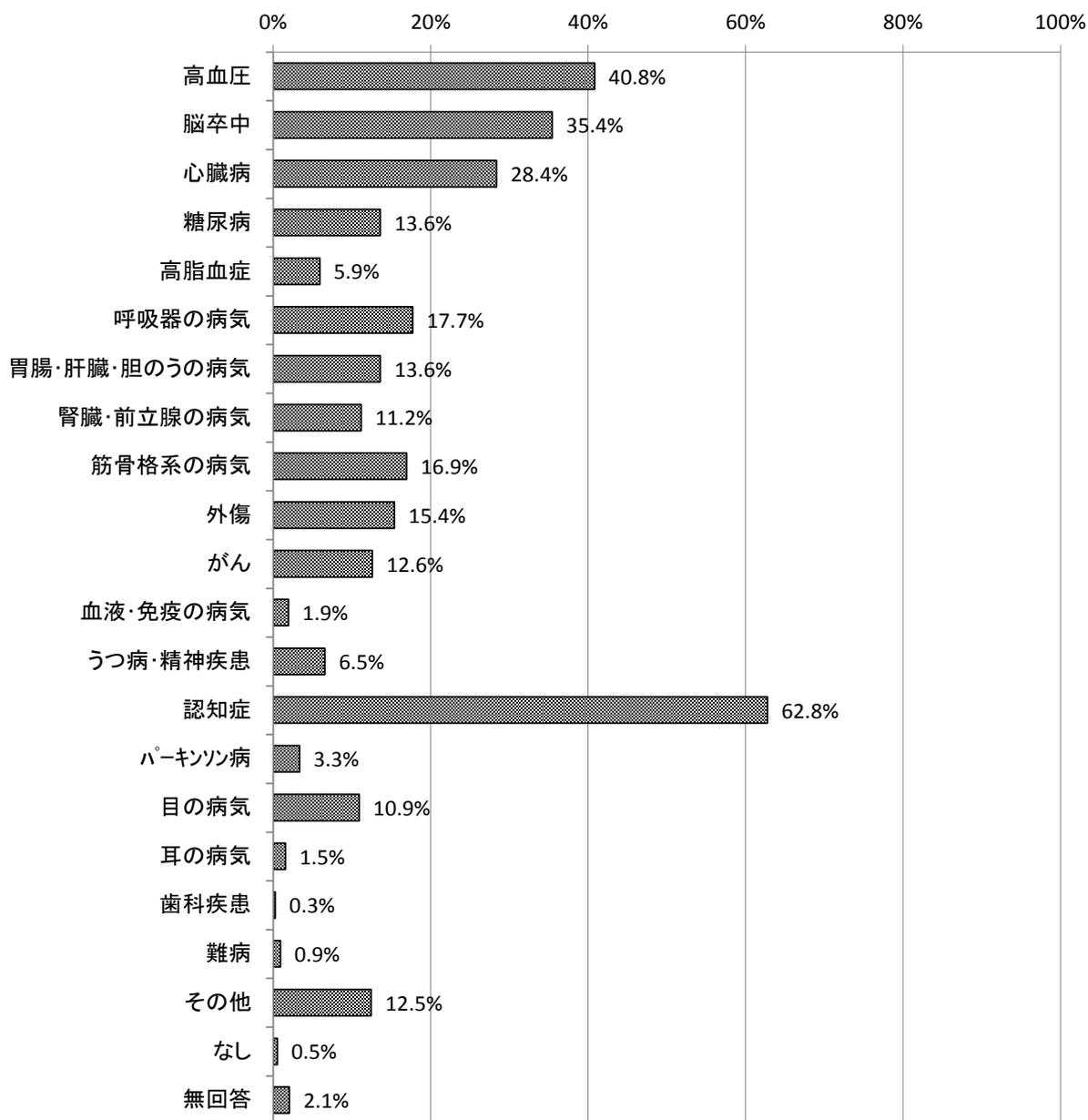
	合計	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV
全体	779	2	20	37	69	243	106	186
	100.0%	0.3%	2.6%	4.7%	8.9%	31.2%	13.6%	23.9%
施設内	456	0	14	14	38	139	69	114
	100.0%	0.0%	3.1%	3.1%	8.3%	30.5%	15.1%	25.0%
病院・診療所	317	2	6	21	31	103	37	69
	100.0%	0.6%	1.9%	6.6%	9.8%	32.5%	11.7%	21.8%
自宅等	3	0	0	2	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
その他	3	0	0	0	0	0	0	3
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

	合計	M	不明	無回答
全体	779	45	36	35
	100.0%	5.8%	4.6%	4.5%
施設内	456	30	23	15
	100.0%	6.6%	5.0%	3.3%
病院・診療所	317	15	13	20
	100.0%	4.7%	4.1%	6.3%
自宅等	3	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	3	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

⑧ 有していた傷病

傷病は、「認知症」が 62.8%、「高血圧」が 40.8%、「脳卒中」が 35.4%、「心臓病」が 28.4%であった。

図表 2 -459 有していた傷病（既往歴）（複数回答）（n=779）



図表 2-460 死亡場所別 有していた傷病（既往歴）（複数回答）（n=779）

	合計	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気
全体	779 100.0%	318 40.8%	276 35.4%	221 28.4%	106 13.6%	46 5.9%	138 17.7%	106 13.6%	87 11.2%
施設内	456 100.0%	178 39.0%	159 34.9%	125 27.4%	51 11.2%	20 4.4%	79 17.3%	55 12.1%	52 11.4%
病院・診療所	317 100.0%	138 43.5%	117 36.9%	95 30.0%	55 17.4%	25 7.9%	58 18.3%	49 15.5%	34 10.7%
自宅等	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%
その他	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%

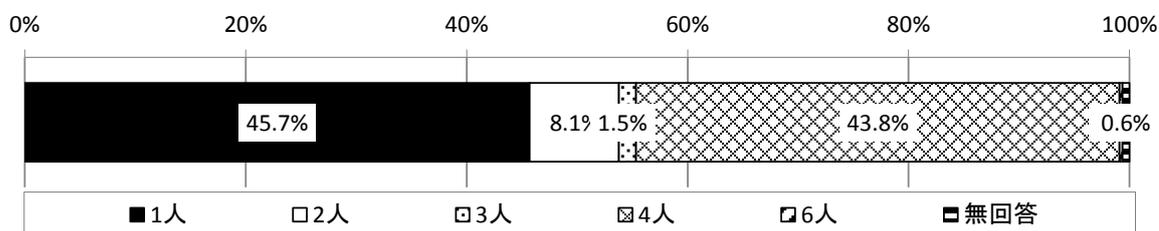
	合計	筋骨格系の病気	外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病・精神疾患	認知症	パーキンソン病	目の病気
全体	779 100.0%	132 16.9%	120 15.4%	98 12.6%	15 1.9%	51 6.5%	489 62.8%	26 3.3%	85 10.9%
施設内	456 100.0%	75 16.4%	83 18.2%	50 11.0%	8 1.8%	25 5.5%	301 66.0%	12 2.6%	49 10.7%
病院・診療所	317 100.0%	57 18.0%	36 11.4%	46 14.5%	7 2.2%	26 8.2%	184 58.0%	14 4.4%	36 11.4%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

	合計	耳の病気	歯科疾患	難病	その他	なし	無回答
全体	779 100.0%	12 1.5%	2 0.3%	7 0.9%	97 12.5%	4 0.5%	16 2.1%
施設内	456 100.0%	8 1.8%	2 0.4%	5 1.1%	56 12.3%	3 0.7%	7 1.5%
病院・診療所	317 100.0%	4 1.3%	0 0.0%	2 0.6%	41 12.9%	1 0.3%	9 2.8%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

⑨ 施設内での普段の居室

施設内での普段の居室は、「1人部屋」が45.7%、「4人部屋」が43.8%であった。

図表 2-461 普段の居室 (n=779)



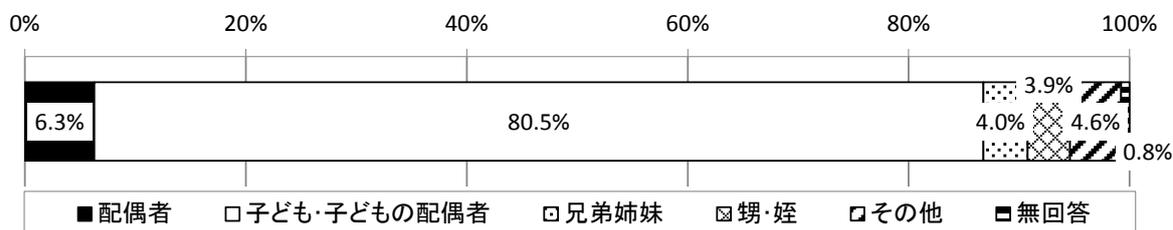
⑩ 身元引受人

身元引受人は、「子ども・子どもの配偶者」が80.5%、「配偶者」が6.3%、「兄弟姉妹」が4.0%、「甥・姪」が3.9%であった。

「施設内」で亡くなった入所者の身元引受人について、「子ども・子どもの配偶者」が80.9%、「配偶者」は5.9%、「兄弟姉妹」は4.2%であった。

「病院・診療所」で亡くなった入所者の身元引受人について、「子ども・子どもの配偶者」が79.8%、「配偶者」は6.9%、「甥・姪」は5.0%であった。

図表 2-462 身元引受人 (n=779)



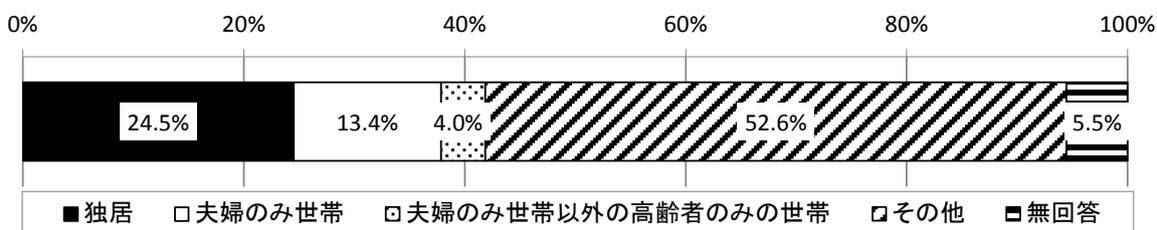
図表 2-463 死亡場所別 身元引受人

	合計	配偶者	子ども・子どもの配偶者	兄弟姉妹	甥・姪	その他	無回答
全体	779 100.0%	49 6.3%	627 80.5%	31 4.0%	30 3.9%	36 4.6%	6 0.8%
施設内	456 100.0%	27 5.9%	369 80.9%	19 4.2%	14 3.1%	24 5.3%	3 0.7%
病院・診療所	317 100.0%	22 6.9%	253 79.8%	12 3.8%	16 5.0%	11 3.5%	3 0.9%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

⑪ 入所前の世帯構成

世帯構成は、「独居」が24.5%、「夫婦のみ世帯」が13.4%、「夫婦のみ世帯以外の高齢者のみの世帯」が4.0%であった。

図表 2-464 入所前の世帯構成 (n=779)



図表 2-465 死亡場所別 入所前の世帯構成

	合計	独居	夫婦のみ世帯	夫婦のみ世帯以外の高齢者のみの世帯	その他	無回答
全体	779 100.0%	191 24.5%	104 13.4%	31 4.0%	410 52.6%	43 5.5%
施設内	456 100.0%	124 27.2%	64 14.0%	17 3.7%	233 51.1%	18 3.9%
病院・診療所	317 100.0%	67 21.1%	40 12.6%	14 4.4%	171 53.9%	25 7.9%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%

(2) 死亡時の状況

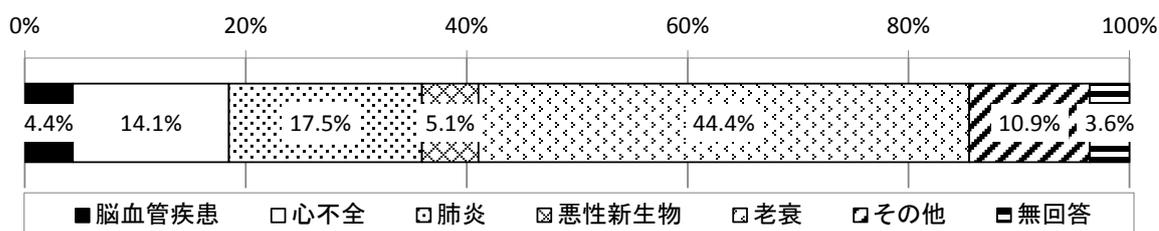
① 主たる死因

死因は、「老衰」が44.4%、「肺炎」が17.5%、「心不全」が14.1%であった。

「施設内」で亡くなった入所者の死因は、「老衰」が64.7%、「肺炎」が9.6%、「心不全」が9.2%であった。

「病院・診療所」で亡くなった入所者の死因は、「肺炎」が29.0%、「心不全」が21.1%、「老衰」が15.8%であった。

図表 2 -466 主たる死因 (n=779)



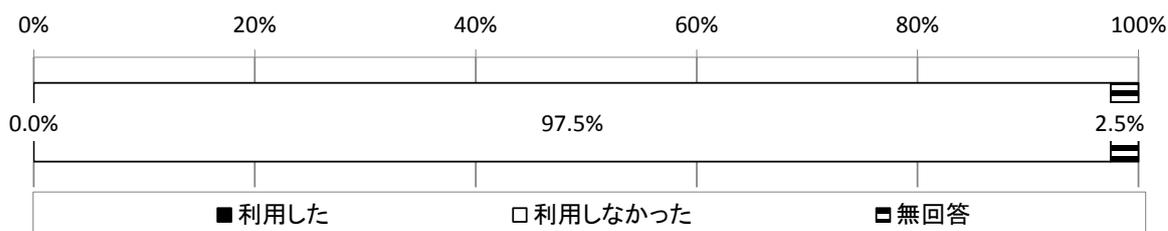
図表 2 -467 死亡場所別 主たる死因

	合計	脳血管疾患	心不全	肺炎	悪性新生物	老衰	その他	無回答
全体	779 100.0%	34 4.4%	110 14.1%	136 17.5%	40 5.1%	346 44.4%	85 10.9%	28 3.6%
施設内	456 100.0%	15 3.3%	42 9.2%	44 9.6%	15 3.3%	295 64.7%	36 7.9%	9 2.0%
病院・診療所	317 100.0%	19 6.0%	67 21.1%	92 29.0%	23 7.3%	50 15.8%	48 15.1%	18 5.7%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%

1) (主たる死因が悪性新生物の場合) 訪問看護の利用の有無

主たる死因が悪性新生物の場合、訪問看護の利用の有無は、「利用しなかった」が97.5%、「利用した」はいなかった。

図表 2 -468 (主たる死因が悪性新生物の場合) 訪問看護の利用の有無 (n=40)



② 死亡場所について

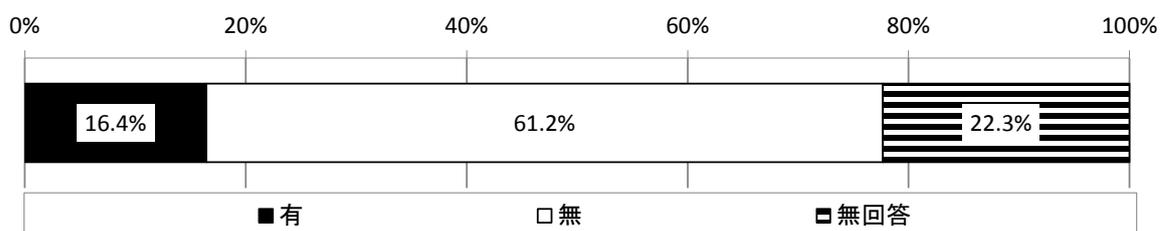
1) 本人の希望の確認の有無

本人の希望の確認の有無をたずねたところ、「有」が16.4%であった。

死亡場所別に死亡場所についての本人の希望の確認の有無を見ると、「施設内」で亡くなった入所者では、「有」が19.3%、「無」が62.5%であった。

「病院・診療所」で亡くなった入所者では、「有」が11.4%、「無」が59.9%であった。

図表 2 -469 死亡場所についての本人の希望の確認の有無 (n=779)



図表 2 -470 死亡場所別 死亡場所についての本人の希望の確認の有無

	合計	有	無	無回答
全体	779 100.0%	128 16.4%	477 61.2%	174 22.3%
施設内	456 100.0%	88 19.3%	285 62.5%	83 18.2%
病院・診療所	317 100.0%	36 11.4%	190 59.9%	91 28.7%
自宅等	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%

図表 2 -471 看取り介護計画の作成の有無別 死亡場所についての本人の希望の確認の有無

	合計	有	無	無回答
全体	779 100.0%	128 16.4%	477 61.2%	174 22.3%
有	283 100.0%	58 20.5%	170 60.1%	55 19.4%
無	442 100.0%	69 15.6%	267 60.4%	106 24.0%

2 死亡者の状況

図表 2-472 (施設票) 施設の看取りの方針別 死亡場所についての本人の希望の確認の有無

	合計	有	無	無回答
全体	779 100.0%	128 16.4%	477 61.2%	174 22.3%
希望があれば、施設内で看取る	640 100.0%	113 17.7%	399 62.3%	128 20.0%
原則、病院等に移す	98 100.0%	5 5.1%	57 58.2%	36 36.7%

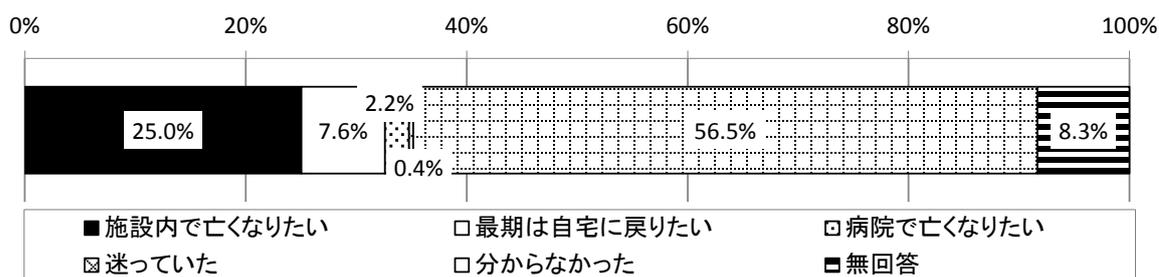
## 2) 本人の希望

本人の希望は、「施設内で亡くなりたい」が 25.0%、「最期は自宅に戻りたい」が 7.6%、「病院で亡くなりたい」が 2.2%であった。

「施設内」で亡くなった入所者について、本人の希望は「施設内で亡くなりたい」が 32.5%、「病院で亡くなりたい」が 0.2%であった。

「病院・診療所」で亡くなった入所者について、本人の希望は「病院で亡くなりたい」が 5.0%、「施設内で亡くなりたい」が 14.8%あった。

図表 2-473 本人の希望 (n=779)



図表 2-474 死亡場所別 本人の希望

	合計	施設内 で亡く なりた い	最期は 自宅に 戻りた い	病院で 亡くな りた い	迷って いた	分か らな かつ た	無回 答
全体	779 100.0%	195 25.0%	59 7.6%	17 2.2%	3 0.4%	440 56.5%	65 8.3%
施設内	456 100.0%	148 32.5%	29 6.4%	1 0.2%	2 0.4%	241 52.9%	35 7.7%
病院・診療所	317 100.0%	47 14.8%	27 8.5%	16 5.0%	1 0.3%	196 61.8%	30 9.5%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%

図表 2-475 (施設票) 開設年別 本人の希望

	合計	施設内 で亡く なりた い	最期は 自宅に 戻りた い	病院で 亡くな りたい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	195 25.0%	59 7.6%	17 2.2%	3 0.4%	440 56.5%	65 8.3%
1989年以前	187 100.0%	47 25.1%	11 5.9%	7 3.7%	1 0.5%	105 56.1%	16 8.6%
1990年～1999年	194 100.0%	33 17.0%	18 9.3%	2 1.0%	0 0.0%	123 63.4%	18 9.3%
2000年～2004年	130 100.0%	25 19.2%	11 8.5%	2 1.5%	1 0.8%	77 59.2%	14 10.8%
2005年～2010年	108 100.0%	36 33.3%	6 5.6%	1 0.9%	1 0.9%	57 52.8%	7 6.5%
2011年以降	145 100.0%	46 31.7%	11 7.6%	5 3.4%	0 0.0%	74 51.0%	9 6.2%

図表 2-476 (施設票) 入所定員別 本人の希望

	合計	施設内 で亡く なりた い	最期は 自宅に 戻りた い	病院で 亡くな りたい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	195 25.0%	59 7.6%	17 2.2%	3 0.4%	440 56.5%	65 8.3%
29人以下	65 100.0%	20 30.8%	5 7.7%	2 3.1%	0 0.0%	35 53.8%	3 4.6%
30人以上～60人 未満	223 100.0%	49 22.0%	18 8.1%	4 1.8%	1 0.4%	136 61.0%	15 6.7%
60人以上～100人 未満	309 100.0%	72 23.3%	29 9.4%	6 1.9%	0 0.0%	178 57.6%	24 7.8%
100人以上	168 100.0%	44 26.2%	5 3.0%	5 3.0%	2 1.2%	89 53.0%	23 13.7%

図表 2-477 (施設票) 施設の看取りの方針別 本人の希望

	合計	施設内で亡くなり なりたい	最期は 自宅に 戻りたい	病院で 亡くな りたい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	195 25.0%	59 7.6%	17 2.2%	3 0.4%	440 56.5%	65 8.3%
希望があれば、施設内で看取る	640 100.0%	173 27.0%	39 6.1%	12 1.9%	3 0.5%	359 56.1%	54 8.4%
原則、病院等に移す	98 100.0%	10 10.2%	16 16.3%	5 5.1%	0 0.0%	59 60.2%	8 8.2%

図表 2-478 (施設票) 施設長の施設内看取りに対する意向別 本人の希望

	合計	施設内で亡くなり なりたい	最期は 自宅に 戻りたい	病院で 亡くな りたい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	195 25.0%	59 7.6%	17 2.2%	3 0.4%	440 56.5%	65 8.3%
積極的である	509 100.0%	150 29.5%	33 6.5%	8 1.6%	3 0.6%	270 53.0%	45 8.8%
積極的か消極的かどちらともいえない	152 100.0%	20 13.2%	14 9.2%	6 3.9%	0 0.0%	101 66.4%	11 7.2%
どちらかといえば消極的である	37 100.0%	2 5.4%	8 21.6%	2 5.4%	0 0.0%	23 62.2%	2 5.4%
その他	32 100.0%	11 34.4%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	19 59.4%	1 3.1%

図表 2-479 (施設票) 配置医の施設内看取りに対する意向別 本人の希望

	合計	施設内で亡くなり なりたい	最期は 自宅に 戻りたい	病院で 亡くな りたい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	195 25.0%	59 7.6%	17 2.2%	3 0.4%	440 56.5%	65 8.3%
積極的である	446 100.0%	132 29.6%	29 6.5%	2 0.4%	2 0.4%	249 55.8%	32 7.2%
積極的か消極的かどちらともいえない	209 100.0%	39 18.7%	16 7.7%	8 3.8%	0 0.0%	122 58.4%	24 11.5%
どちらかといえば消極的である	69 100.0%	11 15.9%	9 13.0%	7 10.1%	0 0.0%	39 56.5%	3 4.3%
その他	18 100.0%	2 11.1%	1 5.6%	0 0.0%	1 5.6%	11 61.1%	3 16.7%

図表 2-480 (施設票) 看護職員の施設内看取りに対する意向別 本人の希望

	合計	施設内 で亡く なりた い	最期は 自宅に 戻りた い	病院で 亡くな りたい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	195 25.0%	59 7.6%	17 2.2%	3 0.4%	440 56.5%	65 8.3%
積極的である	463 100.0%	141 30.5%	27 5.8%	2 0.4%	3 0.6%	255 55.1%	35 7.6%
積極的か消極的かど ちらともいえない	191 100.0%	32 16.8%	16 8.4%	10 5.2%	0 0.0%	114 59.7%	19 9.9%
どちらかといえば 消極的である	69 100.0%	8 11.6%	10 14.5%	5 7.2%	0 0.0%	40 58.0%	6 8.7%
その他	25 100.0%	4 16.0%	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 64.0%	2 8.0%

図表 2-481 (施設票) 介護職員の施設内看取りに対する意向別 本人の希望

	合計	施設内 で亡く なりた い	最期は 自宅に 戻りた い	病院で 亡くな りたい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	195 25.0%	59 7.6%	17 2.2%	3 0.4%	440 56.5%	65 8.3%
積極的である	423 100.0%	127 30.0%	26 6.1%	3 0.7%	3 0.7%	229 54.1%	35 8.3%
積極的か消極的かど ちらともいえない	220 100.0%	41 18.6%	17 7.7%	8 3.6%	0 0.0%	134 60.9%	20 9.1%
どちらかといえば 消極的である	82 100.0%	9 11.0%	12 14.6%	5 6.1%	0 0.0%	51 62.2%	5 6.1%
その他	15 100.0%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	9 60.0%	2 13.3%

図表 2-482 (施設票) 協力病院による施設内看取りに対する支援別 本人の希望

	合計	施設内 で亡く なりた い	最期は 自宅に 戻りた い	病院で 亡くな りたい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	195 25.0%	59 7.6%	17 2.2%	3 0.4%	440 56.5%	65 8.3%
積極的である	253 100.0%	80 31.6%	19 7.5%	4 1.6%	2 0.8%	125 49.4%	23 9.1%
特に支援はない	443 100.0%	93 21.0%	34 7.7%	10 2.3%	1 0.2%	268 60.5%	37 8.4%

図表 2-483 (施設票) 施設内での死亡による退所者比率別 本人の希望

	合計	施設内 で亡く なりた い	最期は 自宅に 戻りた い	病院で 亡くな りたい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	195 25.0%	59 7.6%	17 2.2%	3 0.4%	440 56.5%	65 8.3%
0%	167 100.0%	24 14.4%	20 12.0%	10 6.0%	0 0.0%	100 59.9%	13 7.8%
0%超～20%未満	51 100.0%	10 19.6%	2 3.9%	1 2.0%	0 0.0%	35 68.6%	3 5.9%
20%以上～40%未 満	112 100.0%	27 24.1%	2 1.8%	2 1.8%	0 0.0%	66 58.9%	15 13.4%
40%以上～60%未 満	154 100.0%	37 24.0%	17 11.0%	2 1.3%	0 0.0%	84 54.5%	14 9.1%
60%以上～80%未 満	104 100.0%	32 30.8%	3 2.9%	0 0.0%	1 1.0%	63 60.6%	5 4.8%
80%以上～100% 未満	96 100.0%	25 26.0%	6 6.3%	0 0.0%	1 1.0%	58 60.4%	6 6.3%
100%	69 100.0%	25 36.2%	7 10.1%	1 1.4%	0 0.0%	29 42.0%	7 10.1%

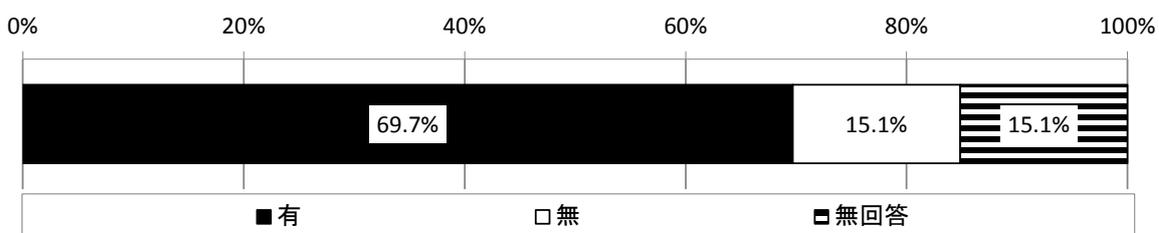
3) 死亡場所について身元引受人の希望の確認の有無

身元引受人の希望の確認の有無をたずねたところ、「有」が 69.7%であった。

死亡場所別に死亡場所についての本人の希望の確認の有無を見ると、「施設内」で亡くなった入所者では「有」が 83.3%、「無」が 4.6%であった。

「病院・診療所」で亡くなった入所者では「有」が 49.8%、「無」が 30.6%であった。

図表 2-484 死亡場所についての本人の希望の確認の有無 (n=779)



図表 2-485 死亡場所別 死亡場所についての身元引受人の希望の確認の有無

	合計	有	無	無回答
全体	779 100.0%	543 69.7%	118 15.1%	118 15.1%
施設内	456 100.0%	380 83.3%	21 4.6%	55 12.1%
病院・診療所	317 100.0%	158 49.8%	97 30.6%	62 19.6%
自宅等	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%

図表 2-486 看取り介護計画の作成の有無別

死亡場所についての身元引受人の希望の確認の有無

	合計	有	無	無回答
全体	779 100.0%	543 69.7%	118 15.1%	118 15.1%
有	283 100.0%	248 87.6%	3 1.1%	32 11.3%
無	442 100.0%	258 58.4%	110 24.9%	74 16.7%

図表 2-487 (施設票) 施設の看取りの方針別 死亡場所についての身元引受人の希望の確認の有無

	合計	有	無	無回答
全体	779 100.0%	543 69.7%	118 15.1%	118 15.1%
希望があれば、施設内で看取る	640 100.0%	487 76.1%	67 10.5%	86 13.4%
原則、病院等に移す	98 100.0%	38 38.8%	40 40.8%	20 20.4%

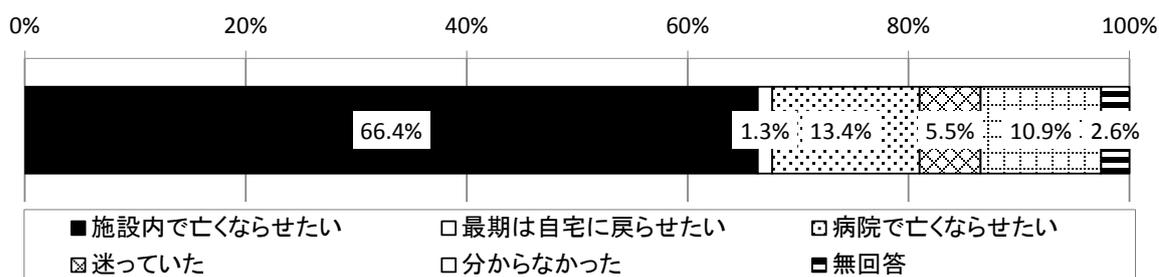
#### 4) 身元引受人の希望

身元引受人の希望は、「施設内で亡くならせたい」が 66.4%、「病院で亡くならせたい」が 13.4%、「最期は自宅に戻らせたい」が 1.3%であった。

「施設内」で亡くなった入所者について、身元引受人の希望は「施設内で亡くならせたい」が 91.7%、「病院で亡くならせたい」は 1.1%であった。

「病院・診療所」で亡くなった入所者について、身元引受人の希望は「病院で亡くならせたい」が 31.2%、「施設内で亡くならせたい」は 30.6%であった。

図表 2-488 死亡場所についての身元引受人の希望 (n=779)



図表 2-489 死亡場所別 死亡場所についての身元引受人の希望

	合計	施設内で亡くならせたい	最期は自宅に戻らせたい	病院で亡くならせたい	迷っていた	分からなかった	無回答
全体	779 100.0%	517 66.4%	10 1.3%	104 13.4%	43 5.5%	85 10.9%	20 2.6%
施設内	456 100.0%	418 91.7%	2 0.4%	5 1.1%	13 2.9%	16 3.5%	2 0.4%
病院・診療所	317 100.0%	97 30.6%	5 1.6%	99 31.2%	29 9.1%	69 21.8%	18 5.7%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

図表 2-490 本人の希望別 死亡場所についての身元引受人の希望

	合計	施設内 で亡く ならせ たい	最期は 自宅に 戻らせ たい	病院で 亡くな らせたい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	517 66.4%	10 1.3%	104 13.4%	43 5.5%	85 10.9%	20 2.6%
施設内で亡くなり たい	195 100.0%	184 94.4%	0 0.0%	6 3.1%	5 2.6%	0 0.0%	0 0.0%
最期は自宅に戻り たい	59 100.0%	33 55.9%	8 13.6%	9 15.3%	4 6.8%	4 6.8%	1 1.7%
病院で亡くなりた い	17 100.0%	1 5.9%	1 5.9%	15 88.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
迷っていた	3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
分からなかった	440 100.0%	259 58.9%	1 0.2%	64 14.5%	32 7.3%	79 18.0%	5 1.1%

図表 2-491 (施設票) 開設年別 身元引受人の希望

	合計	施設内 で亡く ならせ たい	最期は 自宅に 戻らせ たい	病院で 亡くな らせたい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	517 66.4%	10 1.3%	104 13.4%	43 5.5%	85 10.9%	20 2.6%
1989年以前	187 100.0%	96 51.3%	3 1.6%	46 24.6%	7 3.7%	29 15.5%	6 3.2%
1990年～1999年	194 100.0%	139 71.6%	2 1.0%	16 8.2%	6 3.1%	25 12.9%	6 3.1%
2000年～2004年	130 100.0%	93 71.5%	2 1.5%	14 10.8%	14 10.8%	7 5.4%	0 0.0%
2005年～2010年	108 100.0%	74 68.5%	0 0.0%	9 8.3%	8 7.4%	14 13.0%	3 2.8%
2011年以降	145 100.0%	102 70.3%	2 1.4%	19 13.1%	8 5.5%	10 6.9%	4 2.8%

図表 2-492 (施設票) 入所定員別 身元引受人の希望

	合計	施設内で亡くならせたい	最期は自宅に戻らせたい	病院で亡くならせたい	迷っていた	分からなかった	無回答
全体	779 100.0%	517 66.4%	10 1.3%	104 13.4%	43 5.5%	85 10.9%	20 2.6%
29人以下	65 100.0%	50 76.9%	1 1.5%	3 4.6%	3 4.6%	6 9.2%	2 3.1%
30人以上～60人未満	223 100.0%	140 62.8%	6 2.7%	42 18.8%	12 5.4%	20 9.0%	3 1.3%
60人以上～100人未満	309 100.0%	202 65.4%	1 0.3%	37 12.0%	19 6.1%	42 13.6%	8 2.6%
100人以上	168 100.0%	114 67.9%	1 0.6%	22 13.1%	7 4.2%	17 10.1%	7 4.2%

図表 2-493 (施設票) 施設の看取りの方針別 身元引受人の希望

	合計	施設内で亡くならせたい	最期は自宅に戻らせたい	病院で亡くならせたい	迷っていた	分からなかった	無回答
全体	779 100.0%	517 66.4%	10 1.3%	104 13.4%	43 5.5%	85 10.9%	20 2.6%
希望があれば、施設内で看取る	640 100.0%	477 74.5%	5 0.8%	55 8.6%	40 6.3%	52 8.1%	11 1.7%
原則、病院等に移す	98 100.0%	20 20.4%	2 2.0%	45 45.9%	3 3.1%	21 21.4%	7 7.1%

図表 2-494 (施設票) 施設長の施設内看取りに対する意向別 身元引受人の希望

	合計	施設内で 亡くなら せたい	最期は自 宅に戻ら せたい	病院で亡 くならせ たい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	517 66.4%	10 1.3%	104 13.4%	43 5.5%	85 10.9%	20 2.6%
積極的である	509 100.0%	397 78.0%	6 1.2%	41 8.1%	23 4.5%	33 6.5%	9 1.8%
積極的か消極的か どちらともいえない	152 100.0%	66 43.4%	1 0.7%	39 25.7%	12 7.9%	26 17.1%	8 5.3%
どちらかといえば 消極的である	37 100.0%	9 24.3%	0 0.0%	17 45.9%	1 2.7%	9 24.3%	1 2.7%
その他	32 100.0%	21 65.6%	1 3.1%	1 3.1%	3 9.4%	6 18.8%	0 0.0%

図表 2-495 (施設票) 配置医の施設内看取りに対する意向別 身元引受人の希望

	合計	施設内で 亡くなら せたい	最期は自 宅に戻ら せたい	病院で亡 くならせ たい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	517 66.4%	10 1.3%	104 13.4%	43 5.5%	85 10.9%	20 2.6%
積極的である	446 100.0%	355 79.6%	3 0.7%	27 6.1%	31 7.0%	27 6.1%	3 0.7%
積極的か消極的か どちらともいえない	209 100.0%	112 53.6%	2 1.0%	38 18.2%	9 4.3%	36 17.2%	12 5.7%
どちらかといえば 消極的である	69 100.0%	21 30.4%	2 2.9%	35 50.7%	1 1.4%	8 11.6%	2 2.9%
その他	18 100.0%	12 66.7%	1 5.6%	0 0.0%	1 5.6%	3 16.7%	1 5.6%

図表 2-496 (施設票) 看護職員の施設内看取りに対する意向別 身元引受人の希望

	合計	施設内で 亡くなら せたい	最期は自 宅に戻ら せたい	病院で亡 くならせ たい	迷って いた	分から なかつ た	無回答
全体	779 100.0%	517 66.4%	10 1.3%	104 13.4%	43 5.5%	85 10.9%	20 2.6%
積極的である	463 100.0%	373 80.6%	3 0.6%	28 6.0%	23 5.0%	31 6.7%	5 1.1%
積極的か消極的か どちらともいえない	191 100.0%	93 48.7%	2 1.0%	43 22.5%	15 7.9%	28 14.7%	10 5.2%
どちらかといえば 消極的である	69 100.0%	19 27.5%	3 4.3%	29 42.0%	2 2.9%	14 20.3%	2 2.9%
その他	25 100.0%	17 68.0%	0 0.0%	2 8.0%	2 8.0%	3 12.0%	1 4.0%

図表 2-497 (施設票) 介護職員の施設内看取りに対する意向別 身元引受人の希望

	合計	施設内で亡くならせたい	最期は自宅に戻らせたい	病院で亡くならせたい	迷っていた	分からなかった	無回答
全体	779 100.0%	517 66.4%	10 1.3%	104 13.4%	43 5.5%	85 10.9%	20 2.6%
積極的である	423 100.0%	341 80.6%	3 0.7%	23 5.4%	23 5.4%	27 6.4%	6 1.4%
積極的か消極的かどちらともいえない	220 100.0%	122 55.5%	1 0.5%	40 18.2%	15 6.8%	33 15.0%	9 4.1%
どちらかといえば消極的である	82 100.0%	23 28.0%	4 4.9%	38 46.3%	2 2.4%	13 15.9%	2 2.4%
その他	15 100.0%	9 60.0%	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%

図表 2-498 (施設票) 協力病院による施設内看取りに対する支援別 身元引受人の希望

	合計	施設内で亡くならせたい	最期は自宅に戻らせたい	病院で亡くならせたい	迷っていた	分からなかった	無回答
全体	779 100.0%	517 66.4%	10 1.3%	104 13.4%	43 5.5%	85 10.9%	20 2.6%
積極的である	253 100.0%	187 73.9%	3 1.2%	28 11.1%	15 5.9%	16 6.3%	4 1.6%
特に支援はない	443 100.0%	282 63.7%	5 1.1%	68 15.3%	22 5.0%	53 12.0%	13 2.9%

図表 2-499 (施設票) 施設内での死亡による退所者比率別 身元引受人の希望

	合計	施設内で亡くならせたい	最期は自宅に戻らせたい	病院で亡くならせたい	迷っていた	分からなかった	無回答
全体	779 100.0%	517 66.4%	10 1.3%	104 13.4%	43 5.5%	85 10.9%	20 2.6%
0%	167 100.0%	56 33.5%	6 3.6%	61 36.5%	7 4.2%	27 16.2%	10 6.0%
0%超～20%未満	51 100.0%	23 45.1%	0 0.0%	7 13.7%	9 17.6%	12 23.5%	0 0.0%
20%以上～40%未満	112 100.0%	69 61.6%	1 0.9%	13 11.6%	8 7.1%	16 14.3%	5 4.5%
40%以上～60%未満	154 100.0%	113 73.4%	2 1.3%	12 7.8%	9 5.8%	16 10.4%	2 1.3%
60%以上～80%未満	104 100.0%	87 83.7%	0 0.0%	7 6.7%	1 1.0%	8 7.7%	1 1.0%
80%以上～100%未満	96 100.0%	86 89.6%	0 0.0%	1 1.0%	6 6.3%	2 2.1%	1 1.0%
100%	69 100.0%	63 91.3%	0 0.0%	1 1.4%	2 2.9%	2 2.9%	1 1.4%

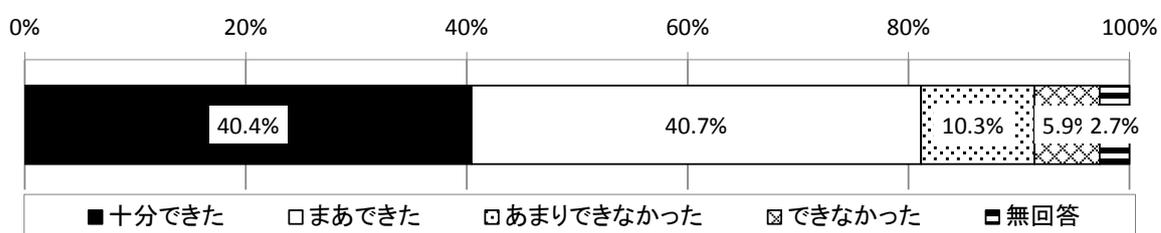
5) 本人にとって最善の場所で亡くなることができたと思うか

本人にとって最善の場所で亡くなることができたかどうかをたずねると、「まあできた」が40.7%、「十分できた」が40.4%、「あまりできなかった」が10.3%、「できなかった」が5.9%であった。

「施設内」で亡くなった入所者について、本人にとって最善の場所で亡くなることができたと思うかは、「十分できた」が50.4%、「まあできた」が43.9%、「あまりできなかった」が3.5%、「できなかった」が0.4%であった。

「病院・診療所」で亡くなった入所者について、本人にとって最善の場所で亡くなることができたと思うかは、「あまりできなかった」が20.2%、「できなかった」が13.9%、「十分できた」が25.9%、「まあできた」が36.0%であった。

図表 2-500 本人にとって最善の場所で亡くなることができたと思うか (n=779)



図表 2-501 死亡場所別 本人にとって最善の場所で亡くなることができたと思うか

	合計	十分できた	まあできた	あまりできなかった	できなかった	無回答
全体	779 100.0%	315 40.4%	317 40.7%	80 10.3%	46 5.9%	21 2.7%
施設内	456 100.0%	230 50.4%	200 43.9%	16 3.5%	2 0.4%	8 1.8%
病院・診療所	317 100.0%	82 25.9%	114 36.0%	64 20.2%	44 13.9%	13 4.1%
自宅等	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

③ 看取り介護計画の作成状況

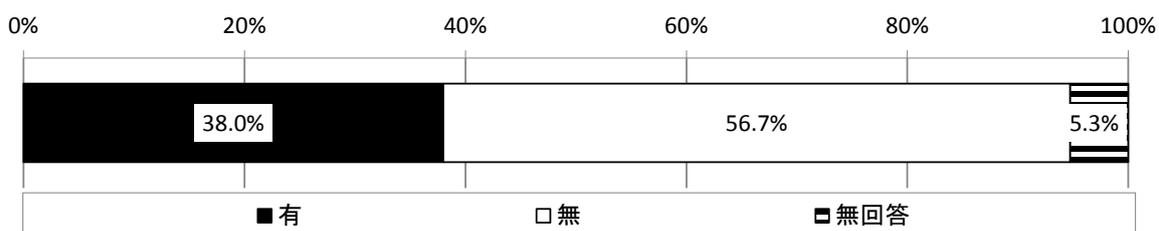
1) 看取り介護計画の作成の有無

看取り介護計画の作成の有無は、「有」が 38.0%であった。

死亡場所別に看取り介護計画の作成の有無を見ると、「施設内」で亡くなった入所者については、「有」が 63.4%、「無」が 32.7%であった。

「病院・診療所」で亡くなった入所者については、「無」が 90.9%、「有」が 2.2%であった。

図表 2-502 看取り介護計画の作成の有無 (n=779)



図表 2-503 死亡場所別 看取り介護計画の作成の有無

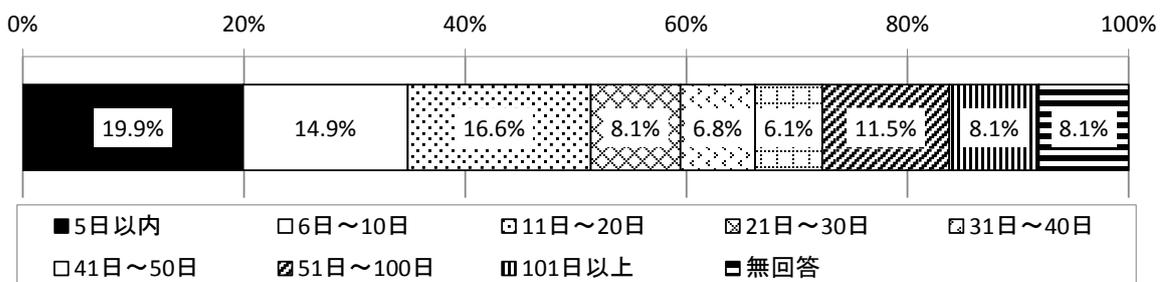
	合計	有	無	無回答
全体	779 100.0%	296 38.0%	442 56.7%	41 5.3%
施設内	456 100.0%	289 63.4%	149 32.7%	18 3.9%
病院・診療所	317 100.0%	7 2.2%	288 90.9%	22 6.9%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%

2) 看取り介護計画作成日～死亡日の期間

看取り介護計画作成日～死亡日の期間は、「5日以内」が19.9%、「11日～20日」は16.6%で、「6日～10日」は14.9%であった。

死亡場所別に看取り介護計画作成日～死亡日の期間を見ると、「施設内」で亡くなった入所者については平均36.4日であった。

図表 2 -504 看取り介護計画作成日～死亡日の期間（日数）（n=296）



図表 2 -505 死亡場所別 看取り介護計画作成日～死亡日の期間（日数）

(単位：日)

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	272	36.7	51.6	16.0
施設内	268	36.4	51.5	16.0
病院・診療所	4	53.8	60.2	37.0

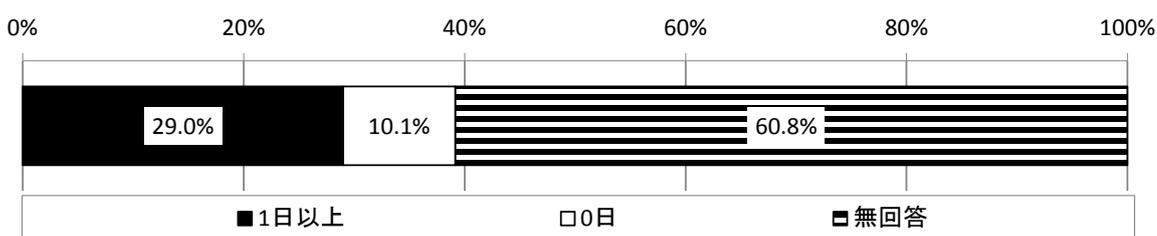
④ 看取り介護加算の算定状況

i) 死亡日以前 4 日以上 30 日以下

看取り介護加算の算定の有無(死亡日以前 4 日以上 30 日以下)について、「1 日以上(有)」の割合は 29.0%であった。

死亡場所別に看取り介護加算の算定の有無を見ると、「施設内」で亡くなった入所者については「1 日以上(有)」が 48.9%、「病院・診療所」で亡くなった入所者については「1 日以上(有)」が 0.9%であった。

図表 2-506 看取り介護加算の算定の有無(死亡日以前 4 日以上 30 日以下)(n=779)



図表 2-507 死亡場所別 看取り介護加算の算定の有無

(死亡日以前 4 日以上 30 日以下)

	合計	1 日以上(有)
全体	779	226
	100.0%	29.0%
施設内	456	223
	100.0%	48.9%
病院・診療所	317	3
	100.0%	0.9%
自宅等	3	0
	100.0%	0.0%
その他	3	0
	100.0%	0.0%

死亡場所別に看取り介護加算の算定日数(死亡日以前 4 日以上 30 日以下)を見ると、「施設内」で亡くなった入所者については平均 18.0 日であった。

図表 2-508 死亡場所別 看取り介護加算の算定日数(死亡日以前 4 日以上 30 日以下)

(単位: 日)

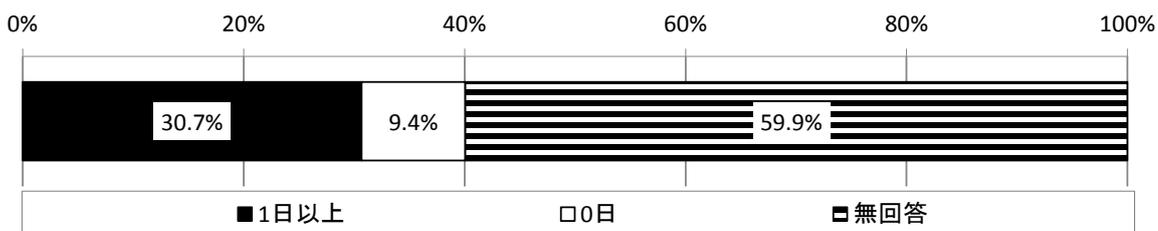
	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	226	18.0	9.8	23.5
施設内	223	18.0	9.8	24.0
病院・診療所	3	13.3	11.7	11.0
自宅等	0			
その他	0			

ii) 死亡日以前2日または3日

看取り介護加算の算定の有無（死亡日以前2日または3日）について、「1日以上（有）」の割合は30.7%であった。

死亡場所別看取り介護加算の算定の有無（死亡日以前2日または3日）を見ると、「施設内」で亡くなった入所者については「1日以上（有）」が52.0%、「病院・診療所」で亡くなった入所者については「1日以上（有）」が0.6%であった。

図表2-509 看取り介護加算の算定の有無（死亡日以前2日または3日）（n=779）



図表2-510 死亡場所別 看取り介護加算の算定の有無（死亡日以前2日または3日）

	合計	1日以上（有）
全体	779 100.0%	239 30.7%
施設内	456 100.0%	237 52.0%
病院・診療所	317 100.0%	2 0.6%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%

死亡場所別に看取り介護加算の算定日数（死亡日以前2日または3日）を見ると、「施設内」で亡くなった入所者については平均2.0日であった。

図表2-511 死亡場所別 看取り介護加算の算定日数（死亡日以前2日または3日）

（単位：日）

	件数	平均	標準偏差	中央値
全体	239	2.0	0.2	2.0
施設内	237	2.0	0.2	2.0
病院・診療所	2	2.0	-	2.0
自宅等	0			
その他	0			

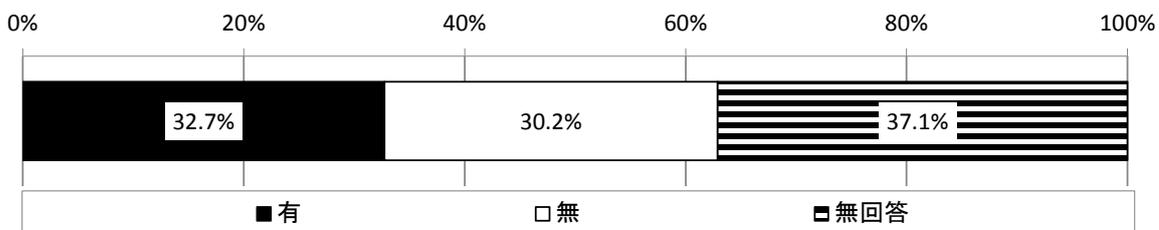
2 死亡者の状況

iii) 死亡日

死亡日の看取り介護加算の算定は、「有」が 32.7%であった。

死亡場所別に看取り介護加算の算定の有無（死亡日）を見ると、「施設内」で亡くなった入所者については「有」が 55.3%、「病院・診療所」で亡くなった入所者については「有」が 0.9%であった。

図表 2-512 看取り介護加算の算定の有無（死亡日）（n=779）



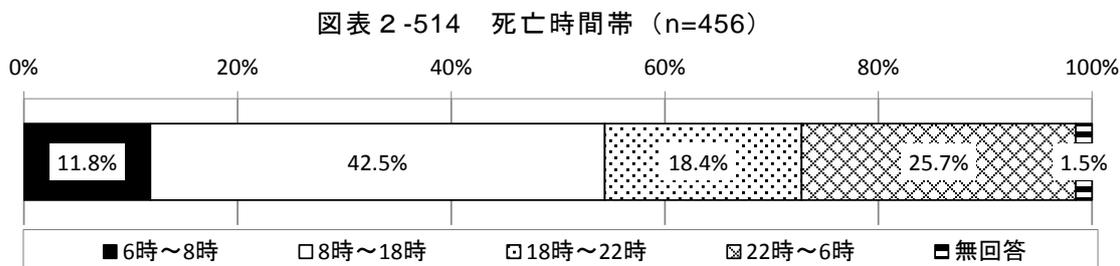
図表 2-513 死亡場所別 看取り介護加算の算定の有無（死亡日）

	合計	有
全体	779 100.0%	255 32.7%
施設内	456 100.0%	252 55.3%
病院・診療所	317 100.0%	3 0.9%
自宅等	3 100.0%	0 0.0%
その他	3 100.0%	0 0.0%

### (3) 施設内での死亡者の状況

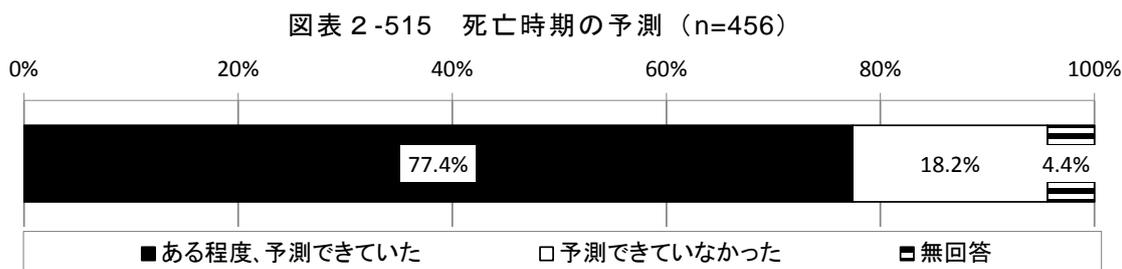
#### ① 死亡時間帯

死亡時間帯は、「8時～18時」が42.5%、「22時～6時」が25.7%、「18時～22時」が18.4%、「6時～8時」が11.8%であった。



#### ② 死亡時期の予測

死亡時期の予測は、「ある程度、予測できていた」が77.4%、「予測できていなかった」は18.2%であった。



図表 2-516 主たる死因別 死亡時期の予測

	合計	ある程度、予測できていた	予測できていなかった	無回答
全体	456 100.0%	353 77.4%	83 18.2%	20 4.4%
脳血管疾患	15 100.0%	12 80.0%	3 20.0%	0 0.0%
心不全	42 100.0%	21 50.0%	20 47.6%	1 2.4%
肺炎	44 100.0%	31 70.5%	9 20.5%	4 9.1%
悪性新生物	15 100.0%	13 86.7%	2 13.3%	0 0.0%
老衰	295 100.0%	243 82.4%	41 13.9%	11 3.7%
その他	36 100.0%	24 66.7%	8 22.2%	4 11.1%

2 死亡者の状況

図表 2-517 看取り介護計画の作成の有無別 死亡時期の予測

	合計	ある程度、 予測できていた	予測できていなかった	無回答
全体	456 100.0%	353 77.4%	83 18.2%	20 4.4%
有	277 100.0%	249 89.9%	16 5.8%	12 4.3%
無	149 100.0%	85 57.0%	58 38.9%	6 4.0%

図表 2-518 死亡前 2 週間の配置医による診察回数別 死亡時期の予測

	合計	ある程度、 予測できていた	予測できていなかった	無回答
全体	456 100.0%	353 77.4%	83 18.2%	20 4.4%
0 回	24 100.0%	17 70.8%	6 25.0%	1 4.2%
1 回	73 100.0%	43 58.9%	29 39.7%	1 1.4%
2 回	156 100.0%	126 80.8%	21 13.5%	9 5.8%
3 回	50 100.0%	41 82.0%	9 18.0%	0 0.0%
4 回	63 100.0%	56 88.9%	6 9.5%	1 1.6%
5 回以上	53 100.0%	46 86.8%	4 7.5%	3 5.7%

図表 2-519 (施設票) 入所定員別 死亡時期の予測

	合計	ある程度、予測 できていた	予測できていなかった	無回答
全体	456 100.0%	353 77.4%	83 18.2%	20 4.4%
29 人以下	44 100.0%	36 81.8%	6 13.6%	2 4.5%
30 人以上～60 人未満	122 100.0%	94 77.0%	26 21.3%	2 1.6%
60 人以上～100 人未満	184 100.0%	140 76.1%	35 19.0%	9 4.9%
100 人以上	98 100.0%	77 78.6%	15 15.3%	6 6.1%

図表 2-520 (施設票) 協力病院による施設内看取りに対する支援別 死亡時期の予測

	合計	ある程度、予測できていた	予測できていなかった	無回答
全体	456 100.0%	353 77.4%	83 18.2%	20 4.4%
積極的である	169 100.0%	130 76.9%	29 17.2%	10 5.9%
特に支援はない	246 100.0%	195 79.3%	43 17.5%	8 3.3%

2 死亡者の状況

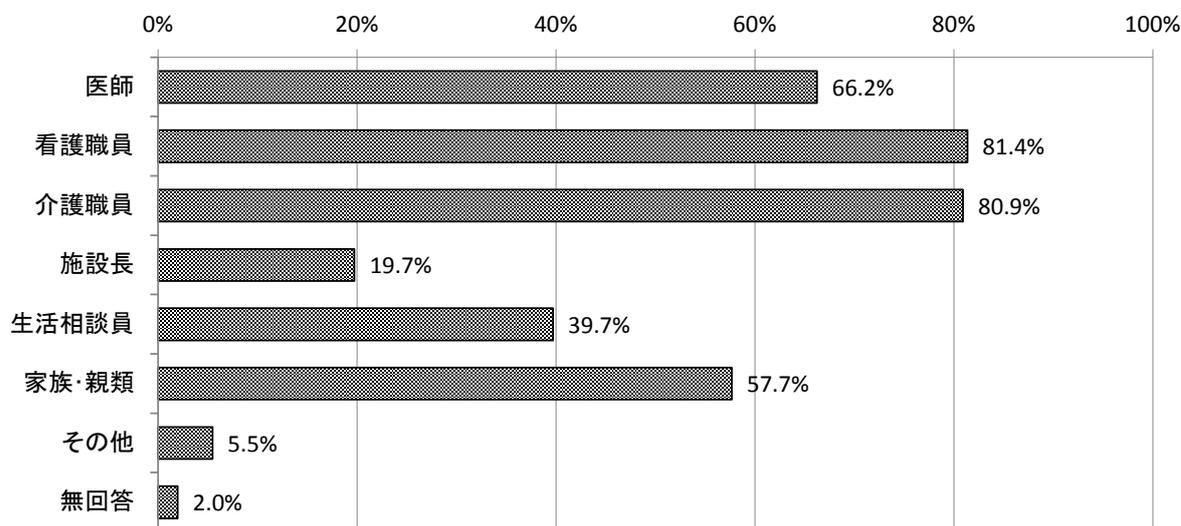
図表 2-521 (施設票) 施設内での死亡による退所者比率別 死亡時期の予測

	合計	ある程度、予測できていた	予測できていなかった	無回答
全体	456 100.0%	353 77.4%	83 18.2%	20 4.4%
0%	30 100.0%	23 76.7%	3 10.0%	4 13.3%
0%超～20%未満	15 100.0%	14 93.3%	0 0.0%	1 6.7%
20%以上～40%未満	59 100.0%	46 78.0%	11 18.6%	2 3.4%
40%以上～60%未満	109 100.0%	79 72.5%	24 22.0%	6 5.5%
60%以上～80%未満	80 100.0%	67 83.8%	12 15.0%	1 1.3%
80%以上～100%未満	90 100.0%	63 70.0%	25 27.8%	2 2.2%
100%	59 100.0%	50 84.7%	7 11.9%	2 3.4%

③ 死亡時の立会者

死亡時の立会者は、「看護職員」が 81.4%、「介護職員」が 80.9%、「医師」が 66.2%、「家族・親類」が 57.7%であった。

図表 2-522 死亡時の立会者（複数回答）（n=456）



図表 2-523 亡くなった時間帯別 死亡時の立会者（複数回答）

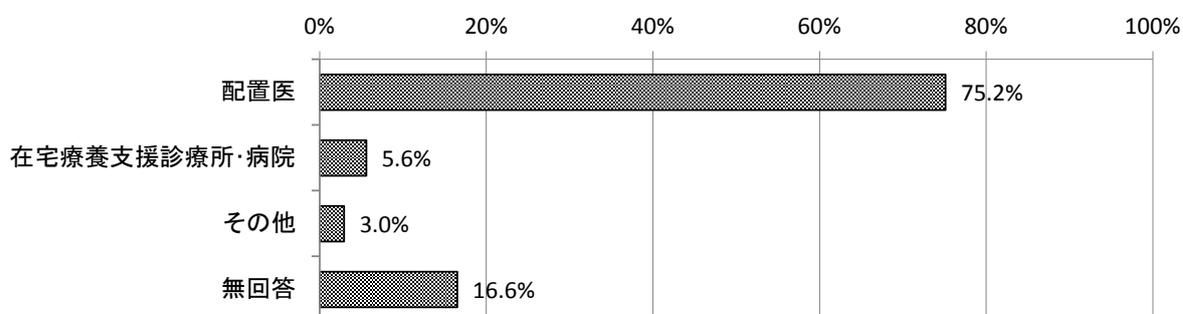
	死亡者数	医師	看護職員	介護職員	施設長	生活相談員	家族・親類	その他	無回答
全体	456	302 66.2%	371 81.4%	369 80.9%	90 19.7%	181 39.7%	263 57.7%	25 5.5%	9 2.0%
6時～8時	54	34 63.0%	38 70.4%	51 94.4%	10 18.5%	18 33.3%	25 46.3%	3 5.6%	0 0.0%
8時～18時	194	130 67.0%	176 90.7%	157 80.9%	48 24.7%	88 45.4%	115 59.3%	10 5.2%	1 0.5%
18時～22時	84	55 65.5%	68 81.0%	64 76.2%	12 14.3%	33 39.3%	51 60.7%	7 8.3%	1 1.2%
22時～6時	117	81 69.2%	87 74.4%	95 81.2%	19 16.2%	40 34.2%	70 59.8%	5 4.3%	2 1.7%
無回答	7	2	2	2	1	2	2	0	5

2 死亡者の状況

1) 死亡時の立会者が「医師」の場合

死亡時の立会者が「医師」の場合、「配置医」が 75.2%、「在宅療養支援診療所・病院」が 5.6%であった。

図表 2-524 (死亡時の立会者に医師が含まれる場合) 所属 (n=302)



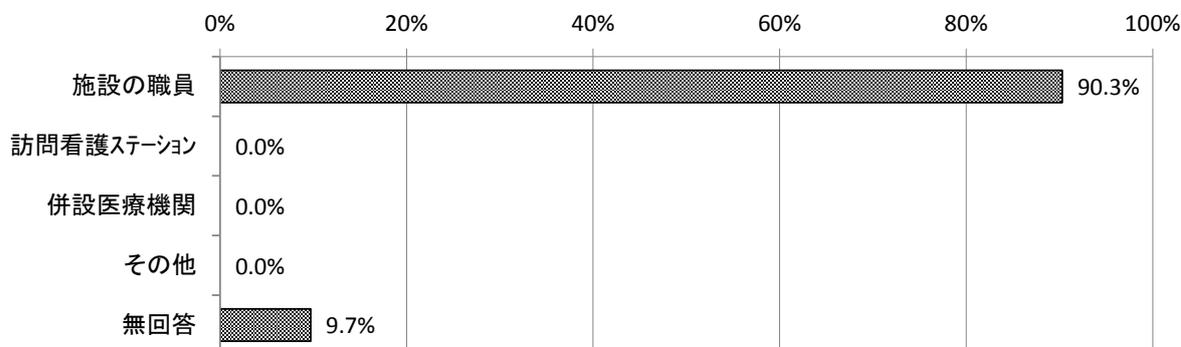
図表 2-525 亡くなった時間帯別 (死亡時の立会者に医師が含まれる場合) 所属

	合計	配置医	在宅療養支援診療所・病院	その他	無回答
全体	302 100.0%	227 75.2%	17 5.6%	9 3.0%	50 16.6%
6時～8時	34 100.0%	23 67.6%	3 8.8%	1 2.9%	7 20.6%
8時～18時	130 100.0%	100 76.9%	8 6.2%	6 4.6%	16 12.3%
18時～22時	55 100.0%	43 78.2%	2 3.6%	1 1.8%	9 16.4%
22時～6時	81 100.0%	59 72.8%	4 4.9%	1 1.2%	18 22.2%

2) 死亡時の立会者が「看護職員」の場合

死亡時の立会者が「看護職員」の場合、「施設の職員」が90.3%であった。

図表 2-526 (死亡時の立会者に看護職員が含まれる場合) 所属 (n=371)



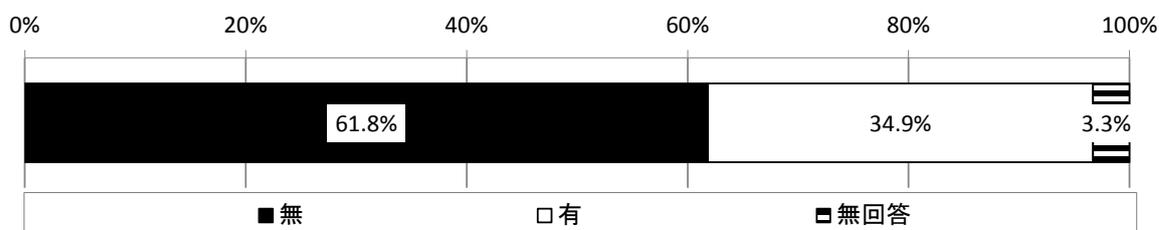
図表 2-527 亡くなった時間帯別 (死亡時の立会者に看護職員が含まれる場合) 所属

	合計	施設の職員	訪問看護ステーション	併設医療機関	その他	無回答
全体	371 100.0%	335 90.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	36 9.7%
6時～8時	38 100.0%	34 89.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 10.5%
8時～18時	176 100.0%	160 90.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 9.1%
18時～22時	68 100.0%	60 88.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 11.8%
22時～6時	87 100.0%	79 90.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 9.2%

④ 死亡前の居室の移動の有無

死亡前の居室の移動の有無をたずねると、「無」が61.8%、「有」が34.9%であった。

図表 2-528 死亡前の居室の移動の有無 (n=456)



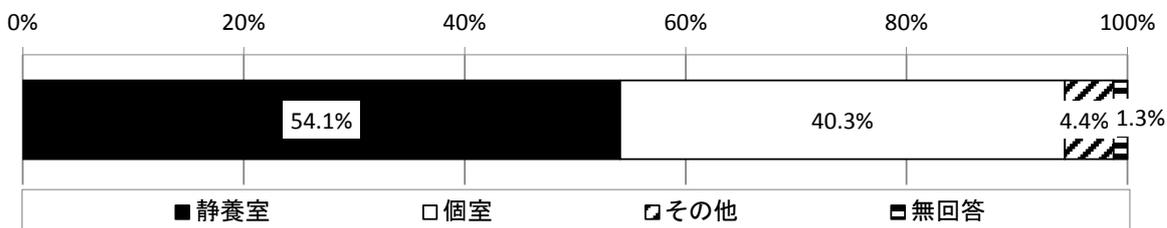
図表 2-529 施設内での普段の居室別 死亡時の居室の移動の有無

	合計	無	有	無回答
全体	456 100.0%	282 61.8%	159 34.9%	15 3.3%
1人	217 100.0%	196 90.3%	15 6.9%	6 2.8%
2人	39 100.0%	16 41.0%	22 56.4%	1 2.6%
3人	12 100.0%	4 33.3%	7 58.3%	1 8.3%
4人	184 100.0%	65 35.3%	112 60.9%	7 3.8%
6人	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%

1) 居室内の移動が「有」の場合

居室の移動が「有」の場合、その移動先は、「静養室」が54.1%、「個室」が40.3%であった。

図表 2-530 (死亡時の居室の移動有の場合) 移動先 (n=159)



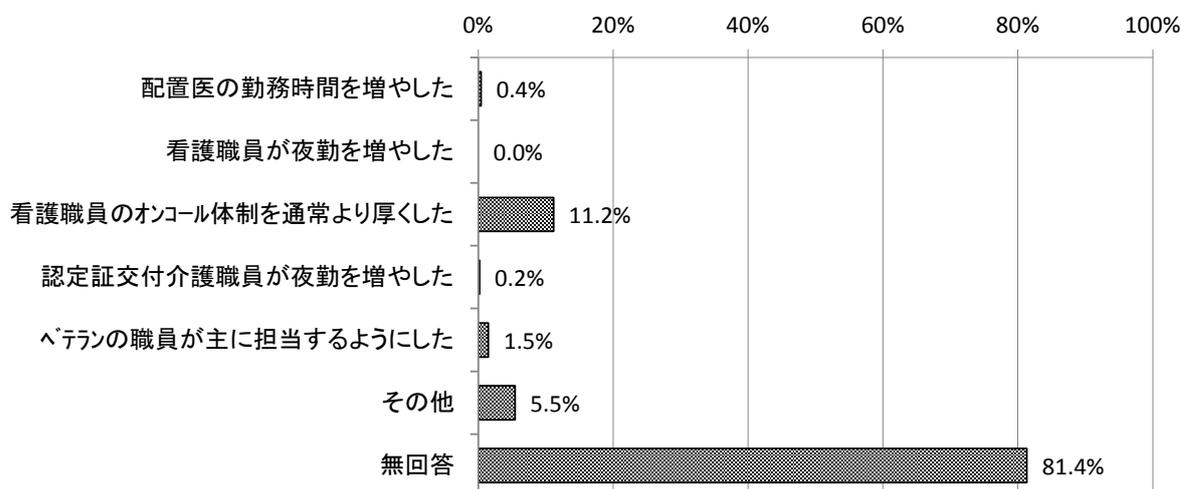
図表 2-531 施設内の普段の居室別 (死亡時の居室の移動有の場合) 移動先

	合計	静養室	個室	その他	無回答
全体	159 100.0%	86 54.1%	64 40.3%	7 4.4%	2 1.3%
1人	15 100.0%	6 40.0%	7 46.7%	2 13.3%	0 0.0%
2人	22 100.0%	14 63.6%	8 36.4%	0 0.0%	0 0.0%
3人	7 100.0%	1 14.3%	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%
4人	112 100.0%	62 55.4%	47 42.0%	1 0.9%	2 1.8%
6人	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

⑤ 当該利用者のターミナル期の対応のために職員の勤務体制を変更したこと

当該利用者のターミナル期の対応のために職員の勤務体制を変更したことがあるかをたずねたところ、「看護職員のオンコール体制を通常より厚くした」が11.2%、「ベテランの職員が主に担当するようにした」が1.5%であった。

図表 2-532 当該利用者のターミナル期の対応のための職員の勤務体制の変更 (n=456)

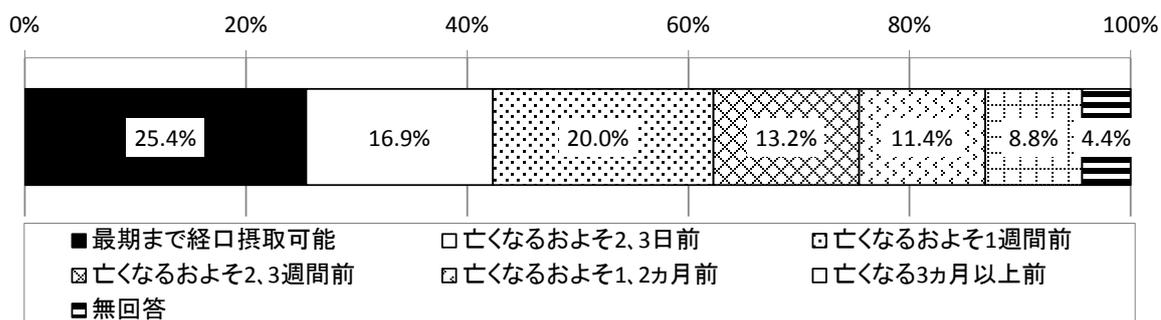


※「その他」の内容は、「居室訪問回数を多くした」などであった。

⑥ 経口摂取がほとんどできなくなった時期

経口摂取がほとんどできなくなった時期をたずねると、「最期まで経口摂取可能」が25.4%、「亡くなるおよそ1週間前」が20.0%、「亡くなるおよそ2、3日前」が16.9%であった。

図表 2-533 経口摂取がほとんどできなくなった時期 (n=456)



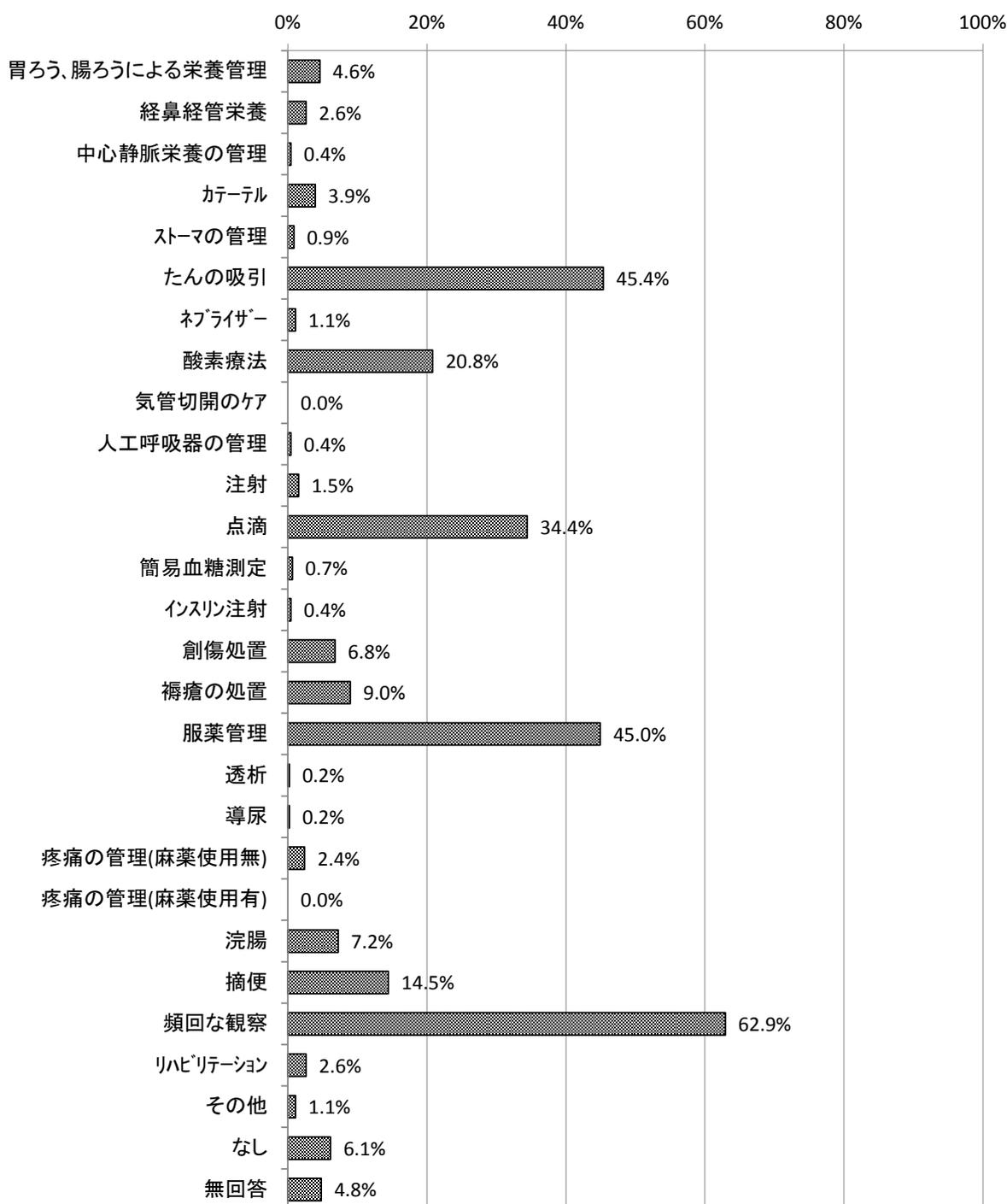
図表 2-534 主たる死因別 経口摂取がほとんどできなくなった時期

	合計	最期まで経口摂取可能	亡くなるおおよそ2、3日前	亡くなるおおよそ1週間前	亡くなるおおよそ2、3週間前	亡くなるおおよそ1、2カ月前	亡くなる3カ月以上前	無回答
全体	456 100.0%	116 25.4%	77 16.9%	91 20.0%	60 13.2%	52 11.4%	40 8.8%	20 4.4%
脳血管疾患	15 100.0%	5 33.3%	3 20.0%	3 20.0%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%
心不全	42 100.0%	23 54.8%	3 7.1%	6 14.3%	3 7.1%	5 11.9%	1 2.4%	1 2.4%
肺炎	44 100.0%	12 27.3%	6 13.6%	5 11.4%	7 15.9%	6 13.6%	7 15.9%	1 2.3%
悪性新生物	15 100.0%	5 33.3%	0 0.0%	6 40.0%	1 6.7%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%
老衰	295 100.0%	60 20.3%	56 19.0%	68 23.1%	43 14.6%	29 9.8%	24 8.1%	15 5.1%
その他	36 100.0%	10 27.8%	7 19.4%	3 8.3%	3 8.3%	6 16.7%	4 11.1%	3 8.3%

⑦ ターミナル期に実施した処置

ターミナル期に実施した処置は、「頻回な観察」が 62.9%、「たんの吸入」が 45.4%、「服薬管理」が 45.0%、「点滴」が 34.4%、「酸素療法」が 20.8%、「摘便」が 14.5%であった。

図表 2-535 ターミナル期に実施した処置（複数回答）（n=456）



図表 2-536 主たる死因別 ターミナル期に実施した処置

	合計	胃ろう、腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養の管理	カテーテル	ストーマの管理	たんの吸引	ネブライザー
全体	456 100.0%	21 4.6%	12 2.6%	2 0.4%	18 3.9%	4 0.9%	207 45.4%	5 1.1%
脳血管疾患	15 100.0%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	6 40.0%	0 0.0%
心不全	42 100.0%	2 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.8%	0 0.0%	8 19.0%	0 0.0%
肺炎	44 100.0%	3 6.8%	5 11.4%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	27 61.4%	2 4.5%
悪性新生物	15 100.0%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	7 46.7%	0 0.0%
老衰	295 100.0%	13 4.4%	4 1.4%	2 0.7%	10 3.4%	3 1.0%	138 46.8%	3 1.0%
その他	36 100.0%	0 0.0%	2 5.6%	0 0.0%	4 11.1%	0 0.0%	14 38.9%	0 0.0%

	合計	酸素療法	気管切開のケア	人工呼吸器の管理	注射	点滴	簡易血糖測定	インスリン注射
全体	456 100.0%	95 20.8%	0 0.0%	2 0.4%	7 1.5%	157 34.4%	3 0.7%	2 0.4%
脳血管疾患	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 26.7%	0 0.0%	1 6.7%
心不全	42 100.0%	4 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 21.4%	0 0.0%	0 0.0%
肺炎	44 100.0%	18 40.9%	0 0.0%	1 2.3%	1 2.3%	21 47.7%	1 2.3%	0 0.0%
悪性新生物	15 100.0%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%
老衰	295 100.0%	64 21.7%	0 0.0%	1 0.3%	5 1.7%	100 33.9%	2 0.7%	1 0.3%
その他	36 100.0%	5 13.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 41.7%	0 0.0%	0 0.0%

(続き)

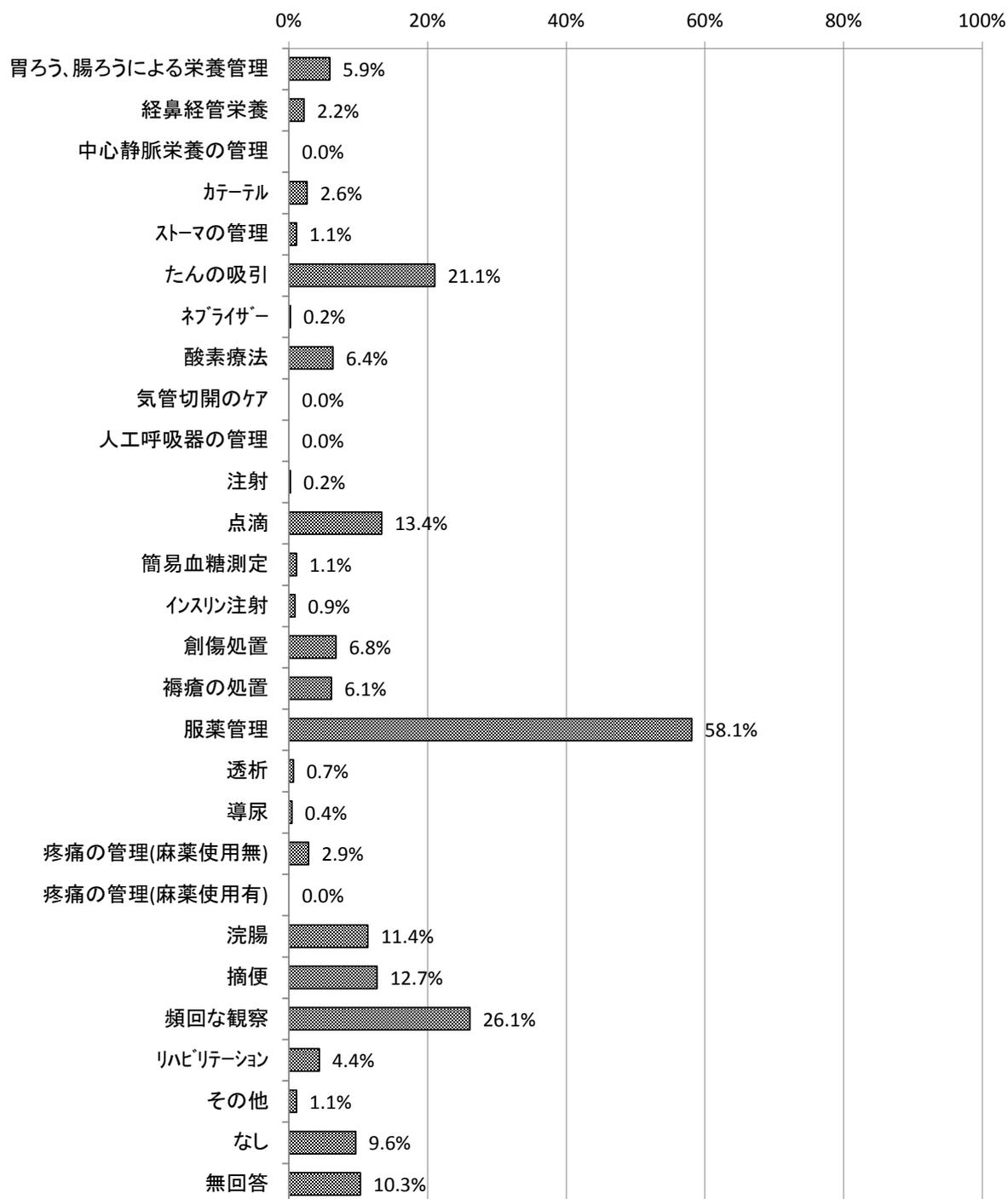
	合計	創傷処置	褥瘡の処置	服薬管理	透析	導尿	疼痛の管理 (麻薬使用無)	疼痛の管理 (麻薬使用有)
全体	456 100.0%	31 6.8%	41 9.0%	205 45.0%	1 0.2%	1 0.2%	11 2.4%	0 0.0%
脳血管疾患	15 100.0%	0 0.0%	1 6.7%	6 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
心不全	42 100.0%	1 2.4%	0 0.0%	19 45.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	0 0.0%
肺炎	44 100.0%	3 6.8%	5 11.4%	24 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
悪性新生物	15 100.0%	0 0.0%	2 13.3%	8 53.3%	0 0.0%	1 6.7%	4 26.7%	0 0.0%
老衰	295 100.0%	23 7.8%	30 10.2%	132 44.7%	1 0.3%	0 0.0%	5 1.7%	0 0.0%
その他	36 100.0%	3 8.3%	3 8.3%	11 30.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

	合計	浣腸	排便	頻回な観察	リハビリテーション	その他	なし	無回答
全体	456 100.0%	33 7.2%	66 14.5%	287 62.9%	12 2.6%	5 1.1%	28 6.1%	22 4.8%
脳血管疾患	15 100.0%	0 0.0%	2 13.3%	8 53.3%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 33.3%
心不全	42 100.0%	2 4.8%	3 7.1%	21 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 16.7%	4 9.5%
肺炎	44 100.0%	2 4.5%	5 11.4%	29 65.9%	2 4.5%	1 2.3%	1 2.3%	0 0.0%
悪性新生物	15 100.0%	1 6.7%	1 6.7%	7 46.7%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
老衰	295 100.0%	27 9.2%	50 16.9%	196 66.4%	5 1.7%	4 1.4%	18 6.1%	7 2.4%
その他	36 100.0%	1 2.8%	5 13.9%	20 55.6%	2 5.6%	0 0.0%	2 5.6%	6 16.7%

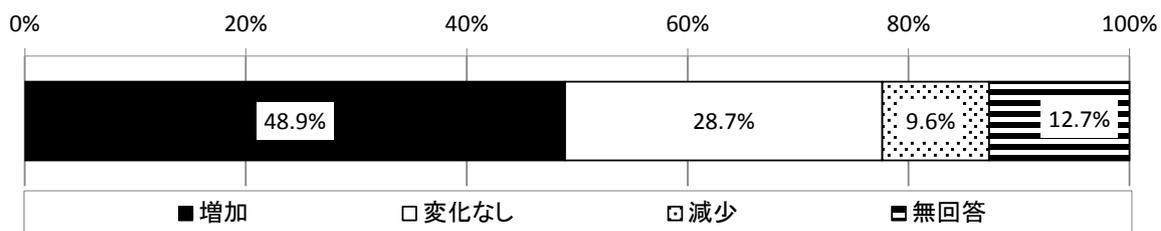
⑧ ターミナル期以前から実施していた処置

ターミナル期以前から実施していた処置は、「服薬管理」が 58.1%、「頻回な観察」が 26.1%、「たんの吸引」が 21.1%、「点滴」が 13.4%、「摘便」が 12.7%、「浣腸」が 11.4%であった。

図表 2-537 ターミナル期以前から実施していた処置（複数回答）（n=456）



図表 2-538 ターミナル期以前とターミナル期の比較（医療的ケアの選択項目数）（n=456）



図表 2-539 ターミナル期以前とターミナル期の比較（実施した医療的ケア等）（複数回答）

No.	実施した医療的ケア等	ターミナル期以前から実施していた処置		ターミナル期に実施した処置	
		件数	実施率	件数	実施率
1	胃ろう、腸ろうによる栄養管理	27	5.9%	21	4.6%
2	経鼻経管栄養	10	2.2%	12	2.6%
3	中心静脈栄養の管理	0	0.0%	2	0.4%
4	カテーテル	12	2.6%	18	3.9%
5	ストーマの管理	5	1.1%	4	0.9%
6	たんの吸引	96	21.1%	207	45.4%
7	ネブライザー	1	0.2%	5	1.1%
8	酸素療法	29	6.4%	95	20.8%
9	気管切開のケア	0	0.0%	0	0.0%
10	人工呼吸器の管理	0	0.0%	2	0.4%
11	注射	1	0.2%	7	1.5%
12	点滴	61	13.4%	157	34.4%
13	簡易血糖測定	5	1.1%	3	0.7%
14	インスリン注射	4	0.9%	2	0.4%
15	創傷処置	31	6.8%	31	6.8%
16	褥瘡の処置	28	6.1%	41	9.0%
17	服薬管理	265	58.1%	205	45.0%
18	透析	3	0.7%	1	0.2%
19	導尿	2	0.4%	1	0.2%
20	疼痛の管理(麻薬使用無)	13	2.9%	11	2.4%
21	疼痛の管理(麻薬使用有)	0	0.0%	0	0.0%
22	浣腸	52	11.4%	33	7.2%
23	排便	58	12.7%	66	14.5%
24	頻回な観察	119	26.1%	287	62.9%
25	リハビリテーション	20	4.4%	12	2.6%
26	その他	5	1.1%	5	1.1%
27	なし	44	9.6%	28	6.1%
	無回答	47	10.3%	22	4.8%
	全体	456	100.0%	456	100.0%

⑨ 死亡前2週間の配置医による診察回数

死亡前2週間の配置医による診察回数は、平均で2.9回であった。

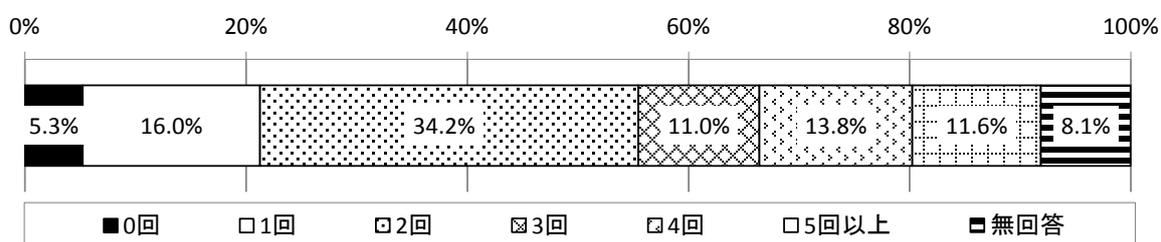
死亡前2週間の配置医による診察回数は、「2回」が34.2%、「1回」が16.0%、「4回」が13.8%、「5回以上」が11.6%であった。

死亡前2週間の配置医による診察の実施率は86.6%であった。

図表 2-540 死亡前2週間の配置医による診察回数

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
死亡前2週間の配置医による診察回数	419	2.9	2.4	2.0	15	0

図表 2-541 死亡前2週間の配置医による診察回数 (n=456)



図表 2-542 死亡前2週間の配置医による診察実施率

	件数 (対象者数)	1回以上実施	実施率
死亡前2週間の配置医による診察	456	395	86.6%

図表 2-543 主たる死因別 死亡前2週間の配置医による診察回数

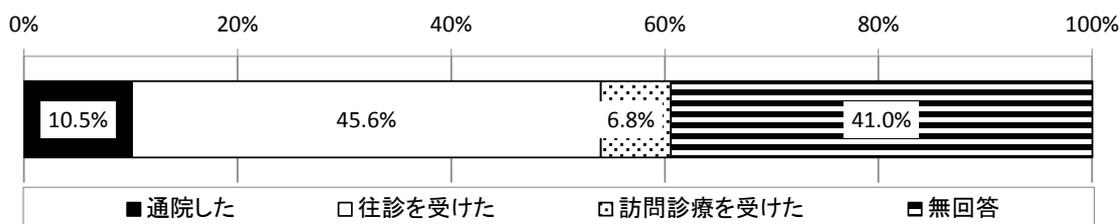
	合計	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
全体	456 100.0%	24 5.3%	73 16.0%	156 34.2%	50 11.0%	63 13.8%	53 11.6%	37 8.1%
脳血管疾患	15 100.0%	1 6.7%	5 33.3%	7 46.7%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%
心不全	42 100.0%	2 4.8%	10 23.8%	16 38.1%	7 16.7%	3 7.1%	3 7.1%	1 2.4%
肺炎	44 100.0%	3 6.8%	9 20.5%	10 22.7%	5 11.4%	6 13.6%	10 22.7%	1 2.3%
悪性新生物	15 100.0%	0 0.0%	2 13.3%	7 46.7%	1 6.7%	1 6.7%	2 13.3%	2 13.3%
老衰	295 100.0%	16 5.4%	40 13.6%	97 32.9%	32 10.8%	49 16.6%	31 10.5%	30 10.2%
その他	36 100.0%	2 5.6%	5 13.9%	16 44.4%	5 13.9%	1 2.8%	4 11.1%	3 8.3%

⑩ 死亡前2週間の受診状況

死亡前2週間の受診状況は、「往診を受けた」が45.6%、「通院した」が10.5%、「訪問診療を受けた」が6.8%であった。

死亡前2週間の通院・往診・訪問診療の回数について、通院の回数は平均1.4回、往診の回数は平均2.9回、訪問診療の回数は平均3.0回であった。

図表 2-544 死亡前2週間の受診状況 (n=456)



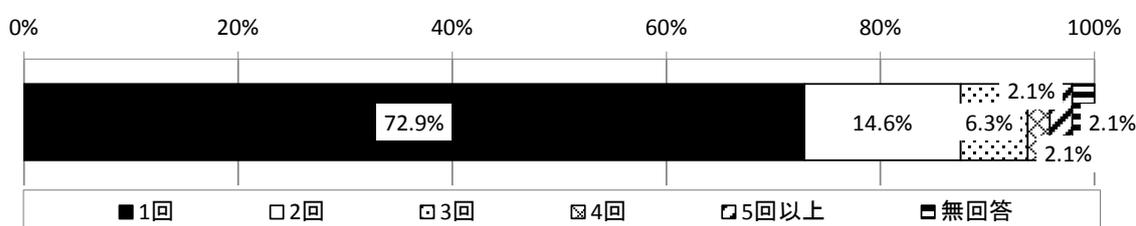
図表 2-545 通院・往診・訪問診療の回数 (死亡前2週間)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
受診回数:通院	47	1.4	1.0	1.0	6	1
受診回数:往診	200	2.9	2.4	2.0	15	1
受診回数:訪問診療	31	3.0	3.4	2.0	14	1

1) 通院した場合

通院回数は「1回」が72.9%、「2回」は14.6%、「3回」は6.3%であった。

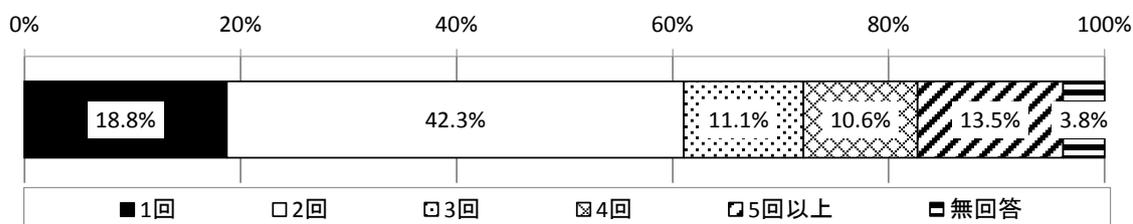
図表 2-546 (通院した場合) 通院回数 (n=48)



2) 往診を受けた場合

往診回数は「2回」が42.3%、「1回」は18.8%であった。

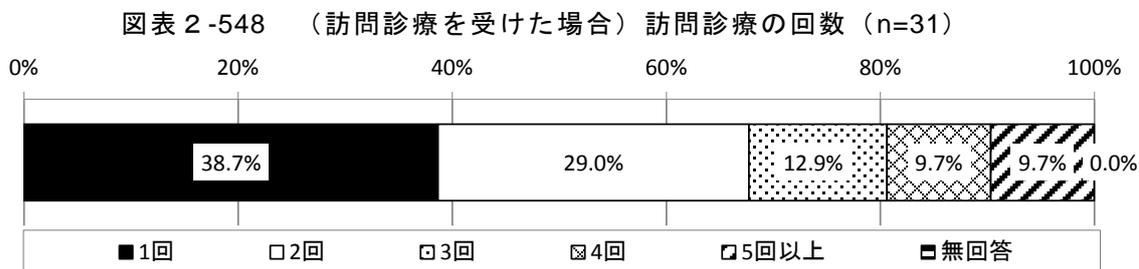
図表 2-547 (往診を受けた場合) 往診回数 (n=208)



2 死亡者の状況

3) 訪問診療を受けた場合

訪問診療の回数は、「1回」が38.7%、「2回」は29.0%で、「3回」は12.9%であった。



⑪ 死亡前3か月間の入院の有無

1) 死亡前3か月間の入院「有」の場合

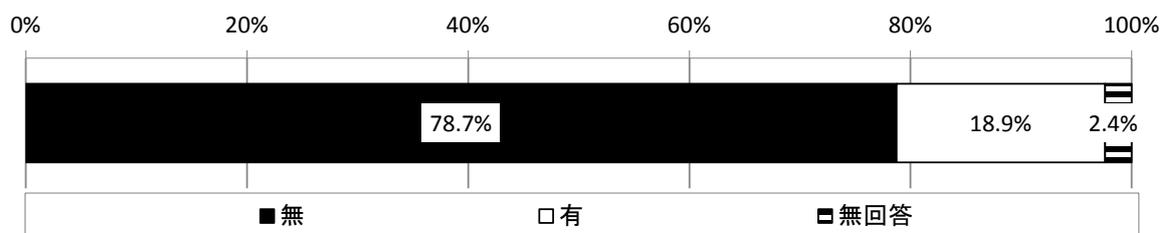
死亡前3か月間の入院の有無は、「有」が18.9%であった。

死亡前3か月間の入院がある場合、入院回数は、「1回」が83.7%、「2回」は11.6%であった。

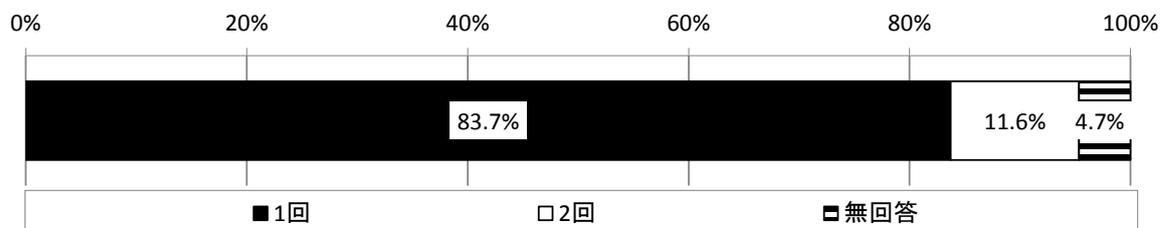
入院延べ日数は、「10日～19日」が25.6%、「20日～29日」は22.1%で、「30日～39日」は12.8%であった。

入院回数・入院延べ日数について、入院回数は平均1.1回、延べ日数は平均25.5日であった。

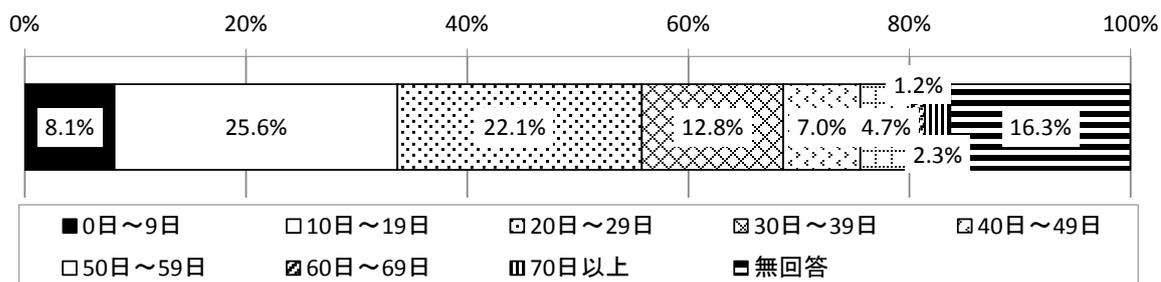
図表 2-549 死亡前3か月間の入院の有無 (n=456)



図表 2-550 (死亡前3か月間の入院がある場合) 入院回数 (n=86)



図表 2-551 (死亡前3か月間の入院がある場合) 入院延べ日数 (n=86)



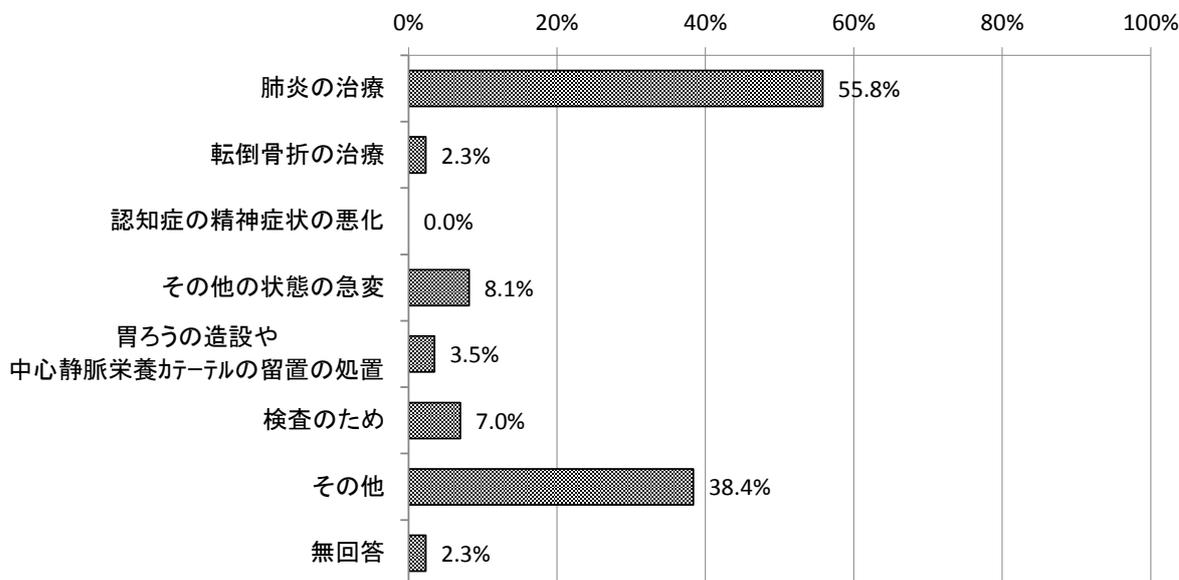
図表 2-552 (死亡前3か月間の入院がある場合) 入院回数・入院延べ日数

	件数	平均値	標準偏差	中央値
入院回数	82	1.1	0.3	1.0
入院の延べ日数	72	25.5	16.1	21.0

## 2) 入院理由

入院理由は、「肺炎の治療」が 55.8%、「その他の状態の急変」が 8.1%、「検査のため」が 7.0%であった。

図表 2-553 (死亡前3か月間の入院がある場合) 入院理由 (n=86)

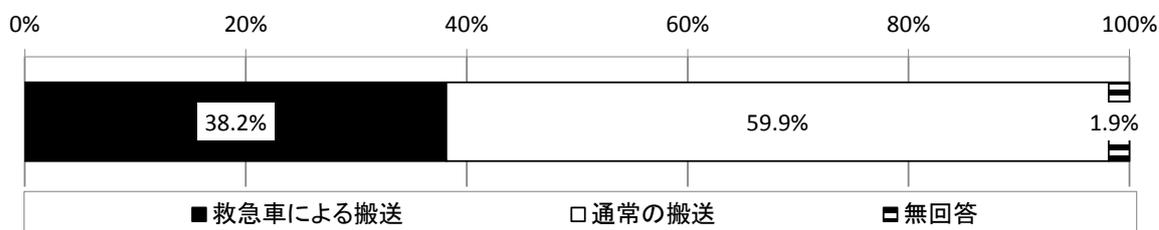


## (4) 病院・診療所での死亡者の状況

## ① 医療機関への搬送（移動）方法

搬送方法は、「救急車による搬送」が 38.2%、「通常の搬送」が 59.9%であった。

図表 2-554 医療機関への搬送（移動）方法（n=317）



図表 2-555 開設年別 医療機関への搬送（移動）方法

	合計	救急車による搬送	通常の搬送	無回答
全体	317 100.0%	121 38.2%	190 59.9%	6 1.9%
1989年以前	98 100.0%	24 24.5%	73 74.5%	1 1.0%
1990年～1999年	69 100.0%	30 43.5%	36 52.2%	3 4.3%
2000年～2004年	40 100.0%	13 32.5%	26 65.0%	1 2.5%
2005年～2010年	46 100.0%	23 50.0%	23 50.0%	0 0.0%
2011年以降	59 100.0%	27 45.8%	31 52.5%	1 1.7%

図表 2-556 入所定員別 医療機関への搬送（移動）方法

	合計	救急車による搬送	通常の搬送	無回答
全体	317 100.0%	121 38.2%	190 59.9%	6 1.9%
29人以下	20 100.0%	10 50.0%	10 50.0%	0 0.0%
30人以上～60人未満	99 100.0%	32 32.3%	65 65.7%	2 2.0%
60人以上～100人未満	123 100.0%	54 43.9%	65 52.8%	4 3.3%
100人以上	69 100.0%	20 29.0%	49 71.0%	0 0.0%

図表 2-557 常勤医師の有無別 医療機関への搬送（移動）方法

	合計	救急車 による 搬送	通常の 搬送	無回答
全体	317 100.0%	121 38.2%	190 59.9%	6 1.9%
いる	7 100.0%	1 14.3%	6 85.7%	0 0.0%
いない	305 100.0%	117 38.4%	182 59.7%	6 2.0%

図表 2-558 施設の看取りの方針別 医療機関への搬送（移動）方法

	合計	救急車 による 搬送	通常の 搬送	無回答
全体	317 100.0%	121 38.2%	190 59.9%	6 1.9%
希望があれば、施 設内で看取る	196 100.0%	78 39.8%	114 58.2%	4 2.0%
原則、病院等に移 す	93 100.0%	31 33.3%	61 65.6%	1 1.1%

図表 2-559 施設内での死亡による退所者の比率別 医療機関への搬送（移動）方法

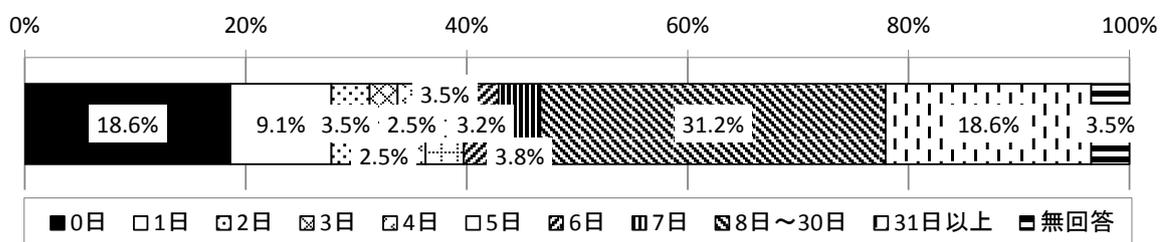
	合計	救急車 による 搬送	通常の 搬送	無回答
全体	317 100.0%	121 38.2%	190 59.9%	6 1.9%
0%	134 100.0%	50 37.3%	83 61.9%	1 0.7%
0%超～20%未満	36 100.0%	12 33.3%	23 63.9%	1 2.8%
20%以上～40%未 満	52 100.0%	23 44.2%	29 55.8%	0 0.0%
40%以上～60%未 満	43 100.0%	15 34.9%	26 60.5%	2 4.7%
60%以上～80%未 満	24 100.0%	10 41.7%	13 54.2%	1 4.2%
80%以上～100% 未満	6 100.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%
100%	10 100.0%	5 50.0%	5 50.0%	0 0.0%

2 死亡者の状況

② 入院日～死亡日までの期間

入院日から死亡日の日数は、「8日～30日」が31.2%、「31日以上」が18.6%、「0日」が18.6%、「1日」が9.1%であった。平均は16.5日であった。

図表 2-560 入院日～死亡日までの期間 (n=317)



図表 2-561 入院日～死亡日までの期間 (日数)

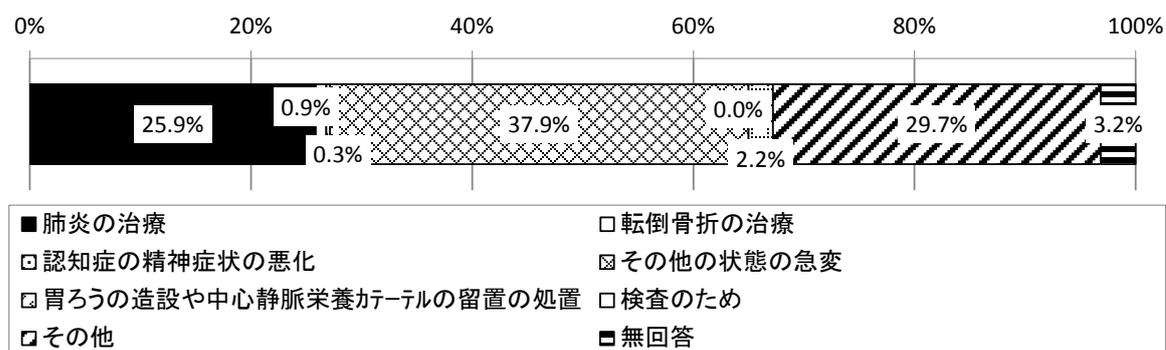
	件数	平均	標準偏差	中央値	最大値	最小値
全体	306	16.5	21.8	8.0	160	0

③ 搬送理由

搬送理由は、「その他の状態の急変」が 37.9%、「肺炎の治療」が 25.9%であった。

「死亡日前 4 日～30 日」または「死亡日前 2～2 日」の看取り加算算定あり、かつ「死亡日」の看取り加算算定「なし」の搬送理由は、対象件数が 1 件であり、搬送理由は、「その他の状態の急変」であった。

図表 2 -562 搬送理由 (n=317)



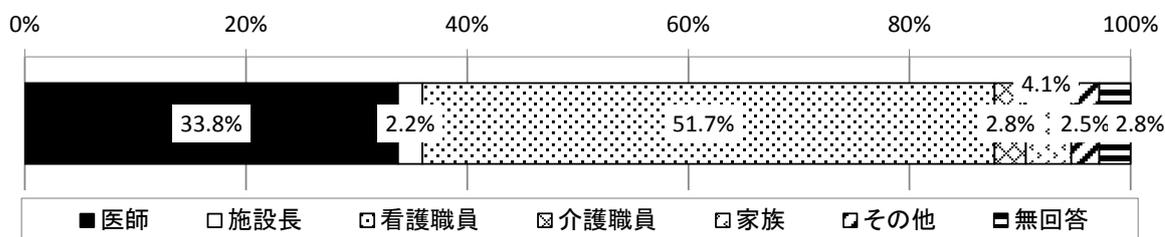
図表 2 -563 「死亡日前 4 日～30 日」または「死亡日前 2～3 日」の看取り加算算定あり＋「死亡日」の看取り加算算定「なし」の搬送理由

	合計	肺炎の 治療	転倒骨 折の治 療	認知症 の精神 症状の 悪化	その他 の状態 の急変	胃ろう の造設 や中心 静脈栄 養カテ ーテル の留 置の処 置	検査の ため	その他	無回答
全体	317 100.0%	82 25.9%	3 0.9%	1 0.3%	120 37.9%	0 0.0%	7 2.2%	94 29.7%	10 3.2%
死亡日算定なし	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

④ 施設で搬送（入院）を判断した者

施設で搬送（入院）を判断した者は、「看護職員」が51.7%、「医師」が33.8%であった。

図表 2-564 施設で搬送（入院）を判断した者（n=317）



図表 2-565 搬送理由別 施設で搬送（入院）を判断した者

	合計	医師	施設長	看護職員	介護職員	家族	その他	無回答
全体	317 100.0%	107 33.8%	7 2.2%	164 51.7%	9 2.8%	13 4.1%	8 2.5%	9 2.8%
肺炎の治療	82 100.0%	34 41.5%	1 1.2%	35 42.7%	0 0.0%	5 6.1%	2 2.4%	5 6.1%
転倒骨折の治療	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
認知症の精神症状の悪化	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他の状態の急変	120 100.0%	32 26.7%	6 5.0%	71 59.2%	6 5.0%	3 2.5%	1 0.8%	1 0.8%
胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
検査のため	7 100.0%	3 42.9%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
その他	94 100.0%	34 36.2%	0 0.0%	48 51.1%	3 3.2%	3 3.2%	5 5.3%	1 1.1%

図表 2 -566 (施設票) 病院・診療所への入院後死亡による退所者比率別

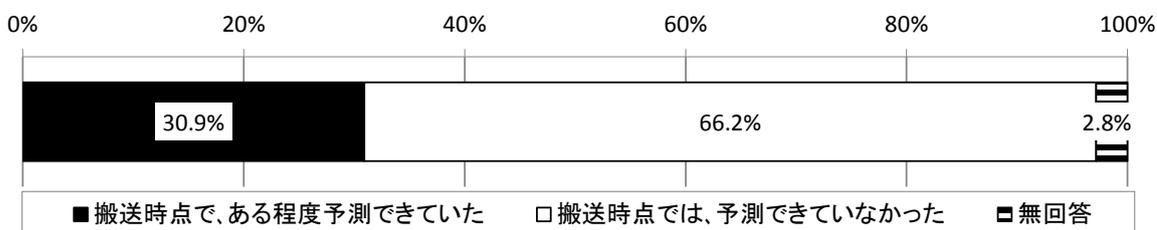
施設で搬送(入院)を判断した者

	合計	医師	施設長	看護職員	介護職員	家族	その他	無回答
全体	317 100.0%	107 33.8%	7 2.2%	164 51.7%	9 2.8%	13 4.1%	8 2.5%	9 2.8%
0%	42 100.0%	16 38.1%	0 0.0%	20 47.6%	2 4.8%	2 4.8%	1 2.4%	1 2.4%
0%超～20%未満	30 100.0%	9 30.0%	1 3.3%	13 43.3%	2 6.7%	3 10.0%	1 3.3%	1 3.3%
20%以上～40%未満	82 100.0%	31 37.8%	3 3.7%	38 46.3%	1 1.2%	3 3.7%	3 3.7%	3 3.7%
40%以上～60%未満	69 100.0%	18 26.1%	2 2.9%	41 59.4%	1 1.4%	3 4.3%	2 2.9%	2 2.9%
60%以上～80%未満	46 100.0%	16 34.8%	0 0.0%	25 54.3%	2 4.3%	2 4.3%	1 2.2%	0 0.0%
80%以上～100%未満	14 100.0%	8 57.1%	1 7.1%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
100%	22 100.0%	8 36.4%	0 0.0%	13 59.1%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

⑤ 死亡時期の予測

死亡時期の予測は、「搬送時点である程度予測できていた」が 30.9%、「搬送時点では、予測できていなかった」が 66.2%であった。

図表 2-567 搬送時点での死亡時期の予測 (n=317)



図表 2-568 搬送理由別 搬送時点での死亡時期の予測

	合計	搬送時点で、ある程度予測できていた	搬送時点では、予測できていなかった	無回答
全体	317 100.0%	98 30.9%	210 66.2%	9 2.8%
肺炎の治療	82 100.0%	13 15.9%	67 81.7%	2 2.4%
転倒骨折の治療	3 100.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%
認知症の精神症状の悪化	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
その他の状態の急変	120 100.0%	48 40.0%	69 57.5%	3 2.5%
胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
検査のため	7 100.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%
その他	94 100.0%	33 35.1%	59 62.8%	2 2.1%

図表 2-569 搬送を判断した者別 搬送時点での死亡時期の予測

	合計	搬送時 点で、あ る程度 予測で きてい た	搬送時 点では、 予測で きてい なかつ た	無回答
全体	317 100.0%	98 30.9%	210 66.2%	9 2.8%
医師	107 100.0%	29 27.1%	76 71.0%	2 1.9%
施設長	7 100.0%	2 28.6%	5 71.4%	0 0.0%
看護職員	164 100.0%	53 32.3%	108 65.9%	3 1.8%
介護職員	9 100.0%	5 55.6%	4 44.4%	0 0.0%
家族	13 100.0%	4 30.8%	8 61.5%	1 7.7%
その他	8 100.0%	3 37.5%	4 50.0%	1 12.5%

図表 2-570 (施設票) 常勤医師の有無別 搬送時点での死亡時期の予測

	合計	搬送時 点で、あ る程度 予測で きてい た	搬送時 点では、 予測で きてい なかつ た	無回答
全体	317 100.0%	98 30.9%	210 66.2%	9 2.8%
いる	7 100.0%	2 28.6%	5 71.4%	0 0.0%
いない	305 100.0%	92 30.2%	204 66.9%	9 3.0%

図表 2-571 (施設票) 配置医の1週間の勤務時間別 搬送時点での死亡時期の予測

	合計	搬送時点で、ある程度予測できていた	搬送時点では、予測できていなかった	無回答
全体	317 100.0%	98 30.9%	210 66.2%	9 2.8%
0時間	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
0時間超～4時間以下	205 100.0%	66 32.2%	135 65.9%	4 2.0%
4時間超～8時間以下	40 100.0%	11 27.5%	26 65.0%	3 7.5%
8時間超～16時間以下	13 100.0%	3 23.1%	10 76.9%	0 0.0%
16時間以上	10 100.0%	5 50.0%	5 50.0%	0 0.0%

図表 2-572 (施設票) 非常勤の配置医の勤務時間外に対応別 搬送時点での死亡時期の予測

	合計	搬送時点で、ある程度予測できていた	搬送時点では、予測できていなかった	無回答
全体	317 100.0%	98 30.9%	210 66.2%	9 2.8%
勤務日以外でも、対応してもらえる	143 100.0%	56 39.2%	82 57.3%	5 3.5%
勤務日以外は電話で指示を得ることができる	119 100.0%	23 19.3%	93 78.2%	3 2.5%
原則、勤務日以外は対応してもらえない	24 100.0%	7 29.2%	17 70.8%	0 0.0%

図表 2-573 (施設票) 病院・診療所への入院後死亡による退所者比率別

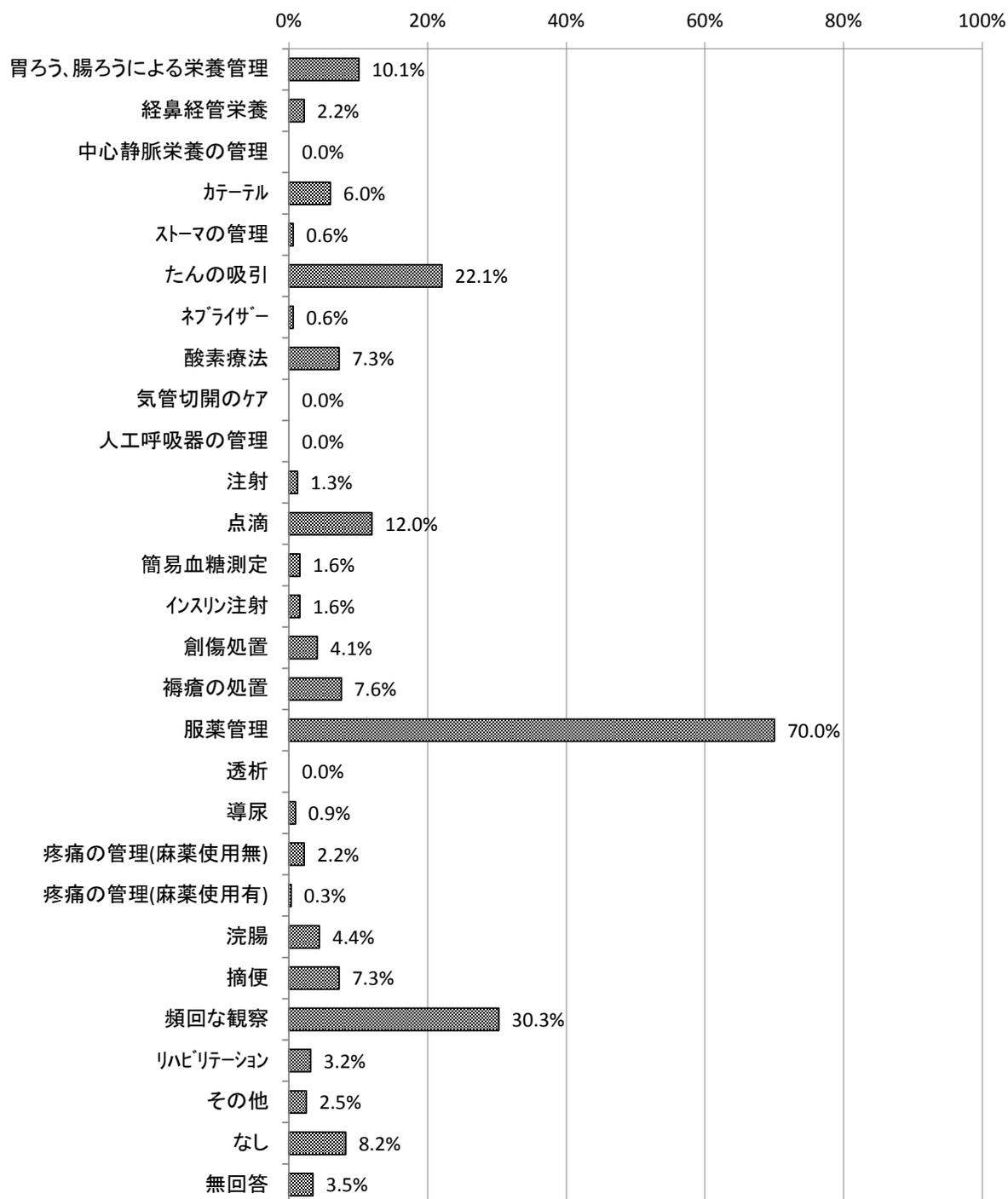
搬送時点での死亡時期の予測

	合計	搬送時 点で、あ る程度 予測で きてい た	搬送時 点では、 予測で きてい なかつ た	無回答
全体	317 100.0%	98 30.9%	210 66.2%	9 2.8%
0%	134 100.0%	46 34.3%	85 63.4%	3 2.2%
0%超～20%未満	36 100.0%	13 36.1%	22 61.1%	1 2.8%
20%以上～40%未満	52 100.0%	11 21.2%	40 76.9%	1 1.9%
40%以上～60%未満	43 100.0%	11 25.6%	30 69.8%	2 4.7%
60%以上～80%未満	24 100.0%	9 37.5%	14 58.3%	1 4.2%
80%以上～100%未満	6 100.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%
100%	10 100.0%	3 30.0%	7 70.0%	0 0.0%

⑥ 搬送前2週間以内に施設で実施していた処置

搬送前2週間以内に実施していた処置は、「服薬管理」が70.0%、「頻回な観察」が30.3%、「たんの吸引」が22.1%、「点滴」が12.0%、「胃ろう、腸ろうによる栄養管理」が10.1%であった。

図表 2-574 搬送前2週間以内に実施していた処置（複数回答）（n=317）



図表 2-575 (施設票) 病院・診療所への入院後死亡による退所者比率別  
搬送前2週間以内に実施していた処置

	合計	胃ろう、腸ろうによる栄養管理	経鼻経管栄養	中心静脈栄養の管理	カテーテル	ストーマの管理	たんの吸引	ネブライザー	酸素療法	気管切開のケ
全体	317 100.0%	32 10.1%	7 2.2%	0 0.0%	19 6.0%	2 0.6%	70 22.1%	2 0.6%	23 7.3%	0 0.0%
0%	42 100.0%	5 11.9%	2 4.8%	0 0.0%	2 4.8%	0 0.0%	14 33.3%	0 0.0%	4 9.5%	0 0.0%
0%超～ 20%未満	30 100.0%	4 13.3%	1 3.3%	0 0.0%	3 10.0%	1 3.3%	7 23.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20%以上～ 40%未満	82 100.0%	8 9.8%	2 2.4%	0 0.0%	6 7.3%	0 0.0%	18 22.0%	1 1.2%	8 9.8%	0 0.0%
40%以上～ 60%未満	69 100.0%	9 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 5.8%	0 0.0%	12 17.4%	1 1.4%	4 5.8%	0 0.0%
60%以上～ 80%未満	46 100.0%	4 8.7%	1 2.2%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	6 13.0%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%
80%以上～ 100%未満	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	4 28.6%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%
100%	22 100.0%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%	8 36.4%	0 0.0%	3 13.6%	0 0.0%

	合計	人工呼吸器の管理	注射	点滴	簡易血糖測定	インスリン注射	創傷処置	褥瘡の処置	服薬管理	透析
全体	317 100.0%	0 0.0%	4 1.3%	38 12.0%	5 1.6%	5 1.6%	13 4.1%	24 7.6%	222 70.0%	0 0.0%
0%	42 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 11.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	28 66.7%	0 0.0%
0%超～ 20%未満	30 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.7%	2 6.7%	19 63.3%	0 0.0%
20%以上～ 40%未満	82 100.0%	0 0.0%	2 2.4%	10 12.2%	4 4.9%	3 3.7%	7 8.5%	7 8.5%	61 74.4%	0 0.0%
40%以上～ 60%未満	69 100.0%	0 0.0%	2 2.9%	9 13.0%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	5 7.2%	46 66.7%	0 0.0%
60%以上～ 80%未満	46 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.3%	5 10.9%	39 84.8%	0 0.0%
80%以上～ 100%未満	14 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	7 50.0%	0 0.0%
100%	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 18.2%	17 77.3%	0 0.0%

2 死亡者の状況

	合計	導尿	疼痛の管理 (麻薬使用無)	疼痛の管理 (麻薬使用有)	浣腸	摘便	頻回な観察	リハビリテーション	その他	なし	無回答
全体	317 100.0%	3 0.9%	7 2.2%	1 0.3%	14 4.4%	23 7.3%	96 30.3%	10 3.2%	8 2.5%	26 8.2%	11 3.5%
0%	42 100.0%	0 0.0%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%	3 7.1%	16 38.1%	3 7.1%	2 4.8%	4 9.5%	1 2.4%
0%超～ 20%未満	30 100.0%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%	2 6.7%	1 3.3%	10 33.3%	3 10.0%	2 6.7%	1 3.3%	2 6.7%
20%以上～ 40%未満	82 100.0%	0 0.0%	3 3.7%	0 0.0%	6 7.3%	8 9.8%	27 32.9%	0 0.0%	0 0.0%	9 11.0%	2 2.4%
40%以上～ 60%未満	69 100.0%	1 1.4%	2 2.9%	0 0.0%	5 7.2%	5 7.2%	14 20.3%	1 1.4%	1 1.4%	4 5.8%	4 5.8%
60%以上～ 80%未満	46 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	2 4.3%	12 26.1%	3 6.5%	1 2.2%	2 4.3%	1 2.2%
80%以上～ 100%未満	14 100.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	4 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
100%	22 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	11 50.0%	0 0.0%	1 4.5%	3 13.6%	0 0.0%

⑦ 搬送前2週間の配置医による診察回数

搬送前2週間の配置医による診察回数は、平均で1.9回であった。

搬送前2週間の配置医による診察回数は、「1回」が37.5%、「2回」が31.5%であった。

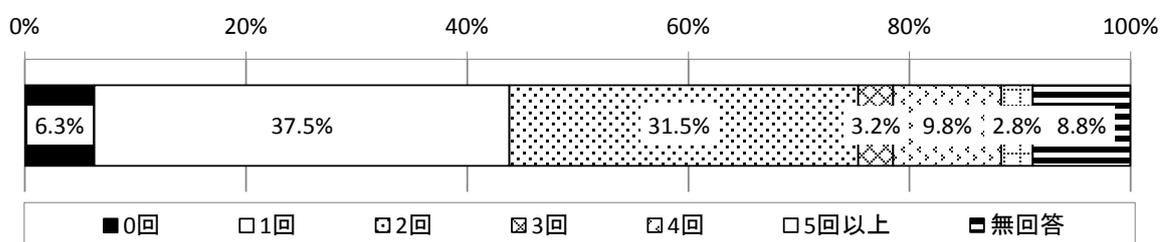
搬送前2週間の配置医による診察の実施率は84.9%であった。

図表2-576 搬送前2週間の配置医による診察回数

(単位：回)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
搬送前2週間の配置医による診察回数	289	1.9	1.5	2.0	10	0

図表2-577 搬送前2週間の配置医による診察回数 (n=317)



図表2-578 搬送前2週間の配置医による診察の実施率

	件数 (対象者数)	1回以上実施	実施率
搬送前2週間の配置医による診察	317	269	84.9%

図表2-579 (施設票) 病院・診療所への入院後死亡による退所者比率別

搬送前2週間の配置医による診察回数

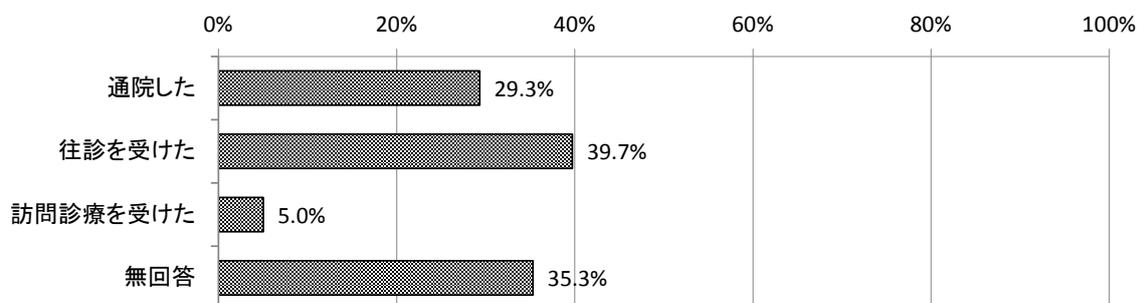
	合計	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
全体	317 100.0%	20 6.3%	119 37.5%	100 31.5%	10 3.2%	31 9.8%	9 2.8%	28 8.8%
0%	42 100.0%	3 7.1%	18 42.9%	8 19.0%	1 2.4%	7 16.7%	2 4.8%	3 7.1%
0%超~20%未満	30 100.0%	2 6.7%	13 43.3%	8 26.7%	1 3.3%	2 6.7%	2 6.7%	2 6.7%
20%以上~40%未満	82 100.0%	8 9.8%	23 28.0%	26 31.7%	2 2.4%	8 9.8%	4 4.9%	11 13.4%
40%以上~60%未満	69 100.0%	4 5.8%	31 44.9%	22 31.9%	1 1.4%	8 11.6%	0 0.0%	3 4.3%
60%以上~80%未満	46 100.0%	2 4.3%	13 28.3%	19 41.3%	4 8.7%	4 8.7%	0 0.0%	4 8.7%
80%以上~100%未満	14 100.0%	0 0.0%	7 50.0%	5 35.7%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%
100%	22 100.0%	1 4.5%	11 50.0%	7 31.8%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%

⑧ 搬送前2週間の受診状況

搬送前2週間の受診状況は、「往診を受けた」が39.7%、「通院した」が29.3%、「訪問診療を受けた」が5.0%であった。

通院・往診・訪問診療の回数について、通院の回数は平均1.8回、往診の回数は平均1.6回、訪問診療の回数は平均1.6回であった。

図表2-580 搬送前2週間以内の受診状況（複数回答）（n=317）



図表2-581 通院・往診・訪問診療の回数

(単位：回)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
受診回数：通院	92	1.8	1.5	1.0	8	1
受診回数：往診	126	1.6	0.7	1.0	5	1
受診回数：訪問診療	16	1.6	0.7	1.5	3	1

図表2-582 (施設票) 病院・診療所への入院後死亡による退所者比率別

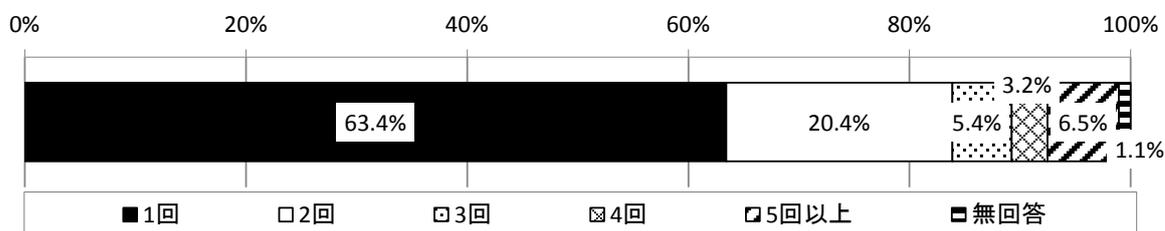
搬送前2週間以内の受診状況

	合計	通院した	往診を受けた	訪問診療を受けた	無回答
全体	317 100.0%	93 29.3%	126 39.7%	16 5.0%	112 35.3%
0%	42 100.0%	16 38.1%	11 26.2%	2 4.8%	16 38.1%
0%超～20%未満	30 100.0%	6 20.0%	15 50.0%	1 3.3%	11 36.7%
20%以上～40%未満	82 100.0%	28 34.1%	30 36.6%	2 2.4%	29 35.4%
40%以上～60%未満	69 100.0%	18 26.1%	24 34.8%	2 2.9%	34 49.3%
60%以上～80%未満	46 100.0%	15 32.6%	19 41.3%	5 10.9%	10 21.7%
80%以上～100%未満	14 100.0%	4 28.6%	6 42.9%	3 21.4%	4 28.6%
100%	22 100.0%	5 22.7%	14 63.6%	1 4.5%	4 18.2%

1) 通院した場合

通院回数は、「1回」が63.4%、「2回」は20.4%で、「3回」は5.4%であった。

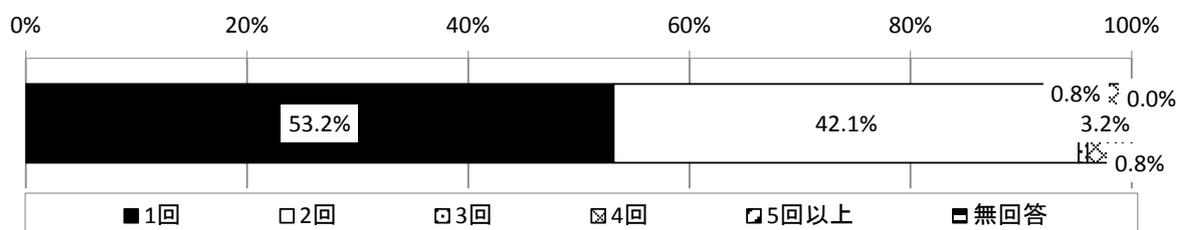
図表 2-583 (通院した場合) 通院回数 (n=93)



2) 往診した場合

往診回数は、「1回」が53.2%、「2回」は42.1%で、「4回」は3.2%であった。

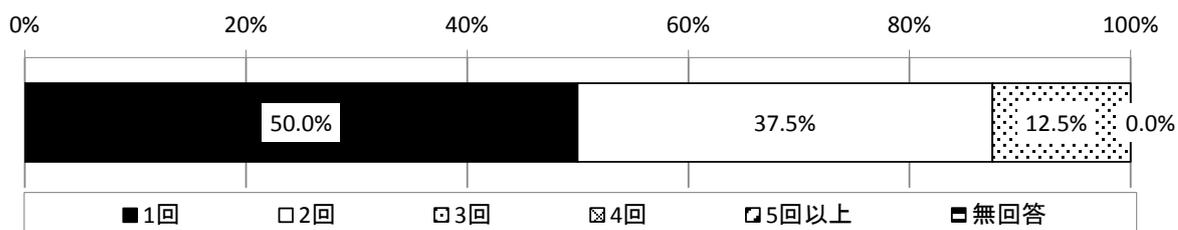
図表 2-584 (往診した場合) 往診回数 (n=126)



3) 訪問診療をした場合

訪問診療の回数は、「1回」が50.0%、「2回」は37.5%で、「3回」は12.5%であった。

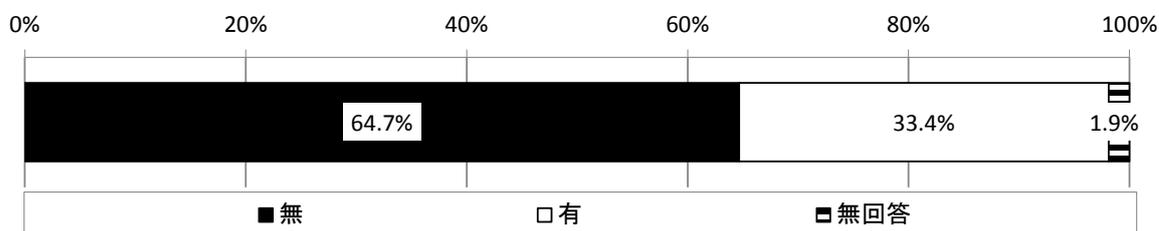
図表 2-585 (訪問診療をした場合) 訪問診療の回数 (n=16)



⑨ 死亡前3か月間の入院の有無

死亡前3か月間の入院の有無は、「有」が33.4%であった。

図表 2-586 死亡前3か月間の入院の有無 (n=317)



図表 2-587 (施設票) 病院・診療所への入院後死亡による退所者比率別

死亡前3ヵ月間の入院の有無

	合計	無	有	無回答
全体	317 100.0%	205 64.7%	106 33.4%	6 1.9%
0%	42 100.0%	29 69.0%	13 31.0%	0 0.0%
0%超～20%未満	30 100.0%	21 70.0%	8 26.7%	1 3.3%
20%以上～40%未満	82 100.0%	52 63.4%	28 34.1%	2 2.4%
40%以上～60%未満	69 100.0%	42 60.9%	26 37.7%	1 1.4%
60%以上～80%未満	46 100.0%	37 80.4%	9 19.6%	0 0.0%
80%以上～100%未満	14 100.0%	9 64.3%	5 35.7%	0 0.0%
100%	22 100.0%	8 36.4%	13 59.1%	1 4.5%

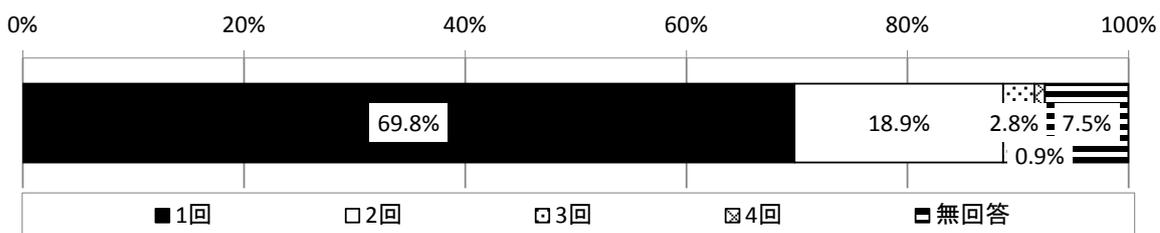
1) 死亡前3か月間の入院の「有」の場合

死亡前3か月間の入院が「有」の場合の入院回数は、「1回」が69.8%、「2回」は18.9%で、「3回」は2.8%であった。

入院回数・入院延べ日数について、入院回数は平均1.3回、入院の延べ日数は平均31.9日であった。

入院延べ日数は、「0日～9日」と「10日～19日」が16.0%で、「20日～29日」は14.2%であった。

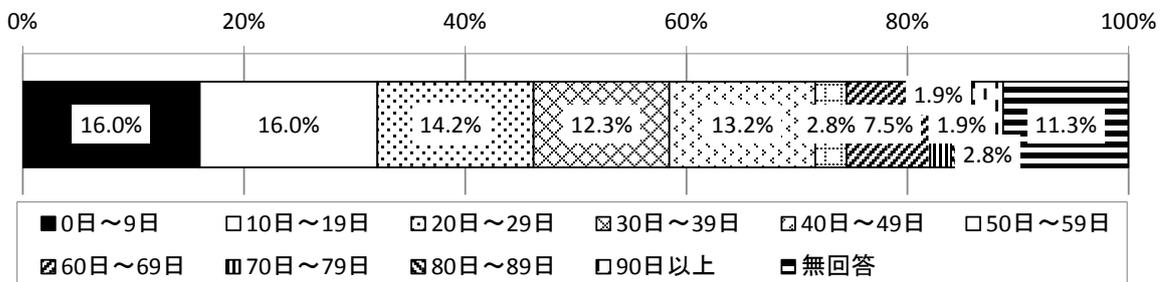
図表2-588 (入院有の場合) 入院回数 (n=106)



図表2-589 (入院有の場合) 入院回数・入院延べ日数 (n=106)

	件数	平均値	標準偏差	中央値	最大値	最小値
入院回数 (単位: 回)	98	1.3	0.6	1.0	4	1
入院の延べ日数 (単位: 日)	94	31.9	23.1	25.0	90	1

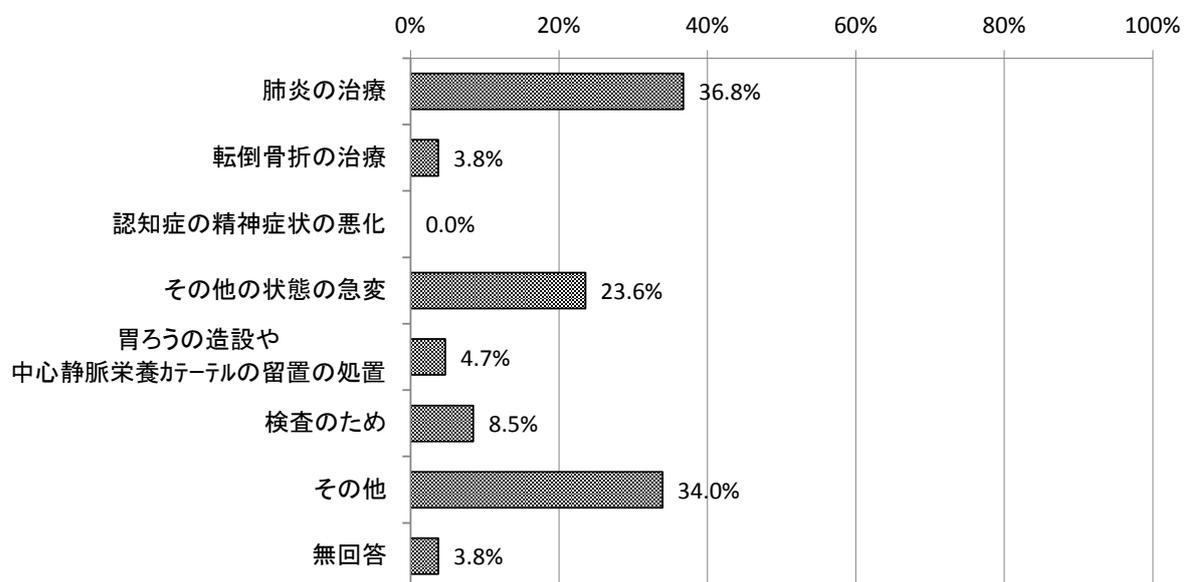
図表2-590 (入院有の場合) 入院延べ日数 (n=106)



## 2) 入院理由

入院理由は、「肺炎の治療」が 36.8%、「その他の状態の急変」が 23.6%、「検査のため」が 8.5%であった。

図表 2-591 (入院有の場合) 入院理由 (n=106)



### 3. 時期による医療処置等の内容の相違

ここでは、これまでに掲載した集計結果について、時期別に比較できるようにまとめて掲載した。

#### (1) 医療的ケアの実施状況

##### ① 実施した医療的ケア

図表 2-592 実施時期別 実施した医療的ケア

No.		新規入所者 (n=11,194)	入院前2週間 (n=1,678)	特養への退院者限定：入院前2週間 (n=1,236)	特養への退院後2週間 (n=1,236)	病院・診療所死亡・搬送前2週間 (n=317)	施設内死亡・ターミナル期以前から実施 (n=456)	施設内死亡・ターミナル期に実施 (n=456)
1	胃ろう、腸ろうによる栄養管理	3.5%	9.7%	10.4%	12.9%	10.1%	5.9%	4.6%
2	経鼻経管栄養	0.9%	1.5%	1.4%	1.6%	2.2%	2.2%	2.6%
3	中心静脈栄養の管理	0.1%	0.4%	0.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.4%
4	カテーテル	3.2%	5.9%	6.3%	7.9%	6.0%	2.6%	3.9%
5	ストマの管理	0.7%	0.8%	0.9%	1.1%	0.6%	1.1%	0.9%
6	たんの吸引	3.0%	15.7%	13.3%	13.6%	22.1%	21.1%	45.4%
7	ネブライザー	0.3%	0.7%	0.9%	0.8%	0.6%	0.2%	1.1%
8	酸素療法	0.8%	4.1%	3.1%	2.4%	7.3%	6.4%	20.8%
9	気管切開のケア	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%
10	人工呼吸器の管理	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
11	注射	0.3%	0.7%	0.6%	0.7%	1.3%	0.2%	1.5%
12	点滴	0.8%	12.0%	10.4%	3.6%	12.0%	13.4%	34.4%
13	簡易血糖測定	1.1%	2.0%	1.9%	1.9%	1.6%	1.1%	0.7%
14	インスリン注射	1.1%	0.8%	0.9%	1.0%	1.6%	0.9%	0.4%
15	創傷処置	2.3%	5.9%	5.7%	6.6%	4.1%	6.8%	6.8%
16	褥瘡の処置	3.3%	4.2%	4.2%	5.0%	7.6%	6.1%	9.0%
17	服薬管理	74.2%	67.9%	67.3%	67.9%	70.0%	58.1%	45.0%
18	透析	0.4%	0.6%	0.6%	0.6%	0.0%	0.7%	0.2%
19	導尿	0.4%	1.0%	0.8%	0.5%	0.9%	0.4%	0.2%
20	疼痛の管理(麻薬使用無)	1.8%	2.6%	2.9%	3.4%	2.2%	2.9%	2.4%
21	疼痛の管理(麻薬使用有)	0.3%	0.4%	0.4%	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%
22	浣腸	6.1%	6.1%	6.1%	5.8%	4.4%	11.4%	7.2%
23	摘便	4.0%	4.4%	4.4%	4.9%	7.3%	12.7%	14.5%
24	頻回な観察	12.2%	28.7%	25.7%	26.8%	30.3%	26.1%	62.9%
25	リハビリテーション	7.4%	3.3%	3.4%	3.6%	3.2%	4.4%	2.6%
26	その他	0.9%	2.4%	2.3%	2.5%	2.5%	1.1%	1.1%
27	なし	14.3%	10.0%	11.2%	9.5%	8.2%	9.6%	6.1%
	無回答	7.0%	4.8%	4.7%	4.4%	3.5%	10.3%	4.8%

② 配置医による診察回数、診察実施率

図表 2-593 実施時期別 配置医による診察回数

(単位：回)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
入院前 2 週間の配置医による診察回数	1,362	1.6	1.3	1.0
うち、退院後、特養に戻った人に限定	1,002	1.6	1.3	1.0
退院後 2 週間の配置医による診察回数	1,144	1.6	1.3	1.0
病院で死亡の搬送前 2 週間の配置医による診察回数	289	1.9	1.5	2.0
施設内で死亡の死亡前 2 週間の配置医による診察回数	419	2.9	2.4	2.0

図表 2-594 実施時期別 配置医による診察実施率 (1 回以上)

	件数 (対象者数)	1 回以上 実施	実施率
入院前 2 週間の配置医による診察	1,678	1,196	71.3%
うち退院後、特養に戻った人に限定	1,236	875	70.8%
退院後 2 週間の配置医による診察	1,236	1,020	82.5%
病院で死亡の搬送前 2 週間の配置医による診察	317	269	84.9%
施設内で死亡の死亡前 2 週間の配置医による診察	456	395	86.6%

(2) 入所者の状況

① 年齢

図表 2-595 時期別 年齢

(単位：歳)

	件数	平均値	標準偏差	中央値
入所時の年齢	11,116	85.7	7.7	86.0
入院者票の年齢	1,667	87.0	7.7	88.0
施設内死亡の死亡時年齢	456	90.1	7.1	91.0
病院・診療所死亡の死亡時年齢	313	88.2	7.6	88.0

② 要介護度

図表 2-596 時期別 要介護度

	新規入所者 (n=11,194)	入院前 (n=1,678)	特養への退 院者限定： 入院前 (n=1,236)	特養への退 院直後 (n=1,236)	病院・診療 所死亡 (n=317)	施設内死亡 (n=456)
要介護 1	0.5%	1.5%	1.7%	1.2%	0.9%	0.2%
要介護 2	1.7%	4.7%	5.3%	4.4%	3.5%	0.9%
要介護 3	29.1%	19.4%	20.1%	17.9%	17.7%	11.6%
要介護 4	42.3%	36.1%	34.5%	34.7%	35.0%	27.0%
要介護 5	26.1%	35.0%	35.4%	38.4%	40.1%	58.3%
無回答・申請中	0.3%	3.4%	3.0%	3.3%	2.8%	2.0%

③ 障害高齢者の日常生活自立度

図表 2-597 時期別 障害高齢者の日常生活自立度

	新規入所者 (n=11,194)	入院前 (n=1,678)	特養への退 院者限定： 入院前 (n=1,236)	特養への退 院直後 (n=1,236)	病院・診療 所死亡 (n=317)	施設内死亡 (n=456)
自立	0.5%	0.4%	0.4%	0.2%	0.3%	0.2%
J1	2.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.3%	0.9%
J2		0.8%	1.1%	0.6%		
A1	20.7%	4.9%	5.7%	3.6%	11.4%	6.1%
A2		9.7%	10.5%	7.6%		
B1	46.8%	14.4%	15.1%	12.5%	41.0%	35.7%
B2		34.4%	33.8%	33.8%		
C1	19.3%	8.9%	8.7%	10.6%	34.4%	48.5%
C2		20.6%	19.6%	24.0%		
不明	4.9%	2.6%	2.1%	2.3%	4.1%	4.2%
無回答	5.7%	3.0%	2.8%	4.7%	8.5%	4.4%

④ 認知症高齢者の日常生活自立度

図表 2-598 時期別 認知症高齢者の日常生活自立度

	新規入所者 (n=11,194)	入院前 (n=1,678)	特養への退院者限定: 入院前 (n=1,236)	特養への退院後 (n=1,236)	病院・診療所死亡 (n=317)	施設内死亡 (n=456)
自立	1.6%	1.6%	1.9%	1.2%	0.6%	0.0%
I	5.1%	4.2%	4.3%	3.9%	1.9%	3.1%
II a	8.0%	5.6%	6.1%	5.5%	6.6%	3.1%
II b	14.9%	11.9%	12.9%	12.5%	9.8%	8.3%
III a	31.2%	30.5%	29.5%	27.9%	32.5%	30.5%
III b	13.3%	14.8%	15.6%	15.9%	11.7%	15.1%
IV	15.9%	22.2%	21.0%	22.3%	21.8%	25.0%
M	3.0%	3.8%	3.9%	4.0%	4.7%	6.6%
不明	2.4%	2.3%	1.9%	2.7%	4.1%	5.0%
無回答	4.6%	3.1%	2.8%	4.0%	6.3%	3.3%

⑤ 行動・心理症状

図表 2-599 時期別 行動・心理症状

	入院前 (n=1,678)	特養への退院者限定: 入院前 (n=1,236)	特養への退院後 (n=1,236)
妄想	9.2%	9.5%	7.8%
幻覚	6.4%	6.3%	5.4%
易怒性	8.6%	8.3%	6.3%
暴言	7.6%	7.2%	6.5%
暴行	3.4%	3.5%	2.8%
拒絶	6.6%	5.9%	4.8%
うつ	3.9%	4.4%	3.8%
不安	9.7%	10.4%	10.5%
無気力	10.9%	9.9%	14.2%
脱抑制	0.3%	0.2%	0.3%
徘徊	5.5%	5.7%	3.6%
睡眠障害	6.3%	6.0%	5.3%
1~12 には該当しない	49.2%	50.3%	55.3%
無回答	10.2%	10.1%	5.6%

⑥ 有していた傷病

図表 2-600 時期別 有していた傷病

	入院前 (n=1,678)	病院・診療 所死亡 (n=317)	施設内死亡 (n=456)
高血圧	42.3%	43.5%	39.0%
脳卒中	36.7%	36.9%	34.9%
心臓病	25.5%	30.0%	27.4%
糖尿病	15.3%	17.4%	11.2%
高脂血症	6.2%	7.9%	4.4%
呼吸器の病気	19.4%	18.3%	17.3%
胃腸・肝臓・胆のうの病気	15.8%	15.5%	12.1%
腎臓・前立腺の病気	12.0%	10.7%	11.4%
筋骨格系の病気	16.5%	18.0%	16.4%
外傷	12.8%	11.4%	18.2%
がん	7.9%	14.5%	11.0%
血液・免疫の病気	2.5%	2.2%	1.8%
うつ病・精神疾患	7.6%	8.2%	5.5%
認知症	52.9%	58.0%	66.0%
パーキンソン病	6.1%	4.4%	2.6%
目の病気	9.6%	11.4%	10.7%
耳の病気	1.7%	1.3%	1.8%
歯科疾患	0.4%	0.0%	0.4%
難病	1.5%	0.6%	1.1%
その他	15.2%	12.9%	12.3%
なし	0.6%	0.3%	0.7%
無回答	2.4%	2.8%	1.5%

⑦ 入院理由

図表 2-601 時期別 入院理由

	入院票 (n=1,678)	病院・診療所 死亡(n=317)	病院で死 亡・搬送前3 か月入院あ りの場合の 理由(n=106)	施設内死 亡・死亡前3 か月入院あ り(n=86)
肺炎の治療	35.8%	25.9%	36.8%	55.8%
転倒骨折の治療	5.4%	0.9%	3.8%	2.3%
認知症の精神症状の悪化	1.0%	0.3%	0.0%	0.0%
その他の状態の急変	13.8%	37.9%	23.6%	8.1%
胃ろうの造設や中心静脈 栄養カテーテルの留置の処置	2.6%	0.0%	4.7%	3.5%
検査のため	5.0%	2.2%	8.5%	7.0%
その他	41.5%	29.7%	34.0%	38.4%
無回答	1.0%	3.2%	3.8%	2.3%

⑧ 死因

図表 2-602 亡くなった場所別 死因

	病院・診療所 死亡(n=317)	施設内死亡 (n=456)
脳血管疾患	6.0%	3.3%
心不全	21.1%	9.2%
肺炎	29.0%	9.6%
悪性新生物	7.3%	3.3%
老衰	15.8%	64.7%
その他	15.1%	7.9%
無回答	5.7%	2.0%

# 調査票



平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)  
介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業  
介護老人福祉施設票

※本調査票は、貴施設の管理者の方がご記入ください。なお記入にあたっては必要に応じて各ご担当者に確認のうえご記入ください。  
※回答の際は、あてはまる番号や記号を○で囲んでください。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に「複数回答可」と記載しています。  
※具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入ください。分からない場合は「-」とご記入ください。  
※調査時点は、平成28年10月5日または、質問に記載している期間とします。

1. 貴施設の基本情報についてお伺いします。

1) 所在地	( ) 都・道・府・県
2) 開設年	西暦 ( ) 年
3) 開設主体	1 市区町村、広域連合・一部事務組合      2 社会福祉法人 3 その他 ( )
4) 介護報酬上の届出	1 介護福祉施設      2 小規模介護福祉施設 3 ユニット型介護福祉施設      4 ユニット型小規模介護福祉施設 5 地域密着型介護老人福祉施設      6 ユニット型地域密着型介護老人福祉施設
5) 入所定員	( ) 人
6) 短期入所生活介護の定員(空床利用の場合は記入不要)	( ) 人
7) 医務室(診療所)について保険医療機関としての指定の有無	1 有    2 無
8) 平成28年10月に1件以上算定した加算等(複数回答可)	
1 日常生活継続支援加算(Ⅰ)    2 日常生活継続支援加算(Ⅱ)    3 夜勤職員配置加算	
4 看護体制加算(Ⅰ)    5 看護体制加算(Ⅱ)    6 経口移行加算	
7 経口維持加算(Ⅰ)    8 経口維持加算(Ⅱ)    9 口腔衛生管理体制加算	
10 口腔衛生管理加算    11 在宅・入所相互利用加算    12 認知症専門ケア加算(Ⅰ)	
13 認知症専門ケア加算(Ⅱ)    14 認知症行動・心理症状緊急対応加算	
15 常勤医師配置加算	
16 配置医師(施設内医務室)による診療報酬算定	

2. 医療・介護の提供体制等についてお伺いします。

(1) 医師や協力病院の体制

1) 常勤の医師の有無	1 いる    2 いない
「1 いる」場合 人数(実人数)	( ) 人
常勤医師の年齢階級別人数	39歳以下    40代    50代    60代    70歳以上 人    人    人    人    人
専門の診療科(複数回答可)	1 内科    2 外科    3 整形外科    4 皮膚科 5 泌尿器科    6 眼科    7 耳鼻科    8 精神科 9 脳神経外科    10 その他 ( )
医師の勤務日以外における対応	1 勤務日以外でも、必要などときには、一般に対応してもらえる 2 勤務日以外は電話で指示を得ることができる 3 原則、勤務日以外は対応してもらえない

2) 1) 以外で、入所者に対し健康管理及び療養上の指導を行うために、施設が配置している医師(非常勤の医師または病院・診療所との契約により施設に定期的に来る医師)の有無	1 いる 2 いない
「1 いる」場合 専門の診療科(複数回答可)	1 内科    2 外科    3 整形外科    4 皮膚科 5 泌尿器科    6 眼科    7 耳鼻科    8 精神科 9 脳神経外科    10 その他 ( )
平均的な1週間における医師の勤務時間(合計時間、複数の医師がいる場合は、合算してください)(往診や訪問診療の時間は含まれません)	約 ( ) 時間
医師の勤務日以外における対応	1 勤務日以外でも、必要などときには、一般に対応してもらえる 2 勤務日以外は電話で指示を得ることができる 3 原則、勤務日以外は対応してもらえない
3) 在宅療養支援診療所・病院との連携体制の有無および往診・訪問診療の実績(平成28年10月)	1 有    2 無    ( ) 回
4) 協力病院の体制(複数回答可)	1 施設の開設主体と同一法人である    2 施設の開設主体と関連の法人である 3 配置医師が所属している病院である    4 1~3のいずれにも該当しない
5) 協力病院との連携状況(複数回答可)	1 入所者全員について情報共有ができている 2 医療が必要な入所者について情報共有ができている 3 協力病院を受診中の入所者について情報共有ができている 4 入所者に入院の必要性が生じた場合には、気軽に相談ができる関係である 5 日常的には特に連携はしていない
6) 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法(複数回答可)	1 配置医に連絡する    2 協力病院に連絡する 3 救急車を呼ぶ    4 その他 ( )

(2) その他の職員体制

1) 貴施設の職員体制についてお伺いします。

※常勤換算数は「従事者の1週間の勤務延時間÷貴施設において常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数」で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。配置がある場合で得られた結果が0.1に満たない場合は0.1と記入してください。

	常勤換算数	常勤(実人数)	非常勤(実人数)		常勤換算数	常勤(実人数)	非常勤(実人数)
歯科医師	.			機能訓練指導員	.		
看護師	.			うち、理学療法士	.		
准看護師	.			うち、作業療法士	.		
介護職員	.			うち、言語聴覚士	.		
うち、介護福祉士	.			歯科衛生士	.		
管理栄養士・栄養士	.			介護支援専門員	.		

2) 貴施設を平成27年10月~平成28年9月までの間に退職した職員についてお伺いします。「実人数」でご回答ください。

		看護職員・常勤	看護職員・非常勤	介護職員・常勤	介護職員・非常勤
貴施設での勤続年数別人数	1年未満		人	人	人
	1年以上3年未満		人	人	人
	3年以上5年未満		人	人	人
	5年以上		人	人	人

(3) 看護職員の体制 (\*1)~4)は、平成 28 年 7 月~9 月の平均で回答ください)

1) 看護職員の基本的な夜勤体制	1 原則、夜勤職員には看護職員が含まれる 2 原則、看護職員は当直する 3 介護職員を含めたローテーションにより、看護職員が夜勤をすることもある 4 原則、看護職員の夜勤・当直はない 5 その他
2) 入所者の急変時等、状態により看護職員が急に夜勤をすることありますか	1 有 ⇒ 1 か月あたり平均 ( ) 日程度 2 無
3) 勤務時間以外(夜間・休日)のオンコール体制(複数回答可)	1 夜間はオンコール体制をとっている 2 休日はオンコール体制をとっている 3 看護職員のオンコール体制はとっていない
4) 勤務時間以外(夜間・休日)の対応	①電話対応 1 ほとんどない 2 1、2回/月 3 3~5回/月 4 6~9回/月 5 10回以上/月 ②呼出による出勤 1 ほとんどない 2 1、2回/月 3 3~5回/月 4 6~9回/月 5 10回以上/月
5) がん末期等の入所者の場合に入所者の医療保険で訪問看護ステーションを利用したり、施設と訪問看護ステーションが契約することで、訪問看護ステーションの看護職員が施設の入所者の対応をすることができることを知っていますか	1 知っていた 2 知らなかった
6) 貴施設では訪問看護ステーションの職員が施設の入所者の対応をすることはありますか	1 有 2 無
「1 有」の場合: どのような状況のときに依頼をしますか(複数回答可)	1 専門の緩和ケアが必要なとき 2 高度な褥瘡処置が必要なとき 3 がん末期の入所者がいるとき 4 その他 ( )
7) 次のうち訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置はありますか(複数回答可)	1 専門の緩和ケア 2 高度な褥瘡処置 3 がん末期の入所者の対応 4 特にない
「4 特にない」場合: その理由	1 自施設で対応が可能 2 外部の人には依頼したくない 3 依頼できるステーションがない 4 どのステーションに依頼してよいかわからない 5 ステーションとの連携は難しい 6 その他 ( )
8) 次のうち現状、実施できない内容も含め、今後、訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置等ありますか(複数回答可)	1 夜間・休日の入所者の急変時の対応 2 がん以外のケミカル 3 退院直後の患者の対応 4 状態不安定な入所者の管理対応 5 リハビリテーション 6 感染対策の体制強化 7 その他 ( ) 8 特にない
「8 特にない」場合: その理由	1 自施設で対応が可能 2 外部の人には依頼したくない 3 依頼できるステーションがない 4 どのステーションに依頼してよいかわからない 5 ステーションとの連携は難しい 6 その他 ( )
9) 貴施設では併設病院・診療所等、他の施設等からの看護職員の応援を受けることができますか	1 有 2 無

(4) 認定特定行為について

1) 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員数	第一号	第二号	第三号
	( ) 人	( ) 人	( ) 人
うち、過去 1 年以内に特定行為を実施した者	( ) 人	( ) 人	( ) 人
2) 喀痰吸引、経管栄養等を実施した職員数(平成 27 年 10 月~28 年 9 月)	1 口腔内喀痰吸引	( ) 人	
	2 鼻腔内喀痰吸引	( ) 人	
	3 気管カニューレ内部の喀痰吸引	( ) 人	
	4 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	( ) 人	
	5 経鼻経管栄養	( ) 人	

3) 認定証の交付を受けていない職員はいますか	1 いる ⇒ ( ) 人 2 いない
「1 いる」場合: 理由(複数回答可)	1 研修を受講させる時間的余裕がない 2 研修を受講させる金銭的余裕がない 3 研修を受講させる期間の代替職員の体制がつかれない 4 施設内に実地研修の対象となる入所者がいない 5 施設内の実地研修の対象となる入所者から同意が得られない 6 実地研修を他施設に依頼できない 7 介護職員本人が希望しない 8 研修受講定員があり、人数制限のため参加できない 9 その他 ( )
4) 認定のための実地研修の実施状況(平成 27 年度)	1 実施した ⇒ ( ) 人 2 実施しなかった
「2 実施しなかった」場合: 理由(複数回答可)	1 医療関係者と連携体制が作れなかった 2 施設内に実地研修の対象となる入所者がいない 3 施設内の実地研修の対象となる入所者から同意が得られない 4 記録の整備その他安全かつ適正に実施するための措置がとれなかった 5 その他 ( )
5) 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員の夜勤体制	1 原則、夜勤職員には 1 人以上含まれる 2 原則、1 人以上が当直する 3 ローテーションにより、夜勤をすることもあるが、いないこともある 4 原則、夜勤・当直はない
6) 介護職員による認定特定行為実施をより適切に進めるためにどのようなことが必要だと思いますか	

(5) 口腔衛生管理体制

1) 貴施設の口腔衛生管理体制として、有する項目、実施されている項目(複数回答可)	1 協力歯科医療機関の届出 2 協力歯科医療機関による訪問歯科診療 3 歯科医師による定期的な歯科健康診査 4 歯科衛生士による定期的な歯科衛生に関するアセスメント 5 歯科衛生士による口腔衛生管理(いわゆる専門的口腔ケア)の実施 6 介護職員に対する口腔ケアに関する研修の機会 7 カンファレンス(経口維持加算IIによるもの等)への歯科医師、歯科衛生士の参加 8 歯科医師又は歯科衛生士の介護職員に対する口腔ケアに係る助言や指導 9 その他 ( )
---	---

3. 貴施設の入所者等についてお伺いします。(平成 28 年 10 月 5 日 24 時現在)

(1) 入所者数をご記入ください。

入所者数	全数(実人数)					
	人					
要介護度別入所者数	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中
	人	人	人	人	人	人
年齢階級別入所者数	40~64 歳	65~74 歳	75~84 歳	85~94 歳	95 歳以上	
	人	人	人	人	人	
障害高齢者の日常生活自立度別入所者数	自立	J	A	B	C	
	人	人	人	人	人	

認知症高齢者 日常生活自立 度別入所者数	自立	I	II	III	IV	M
	人	人	人	人	人	人

(2) 平成28年4月～9月の新規の入所者についてお伺いします。

No	入所 月	入所時 の年齢	入所時 の要介護度	入所時 の障害 高齢者 日常生活 自立度	入所時 の認知 症高齢 者生活 自立度	入所時に利用していた 医療機器・必要な処置等 (複数回答可)	入所前 の居場所	ターミナル 期か(医 者が余 命6カ 月以 内と 判断)	入所申 込時期
			1 要介護1 2 要介護2 3 要介護3 4 要介護4 5 要介護5 6 申請中	0 自立 1 J 2 A 3 B 4 C 5 不明	0 自立 1 I 2 IIa 3 IIb 4 IIIa 5 IIIb 6 IV 7 M 8 不明	1 胃ろう・腸ろう 2 経鼻経管栄養 3 中心静脈栄養 4 膀胱留置カテーテル等 5 人工肛門・人工膀胱 6 たんの吸引 7 褥瘡 8 酸素療法 9 気管切開 10 人工呼吸器 11 注射 12 点滴 13 簡易血糖測定 14 インスリン注射 15 創傷処置 16 褥瘡の処置 17 服薬管理 18 透析 19 導尿 20 疼痛の管理(麻薬なし) 21 疼痛の管理(麻薬あり) 22 洗腸 23 排便 24 頻回な観察 25 リハビリテーション 26 その他( ) 27 なし	1 自宅等(含 む親族宅) 2 有料老人ホ ーム 3 サビ付き 高齢者向け 住宅 4 グループホーム 5 病院・診療 所 6 老人保健 施設 7 その他	1 ターミ ナル期で はない 2 がん末 期 3 がん以 外のター ミナル期	
例	4月	89歳	3	4	3	2.7.22	5	3	27年4月
1	月	歳							年 月
2	月	歳							年 月
3	月	歳							年 月
4	月	歳							年 月
5	月	歳							年 月
6	月	歳							年 月
7	月	歳							年 月
8	月	歳							年 月
9	月	歳							年 月

※記入欄が不足する場合は、お手数ですが、コピーしてご記入ください。

(3) 貴施設の医療等の実施状況についてお伺いします。

配置医師が実 施している業 務 (複数回答可)	1 入所者の健康管理	2 入所者の定期健康診断	
	3 入所者の予防注射	4 ケアコンファレンス等の会議への参加	
	5 入所者の食事に関する指導	6 入所者の入浴の可否の判断	
	7 回診(定期的な診察) → 頻度 1か月に( ) 回程度		
	8 臨時の診察	9 処方箋の発行	
	10 入所者の日常的な診察・処置の実施 → 以下のうち、実施するものを選んでください		
	31 点滴の管理	32 中心静脈栄養の管理	33 経鼻経管栄養の管理
	34 胃ろう・腸ろうの管理	35 (膀胱留置カテーテル等の) カテーテルの管理	
	36 喀痰吸引の管理	37 酸素療法の管理	38 レスビレーター(人工呼吸器)の管理
	39 気管切開部の管理	40 人工膀胱の管理	41 人工肛門の管理
	42 疼痛の管理(麻薬を用いない)	43 疼痛の管理(麻薬を用いる)	
	44 褥瘡の管理	45 血糖測定	46 インスリン注射の管理
	47 透析の管理		
	11 ターミナルケアや看取り	12 死亡診断書の作成	
	13 主治医意見書の作成	14 家族への病状説明	
	15 職員の定期健康診断	16 職員の予防接種	
	17 職員に対する研修の講師	18 外部医療機関との連携	
	19 看取り後の職員の精神的サポート	20 その他( )	
	施設内で対応可能な処置 (複数回答可)		
		可能な場合: 処置ごとに受 入人数の上限が決まっ ていればご記入ください。 (上限がない場合は「-」と ご記入下さい)	調査時点で、処置を行って いる人数 ※いない場合は「0」と必ず 記入してください
1 点滴	1	( ) 人	( ) 人
2 中心静脈栄養	2	( ) 人	( ) 人
3 経鼻経管栄養	3	( ) 人	( ) 人
4 胃ろう・腸ろう	4	( ) 人	( ) 人
5 (膀胱留置カテー テル等の) カテー テルの管理	5	( ) 人	( ) 人
6 喀痰吸引	6	( ) 人	( ) 人
7 酸素療法	7	( ) 人	( ) 人
8 レスビレータ(人工呼 吸器)の管理	8	( ) 人	( ) 人
9 気管切開のケア	9	( ) 人	( ) 人
10 人工膀胱の管理	10	( ) 人	( ) 人
11 人工肛門の管理	11	( ) 人	( ) 人
12 疼痛の管理(麻 薬を用いない)	12	( ) 人	( ) 人
13 疼痛の管理(麻 薬を用いる)	13	( ) 人	( ) 人
14 褥瘡の処置	14	( ) 人	( ) 人
15 血糖測定	15	( ) 人	( ) 人
16 インスリン注射	16	( ) 人	( ) 人
17 透析の管理 (在宅自己腹膜灌 流を含む)	17	( ) 人	( ) 人

看護職員や認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員を配置することで、夜間・休日を通じて、たんの吸引が実施できる体制にありますか	1 夜間・休日を通じたたんの吸引が実施できる体制にある
	2 看取り期など必要があれば、体制を整えることがある
	3 常時実施できる体制はとっていない
	4 その他 ( )
貴施設の医療的ケアにおいては、どのような点に課題があると思いますか(自由回答)	

(4) 施設外の病院や診療所への通院・訪問診療・往診の状況についてお伺いします。

①平成28年10月に通院をした入所者の実人数と診療科別の延べ人数をご記入ください。

(例：Aさんが内科と皮膚科に通院した場合、実人数としては1人、内科の欄に1人、皮膚科の欄に1人として計上してください。)

	実人数	内科	外科	整形外科	皮膚科	眼科	耳鼻科	精神科	歯科	その他
通院	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

②平成28年10月に訪問診療を受けた入所者の実人数と診療科別の延べ人数をご記入ください。

	実人数	内科	外科	整形外科	皮膚科	眼科	耳鼻科	精神科	歯科	その他
訪問診療	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

③平成28年10月に往診を受けた入所者の実人数と診療科別の延べ人数をご記入ください。

	実人数	内科	外科	整形外科	皮膚科	眼科	耳鼻科	精神科	歯科	その他
往診	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

(5) 病院や診療所への入院の状況について

調査日時点で、入院中の入所者数	( )人
平成28年7月1か月間の入院患者数(延べ人数)	( )人
貴施設としては入院治療が必要と考えたが、入院することができなかった入所者はいましたか。(平成28年7月)	1 いた 2 いなかった
「1 いた」場合：その理由はなぜですか	
1 入所者に認知症があるため、受入可能な病院が見つからなかったから	
2 入所者の状態から、病院への搬送による身体への負担が大きいと考えられたから	
3 近くには、重度の要介護高齢者の医療について受入可能な病院がないから	
4 本人が入院治療を望まなかったため	
5 家族が入院治療を望まなかったため	
6 その他 ( )	

(6) 平成28年4月～9月の退所者のうち、退所理由別人数(退所先別人数)

病院・診療所注1)	入院後の死亡退所注1)	施設内死亡	自宅等	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム	老人保健施設	その他	合計
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

注1)「病院・診療所」は、病院・診療所に入院した場合であって、施設に戻る見込み等がなく、一定の期間経過後に施設として退所扱いとした人を計上してください(その後、調査時点までに亡くなった人も含みます。)。入院後に、入所者の「死亡」をもって利用契約が終了となった場合には、「入院後の死亡退所」の欄に計上してください。

(7) 貴施設の看取りについてお伺いします。

1)平成28年4月～9月の看取り介護加算の算定状況		
①死亡日以前4日以上30日以下	1 無	2 有⇒実人数( )人、延べ日数( )日
②死亡日以前2日または3日	1 無	2 有⇒実人数( )人、延べ日数( )日
③死亡日	1 無	2 有⇒実人数( )人
2)貴施設の看取りの方針について(主な1つに○)	1	希望があれば、施設内で看取るようにしている
	2	原則、病院等に移すようにしている
	3	原則、自宅に帰すようにしている
	4	その他( )
3)施設長の施設内看取りに対する意向	1	施設内での看取りに積極的である
	2	どちらかといえば施設内での看取りには消極的である
	3	積極的か消極的かどちらともいえない
	4	その他( )
4)配置医の施設内看取りに対する意向	1	施設内での看取りに積極的である
	2	どちらかといえば施設内での看取りには消極的である
	3	積極的か消極的かどちらともいえない
	4	その他( )
5)看護職員の施設内看取りに対する意向	1	施設内での看取りに積極的である
	2	どちらかといえば施設内での看取りには消極的である
	3	積極的か消極的かどちらともいえない
	4	その他( )
6)介護職員の施設内看取りに対する意向	1	施設内での看取りに積極的である
	2	どちらかといえば施設内での看取りには消極的である
	3	積極的か消極的かどちらともいえない
	4	その他( )
7)協力病院による施設内看取りに対する支援	1	施設内での看取りの支援に積極的である
	2	特に施設内での看取りのための支援はない
8)看取り介護計画の策定状況	1	看取り期に入った入所者全員に対して、個別の看取り介護計画を立てている
	2	一部の入所者に対し個別に看取り計画を立てている
	3	特に看取りの計画は立てていない
9)貴施設でのターミナルケアにおける課題(重要なもの3つまで)	1	施設の方針の明確化
	2	居室等の環境整備
	3	配置医との関係強化
	4	病院との関係強化
	5	看護職員の増員
	6	介護職員の増員
7	夜間、休日の職員体制の充実	
8	職員の協調	
9	看護職員の知識・技術の向上	
10	介護職員の知識・技術の向上	
11	職員のグリーフケア	
12	家族へのケア	
13	その他( )	
10)施設内での看取りに関する意見等(自由回答)		

記入内容についてお伺いする場合があります。施設名と連絡先をご記入ください。

施設名	電話番号

以上で質問は終わりです。記入済みの調査票は、調査ご担当者から、他の調査票とあわせて、ご返送ください。ご協力ありがとうございました。

平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査(厚生労働省委託調査)  
介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業  
死亡者票

※本調査の対象は、平成28年9月と10月に死亡した人全員です。(施設内で看取った人、病院・診療所に搬送後に亡くなった人、その他の場所で死亡した場合等いずれでも結構です。)  
※本調査票は、当該死亡者の状況について詳しい職員の方がご記入ください。対象者のご家族等にご確認いただく必要はありません。分かる範囲でご記入ください。  
※回答の際は、あてはまる番号や記号を○で囲んでください。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に記載されています。具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。ない場合は「0」、分からない場合は「-」と記入してください。  
※調査時点は、対象者の死亡時点、または質問に記載している期間とします。

1. 死亡者の属性

①年齢(死亡時点)	( )歳	②性別	1 男 2 女
③入所日	昭・平( )年( )月( )日	④死亡日	平成28年( )月( )日
⑤要介護度(直近)	1 要介護1 2 要介護2 3 要介護3 4 要介護4 5 要介護5		
⑥障害高齢者の日常生活自立度	1 自立 2 J 3 A 4 B 5 C 6 不明		
⑦認知症高齢者の日常生活自立度	1 自立 2 I 3 II a 4 II b 5 III a 6 III b 7 IV 8 M 9 不明		
⑧有していた傷病(既往歴)(複数回答可)	1 高血圧 2 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 3 心臓病 4 糖尿病 5 高脂血症(脂質異常症) 6 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 7 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8 腎臓・前立腺の病気 9 筋骨格系の病気(骨粗しょう症、関節症等) 10 外傷(転倒・骨折等) 11 がん(悪性新生物) 12 血液・免疫の病気 13 うつ病・精神疾患 14 認知症(アルツハイマー病等) 15 パーキンソン病 16 目の病気 17 耳の病気 18 歯科疾患 19 難病 20 その他(具体的に: ) 21 なし		
⑨施設内での普通の居室	( )人部屋		
⑩身元引受人	1 配偶者 2 子ども・子どもの配偶者 3 兄弟姉妹 4 甥・姪 5 その他		
⑪入所前の世帯構成	1 独居 2 夫婦のみ世帯 3 2以外で高齢者のみの世帯 4 その他		

2. 死亡時の状況

①主たる死因	1 脳血管疾患 2 心不全 3 肺炎 4 悪性新生物 5 老衰 6 その他(具体的に: )
「4 悪性新生物」の場合: 訪問看護の利用の有無	1 利用した 2 利用しなかった
②死亡場所	1 貴施設内 2 病院・診療所 3 自宅等 4 その他
③死亡場所について本人の希望の確認の有無	1 有 2 無
④本人の希望	1 貴施設内で亡くなりたいと思っていた(ようだった) 2 最期は自宅に戻りたいと思っていた(ようだった) 3 病院で亡くなりたいと思っていた(ようだった) 4 本人は迷っていた(ようだった) 5 分からなかった
⑤死亡場所について身元引受人の希望の確認の有無	1 有 2 無
⑥身元引受人の希望	1 貴施設内で亡くならせたいと思っていた(ようだった) 2 最期は自宅に戻らせたいと思っていた(ようだった) 3 病院で亡くならせたいと思っていた(ようだった) 4 迷っていた(ようだった) 5 分からなかった
⑦本人にとって最善の場所で亡くなることができたと思えますか。(回答者の主観で結構です)	1 十分できた 2 まあできた 3 あまりできなかった 4 できなかった
⑧看取り介護計画の作成の有無	1 有 → 作成日: 平成( )年( )月( )日 2 無
⑨看取り介護加算の算定有無または日数	死亡日以前4日以下30日以下 死亡日以前2日または3日 死亡日 ( )日 ( )日 1 有 2 無

死亡の場所以「貴施設内」の場合 → 2ページにお進みください  
死亡の場所以「病院・診療所」の場合 → 3ページにお進みください  
死亡の場所以「その他の場合」 → 記入はここまでで結構です。ご協力ありがとうございました

3-1. 貴施設内で亡くなった方についてお伺いします

(病院、診療所で亡くなった方については、次のページにご記入ください)

①亡くなった時間帯	1 6時~8時 2 8時~18時 3 18時~22時 4 22時~6時
②死亡時期の予測	1 ある程度、予測できていた 2 予測できていなかった
③死亡時の立会者(複数回答可)	1 医師 → (a 配置医 b 在宅養支援診療所・病院 c その他) 2 看護職員 → (a 施設の職員 b 訪問看護ステーション c 併設医療機関) 3 介護職員 4 施設長 5 生活相談員 6 家族・親類 7 その他( )
④死亡前の居室の移動の有無	1 無 2 有 → 移動先: a 静養室 b 個室 c その他( )
⑤当該利用者のターミナル期の対応のために職員の勤務体制を変更したことはありますか	1 配置医の勤務時間を増やした 2 看護職員が夜勤を増やした 3 看護職員のオンコール体制を通常より厚くした 4 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けた介護職員が夜勤を増やした 5 当該利用者をベテランの職員が主に担当するようになった 6 その他( )
⑥経口摂取がほとんどできなくなった時期(※以前から胃瘻等の場合は、胃瘻造設の時期を記入)	1 最期まで経口摂取可能 2 亡くなるおよそ2、3日前 3 亡くなるおよそ1週間前 4 亡くなるおよそ2、3週間前 5 亡くなるおよそ1、2ヵ月前 6 亡くなる3ヵ月以上前
⑦ターミナル期に実施した処置(複数回答可)	1 胃ろう、腸ろうによる栄養管理 2 経鼻経管栄養 3 中心静脈栄養の管理 4 カテーテル(コッド・ムカテール、留置カテーテル等) 5 ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理 6 たんの吸引 7 ネブライザー 8 酸素療法(酸素吸入) 9 気管切開のケア 10 人工呼吸器の管理 11 注射 12 点滴 13 簡易血糖測定 14 インスリン注射 15 創傷処置 16 褥瘡の処置 17 服薬管理 <sup>注1</sup> 18 透析(在宅自己腹膜灌流含む) 19 導尿 20 疼痛の管理(麻薬使用無) 21 疼痛の管理(麻薬使用有) 22 浣腸 23 排便 24 頻回な観察 25 リハビリテーション 26 その他(具体的に: ) 27 なし
⑧ターミナル期以前から実施していた処置(複数回答可)	1 胃ろう、腸ろうによる栄養管理 2 経鼻経管栄養 3 中心静脈栄養の管理 4 カテーテル(コッド・ムカテール、留置カテーテル等) 5 ストーマ(人工肛門・人工膀胱)の管理 6 たんの吸引 7 ネブライザー 8 酸素療法(酸素吸入) 9 気管切開のケア 10 人工呼吸器の管理 11 注射 12 点滴 13 簡易血糖測定 14 インスリン注射 15 創傷処置 16 褥瘡の処置 17 服薬管理 <sup>注1</sup> 18 透析(在宅自己腹膜灌流含む) 19 導尿 20 疼痛の管理(麻薬使用無) 21 疼痛の管理(麻薬使用有) 22 浣腸 23 排便 24 頻回な観察 25 リハビリテーション 26 その他(具体的に: ) 27 なし
⑨死亡前2週間の配置医による診察回数	( )回 ( )回
⑩死亡前2週間の受診状況(複数回答可)	1 通院した → ( )回 2 往診を受けた → ( )回 3 訪問診療を受けた → ( )回
⑪死亡前3ヵ月間の入院の有無	1 無 2 有 → ( )回、延べ( )日間
「2有」の場合: 入院理由(複数回答可)	1 肺炎の治療 2 転倒骨折の治療 3 認知症の精神症状の悪化 4 その他の状態の急変(意識障害、吐血、下血、血圧降下等) 5 胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置 6 検査のため 7 その他(具体的に: )

注1) 本調査における「服薬管理」は経口薬・塗布薬・貼付薬、点眼薬・点鼻薬、坐薬等の服薬状況の確認や服薬の介助を指します。

施設内で亡くなった方についての質問は以上で終わります。  
ご協力ありがとうございました

### 3-2. 病院・診療所で亡くなった方についてお伺いします

①医療機関への搬送（移動）方法	1 救急車による搬送      2 通常の搬送
②入院日	平成（      ）年（      ）月（      ）日
③搬送理由 （入院理由）	1 肺炎の治療 2 転倒骨折の治療 3 認知症の精神症状の悪化 4 その他の状態の急変（意識障害、吐血、下血、血圧降下等） 5 胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置 6 検査のため 7 その他（具体的に：      ）
④貴施設で搬送（入院）を判断した者（1つだけ）	1 医師      2 施設長      3 看護職員      4 介護職員 5 家族      6 その他（具体的に：      ）
⑤死亡時期の予測	1 搬送時点で、ある程度予測できていた 2 搬送時点では、予測できていなかった
⑥搬送前2週間以内に貴施設で実施していた処置 （複数回答可）	1 胃ろう、腸ろうによる栄養管理    2 経鼻経管栄養 3 中心静脈栄養の管理                4 カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル等） 5 ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理      6 たんの吸引 7 ネブライザー                        8 酸素療法（酸素吸入）    9 気管切開のケア 10 人工呼吸器の管理    11 注射                                12 点滴 13 簡易血糖測定        14 インスリン注射                15 創傷処置 16 褥瘡の処置                        17 服薬管理 <sup>注1</sup> 18 透析（在宅自己腹膜灌流含む） 19 導尿                                20 疼痛の管理（麻薬使用無）    21 疼痛の管理（麻薬使用有） 22 浣腸                                23 排便                                24 頻回な観察 25 リハビリテーション                26 その他（具体的に：      ）    27 なし
⑦搬送前2週間の配置医による診察回数	（      ）回
⑧搬送前2週間の受診状況 （複数回答可）	1 通院した⇒（      ）回 2 往診を受けた⇒（      ）回 3 訪問診療を受けた⇒（      ）回
⑨死亡前3ヵ月間の入院の有無	1 無 2 有 ⇒（      ）回、延べ（      ）日間
「2有」の場合： 入院理由 （複数回答可）	1 肺炎の治療 2 転倒骨折の治療 3 認知症の精神症状の悪化 4 その他の状態の急変（意識障害、吐血、下血、血圧降下等） 5 胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置 6 検査のため 7 その他（具体的に：      ）

注1）本調査における「服薬管理」は経口薬、塗布薬・貼付薬、点眼薬・点鼻薬、坐薬等の服薬状況の確認や服薬の介助を指します。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました

平成28年度 介護報酬改定検証・研究調査（厚生労働省委託調査）  
介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業  
**入院者票**

※本調査の対象は、貴施設の入所者で、平成28年7月に病院・診療所へ入院した人全員です。7月に複数回入院した場合は、直近の入院についてご回答ください。  
※本調査票は、当該利用者の状況について詳しい職員の方がご記入ください。利用者にご確認いただく必要はありません。分かる範囲でご記入ください。  
※回答の際は、あてはまる番号や記号を○で囲んでください。○を付ける数は原則1つです。○を複数に付けていただく場合は、質問文に記載しています。  
※具体的な数値等をご記入いただく部分もあります。該当がない場合には必ず「0」とご記入ください。分からない場合は「-」と記入してください。  
※調査時点は、入院時点、もしくは質問文に記載している期間とします。

1. 入所者の基本情報についてお伺いします。

1) 年齢（入院時点）	（ ）歳	
2) 性別	1 男	2 女
3) 施設への入所日	昭和・平成（ ）年（ ）月（ ）日	
4) 入所前の世帯構成	1 独居 2 夫婦のみ世帯 3 2以外で高齢者のみの世帯 4 その他	
5) 要介護度（入院前）	1 要介護1 2 要介護2 3 要介護3 4 要介護4 5 要介護5	
6) 障害高齢者の日常生活自立度（入院前）	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明	
7) 認知症高齢者の日常生活自立度（入院前）	1 自立 2 I 3 II a 4 II b 5 III a 6 III b 7 IV 8 M 9 不明	
8) 行動・心理症状（入院前）	1 妄想 2 幻覚 3 易怒性 4 暴言 5 暴行 6 拒絶 7 うつ 8 不安 9 無気力 10 脱抑制 11 徘徊 12 睡眠障害 13 1～12には該当しない	
9) 入院前に有していた傷病（既往歴）（複数回答可）	1 高血圧 2 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） 3 心臓病 4 糖尿病 5 高脂血症（脂質異常症） 6 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） 7 胃腸・肝臓・胆のうの病気 8 腎臓・前立腺の病気 9 筋骨格系の病気（骨粗しょう症、関節症等） 10 外傷（転倒・骨折等） 11 がん（悪性新生物） 12 血液・免疫の病気 13 うつ病・精神疾患 14 認知症（アルツハイマー病等） 15 パーキンソン病 16 目の病気 17 耳の病気 18 歯科疾患 19 難病 20 その他（具体的に： ） 21 なし	
10) 平成27年7月～28年6月の1年間の入院回数	（ ）回	
11) ターミナル期か（入院前の状況、医師が余命6カ月以内と判断）	1 はい 2 いいえ	
12) 看取り介護計画の作成の有無	1 有 2 無	

2. 入院時の状況についてお伺いします

13) 入院日	平成28年7月（ ）日 ※7月に複数回入院した場合は直近の1回	
14) 入院理由	1 肺炎の治療 2 転倒骨折の治療 3 認知症の精神症状の悪化 4 その他の状態の急変（意識障害、吐血、下血、血圧降下等） 5 胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置 6 検査のため 7 その他（具体的に： ）	
15) 入院時の状況としてあてはまるもの（複数回答可）	1 看護職員が不在であった 2 看護職員の配置が少なかった 3 医師との密な連絡体制が確保できていなかった 4 1～3には該当しない	
16) 入院先	1 急性期病床（一般病床） 2 地域包括ケア病棟 3 医療療養病床 4 介護療養病床 5 精神科の病床 6 その他の病床（ ）	

17) 入院先へ入所者の情報提供を行った職員（複数回答可）	1 医師 2 看護職員 3 介護職員 4 生活相談員 5 その他（ ） 6 特に行わなかった
18) 入院前2週間の受診状況（複数回答可）	1 入院した 2 通院した⇒（ ）回 3 往診を受けた⇒（ ）回 4 訪問診療を受けた⇒（ ）回
19) 入院前2週間の配置医による診察回数	（ ）回
20) 入院前2週間に実施した医療的ケア等（複数回答可）	1 胃ろう、腸ろうによる栄養管理 2 経鼻経管栄養 3 中心静脈栄養の管理 4 カテーテル（コドームカテーテル、留置カテーテル等） 5 ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理 6 たんの吸引 7 ネブライザー 8 酸素療法（酸素吸入） 9 気管切開のケア 10 人工呼吸器の管理 11 注射 12 点滴 13 簡易血糖測定 14 インスリン注射 15 創傷処置 16 褥瘡の処置 17 服薬管理 <sup>注1</sup> 18 透析（在宅自己腹膜灌流含む） 19 導尿 20 疼痛の管理（麻薬使用無） 21 疼痛の管理（麻薬使用有） 22 洗腸 23 摘便 24 頻回な観察 25 リハビリテーション 26 その他（具体的に： ） 27 なし

注1）本調査における「服薬管理」は、服薬状況の確認や服薬の介助等を指します。

3. 退院等の状況についてお伺いします

21) 退院直後の状況	1 退院して施設に戻った 2 退院したが、施設には戻らなかった ⇒行先 a 自宅等 b 有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅等 c グループホーム d 他の病院に転院した e 介護老人保健施設 f 他の特別養護老人ホーム g その他（具体的に： ） 3 医療機関で死亡した⇒（分かれれば）死亡日（ ）月（ ）日 4 現在も入院継続中（1度退院し、施設に戻った場合は、1に○をしてください。） 5 分からない
「1 退院して施設に戻った」場合、以下の①～⑧の設問もご回答ください	
①退院日	平成28年（ ）月（ ）日
②医療機関からの情報提供の有無とその方法（複数回答可）	1 有⇒（a 医師からの情報提供 b 看護マリーの提供 c 医療機関で開催された退院前カンファレンスに施設職員が参加 d その他（ ）） 2 無
③退院後2週間の配置医による診察回数	（ ）回
④退院後2週間の受診状況（複数回答可）	1 退院後2週間以内に再度入院した 2 通院した⇒（ ）回 3 往診を受けた⇒（ ）回 4 訪問診療を受けた⇒（ ）回
⑤退院後2週間に実施した医療的ケア等（複数回答可）	1 胃ろう、腸ろうによる栄養管理 2 経鼻経管栄養 3 中心静脈栄養の管理 4 カテーテル（コドームカテーテル、留置カテーテル等） 5 ストーマ（人工肛門・人工膀胱）の管理 6 たんの吸引 7 ネブライザー 8 酸素療法（酸素吸入） 9 気管切開のケア 10 人工呼吸器の管理 11 注射 12 点滴 13 簡易血糖測定 14 インスリン注射 15 創傷処置 16 褥瘡の処置 17 服薬管理 <sup>注1</sup> 18 透析（在宅自己腹膜灌流含む） 19 導尿 20 疼痛の管理（麻薬使用無） 21 疼痛の管理（麻薬使用有） 22 洗腸 23 摘便 24 頻回な観察 25 リハビリテーション 26 その他（具体的に： ） 27 なし
⑥要介護度（退院後）	1 要介護1 2 要介護2 3 要介護3 4 要介護4 5 要介護5
⑦障害高齢者の日常生活自立度（退院直後）	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2 6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明
⑧認知症高齢者の日常生活自立度（退院直後）	1 自立 2 I 3 II a 4 II b 5 III a 6 III b 7 IV 8 M 9 不明
⑨行動・心理症状（退院直後）	1 妄想 2 幻覚 3 易怒性 4 暴言 5 暴行 6 拒絶 7 うつ 8 不安 9 無気力 10 脱抑制 11 徘徊 12 睡眠障害 13 1～12には該当しない

質問は以上で終わりです。ご協力いただきまして、まことにありがとうございました。



# 結果概要



# (4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業 (結果概要)

## (4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業

### 1. 調査の目的

介護老人福祉施設については、入所者の重度化が進む中で、特に看取り期における医療ニーズに対応した医療提供状況を把握する必要がある。

平成28年度調査においては、非常勤の医師が勤務することが多い介護老人福祉施設における医療的ケアの現状（認知症対応、摂食嚥下障害対応、がん末期対応、看取り期の医療行為等）や、医療職をはじめとした職員の夜間の配置体制の実態把握、施設ごとの医療提供状況の違い、看取りを入所施設で完結するための外部医療機関との連携体制や連携上の問題を明らかにし、今後の検討課題を抽出する。

### 2. 調査方法

	調査方法・調査対象・回収状況
介護老人福祉施設調査	介護老人福祉施設と地域密着型介護老人福祉施設を対象に、調査票を用いた郵送調査を行った。 厚生労働省より提供を受けた全国の施設名簿をもとに対象施設無作為に抽出した。ただし、災害被災地域を除く。
介護老人福祉施設票	【母集団】9,594施設 【発出数】3,000施設【回収数】1,518施設【回収率】50.6%【有効回収数】1,502施設【有効回収率】50.1%
入院者票	【対象者】施設票の対象の施設のうち2,000施設を対象とし、入所者のうち、平成28年7月の1か月間に医療施設に入院した入所者全数を調査対象とした。【有効回収数】1,678人
死亡者票	【対象者】施設票の対象の施設のうち1,000施設を対象として、入所者のうち、平成28年9月～10月の2か月間に死亡した人全数を調査対象とした。【有効回収数】779人

## (4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業

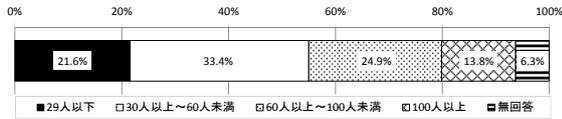
### 3. 調査結果概要

#### (施設票)

##### 1) 回答施設の基本情報(定員)

○回答施設の入所定員は、平均60.4人であった。「29人以下」が21.6%であった。

図表2-4 入所定員(n=1,502)



##### 2) 配置医について

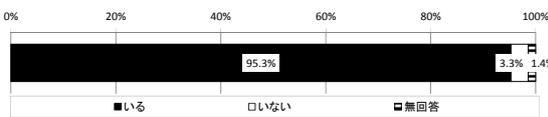
○常勤の医師がいる施設は1.1%であった。

図表2-20 常勤の医師の有無(n=1,502)



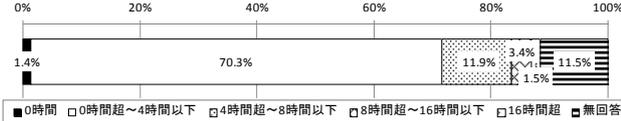
○非常勤医師がいる施設は95.3%であった。

図表2-26 非常勤の配置医の有無(n=1,502)



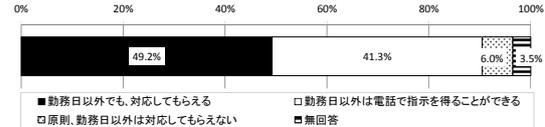
○非常勤の配置医の平均的な1週間の勤務時間は、平均3.6時間、中央値は2.0時間で、分布をみると「4時間以下」の施設が71.7%であった。

図表2-30 非常勤の配置医の平均的な1週間における勤務時間(n=1,432)



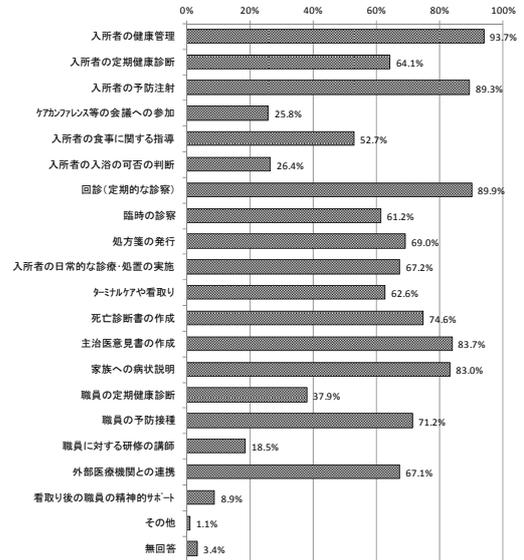
○非常勤の配置医の勤務日以外の対応は、「勤務日以外でも対応してもらえる」が49.2%、「勤務日以外では電話で指示を得ることができる」が41.3%であった。

図表2-34 非常勤の配置医による勤務日以外の対応(n=1,432)



○配置医が実施している業務は、「入所者の健康管理」が93.7%、入所者の「定期的な診察(回診)」が89.9%であった。

図表2-184 配置医が実施している業務(複数回答)(n=1,502)



## (4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業

### 3) 入所者の夜間の緊急時における医師との連携方法

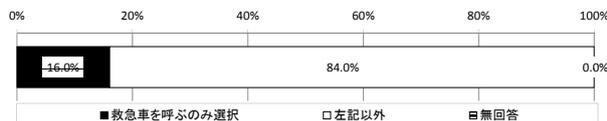
○入所者の夜間の緊急時における医師との連携方法(複数回答)で、「救急車を呼ぶ」のみを選択した施設は16.0%であった。

配置医の勤務日以外は原則対応してもらえない施設、及び看取りの方針として、原則病院等に移す施設での割合が高かった。

図表2-46 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法(複数回答)(n=1,502)

合計	配置医に連絡する	協力病院に連絡する	救急車を呼ぶ	その他	無回答
1,502	820	701	1,052	35	19
100.0%	54.6%	46.7%	70.0%	2.3%	1.3%

図表2-55 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法(n=1,502)



図表2-57 非常勤の配置医の勤務日以外の対応別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法

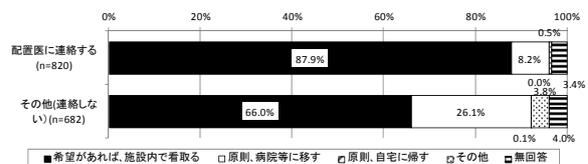
	合計	救急車を呼ぶのみ選択	左記以外
全体	1,502	241	1,261
	100.0%	16.0%	84.0%
勤務日以外でも対応してもらえる	704	67	637
	100.0%	9.5%	90.5%
勤務日以外では電話で指示を得ることができる	591	118	473
	100.0%	20.0%	80.0%
原則、勤務日以外は対応してもらえない	87	33	54
	100.0%	37.9%	62.1%

図表2-60 施設の看取りの方針別 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法

	合計	救急車を呼ぶのみ選択	左記以外
全体	1,502	241	1,261
	100.0%	16.0%	84.0%
希望があれば、施設内で看取る	1,171	164	1,007
	100.0%	14.0%	86.0%
原則、病院等に移す	245	60	185
	100.0%	24.5%	75.5%

○「配置医に連絡する」を選択した施設では、施設の看取りの方針として、希望があれば施設内で看取る割合が高かった。

図表2-288 入所者の夜間の緊急時の医師との連携方法別 施設の看取りの方針

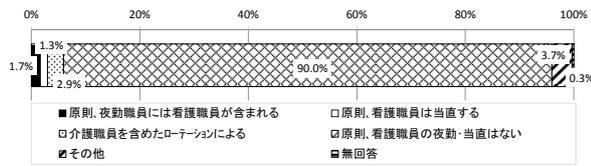


## (4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業

### 4) 看護職員の夜間の体制・訪問看護ステーションとの連携

○看護職員の夜勤・当直がない施設が90.0%あり、このうち、「夜間はオンコール体制をとっている」が93.0%であった。

図表2-83 看護職員の基本的な夜勤体制(n=1,502)

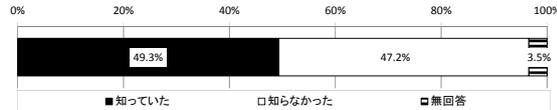


図表2-93から抜粋 勤務時間以外のオンコール体制

	合計	夜間はワーク体制をとっている	看護職員のワーク体制をとっていない	無回答
原則、看護職員の夜勤・当直はない	1,352	1,257	86	9
	100.0%	93.0%	6.4%	0.7%

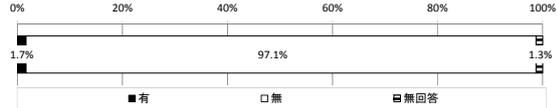
○がん末期等の入所者の場合に入所者の医療保険で訪問看護ステーションを利用したり、施設と訪問看護ステーションが契約することで、訪問看護ステーションの看護職員が入所者に対応できることを「知っていた」が49.3%、「知らなかった」が47.2%であった。

図表2-99 訪問看護ステーションの利用可能性についての認知状況(n=1,502)



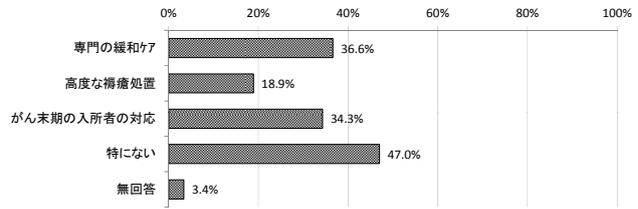
○訪問看護ステーションの看護職員が入所者の対応することが「有」の施設が1.7%、「無」が97.1%であった。なお、本調査の死亡者票では、訪問看護を利用した人はいなかった。

図表2-105 訪問看護ステーションの看護職員による入所者の対応の有無(n=1,502)

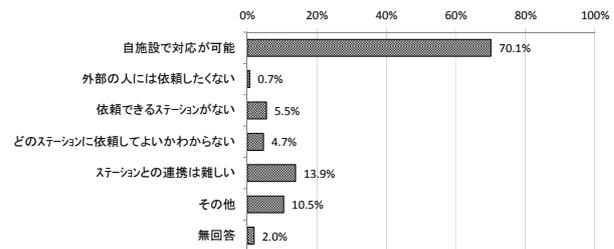


○今後、訪問看護ステーションと連携することにより、入所者の対応等で充実を図ることができると思う医療処置は「専門の緩和ケア」が36.6%、「がん末期の入所者の対応」が34.3%であった。「特になし」が47.0%であり、その理由は「自施設で対応が可能」が70.1%であった。

図表2-111 訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置(複数回答)(n=1,502)



図表2-114 (訪問看護ステーションとの連携により対応の充実を図ることができると思う医療処置が「特になし」場合)理由(複数回答)(n=706)



## (4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業

### 5) 施設内で対応可能な処置(医療的ケア)

○施設内で対応可能な処置は、「褥瘡の処置」が89.5%、「胃ろう・腸ろう」が84.2%、「カテーテルの管理」が80.2%、「喀痰吸引」が78.0%であった。「胃ろう・腸ろう」「喀痰吸引」等に対応可能な施設の割合は、規模が大きい施設の方が高かった。

図表2-190 入所定員別 施設内で対応可能な処置

	合計	点滴	中心静脈栄養	経鼻経管栄養	胃ろう・腸ろう	胃ろうの管理	喀痰吸引	酸素療法	インサートの管理	気管切開のケア
全体	1,502	904	172	535	1,265	1,204	1,172	870	108	158
	100.0%	60.2%	11.5%	35.6%	84.2%	80.2%	78.0%	57.9%	7.2%	10.5%
29人以下	324	191	45	98	215	227	205	167	25	33
	100.0%	59.0%	13.9%	30.2%	66.4%	70.1%	63.3%	51.5%	7.7%	10.2%
30人以上～60人未満	502	310	67	210	432	402	415	295	44	68
	100.0%	61.8%	13.3%	41.8%	86.1%	80.1%	82.7%	58.8%	8.8%	13.5%
60人以上～100人未満	455	272	33	157	416	385	374	274	21	31
	100.0%	59.8%	7.3%	34.5%	91.4%	84.6%	82.2%	60.2%	4.6%	6.8%
100人以上	208	123	26	62	191	181	171	123	18	26
	100.0%	59.1%	12.5%	29.8%	91.8%	87.0%	82.2%	59.1%	8.7%	12.5%

	合計	人工呼吸の管理	人工肛門の管理	疼痛の管理(麻薬を用いない)	疼痛の管理(麻薬を用いる)	褥瘡の処置	血糖測定	インサートの管理	透析の管理	無回答
全体	1,502	404	930	810	344	1,344	1,174	1,026	209	52
	100.0%	26.9%	61.9%	53.9%	22.9%	89.5%	78.2%	68.3%	13.9%	3.5%
29人以下	324	73	159	155	63	273	226	187	47	18
	100.0%	22.5%	49.1%	47.8%	19.4%	84.3%	69.8%	57.7%	14.5%	5.6%
30人以上～60人未満	502	144	308	273	112	451	411	351	75	19
	100.0%	28.7%	61.4%	54.4%	22.3%	89.8%	81.9%	69.9%	14.9%	3.8%
60人以上～100人未満	455	107	298	249	98	417	367	336	48	9
	100.0%	23.5%	65.5%	54.7%	21.5%	91.6%	80.7%	73.8%	10.5%	2.0%
100人以上	208	77	155	128	68	192	160	143	37	5
	100.0%	37.0%	74.5%	61.5%	32.7%	92.3%	76.9%	68.8%	17.8%	2.4%

○「夜間・休日を通じたんの吸引ができる体制にある」が41.1%、「常時実施できる体制はとっていない」が35.9%であった。  
○入所定員が「29人以下」の施設では「常時実施できる体制はとっていない」が55.2%であった。

図表2-220 入所定員別 夜間・休日を通じてんの吸引が実施できる体制か

	合計	夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制にある	必要があれば、体制を整えることができる	常時実施できる体制はとっていない	その他	無回答
全体	1,502	618	129	539	60	156
	100.0%	41.1%	8.6%	35.9%	4.0%	10.4%
29人以下	324	85	23	179	12	25
	100.0%	26.2%	7.1%	55.2%	3.7%	7.7%
30人以上～60人未満	502	218	51	154	21	58
	100.0%	43.4%	10.2%	30.7%	4.2%	11.6%
60人以上～100人未満	455	216	40	137	22	40
	100.0%	47.5%	8.8%	30.1%	4.8%	8.8%
100人以上	208	95	15	66	4	28
	100.0%	45.7%	7.2%	31.7%	1.9%	13.5%

○施設の看取りの方針として「原則、病院等に移す」施設では「常時実施できる体制はとっていない」が57.6%であった。

図表2-223 施設の看取りの方針別 夜間・休日を通じてんの吸引が実施できる体制か

	合計	夜間・休日を通じたんの吸引が実施できる体制にある	必要があれば、体制を整えることができる	常時実施できる体制はとっていない	その他	無回答
全体	1,502	618	129	539	60	156
	100.0%	41.1%	8.6%	35.9%	4.0%	10.4%
希望があれば、施設内で看取る	1,171	534	118	367	45	107
	100.0%	45.6%	10.1%	31.3%	3.8%	9.1%
原則、病院等に移す	245	64	5	141	12	23
	100.0%	26.1%	2.0%	57.6%	4.9%	9.4%

## (4)介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業

### 6)退所者について

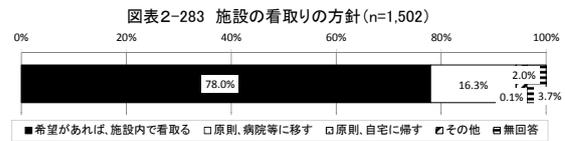
- 平成28年4月～9月に施設を退所した人は、1施設あたり平均7.2人であった。
- 入院後の死亡退所と施設内死亡を合わせて、死亡退所の割合は70.4%、病院・診療所への入院により特養を退所した人は24.9%であった。

図表2-235 退所先別 退所人数(平成28年4月～9月)(n=1,453)  
(単位:人)

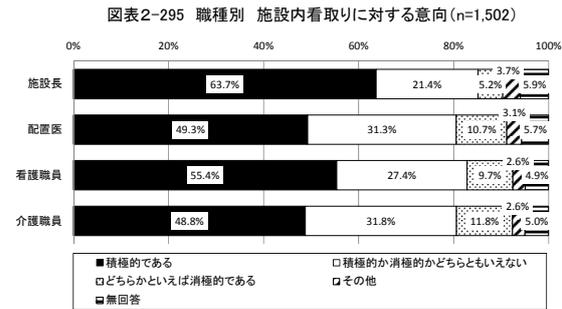
	合計値	構成比	1施設あたり平均値	標準偏差	中央値
病院・診療所	2,595	24.9%	1.8	2.4	1.0
死亡	7,337	70.4%	5.1	4.0	4.0
入院後の死亡退所	3,020	29.0%	2.1	2.6	1.0
施設内死亡	4,317	41.4%	3.0	3.5	2.0
自宅等	115	1.1%	0.1	0.4	0.0
有料老人ホーム	39	0.4%	0.0	0.2	0.0
ホーム付き高齢者向け住宅	20	0.2%	0.0	0.1	0.0
グループホーム	20	0.2%	0.0	0.1	0.0
老人保健施設	82	0.8%	0.1	0.3	0.0
その他	218	2.1%	0.2	0.6	0.0
合計	10,426	100.0%	7.2	4.8	6.0

### 7)施設の看取りの方針およびターミナルケアの課題等

- 施設の看取りの方針は、「希望があれば施設内で看取る」が78.0%、「原則、病院に移す」が16.3%であった。



- 施設長が施設内看取りに「積極的である」が63.7%、どちらかという「消極的」が5.2%であった。



6

## (4)介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業

- 施設長が施設内看取りに積極的な場合、施設内看取りの比率が高かった。

図表2-259より抜粋 施設内での死亡による退所者の比率

	件数(件)	平均(%)	標準偏差	中央値(%)
全体	1,453	39.0	35.1	33.3
積極的である	928	49.6	34.1	50.0
積極的か消極的かどちらともいえない	317	21.5	27.9	0.0
どちらかといえば消極的である	76	7.6	19.0	0.0
その他	56	24.1	32.5	0.0

- 施設の看取りの方針と在宅療養支援診療所・病院との連携の有無や退職した職員数の増加との間には関連はみられなかった。

図表2-287 在宅療養支援診療所・病院との連携体制の有無別 施設の看取りの方針

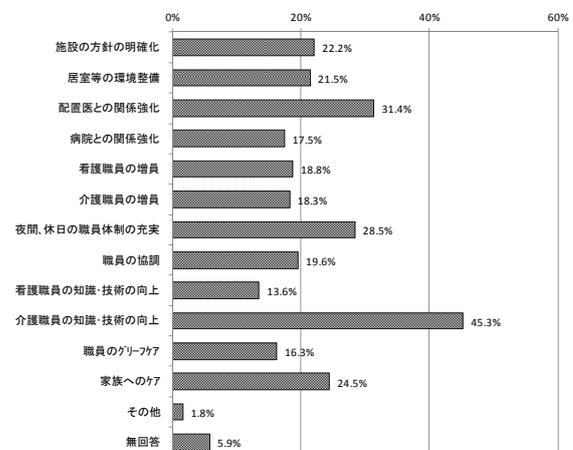
	合計	希望があれば、施設内で看取る	原則、病院等に移す	原則、自宅に帰す	その他	無回答
全体	1,502	1,171	245	1	30	55
	100.0%	78.0%	16.3%	0.1%	2.0%	3.7%
有	348	268	59	0	4	17
	100.0%	77.0%	17.0%	0.0%	1.1%	4.9%
無	1010	792	165	1	24	28
	100.0%	78.4%	16.3%	0.1%	2.4%	2.8%

図表2-81・82より抜粋 施設の看取りの方針別 退職した職員数(実人数)

	回答件数(施設)	平均値(人)	標準偏差	中央値(人)
希望があれば、施設内で看取る	972	5.8	4.2	5.0
原則、病院等に移す	185	5.6	4.1	5.0

- ターミナルケアにおける課題(複数回答、3つまで)は「介護職員の知識・技術の向上」が45.3%で最も割合が高かった。

図表2-346 ターミナルケアにおける課題(重要なもの3つまで)(n=1,502)



7

## (4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業

○施設の看取りの方針について、「希望があれば施設内で看取り」施設では、ターミナルケアにおける課題は「介護職員の知識・技術の向上」が48.9%であった。「原則、病院等に移す」施設では、「配置医との関係強化」が54.3%であった。

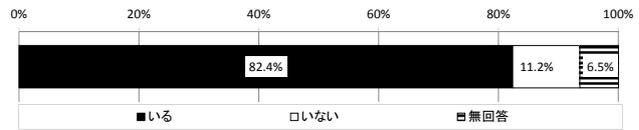
図表2-357 施設の看取りの方針別 施設でのターミナルケアにおける課題

	合計	施設の方針の明確化	居室等の環境整備	配置医との関係強化	病院との関係強化	看護職員の増員	介護職員の増員	夜間、休日の職員体制の充実
全体	1,502	333	323	472	263	283	275	428
希望があれば、施設内で看取り	1,171	237	283	318	153	195	219	338
原則、病院等に移す	245	86	35	133	99	76	47	80
	100.0%	22.2%	21.5%	31.4%	17.5%	18.8%	18.3%	28.5%
	100.0%	20.2%	24.2%	27.2%	13.1%	16.7%	18.7%	28.9%
	100.0%	35.1%	14.3%	54.3%	40.4%	31.0%	19.2%	32.7%

	合計	職員の協働	看護職員の知識・技術の向上	介護職員の知識・技術の向上	職員の多職種連携	家族へのケア	その他	無回答
全体	1,502	295	204	680	245	368	27	89
希望があれば、施設内で看取り	1,171	259	158	573	226	349	20	31
原則、病院等に移す	245	30	36	88	14	14	5	7
	100.0%	19.6%	13.6%	45.3%	16.3%	24.5%	1.8%	5.9%
	100.0%	22.1%	13.5%	48.9%	19.3%	29.8%	1.7%	2.6%
	100.0%	12.2%	14.7%	35.9%	5.7%	5.7%	2.0%	2.9%

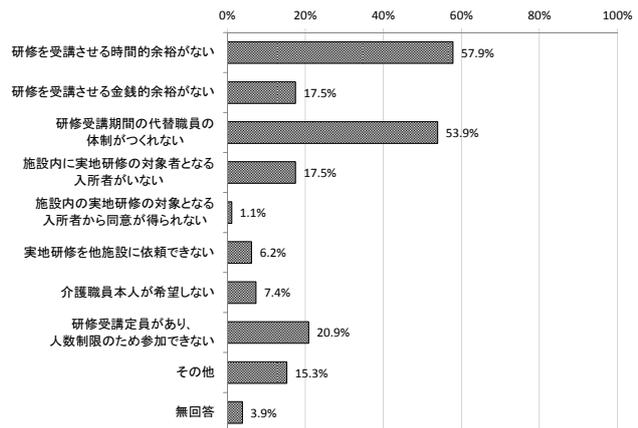
○認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員は、「有」が82.4%であった。

図表2-146 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員の有無 (n=1,502)



○介護職員が認定特定行為業務従事者の認定を受けていない理由は、「研修を受講させる時間的余裕がない」57.9%など、施設側の体制の問題である場合の割合が高かった。

図表2-152 (認定証の交付を受けていない職員がいる場合) 認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けていない職員がいる理由 (複数回答) (n=1,237)



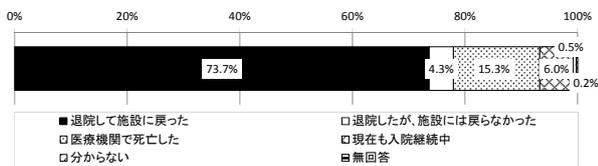
## (4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業

(入院票)

### 8) 特養から医療機関への入院の状況

○平成28年7月に医療機関に入院した人のうち「退院して施設に戻った入所者」は73.7%、「医療機関で死亡した」が15.3%であった。

図表2-399 退院直後の状況 (n=1,678)



○入院理由は「肺炎の治療」が最も多く、「退院して施設に戻った」が68.9%、「医療機関で死亡した」が18.0%であった。

図表2-401 入院理由別 退院直後の状況

	合計	退院して施設に戻った	退院したが、施設には戻らなかった	医療機関で死亡した	現在も入院継続中	分からない	無回答
全体	1,678	1,236	72	257	100	9	4
肺炎の治療	601	414	37	108	33	6	3
転倒骨折の治療	90	83	2	4	1	0	0
認知症の精神症状の悪化	16	11	0	2	3	0	0
その他の状態の急変	232	153	13	47	17	1	1
胃ろうの造設や中心静脈栄養カテーテルの留置の処置	43	39	0	3	1	0	0
検査のため	84	62	1	18	3	0	0
その他	696	529	22	94	47	4	0
	100.0%	73.7%	1.2%	21.4%	3.6%	0.0%	0.0%
	100.0%	76.0%	3.2%	13.5%	6.8%	0.6%	0.0%

○医療機関に入院・退院後、特養に戻った入所者について、医療施設に入院する2週間前に実施した医療的ケア等は「服薬管理」が67.3%、「頻回な観察」が25.7%、「たんの吸引」が13.3%、「胃ろう、腸ろうによる栄養管理」が10.4%、「点滴」が10.4%であった。退院後2週間に実施した医療的ケア等として、「服薬管理」が67.9%、「頻回な観察」が26.8%、「たんの吸引」が13.6%、「胃ろう、腸ろうによる栄養管理」が12.9%であった。

図表2-425 入院前と退院後の比較(実施した医療的ケア等) (複数回答)

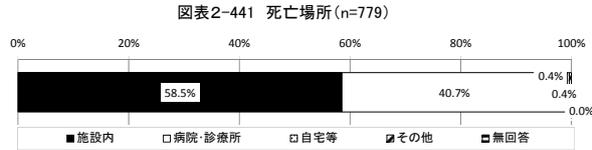
No.	実施した医療的ケア	入院前		退院後	
		件数	実施率	件数	実施率
1	胃ろう、腸ろうによる栄養管理	128	10.4%	160	12.9%
2	経鼻経管栄養	17	1.4%	20	1.6%
3	中心静脈栄養の管理	5	0.4%	8	0.6%
4	カテーテル	78	6.3%	98	7.9%
5	ストーマの管理	11	0.9%	14	1.1%
6	たんの吸引	165	13.3%	168	13.6%
7	ネグライザー	11	0.9%	10	0.8%
8	酸素療法	38	3.1%	30	2.4%
9	気管切開のケア	1	0.1%	1	0.1%
10	人工呼吸器の管理	0	0.0%	0	0.0%
11	注射	8	0.6%	9	0.7%
12	点滴	128	10.4%	45	3.6%
13	簡易血糖測定	24	1.9%	23	1.9%
14	インスリン注射	11	0.9%	12	1.0%
15	創傷処置	70	5.7%	81	6.6%
16	褥瘡の処置	52	4.2%	62	5.0%
17	服薬管理	832	67.3%	839	67.9%
18	透析	8	0.6%	8	0.6%
19	導尿	10	0.8%	6	0.5%
20	疼痛の管理(麻薬使用無)	36	2.9%	42	3.4%
21	疼痛の管理(麻薬使用有)	5	0.4%	2	0.2%
22	洗腸	75	6.1%	72	5.8%
23	排便	55	4.4%	61	4.9%
24	頻回な観察	318	25.7%	331	26.8%
25	リビティーション	42	3.4%	45	3.6%
26	その他	29	2.3%	31	2.5%
27	なし	138	11.2%	117	9.5%
	無回答	58	4.7%	54	4.4%
	全体	1,236	100.0%	1,236	100.0%

## (4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業

### (死亡者票)

#### 9) 死亡者の状況

○平成28年10月に死亡した入所者の死亡場所は、「施設内」が58.5%、「病院・診療所」が40.7%であった。

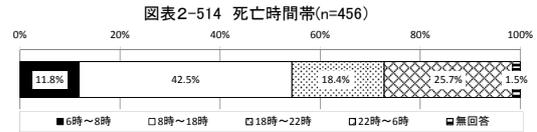


○施設内死亡者では「老衰」が64.7%、病院・診療所での死亡者の主たる死因は「肺炎」が29.0%、「心不全」が21.1%であった。

図表2-467 死亡場所別 主たる死因

	合計	脳血管疾患	心不全	肺炎	悪性新生物	老衰	その他	無回答
全体	779	34	110	136	40	346	85	28
	100.0%	4.4%	14.1%	17.5%	5.1%	44.4%	10.9%	3.6%
施設内	456	15	42	44	15	295	36	9
	100.0%	3.3%	9.2%	9.6%	3.3%	64.7%	7.9%	2.0%
病院・診療所	317	19	67	92	23	50	48	18
	100.0%	6.0%	21.1%	29.0%	7.3%	15.8%	15.1%	5.7%
自宅等	3	0	0	0	1	1	1	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
その他	3	0	1	0	1	0	0	1
	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%

○施設内死亡の場合、死亡時間帯は、「8時～18時」が42.5%であった。



○施設内死亡の場合、死亡時の立会者として「医師」が66.2%、「看護職員」が81.4%、「介護職員」が80.9%であった。8時～22時の時間帯は「看護職員」の割合が高く、22時～8時の時間帯は「介護職員」の割合が高かった。医師はどの時間帯においても大きな差はなかった。

図表2-523 時間帯別 死亡時の立会者 (複数回答) (n=456)

	死亡者数	医師	看護職員	介護職員	施設長	生活相談員	家族・親類	その他	無回答
全体	456	302	371	369	90	181	263	25	9
		66.2%	81.4%	80.9%	19.7%	39.7%	57.7%	5.5%	2.0%
6時～8時	54	34	38	51	10	18	25	3	0
		63.0%	70.4%	94.4%	18.5%	33.3%	46.3%	5.6%	0.0%
8時～18時	194	130	176	157	48	88	115	10	1
		67.0%	90.7%	80.9%	24.7%	45.4%	59.3%	5.2%	0.5%
18時～22時	84	55	68	64	12	33	51	7	1
		65.5%	81.0%	76.2%	14.3%	39.3%	60.7%	8.3%	1.2%
22時～6時	117	81	87	95	19	40	70	5	2
		69.2%	74.4%	81.2%	16.2%	34.2%	59.8%	4.3%	1.7%
無回答	7	2	2	2	1	2	2	0	5

## (4) 介護老人福祉施設における医療的ケアの現状についての調査研究事業

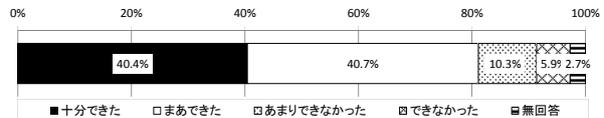
○施設内死亡者においてターミナル期に実施した医療的ケア等としては、「頻回な観察」が62.9%、「たんの吸引」が45.4%、「服薬管理」が45.0%、「点滴」が34.4%、「酸素療法」が20.8%で、「服薬管理」以外はターミナル期以前における医療的ケア等の実施率より高かった。

図表2-539 ターミナル期以前とターミナル期の比較 (実施した医療的ケア等) (複数回答)

No.	実施した医療的ケア等	ターミナル期以前から実施していた処置		ターミナル期に実施した処置	
		件数	実施率	件数	実施率
1	胃ろう、腸ろうによる栄養管理	27	5.9%	21	4.6%
2	経鼻経管栄養	10	2.2%	12	2.6%
3	中心静脈栄養の管理	0	0.0%	2	0.4%
4	カテーテル	12	2.6%	18	3.9%
5	ストマの管理	5	1.1%	4	0.9%
6	たんの吸引	96	21.1%	207	45.4%
7	初ラゲール	1	0.2%	5	1.1%
8	酸素療法	29	6.4%	95	20.8%
9	気管切開のケア	0	0.0%	0	0.0%
10	人工呼吸器の管理	0	0.0%	2	0.4%
11	注射	1	0.2%	7	1.5%
12	点滴	61	13.4%	157	34.4%
13	簡易血糖測定	5	1.1%	3	0.7%
14	インスリン注射	4	0.9%	2	0.4%
15	創傷処置	31	6.8%	31	6.8%
16	褥瘡の処置	28	6.1%	41	9.0%
17	服薬管理	265	58.1%	205	45.0%
18	透析	3	0.7%	1	0.2%
19	導尿	2	0.4%	1	0.2%
20	疼痛の管理 (麻薬使用無)	13	2.9%	11	2.4%
21	疼痛の管理 (麻薬使用有)	0	0.0%	0	0.0%
22	浣腸	52	11.4%	33	7.2%
23	排便	58	12.7%	66	14.5%
24	頻回な観察	119	26.1%	287	62.9%
25	リハビリテーション	20	4.4%	12	2.6%
26	その他	5	1.1%	5	1.1%
27	なし	44	9.6%	28	6.1%
	無回答	47	10.3%	22	4.8%
	全体	456	100.0%	456	100.0%

○本人にとって最善の場所で亡くなることができたと思うかについて、「十分できた」及び「まあできた」と思う割合は「施設内」の死亡の場合94.3%、「病院・診療所」での死亡の場合61.9%であった。

図表2-500 本人にとって最善の場所で亡くなることができたと思うか (n=779)



図表2-501 死亡場所別 本人にとって最善の場所で亡くなることができたと思うか

	合計	十分できた	まあできた	あまりできなかった	できなかった	無回答
全体	779	315	317	80	46	21
	100.0%	40.4%	40.7%	10.3%	5.9%	2.7%
施設内	456	230	200	16	2	8
	100.0%	50.4%	43.9%	3.5%	0.4%	1.8%
病院・診療所	317	82	114	64	44	13
	100.0%	25.9%	36.0%	20.2%	13.9%	4.1%